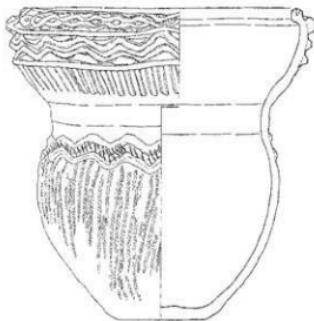


しも みみ きれ
下 耳 切 第 3 遺 跡

〔第一分冊 旧石器～縄文時代編〕

Shimomimikire 3 Site

東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書30



2006

宮崎県埋蔵文化財センター



下耳切第3遺跡近景 一小丸川を望む一



下耳切第3遺跡全景 繩文時代中期の遺構群（西から）



縄文時代中期竪穴住居跡と土坑群（北から）



密集する土坑群（東から）



S C58（北から）



S C140（東から）



同遺物出土状況（東から）



S C 2 出土深鉢



S C 140 出土深鉢



縄文時代中期の土器

序

宮崎県教育委員会では、東九州自動車道（都農～西都間）建設予定地にかかる埋蔵文化財の発掘調査を平成11年度から実施しております。本書は、その発掘調査報告書であります。

本書に掲載した下耳切第3遺跡は、宮崎県児湯郡高鍋町に位置し、平成12年度から14年度にかけて発掘調査を実施しました。調査によって、後期旧石器時代から古代にかけて、永らく人々の生活が営み続けられていたことが明らかになりました。

特に縄文時代の集落跡からは、畿内・瀬戸内方面との交流を物語るような土器が出土し、当時の人々が広域的な交流を繰り広げていたことが窺えます。

また、古墳時代の墳墓や古代初頭までの集落跡は、当該時期における地域社会の姿を示しました。さらに、南九州特有の地下式横穴墓が円墳の周溝内で築造されていたことは、往時の墓制を知る上で重要な資料となります。

ここに報告する内容は、今後、当地域の歴史を解明する上で貴重な資料になるものと考えられます。

本書が学術資料としてだけでなく、学校教育や生涯学習の場などで活用され、また、埋蔵文化財保護に対する理解の一助となれば幸いです。

最後に、調査にあたって御協力いただいた関係諸機関・地元の方々、並びに御指導・御助言を賜った先生方に対して厚くお礼申し上げます。

平成18年3月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 宮園淳一

例　　言

- 1 本書は、東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴い、平成12～14年度にかけて、宮崎県教育委員会が実施した、児湯郡高鍋町所在の下耳切第3遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、日本道路公団の依頼により宮崎県教育委員会が調査主体になり、宮崎県埋蔵文化財センターが実施した。

なお、日本道路公団は平成17年10月1日より分割民営化され、西日本高速道路株式会社九州支社となったが、本報告書中では日本道路公団として記載する。
- 3 現地における実測等の記録は主に、今塙屋毅行、可見直典、高木祐志、丹俊作、都成量、永田和久、松尾有年、が行い、一部を秋成雅博、安楽哲史、落合賢一、金丸史絵、小宇都あすさ、永山博一、山下麻奈、吉本正典、成相景子及び発掘作業員の協力を得た。
- 4 本書使用の遺物実測図は、秋成、今塙屋、可見、高木、丹が行ったほか整理作業員が補助した。
- 5 本書に使用した実測図等の浄書は、今塙屋が行ったほか整理作業員が補助した。
- 6 本書中の遺構写真は各調査員が、遺物写真については今塙屋が撮影したものを使用した。
- 7 測量・空中写真撮影・理化学的分析・石器実測等は次の機関に委託した。

地形測量・基準杭設置：(有)タイユー測量設計
空中写真：(有)スカイサーべイ九州、九州航空株式会社
植物珪酸体・リン酸カルシウム分析・花粉分析・種実同定・年代測定：㈱古環境研究所
石器実測：(株)バスコ、㈱大成エンジニアリング
- 8 本書に使用した遺構の略記号は次の通りである。

〔遺構〕 S A…竪穴住居跡　S B…掘立柱建物跡　S C…土坑　S D…土坑墓
S H…円形に巡るピット列（平地式建物跡） S I…集石遺構　S N…古墳
S T…地下式横穴墓　S U…馬埋葬土坑　S V…配石遺構　S Y…柵列
S W…陥し穴状遺構
- 9 本書に使用した地図は、国土地理院発行の2万5千分の1図（高鍋及び妻）をもとに、遺跡周辺地形図等は、日本道路公団宮崎工事事務所から提供の1000分の1図をもとに作成した。
- 10 本書で用いた標高は海拔絶対高であり、方位は座標北（G.N.）を基本とし、磁北（M.N.）も 使用した。本地域における真北との偏差は、西偏約5°40'である。
- 11 本書で使用している座標は、旧国土座標第II系による。
- 12 土器の色調および土層については農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版 標準土色帖」に準拠した。
- 13 出土遺物の石材の同定については、主に永田が行つたが、一部を当センターの赤崎広志氏にお願いした。
- 14 本書の執筆・編集は、可見、丹、都成、永田及び柳田晴子の協力のもと、今塙屋が行つた。
- 15 出土遺物、その他の諸記録類は、宮崎県埋蔵文化財センターで保管している。

凡　例

1 挿図の縮尺

遺物分布図=1:300 1:500

遺構実測図=1:20 1:40

土器=1:3 石器=2:3 1:3 1:4 を基本とし、以外のものを含めて挿図中にその縮尺を明示した。

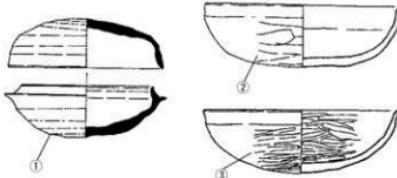
2 國版の縮尺

遺構・遺物写真などの縮尺については任意であり、統一していない。

3 土器観察表の計測値は単位がcmである。

4 土器の実測図中の記号・表示は下記に示しておく。

須恵器の調整



土師器の調整



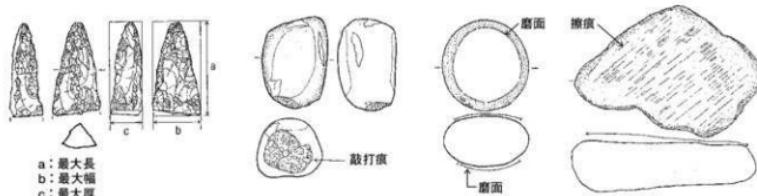
①は回転ヘラケズリ、②は手持ちヘラケズリ、③は手持ちヘラミガキ、④は板状工具によるナデ、⑤は指頭痕、⑥は叩き目、⑦は接合痕、⑧は人為的な打ち欠きを示す。なお、赤色のスクリーントーンは赤彩塗布、黒色は黒色処理を意味する。

5 石器の計測表及び観察表の計測値は、下記の計測方法に拠った。単位はg、cmである。

本遺跡では、掲載石器と参考資料となる石器のみ計測した。

6 石器実測図中の記号や表示は以下のものを示す。

石器の節理面は1点鎖線で表示した。微細剥離の認められる部分は○でその範囲を示した。微細剥離の観察は肉眼により行った



7 本書に記載する層序について

層（テフラ・ローム層）の略称は、「平成15年度東九州自動車道（都農～西都間）関連埋蔵文化財発掘調査概要報告書IV」第1章第2節の記載に準じる。

本文目次

第Ⅰ章 はじめに	
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の組織	1
第Ⅱ章 遺跡の位置と環境	
第1節 地理的環境	2
第2節 歴史的環境	4
第3節 小丸川流域の古墳時代概観	6
第Ⅲ章 調査の記録	
第1節 確認調査の概要	14
第2節 発掘調査の方法	14
第3節 整理作業及び報告書の作成	21
第Ⅳ章 調査の記録（I）	
第1節 調査の概要	22
第2節 基本層序	22
第3節 旧石器時代の遺物	
1 後期旧石器時代Ⅰ期	28
2 後期旧石器時代Ⅱ期	31
3 小結	35
第4節 縄文時代早期の遺構と遺物	
1 概要	45
2 散縄と集石遺構	45
3 遺物	56
4 小結	69
第5節 縄文時代中期の遺構と遺物	
1 概要	100
2 遺物の分類	100
3 壁穴住居跡	107
4 平地式建物跡	123
5 掘立柱建物跡	140
6 集石遺構	141
7 配石遺構	143
8 土坑	144
9 包含層（第Ⅲ b 層）の遺物	193
第6節 縄文時代後・晚期の遺構と遺物	
1 概要	222
2 遺物の分類	222
3 土坑	222
4 陥し穴状遺構	223
5 縄文時代後期・晚期包含層（第Ⅲ a 層）の遺物	227
6 小結	227
附編 古墳時代遺構出土の縄文時代遺物（縄文時代中期～晚期）	230
第V章 自然科学分析の結果	242
第VI章 まとめ（縄文時代）～縄文時代中期集落跡に関して～	262

挿 図 目 次

第1図 遺跡位置図	3
第2図 一ツ瀬川～小丸川流域の古墳群	7
第3図 下耳切第3遺跡A区遺構配置図[K-Ah降灰以降]	15,16
第4図 下耳切第3遺跡B区遺構配置図[K-Ah降灰以降]	17,18
第5図 下耳切第3遺跡と周辺地形	19
第6図 確認調査トレンチと柱状図	19
第7図 下耳切第3遺跡調査区割図	23
第8図 下耳切第3遺跡における基本層序	23
第9図 自然科学分析試料採取土層図	25
第10図 後期旧石器時代I期遺物出土分布図	29
第11図 後期旧石器時代I期出土遺物実測図①	29
第12図 後期旧石器時代I期出土遺物実測図②	30
第13図 後期旧石器時代I期出土遺物実測図③	31
第14図 後期旧石器時代II期遺物出土分布図①〔頁岩〕	33
第15図 後期旧石器時代II期出土遺物実測図①〔頁岩〕	33
第16図 後期旧石器時代II期出土分布図②〔桑ノ木津留産黒曜石〕	34
第17図 後期旧石器時代II期出土遺物実測図②〔桑ノ木津留産黒曜石〕	34
第18図 後期旧石器時代II期出土遺物実測図③〔桑ノ木津留産黒曜石〕	35
第19図 後期旧石器時代II期遺物出土分布図③〔腰岳産黒曜石〕	36
第20図 後期旧石器時代II期出土遺物実測図④〔腰岳産黒曜石〕	36
第21図 後期旧石器時代II期石材別出土傾向	37
第22図 縄文時代早期集石遺構分布図	47
第23図 集石遺構I類実測図	49
第24図 集石遺構II類実測図①	50
第25図 集石遺構II類実測図②	51
第26図 集石遺構II類実測図③	54
第27図 集石遺構II類実測図④	55
第28図 集石遺構内出土石器実測図	55
第29図 縄文時代早期土器群出土分布図	58
第30図 縄文時代早期土器実測図①	58
第31図 縄文時代早期土器実測図②	59
第32図 縄文時代早期石器群出土分布	60
第33図 縄文時代早期石器実測図①	60
第34図 縄文時代早期石器実測図②	61
第35図 縄文時代早期頁岩製石器出土分布	63
第36図 縄文時代早期頁岩製石器実測図	63
第37図 縄文時代早期水晶・石英製石器群出土分布図	64
第38図 縄文時代早期姫島産黒曜石製石器群出土分布図	65
第39図 縄文時代早期姫島産黒曜石製石器実測図	65
第40図 縄文時代早期日東産黒曜石製石器群出土分布図	66
第41図 縄文時代早期日東産黒曜石製石器実測図	66
第42図 縄文時代早期チャート製石器群出土分布図	67
第43図 縄文時代早期チャート製石器実測図①	67
第44図 縄文時代早期チャート製石器実測図②	68
第45図 縄文時代早期の遺物別出土傾向	71
第46図 縄文時代中期遺構配置図	101,102
第47図 V類土器の細分型式	104
第48図 VI類土器及びVII類土器の細分型式	105
第49図 S A 8 実測図	108
第50図 S A 8 出土遺物実測図	109
第51図 S A 8 + S C 41出土遺物実測図	110
第52図 S A 14 実測図	111
第53図 S A 14 出土遺物実測図	111
第54図 S A 21 実測図	113
第55図 S A 21 出土遺物実測図	113
第56図 S A 22・82・83 実測図	114
第57図 S A 22・82 出土遺物実測図	115
第58図 S A 83 出土遺物実測図	116
第59図 S A 83及び遺構検出面出土遺物実測図	117
第60図 S A 80 実測図	118
第61図 S A 80 出土遺物実測図	119
第62図 S A 81 実測図	120
第63図 S A 81 出土遺物実測図①	121
第64図 S A 81 出土遺物実測図②	122
第65図 平地式建物跡群（S H）分布図	124
第66図 S H 1 実測図	125
第67図 S H 2 実測図	125

第68図	S H 3 実測図	126	第110図	S C 110出土遺物実測図	159
第69図	S H 4 実測図	126	第111図	S C 129実測図	160
第70図	S H 5・6 実測図	127	第112図	S C 129出土遺物実測図	160
第71図	S H 7～10実測図	129	第113図	S C 142実測図	160
第72図	S H 11～13実測図	131	第114図	S C 142出土遺物実測図	160
第73図	S B 63・82～84実測図	131	第115図	S C 145実測図	161
第74図	S H 15～19実測図	133	第116図	S C 145出土遺物実測図	161
第75図	S H 14実測図	135	第117図	S C 6 実測図	163
第76図	S H 20～22・30実測図	135	第118図	S C 6 出土遺物実測図	163
第77図	S H 23～25実測図	137	第119図	S C 13実測図	163
第78図	S H 28実測図	138	第120図	S C 13出土遺物実測図	163
第79図	S H 29実測図	138	第121図	S C 16実測図	164
第80図	S H 26・27・31・32実測図	139	第122図	S C 16出土遺物実測図	164
第81図	平地式建物跡(S H)出土遺物実測図	140	第123図	S C 23実測図	165
第82図	S I 3 実測図	142	第124図	S C 23出土遺物実測図	165
第83図	S V 1 実測図	143	第125図	S C 42実測図	166
第84図	S V 1 出土遺物実測図	144	第126図	S C 42出土遺物実測図	166
第85図	縄文時代中期土坑群分布図	145	第127図	S C 43実測図	167
第86図	S C 19実測図	147	第128図	S C 43出土遺物実測図	167
第87図	S C 19出土遺物実測図	147	第129図	S C 51実測図	167
第88図	S C 22実測図	148	第130図	S C 51出土遺物実測図	167
第89図	S C 22出土遺物実測図	148	第131図	S C 52実測図及び出土遺物実測図	169
第90図	S C 34実測図	149	第132図	S C 53実測図及び出土遺物実測図	169
第91図	S C 34出土遺物実測図	149	第133図	S C 56実測図	170
第92図	S C 57実測図及び出土遺物実測図	151	第134図	S C 56出土遺物実測図(1)	170
第93図	S C 58実測図	151	第135図	S C 56出土遺物実測図(2)	171
第94図	S C 58出土遺物実測図(1)	151	第136図	S C 63実測図及び出土遺物実測図	172
第95図	S C 58出土遺物実測図(2)	152	第137図	S C 64実測図	173
第96図	S C 67実測図	152	第138図	S C 64出土遺物実測図	173
第97図	S C 67出土遺物実測図	152	第139図	S C 65実測図	174
第98図	S C 68実測図	153	第140図	S C 65出土遺物実測図	174
第99図	S C 68出土遺物実測図	153	第141図	S C 66実測図	175
第100図	S C 77実測図	155	第142図	S C 66出土遺物実測図	175
第101図	S C 77出土遺物実測図	155	第143図	S C 69実測図	176
第102図	S C 80実測図	155	第144図	S C 69出土遺物実測図	176
第103図	S C 80出土遺物実測図	155	第145図	S C 70実測図	177
第104図	S C 81実測図	156	第146図	S C 70出土遺物実測図	177
第105図	S C 81出土遺物実測図	156	第147図	S C 78実測図	177
第106図	S C 88実測図	157	第148図	S C 78出土遺物実測図	177
第107図	S C 88出土遺物実測図(1)	157	第149図	S C 94実測図	178
第108図	S C 88出土遺物実測図(2)	158	第150図	S C 94出土遺物実測図	178
第109図	S C 110実測図	159	第151図	S C 105実測図	179

第152図	S C 105出土遺物実測図	179	第192図	S W 1 出土遺物実測図	225
第153図	S C 106実測図	180	第193図	S W 2 実測図	226
第154図	S C 106出土遺物実測図	180	第194図	S W 2 出土遺物実測図	226
第155図	S C 120実測図	181	第195図	S W 3 実測図	226
第156図	S C 120出土遺物実測図	181	第196図	縄文時代後・晩期出土遺物実測図(1)	228
第157図	S C 131実測図	181	第197図	縄文時代後・晩期出土遺物実測図(2)	229
第158図	S C 141実測図	182	第198図	古墳時代遺構出土の縄文時代遺物実測図(古墳)(1)	231
第159図	S C 141出土遺物実測図	182	第199図	古墳時代遺構出土の縄文時代遺物実測図(古墳)(2)	232
第160図	S C 146実測図	183	第200図	古墳時代遺構出土の縄文時代遺物実測図(堅穴住居跡)(1)	233
第161図	S C 146出土遺物実測図	183	第201図	古墳時代遺構出土の縄文時代遺物実測図(堅穴住居跡)(2)	234
第162図	S C 11実測図	184	第202図	古墳時代遺構出土の縄文時代遺物実測図(堅穴住居跡)(3)	235
第163図	S C 11出土遺物実測図(1)	184	第203図	植物珪酸体分析結果図(基本土層)	243
第164図	S C 11出土遺物実測図(2)	185	第204図	植物珪酸体分析結果図(S C 19・22)	245
第165図	S C 62実測図	186	第205図	植物珪酸体分析結果図(S C 23・43)	246
第166図	S C 62出土遺物実測図	186	第206図	植物珪酸体分析結果図(S C 45・46)	247
第167図	S C 79実測図	187	第207図	植物珪酸体分析結果図(S C 47)	248
第168図	S C 79出土遺物実測図	187	第208図	植物珪酸体分析結果図(S C 59)	249
第169図	S C 2 実測図	188	第209図	植物珪酸体分析結果図(S C 82)	250
第170図	S C 2 出土遺物実測図	188	第210図	植物珪酸体分析結果図(S A19・S A60カマド)	251
第171図	S C 7 実測図	189	第211図	植物珪酸体(プラント・オパール)の顕微鏡写真	252
第172図	S C 7 出土遺物実測図	189	第212図	基本土層における花粉ダイアグラム	253
第173図	S C 44実測図	190	第213図	下耳切第3遺跡の花粉・胞子	255
第174図	S C 46実測図	190	第214図	下耳切第3遺跡におけるシ・カルシウム含量	256
第175図	S C 59実測図及び出土遺物実測図	191	第215図	S A 30カマドのT Lグローカーブ	259
第176図	S C 100実測図	191	第216図	S A 56埋設土器のT Lグローカーブ(準微粒子法)	259
第177図	S C 132実測図	194	第217図	S A 56埋設土器のT Lグローカーブ(粗粒子法)	259
第178図	S C 132出土遺物実測図	194	第218図	S A 56埋設土器の成長曲線(準微粒子法)	259
第179図	S C 140実測図	194	第219図	下耳切第3遺跡における炭化材	260
第180図	S C 140出土遺物実測図(1)	194	第220図	石錘重量の度数分布	265
第181図	S C 140出土遺物実測図(2)	195	第221図	堅穴住居跡出土石錘の度数分布	265
第182図	縄文時代中期包含層出土遺物(1)	196	第222図	土坑出土石錘の重量度数分布	266
第183図	縄文時代中期包含層出土遺物(2)	197	第223図	堅穴住居跡平面積の分布	267
第184図	縄文時代中期包含層出土遺物(3)	198	第224図	平地式建物跡平面積の分布	267
第185図	縄文時代中期包含層出土遺物(4)	199	第225図	縄文時代中期土坑の平面積と深さ	268
第186図	S C 1 実測図	223			
第187図	S C 1 出土遺物実測図(1)	223			
第188図	S C 1 出土遺物実測図(2)	224			
第189図	S C 126実測図	224			
第190図	S C 126出土遺物実測図	224			
第191図	S W 1 実測図	225			

表 目 次

第1表 下耳切第3遺跡における遺構・遺物と出土層位	22	第41表 繩文時代中期の土坑群構成	145
第2表 後期旧石器時代Ⅰ期遺物観察表	38	第42表 繩文時代中期堅穴住居跡一覧表	200
第3表 後期旧石器時代Ⅱ期遺物観察表	38	第43表 繩文時代中期掘立柱建物跡一覧表	200
第4表 後期旧石器時代Ⅱ期末固化遺物一覧(真岩)	39	第44表 繩文時代中期平地式建物跡一覧表	200
第5表 後期旧石器時代Ⅲ期末固化遺物一覧(腰岳産黒曜石)	39	第45表 繩文時代中期土坑一覧表(1)	201
第6表 後期旧石器時代Ⅲ期末固化遺物一覧(桑ノ木津留産黒曜石)	40	第46表 繩文時代中期土坑一覧表(2)	202
第7表 後期旧石器時代Ⅲ期末固化遺物一覧(桑ノ木津留産黒曜石)	41	第47表 繩文時代中期土坑一覧表(3)	203
第8表 後期旧石器時代Ⅲ期末固化遺物一覧(桑ノ木津留産黒曜石)	42	第48表 繩文時代中期土坑一覧表(4)	204
第9表 後期旧石器時代Ⅲ期末固化遺物一覧(桑ノ木津留産黒曜石)	43	第49表 繩文土器観察表(1)	205
第10表 後期旧石器時代Ⅲ期末固化遺物一覧(桑ノ木津留産黒曜石)	44	第50表 繩文土器観察表(2)	206
第11表 繩文時代早期土器観察表	73	第51表 繩文土器観察表(3)	207
第12表 繩文時代早期土器取り上げ一覧(1)	73	第52表 繩文土器観察表(4)	208
第13表 繩文時代早期土器取り上げ一覧(2)	74	第53表 繩文土器観察表(5)	209
第14表 繩文時代早期石器観察表【石材別】(1)	75	第54表 繩文土器観察表(6)	210
第15表 繩文時代早期石器観察表【石材別】(2)	76	第55表 繩文土器観察表(7)	211
第16表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(1)	77	第56表 繩文土器観察表(8)	212
第17表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(2)	78	第57表 繩文土器観察表(9)	213
第18表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(3)	79	第58表 繩文土器観察表(10)	214
第19表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(4)	80	第59表 繩文土器観察表(11)	215
第20表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(5)	81	第60表 繩文土器観察表(12)	216
第21表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(6)	82	第61表 繩文時代石器観察表(1)	217
第22表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(7)	83	第62表 繩文時代石器観察表(2)	218
第23表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(8)	84	第63表 繩文時代石器観察表(3)	219
第24表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(9)	85	第64表 繩文時代石器観察表(4)	220
第25表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(10)	86	第65表 繩文時代石器観察表(5)	221
第26表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(11)	87	第66表 繩文時代後期土坑一覧表	235
第27表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(12)	88	第67表 塗し穴状遺構一覧表	235
第28表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(13)	89	第68表 繩文土器観察表(13)	236
第29表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(14)	90	第69表 繩文土器観察表(14)	237
第30表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(15)	91	第70表 繩文土器観察表(15)	238
第31表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(16)	92	第71表 繩文土器観察表(16)	239
第32表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(17)	93	第72表 繩文土器観察表(17)	240
第33表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(18)	94	第73表 繩文時代石器観察表(6)	241
第34表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(19)	95	第74表 下耳切第3遺跡における放射性炭素年代測定の結果一覧	242
第35表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(20)	96	第75表 植物珪酸体分析結果表(基本土層)	244
第36表 繩文時代早期石材別一覧表【未図化資料】(20)	97	第76表 植物珪酸体分析結果表(S C19・22)	245
第37表 繩文時代早期石材別一覧表【未図化資料】(22)	98	第77表 植物珪酸体分析結果表(S C23・43)	246
第38表 繩文時代早期石材削石器一覧表【未図化資料】(23)	99	第78表 植物珪酸体分析結果表(S C45・46)	247
第39表 調整・文様形態からみた類別型式	106	第79表 植物珪酸体分析結果表(S C47)	248
第40表 平地式建物跡の群構成	124	第80表 植物珪酸体分析結果表(S C59)	249
		第81表 植物珪酸体分析結果表(S C82)	250

第82表	植物珪藻分析結果表（SA19・SA60のカマド）	… 251
第83表	下耳切第3遺跡における花粉分析結果	… 254
第84表	下耳切第3遺跡における螢光X線分析結果(1)	… 257
第85表	下耳切第3遺跡における螢光X線分析結果(2)	… 258
第86表	下耳切第3遺跡における種実同定結果	… 259
第87表	下耳切第3遺跡における樹種同定結果	… 259
第88表	下耳切第3遺跡における熱ルミネッセンス年代測定結果	… 259
第89表	鉄の含有量 (Fe O + Fe ₂ O ₃)	… 259
第90表	出土土器の型式構成比	… 263
第91表	出土量全体に占める土器型式の割合	… 263
第92表	石器器種別の構成比	… 264
第93表	土坑内出土土器の傾向	… 267

図 版 目 次

卷頭図版 1	下耳切第3遺跡近景一小丸川を望む	
卷頭図版 2	下耳切第3遺跡全景—縄文時代中期の遺構群—	
卷頭図版 3	縄文時代中期堅穴住居跡と土坑群／密集する土坑群／S C 58／S C 140／S C 140遺物出土状況／S C 140遺物出土状況	
卷頭図版 4	S C 2 出土土器／S C 140出土土器／縄文時代中期の土器	
写真図版 1	後期旧石器時代 I 期出土遺物／後期旧石器時代 II 期出土遺物	
写真図版 2	縄文時代早期集石遺構検出状況／S I 9 検出状況／S I 1 半截状況／S I 5 半截状況／S I 24 底石検出状況	
写真図版 3	縄文時代早期の土器／縄文時代早期石器(尖頭器・スクレイバー・磨石・戴石・石皿)	
写真図版 4	縄文時代早期石器(頁岩製・姫島産・日本産黒曜石製)／縄文時代早期石器(チャート製)	
写真図版 5	縄文時代中期集落近景／同	
写真図版 6	S A 8 と土坑群／S A 8 土層堆積状況／S A 8 完掘状況／S A 22・82・83検出状況／S A 22・82・83完掘状況	
写真図版 7	平地式建物跡群と土坑群／S H 4／S H 2・3／土坑検出状況（J群付近）／土坑の広がり（S C 59付近）	
写真図版 8	土坑群(1)(O群付近)／土坑の広がり（S群付近）／S C 22・23完掘状況／S C 42炭化物出土状況／S C 57遺物出土状況	
写真図版 9	土坑群(2)(B群付近)／S C 58出土遺物状況／S C 81遺物出土状況／S C 44遺物出土状況／S C 140遺物出土状況	
写真図版10	S A 8 出土遺物／S A 21・81出土遺物／S A 83出土遺物／平地式建物跡（S H）出土遺物	
写真図版11	S C 11出土遺物(1)／S C 11出土遺物(2)／S C 16出土遺物／S C 19出土遺物	
写真図版12	S C 56出土遺物／S C 57・58出土遺物／S C 65出土遺物／S C 66・67・68出土遺物	
写真図版13	S C 80出土遺物／S C 88出土遺物／S C 110出土遺物／S C 141出土遺物	
写真図版14	S C 145出土遺物／S V 1 出土遺物／縄文時代中期包含層出土遺物(1)	
写真図版15	縄文時代中期包含層出土遺物(2)／縄文時代中期包含層出土遺物(3)	
写真図版16	S C 1 土層堆積状況／S W 1 完掘状況／S W 2 完掘状況／S W 3 完掘状況／S C 1 出土遺物	
写真図版17	縄文時代後・晚期包含層出土遺物／古墳時代遺構出土の縄文土器(1)	
写真図版18	古墳時代遺構出土の縄文土器(2)／古墳時代遺構出土の縄文石器	
挿入写真 1	下耳切第3遺跡遺構検出状況	… 13
挿入写真 2	Mグリット南壁土層	… 37
挿入写真 3	作業風景(1)	… 106
挿入写真 4	作業風景(2)	… 106
挿入写真 5	S V 1 と土坑群	… 143
挿入写真 6	発掘調査の状況	… 261

第Ⅰ章 はじめに

第1節 調査に至る経緯

東九州自動車道都農～西都間は、平成元年2月に基づく計画がなされ、平成9年3月には整備計画路線となる。その後、平成9年10月には建設大臣より日本道路公団へ施行命令が出され、公団は翌年の2月から事業に着手している。

宮崎県教育委員会では、平成6年に延岡～西都間の遺跡詳細分布調査を行い、それに基づき埋蔵文化財の保護について関係機関と協議を重ねた結果、工事施工によって影響が出る部分は工事着手前に発掘調査を実施することとなった。

そこで、県教育委員会は、平成11年に日本道路公団の委託を受け、県埋蔵文化財センターが調査することになった。

これを受け、平成12年度より西都市、新富町、高鍋町の確認調査を開始し、本遺跡においても同年度に実施された。確認調査の詳細については後述するが、縄文時代～古墳時代の遺物・遺構が確認された。このため、平成12年9月より本調査に着手した。

また、確認調査未着手部分については、本調査と並行して順次実施することで対応している。最終的には、本調査対象面積22,500m²を測り、平成12年9月4日より平成14年8月29日まで調査を実施した。

なお、整理作業および報告書作成は、平成15～17年度に行なった。

第2節 調査の組織

下記第3遺跡の調査組織は次のとおりである。

調査主体 宮崎県教育委員会

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 矢野 剛（平成12～13年度）

米良 弘康（平成14～15年度）

宮園 淳一（平成16～17年度）

副所長兼総務課長

菊地 茂仁（平成12～13年度）

大庭 和博（平成14～16年度）

総務課長

宮越 尊（平成17年度）

総務係長 亀井 雄子（平成12～13年度）

野邊 文博（平成14年度）

主幹兼総務係長

石川 恵史（平成15～17年度）

副所長兼調査第二課長

岩永 哲夫（平成12～17年度）

調査第一課長兼調査第一係長

面高 哲郎（平成12～13年度）

調査第一課長

児玉 章則（平成14～15年度）

高山 富雄（平成16～17年度）

調査第一係長

谷口 武範（平成13～16年度）

主幹兼調査第一係長

長津 宗重（平成17年度）

調査第二係長

長津 宗重（平成12～15年度）

主幹兼調査第二係長

長津 宗重（平成16年度）

菅付 和樹（平成17年度）

（調査担当）

調査第二係主査 水田 和久（平成12～13年度）

同 都成 量（平成12～13年度）

調査第二係主事 今塙屋穀行（平成12～14年度）

調査員（嘱託） 丹 俊詞（平成12年度）

同 可児 直典（平成13年度）

同 高木 祐志（平成13年度）

同 松尾 有年（平成14年度）

（報告書作成担当）

調査第二係主査 水田 和久（平成15～17年度）

同 都成 量（平成15年度）

調査第二係主事 今塙屋穀行（平成15～17年度）

調査指導・協力

東九州自動車道発掘調査指導委員

泉 拓良（京都大学）

小畠 弘己（熊本大学）

本田 道輝（鹿児島大学）

田崎 博之（愛媛大学）
柳沢 一男（宮崎大学）
広瀬 和雄（国立歴史民俗博物館）
文化庁記念物課
諸機関等
秋成 雅博（清武町教育委員会）
有馬 義人（新富町教育委員会）
笠瀬 明宏（西都市教育委員会）
大西 智和（鹿児島国際大学）
小田富士雄（福岡大学）
上村 俊雄（鹿児島国際大学）
甲元 真之（熊本大学）
佐原 真（国立歴史民俗博物館）
杉井 健（熊本大学）
角南伸一郎（元興寺文化財研究所）
武末 純一（福岡大学人文学部）
田中 茂（北川町教育委員会）
常松 幹雄（福岡市埋蔵文化財センター）
津曲 大祐（西都市教育委員会）
櫛宜田佳男（文化庁文化財専門調査官）
中園 聰（鹿児島国際大学）
中村 耕治（鹿児島県立埋蔵文化財センター）
東 和幸（鹿児島県立埋蔵文化財センター）
山本 格（高鍋町教育委員会）

（以上五十音順）

第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

【高鍋町の地勢】

下耳切第3遺跡は宮崎県児湯郡高鍋町大字上江字下耳切に所在する。

本遺跡の位置する高鍋町は、宮崎平野の北端部に位置する。町の大部分の地勢は洪積台地であり、小丸川や宮田川は、この台地帯を切り分けるように日向灘に向けて東流する。

これら河川の両岸には河岸段丘面、沿岸部では僅かな沖積地が発達している。

また、台地縁辺部では、小河川が八つ手状の開析谷を幾筋にも派生させつつ、小丸川や宮田川に流れ込んでいる。

この洪積台地は、新生代第4紀洪積世に形成された河岸・海岸段丘面である。小丸川を挟んで南北に大きく区分される。

小丸川南岸域、特に高鍋町、新富町、西都市近辺では、西から茶臼原面・三財原面・新田原面・雲雀山面と呼称されている(1)。

一方、小丸川北岸域、川南町、木城町域を中心とする部分では、南から高城面、川南面、国光原面、唐瀬原面と続く(2)。

これら段丘面は概ね標高50~70mを測り、宮崎県の脊梁である日向山地とは対照的に平坦な地形が続き、縁辺部付近になると幾重にも開析谷が発達してやつで状を呈する特徴的な景観を示している。

【遺跡周辺の地勢】

下耳切第3遺跡は、高鍋町中西部に広がる三財原面の一つ、牛牧台地の北東部縁辺に位置し、行政区では高鍋町上江地区にある。

特に本遺跡が所在する周辺は、小字名「耳切」ないし「耳截」と言い、「みみきれ」と読む。

調査地の標高は約90m、高鍋町市街地との比高差は約80mを測る。遺跡の北側は開析谷に接し、南側にかけては緩やかな斜面が広がる。眼前には小丸川と対岸の台地上に展開する川南古墳群や持田古墳群の二大古墳群が、東に転じれば高鍋市街地と日向灘を遠く望む好地である。

一方、牛牧台地上や丘陵裾部には湧水点や小河川、さらに水を湛えた窪地が各所にみられる。特定はできなかったが、調査地の西側約1kmの地点に通称「耳きり池」という泉と小さな池があった(3)とされ、藩政時代に関連する民話が伝えられている。

また、調査地の周辺は一面に畑地が広がり、その中に人家が島状に点在する。主に葉タバコやサツマイモ、畜産飼料としてのトウモロコシや牧草、さらにはブドウやナシといった園芸農業が盛んである。

この畑作の卓越は、牛牧台地下面の野首第1・第2遺跡が立地する低位段丘面や沖積地が水田耕作地帯であるとの対照的である。



- | | | | |
|--------------|------------------|-----------------------|-------------------|
| 1 下耳切第3遺跡 | 2 尾花A遺跡 | 3 西ノ別府遺跡 | 4 川南古墳群 |
| 5 高城跡 | 6 永山古墳 | 7 持田古墳群 | 8 正祐寺横穴墓群 |
| 9 上ノ別府遺跡 | 10 東光寺遺跡 | 11 持田中尾遺跡 | 12 崩戸遺跡 |
| 13 野首第1遺跡 | 14 野首第2遺跡 | 15 南中原第1遺跡 | 16 山王古墳群 |
| 17 南中原第2遺跡 | 18 老瀬坂上第3遺跡 | 19 老瀬坂上第2遺跡 | 20 老瀬横穴墓群 |
| 21 隣ノ内古墳群 | 22 牛牧古墳群 地下式横穴墓群 | 23 北牛牧第5遺跡 | |
| 24 牛牧原遺跡 | 25 老瀬坂上遺跡 | 26 耳載遺跡 | 27 唐木戸第1遺跡 |
| 28 小並遺跡 | 29 牧内遺跡 | 30 大戸ノ口古墳群 (大戸ノ口第2遺跡) | |
| 31 高鍋(財部)城遺跡 | 32 水谷原古墳群 | 33 光音寺横穴墓群 | 34 毛作古墳群 (毛作第4遺跡) |
| 35 妻道南遺跡 | 36 上水谷古墳群 | 37 水谷横穴墓群 | 38 下水谷古墳群 |

第1図 遺跡位置図 (S = 1/50,000)

第2節 歴史的環境

下耳切第3遺跡が位置する高鍋町大字上江地区は、地元民から通称「牛牧」と呼ばれる。「牛牧」の地名の由来は、江戸時代の高鍋藩により開かれた軍馬等の牧場という「牧」の一つと関連付けられている(4)。

なお、「延喜式」には、牛や馬の官営牧として日向国の大牧（野波野・長野・三野原）が記載されており、喜田貞吉氏は、牛の官営牧として長野（上江字中尾、中原）を比定している(5)。

この下耳切第3遺跡の開析谷を隔てた北側に老瀬坂上第3遺跡(6)が、南側に北牛牧第5遺跡(7)が接している。以下、本遺跡の立地する牛牧台地周辺の遺跡群に焦点を絞り、各時代の遺跡分布状況と概要について点描することにする。

1 後期旧石器時代

高鍋町内の後期旧石器時代遺跡は、持田中尾遺跡(8)・妻道南遺跡(9)・北牛牧第1遺跡・牛牧原遺跡(10)等が知られていた。これら既知の遺跡に加えて、東九州自動車道建設に伴う発掘調査で多数の調査成果が得られている。

下耳切第3遺跡周辺も、これらの発掘調査により続々と調査成果が示されている。ここでは、本遺跡に隣接する老瀬坂上第3遺跡と北牛牧第5遺跡について、その概要を述べることにしたい。

老瀬坂上第3遺跡では、大きく二つの後期旧石器文化層が調査された。Kr-Kb層で砾群3基及びナイフ形石器と角錐状石器等、ML 1層で砾群3基と細石刃や細石核が検出された。

北牛牧第5遺跡では、古い順からMB 2、ML 2、Kr-Kb、ML 1各層で計5枚にわたる旧石器時代文化層が調査された。遺構や遺物も砾群や石器ブロック、ナイフ形石器や剥片・尖頭器、細石刃と細石核等が検出されている。特にMB 2層中出土の水晶製石核は注目に値しよう。

2 繩文時代

本遺跡周辺には、耳截遺跡(11)、大戸ノ口第2遺跡(12)、妻道南遺跡などが知られていたが、後期旧石器時代遺

跡と同様、東九州自動車道建設関連の発掘調査によって加速度的に調査成果が蓄積されており、個々の遺跡の概要に触れる紙数が足りない。

縄文時代草創期の遺跡は、隆起線文土器の出土した崩戸遺跡(13)と老瀬坂上第3遺跡のみで、北牛牧第5遺跡出土の石槍（尖頭器）が付加される。

縄文時代早期では、遺跡調査資料が爆発的に増加する。本遺跡の立地する牛牧台地周辺では、北から崩戸遺跡、野首第1・2遺跡、南中原第1遺跡、老瀬坂上第3遺跡、耳截遺跡、北牛牧第5遺跡、唐木戸第1～4遺跡、小並第1遺跡、牧内第1・2遺跡、(14)、大戸ノ口第2遺跡等で調査されている。

これらの遺跡では、早期後半期を中心とする集石遺構や炉穴、陥し穴状遺構等が多数検出されている。

縄文時代前期に属する遺跡は少なく、野首第1遺跡(15)と老瀬坂上第3遺跡において曾煙式、森式土器の出土例が認められるに過ぎない。

縄文時代中期に属する遺跡も数少なく、本遺跡以外には、大戸ノ口第2遺跡の船元式、春日式土器出土例が知られているに過ぎない。なかでも「墓」の可能性が高い、長楕円形土坑の検出例も特筆される。

縄文時代後期になると、牛牧台地周辺の当該遺跡は再び増加する。野首第2遺跡では、縄文時代後期終末～晩期前葉の環状に巡る堅穴住居群が検出されている。老瀬坂上第3遺跡でも後・晩期に属する縄文土器が多量に出土している。

3 弥生時代

本遺跡周辺では、持田遺跡、持田中尾遺跡、野首第1遺跡、老瀬坂上第3遺跡、牛牧原遺跡、大戸ノ口第2・3遺跡等があり、全て台地上の集落遺跡である。

持田中尾遺跡は、弥生時代前期末～中期前半の遺跡で堅穴住居跡2軒と堅穴状遺構、そして堅穴住居跡群を区画する溝が検出されている。堅穴住居跡は、いわゆる「松菊里型住居」に類似しており、遺物も太形蛤刃石斧や扁平片刃石斧など大陸系磨製石器群が出土していることから、初期弥生文化のあり方を知る上で重要な遺跡である。

なお、持田中尾遺跡の立地は、それまでの後背地に湿地を持つ砂丘上に展開する弥生時代前期の遺跡とは

異なるため、宮崎平野部の弥生時代中期初頭前後における遺跡動態を考える上でも注目される。

さらに、包含層出土の下城式土器や口縁部内面に突起を有する壺形土器の存在は、大分県域および瀬戸内海沿岸地域との交流の証と評価されよう。

野首第1遺跡は、弥生時代後期後半の遺跡で土坑1基と土器集中区が検出された。

老瀬坂上第3遺跡では、遺構は検出されなかったが、弥生時代中期中頃～後半の柱状脚台付壺が出土している。いわゆる「山之口式」に相当するであろう。なお、磨製石鎌も出土している。

牛牧原遺跡では、竪穴住居跡7軒が検出された。方形花弁形住居又は間仕切り住居が主体である。出土遺物として下城式や中溝式の壺と磨製石鎌が多数出土した。集落の時期は中期後半～後期前半と考えられる。

なお、牛牧原遺跡は台地内部で検出された集落であり、宮崎平野の北部では台地縁辺部において弥生時代集落跡が検出される傾向が強いことから、台地内部における集落立地の意義を検討する必要があるであろう。

大戸ノ口第2遺跡では、竪穴住居跡12軒と土坑7基が検出されている。弥生時代前期末～中期初頭前後及び後期後半～終末期の時期と考えられている。

なかでも下城式の壺や瀬戸内系の壺片の存在は持田中尾遺跡出土遺物と共通する。

4 古墳時代

高鍋町は別名「古墳の町」と呼び名されるように有名な持田古墳群をはじめとした140基を超える大小さまざまな古墳・横穴墓（群）が点在している。

これら古墳群と集落遺跡については、第3節にて再度言及する。

5 古代

古代に属する遺跡は僅少で、主に東九州自動車道関連の野首第2遺跡と老瀬坂上第3遺跡のみである。

野首第2遺跡では、掘立柱建物跡と布目瓦、縁軸陶器の検出例があり、官衙的または寺院の建物の存在を伺わせる。

老瀬坂上第3遺跡においては、用途不明の方形土坑2基と藏骨器が1基検出された。遺物は須恵器高台付

蓋の転用硯（8世紀中頃～後半）や布痕土器が出土している。藏骨器は8世紀末～9世紀初頭前後の時期が考えられており、古代における在地官人の墓地的性格が看取できよう。

6 中世～近世

牛牧台地周辺では数遺跡が認められている。

老瀬坂上第2遺跡¹⁶⁾は、小丸川を直下に望む牛牧台地縁辺部近くに位置し、方形に巡る土塁や空堀が検出されている。

調査者は、発掘調査の成果から、この遺構は文政3（1820）年に書き写された絵図に描かれている「以久公御陣」の可能性が高いとした。すなわち、天正6（1578）年の高城・耳川合戦時の島津方武将、島津以久の陣跡と推定されている¹⁷⁾。

この豊後大友氏と薩摩島津氏による、伊東氏没落日の日向国領有をめぐる激しい争奪戦の舞台となるのが、本遺跡から北へ約3kmの小丸川対岸の丘陵端部に位置する高城跡である。また、本遺跡から西へ4kmには、1587年、豊臣秀吉による島津氏攻略の舞台となつた根白坂が位置する。

このように戦国時代における小丸川周辺は、「日向の中原」を巡る攻防の最前線のみならず、自然の障壁である小丸川と川面との比高差を生かして丘陵端部に陣地や出城を配置するといった、巧みな地形利用が認められ、戦略的重要地域であった。

一方、本遺跡の南東約3kmにある市街地に近い丘陵上には、南北朝時代に築城された山城で、近世に修復されて秋月氏の居城となった財部（後に高鍋）城跡が位置している。

集落関連遺跡では、崩戸遺跡、野首1遺跡において中世～近世の屋敷地が調査されている。

なお、高鍋藩政下、牛牧台地周辺には軍馬等の牧場が開かれたというが、詳細な位置や規模などは不明である¹⁸⁾。

7 近・現代

本遺跡周辺では、太平洋戦争に関連する遺物の出土や遺構が検出されている。

地元の人の話や文献¹⁹によると、太平洋戦争終戦直前に下耳切第3遺跡と老瀬坂上第3遺跡付近には、西都市妻町に本部がある、旧陸軍護路部隊が駐屯しており、山手に機関銃座や砲座、待避壕、谷間や山陰に小屋兵舎を構築し、さらに牛牧周辺の丘には砲兵隊が大砲を運び砲台構築を始めたという。

これらの砲台は太平洋戦争末期の連合軍上陸に備えた対艦船用砲台や高射砲台であったといふ。

現在、戦跡と関連付ける遺構や遺物は僅かである。本遺跡の北側にある南中原第1遺跡では、確認調査によってサーベルと認識章が土坑より出土している。

また、本遺跡の西側約1kmの地点にある起伏のやや緩やかな緩斜面上に高射砲隊の駐屯地が、それより東に下った急崖面上に砲台（加農砲か？）が設置されていたらしい。

他方、牛牧台地周辺には、現在でも防空壕を認めることができる。台地の北側斜面には、台地とその直下に広がる沖積地の間に結ぶ幾筋の狭い往還道があり、百済亡命王族にまつわる伝承で有名な「宿坂」または「宿の坂」もその一つである。

こうした斜面を切り通し状に通ずる小道の両側には、防空壕と思しき横穴が現在も各所に残っている。

下耳切第3遺跡と老瀬坂上第3遺跡を区切る谷の斜面沿いにも防空壕を認めることができる。

下耳切第3遺跡の斜面にも、3~5基の防空壕が存在している。防空壕入り口部は既に崩落して中に入れないが、目測では奥行き20m前後はある。地元の話では護路部隊が利用していたといふ。

現在の風景は、第二次世界大戦前後における開拓によって形作られた。本格的な入植活動以前は、調査地周辺は樹木が鬱蒼と生える湿地帯で、小さな池や小川が点在していたといふ。開拓を図るとして土地改良や基盤整備等によって豊かな畑作地帯に変貌し今に至っている。

そして、この風景や環境は東九州自動車道建設により、まさに一変しようとしている。

第3節 小丸川流域の古墳時代概観

下耳切第3遺跡の位置する小丸川流域の台地縁辺部には、古墳群や横穴墓群、および集落遺跡が集中する。

本遺跡においては、高塚古墳と地下式横穴墓と当該期の集落跡が検出された。そこで、別項を割いて小丸川流域の古墳群と集落遺跡について概観する。

I 小丸川流域の古墳と古墳群

A. 小丸川流域の古墳と古墳群の概要

下耳切第3遺跡が所在する牛牧古墳群は、旧国单位でいう「日向国」（現在の宮崎県域と鹿児島県大隅地方の一部を含む）域内に広がる古墳や古墳群のひとつで、地理的には宮崎平野の北部に位置する。この宮崎平野北部には一つずつ瀬川と小丸川が流れおり、牛牧古墳群は小丸川流域にある。

牛牧古墳群の特質を探るにあたって、まずは小丸川流域の古墳と古墳群について一瞥する²⁰⁾。

小丸川は、尾鈴山系に源を発し、日向灘に東流する宮崎平野北部の大河川である。この小丸川下流域ではその両岸に河岸段丘や洪積台地が広がり、最下流域では沖積地が発達している。行政区域では児湯郡川南町・木城町・高鍋町となる。

古墳や古墳群は、小丸川の両岸に沿って東西に帯状に分布している。高塚古墳群は台地上に、横穴墓は高塚古墳群の位置する台地直下の斜面地に築かれている場合が多い。古墳時代集落遺跡も台地上に立地する。

このように、小丸川流域の古墳や古墳群分布は、大きく4つに区分される。

①小丸川北岸の段丘面と沖積地上

- ・川原本寄遺跡²¹⁾・山塚原古墳群²²⁾
- ・岸立横穴墓群²³⁾・木城村古墳²⁴⁾
- ・永山古墳²⁵⁾・川南古墳群²⁶⁾
- ・持田古墳群²⁷⁾・正祐寺横穴墓群²⁸⁾

②小丸川南岸の段丘面上（茶臼原・三財原段丘面）

- a：木城町南部の洪積台地、椎木地区
 - ・百合野古墳群²⁹⁾
 - ・比木横穴墓群³⁰⁾・木城村古墳²⁷⁾
 - ・陣の内古墳群³¹⁾・木城村古墳³⁰⁾
- b：牛牧台地
 - ・老瀬横穴墓群³²⁾・野首古墳群³³⁾



第2図 一ツ瀬川～小丸川流域の古墳群 (S = 1/50,000)

- ・山王古墳群³³・大戸ノ口古墳群³⁴
- ③宮田川下流域の段丘面上（南高鍋地区の北部）
<三財原・新田原・雲雀山面>
- ・毛作古墳群³⁵・光音寺横穴墓群³⁶
- ・水谷原古墳群³⁷・雲雀山古墳・横穴墓群³⁸
- ④海岸に東面する台地据部（南高鍋地区の東部）
<新田原面>
- ・上永谷・下永谷古墳群³⁹・永谷横穴墓群⁴⁰

B. 小区分地域の概要

- a) ①<小丸川北岸>地域の古墳と古墳群
小丸川北岸の段丘面と沖積地上、つまり小丸川・切原川左岸の高城段丘面上に展開する古墳と古墳群である

る。尾鈴山系を北西から南東へ縫うように流れる小丸川が野部に到達して東へ流路を変える付近から中下流域にかけての洪積台地縁辺に位置している。

立地によってさらにA～D地域に4区分される。

- A : 尾鈴山塊から小丸川に向て派生する丘陵平坦面（木城町川原地区）
・川原本寄遺跡・山塚原古墳群
- B : 洪積台地西端付近（同高城地区）
・岸立横穴墓群（木城村古墳）・永谷古墳
- C : 小丸川支流の切原川左岸に広がる国光原台地
・川南古墳群
- D : 小丸川と切原川の合流点付近の持田台地と小丸川最下流部の沖積地

・持田古墳群・正祐寺横穴墓群

【川原本寄遺跡】

川原本寄遺跡は、急斜面の僅かな平坦地にあり、6世紀前半を中心とする古墳（木棺直葬）または土坑墓が1基検出されている。

【山塚原古墳群】

山塚原古墳群は、小丸川とその支流黒水川に挟まれた丘陵平坦面に位置する。

この山塚原古墳群と岸立横穴墓群、対岸の百合野古墳群・比木横穴墓群は「木城村古墳」として県指定史跡として一括指定されている。

山塚原古墳群は、現在までに含めて45基（以上）の円墳が確認されている。

円墳の直径は10~14m前後で、新富町抵園原古墳群⁴¹⁾のように、墳裾を接するような密度の高さで群集している。基數自体も他の古墳群に比して異常なほど多い。藤本貴仁氏⁴²⁾によると、山塚原古墳群の築造時期はMT85~T K209併行期と想定されている。

【岸立横穴墓群】

小丸川中下流域左岸の台地南側崖面に位置する。山塚原古墳群と永山古墳との中间地点にある横穴墓群である。発掘調査を受けた2基分を含めて4基が確認された。その他にも未確認の横穴墓が、多数存在する可能性が高い。調査された2基の玄室形態はドーム形で、閉塞部に基壇と飾り縁が施されている。

築造時期は「隼上りⅡ」期、「隼上りⅢ」の時期までに造営されたと考えられている⁴³⁾。

【永山古墳】

中世山城で有名な「高城」跡が位置する、小丸川左岸の舌状台地上に位置する横穴式石室である。墳径10m前後的小円墳で、石室全長3.7m（玄室長2.8m）、最大幅1.5mを測る無袖に近い片袖の横穴式石室を主体部とする。土器類や鉄製武器や馬具、玉類など豊富な副葬品が出土している。調査者は造営時期を6世紀後半~末と考えられておられる⁴⁴⁾。

【川南古墳群】

川南古墳群は、西ノ別府地区・野田地区・八幡地区に分布しているが、本来的には別個の古墳群である。西ノ別府地区にも長期間にわたり継続した首長墓系譜の前方後円墳が展開している。

西ノ別府地区は、国光原台地の縁辺に位置し、小丸川を眼下に望む。同じ小丸川左岸の台地上に位置する持田古墳群とは3.5~4kmの距離である。

前方後円墳24基と円墳25基が現存しているが、具体的な調査例が少なく、詳細は不明である。

なかでも、古墳時代前期において柄鏡型類型（18・39・11号）の大型前方後円墳が築造されたことは注目に値しよう。

その後、古墳時代中期になると埴丘規模の縮小化が顕著になるが、後期に至るまで断続的に築造が続けられている（川南21号墳）。

古墳時代後期前後には、川南57号墳例のように首長墓系譜の古墳群内で新式群集墳化していく。また、国光塚の伝承に示されるように横穴式石室墳も築造された可能性が強い。

持田古墳群と対峙関係にありながら、長期にわたって継続した首長墓系譜を読み取ることができる。

【持田古墳群】

小丸川左岸に広がる持田台地上と台地東南側の沖積微高地に展開する古墳群である。現存する古墳は前方後円墳9基、帆立貝形古墳1基、円墳75基である。帆立貝形古墳である61号墳（亀塚）は沖積地に位置する。

川南古墳群同様、古墳時代前期から後期の長期間にわたる首長墓系譜を含む古墳群である。

特に古墳時代前期の1号墳（全長120m）・48号（85m）の大型墳は特筆すべき事象である。

ただ、古墳時代中期の一時期（61号墳）に首長墓系譜の中斷期があったとされている。

また、首長墓系譜については、前方後円墳の分布のあり方から複数の首長墓系譜を想定する意見も提出されている。

さらに、古墳群内のいくつかの円墳には、三角縁神獸鏡や画文帶神獸鏡などが副葬されていた。前方後円墳の首長層よりは1ランク下の中間層に対する鏡の下

賜・分与が顕著になる。

なお、古墳時代後期後半になると、小円墳に横穴式石室の採用（無号石室墳・84号墳）が認められる。

最近の調査事例では、6世紀代以降の築造が推定される円墳が確認されており⁴⁵、持田古墳群も新式群集墳化した可能性がある。

【正祐寺横穴墓群】

持田古墳群の展開する、持田台地東端部の南側斜面に6基の横穴墓が現存している。尾根を挟んだ東西の斜面に2支群17基が存在したようである。

このうち1基が発掘調査を受けた。玄室形態は寄棟造りで、7世紀代の横穴墓である。

調査者は持田古墳群造営終了後に營まれた横穴墓と考へておられる⁴⁶。なお、持田台地直下には東光寺横穴墓群（14基）が知られていたが、現在、その位置は確認されていない⁴⁷。

b) ②<小丸川南岸>地域の古墳と古墳群

小丸川南岸の段丘面上、つまり茶臼原・三財原段丘面上に展開する古墳群である。

地理的には大きくA～Cと3区分される。

A：上ノ原台地…百合野古墳群・比木横穴墓群

B：牛牧台地…牛牧古墳群・山王古墳群

・野首古墳群・老瀬横穴墓群

・大戸ノ口古墳群

C：牛牧台地と上ノ原台地に挟まれた台地上

…陣の内古墳群

【百合野古墳群】

山塚原古墳群の対岸に広がる木城町南部の洪積台地上に展開する。現存は円墳8基と前方後円墳1基である。円墳は直径10m前後の小円墳で、現状では散漫に分布している。前方後円墳については、確証に乏しく円墳としたほうが妥当かもしれない。

【比木横穴墓群】

百合野古墳群の展開する台地から約0.5kmの台地北側斜面に展する。河岸段丘面との境にあたる。現存では9基が現存するが、詳細は不明である。

【陣の内古墳群】

百合野古墳群と牛牧古墳群の中間点に位置する、木城町椎木地区の古墳群である。百合野古墳群を戴く茶臼原段丘面より高位の三財原段丘面上に展開する。

現状では、円墳8基と前方後円墳1基が確認されている。円墳は、小円墳群をなす。前方後円墳（木城29号墳）は墳丘の削平が著しいが、墳長は30mを測る。長津宗重氏は前方後円墳集成編年の8期（T K23・47）と想定されている⁴⁸。

【老瀬横穴墓】

野首古墳群の西側1km付近の牛牧台地北側斜面に位置する。河岸段丘面との境にあたる。現状では、12基確認されているが、詳細は不明である。

【牛牧古墳群】

牛牧台地の北東部縁辺に展開する古墳群である。現状では、円墳16基、前方後円墳1基からなる。

台地縁辺に沿って帯状に展開する支群と、やや内地よりでまとまる支群から構成される。

牛牧古墳群については、第2分冊第Ⅴ章第1節にて再度検討する。

【山王古墳群】

牛牧古墳群のある牛牧台地直下にある古墳群で、牛牧台地と小丸川との中位段丘面に位置する。現状では円墳11基と前方後円墳1基の古墳が同心円状にまとまる構成である。

【野首古墳群】

牛牧台地から小丸川へ突き出すように派生する丘陵緩斜面に野首古墳群は位置する。

横穴式石室を内部主体とする2基の円墳からなる小規模な古墳群（野首1号墳・野首2号墳）である。野首1号墳は墳径7m前後を測り、築造時期ないし造営時期は須恵器の型式から7世紀初頭～前半代（隼上りI～II式併行型）と考えられている。

【大戸ノ口古墳群】

大戸ノ口古墳群は、小丸川の沖積地を望む牛牧台地

南東部の舌状丘陵に位置する。現存は円墳 5 基である。この大戸ノ口古墳群に近接して 6 世紀初頭および 6 世紀後半にかけての堅穴住居跡 17 軒が検出された大戸ノ口第 2 遺跡が所在する。

【黒谷横穴墓群】

大戸ノ口古墳群の位置する丘陵直下にあたる部分に黒谷横穴墓群が分布していたという⁴⁸⁾。現在、所在や基數も未確認である。

【大平寺横穴墓群】

宮田川左岸の丘陵上にあり、黒谷横穴墓群推定地よりも内陸に入った大平寺地区に分布するとされた横穴墓群⁴⁹⁾である。光音寺横穴墓群の宮田川を挟んだ南東部に位置する。黒谷横穴墓群同様に現在、その位置や基數は確認されていない。

c) ③<宮田川下流域>地域の古墳と古墳群

牛牧台地を南北に大きく二分する宮田川下流域の洪積台地、特に宮田川右岸（高鍋町南高鍋地区）に展開する古墳群である。

宮田川は、一つ瀬川と小丸川に挟まれた洪積台地を日向灘に向けて東流し、牛牧台地を大きく南北に隔てている。宮田川下流域の南側洪積台地上に古墳群や横穴墓群が展開する。

【毛作古墳群】

小丸川河口を北東に望む台地北縁部の平坦面に位置する。4 基の円墳が現存する。直径 10m 前後を測る小円墳であるが、詳細は不明である。

毛作古墳群より東側の台地縁辺付近で、弥生時代中期後半及び古墳時代後期の堅穴住居跡群が調査された毛作第 4 遺跡が所在する。

【光音寺横穴墓群】

毛作古墳群の展開する台地から約 1 km 北東にある台地据部の東側及び南側の崖面に位置する。7 基が確認された。

玄室形態は寄棟造りの家形やドーム形で、概ね 6 世紀後半代を中心に 7 世紀中葉までの時期が想定され、

継続的な造墓活動が読み取れる。

また、横穴墓群のある台地の南西約 1 km に毛作古墳群があり古墳群との関連性が指摘されている⁵⁰⁾。

【水谷原古墳群】

小丸川河口の沖積地を北に望む、宮田川右岸の台地上に位置する。

水谷原古墳群は、現在前方後円墳 2 基、円墳 13 基で構成されている。このうち円墳 1 基（水谷原 14 号墳）が調査された⁵¹⁾。

水谷原 14 号墳は、現存長南北 8 m、東西 4 m、高さ 1.5 m を測り、墳丘中央部より須恵器（蓋坏・有蓋高坏）が集中して出土した。明確な主体部は確認されなかった。築造時期は 6 世紀中ごろから後半にかけてと想定されている。

前方後円墳は水谷原 6 号墳（墳長約 23m）、水谷原 7 号墳（墳長約 25m）がある。ともに墳長 25m 模式で葺石を持たない。後円部は前方部より現状で 1 ~ 3 m 前後高いが、前方部の削平が著しい。規模や平面形等は木城 29 号墳や山王 9 号墳と類似している。

この 2 基の前方後円墳は、古墳群中の古墳時代後期に属する小円墳の存在や、木城 29 号墳や山王 9 号墳と比較から前方後円墳集成でいう、8 ~ 10 期（MT 15 ~ T K209）の築造と考えられる。

その他の円墳群は、概ね直径 10m 前後を測り、15m 前後の円墳もみられる。

このように水谷原古墳群は、古墳時代後期、少なくとも 6 世紀中頃前後から展開する、新式群集墳の可能性が指摘されよう。

【雲雀山古墳・横穴墓】

水谷原古墳群より東側の 1.2 km 地点にある古墳と横穴墓である。宮田川河口付近を望む台地東端に位置する。古墳 1 基と横穴墓 1 基が現存しているが、詳細は不明である。

d) ④<海岸部>地域の古墳と古墳群

宮田川と日置川に挟まれた洪積台地の海岸側台地（新田原面）縁辺に位置する。

① ~ ③ の地域は、小丸川に面した地形に展開する古

墳や古墳群であるのに比べ、④の地域は海岸部に面した地形に立地するのが特徴である。

【上永谷古墳群・下永谷古墳群】

日向灘に東面する台地を開析する永谷川を挟んで、北側に上永谷古墳群（円墳6基）、南側に下永谷古墳群（円墳5基）が位置する。

これらは新富町との町境付近に展開する古墳群でもある。小字名は「牧」である。両古墳群とも、直径10m前後の小円墳群であるが、詳細は不明である。

【永谷横穴墓群】

上永谷・下永谷古墳群の展開する台地直下の斜面地に位置する。永谷川右岸と下永谷古墳群の載る台地崖面との接点で2基検出された。他に複数基存在する可能性がある。

永谷1号横穴墓は3体（若年～老年期）の埋葬が確認された。6世紀後半頃の年代が想定されるという。

C. 横穴式石室墳の動向

小丸川流域の横穴式石室については、藤木聰氏の調査報告⁵⁴が詳しいが、概略を記しておく。

宮崎県下の横穴式石室は、古墳自体の多さの割には僅少で22例を数えるに留まる。

このうち、小丸川流域の横穴式石室墳は、現時点では永山古墳・野首古墳群の2基、持田古墳群中の無号石室墳と84号墳があり、6世紀後半～7世紀前半代の築造である⁵⁵。これらの横穴式石室の立地は、小丸川北岸に面する台地縁辺に集中する⁵⁶。

また、小丸川流域の横穴式石室は、直径10～12m前後的小円墳に伴い、永山古墳や野首古墳群といった小規模な後・終末期群集墳や持田古墳群といった首長墓系譜古墳群の小円墳に採用されている。

石室の規模は、持田84号墳や永山古墳以外は、単純に比較できないが、玄室平面形は長方形の羽子板状で奥壁幅は狭いのが特徴的である。奥壁幅に限れば、野首1号墳が最も長い。

石室石材は、河原石をそのまま利用した石積みで、精緻と言えないが、横目地と立て目地が通る重箱積み

や煉瓦積みを基調としている。また、比較的大きさの揃った丸みを持った立柱状の転石が使用され、大きさも比較的揃えられている。おそらく石材は、小丸川より直接採取された転石と考えられる。

特に持田84号墳と野首1号墳の玄室腰石は、縱位に据えられること、力石の架構がみられるなど石積み技法や石材や大きさの選択に共通性がある。このことから石室築造者集団の存在が類推される。

II 小丸川流域の古墳時代集落遺跡概観

下耳切第3遺跡が位置する小丸川流域では、数少ないながら古墳時代集落が調査されてきた。

ここで、各遺跡の概略を列挙することにしたい。

なお、遺跡の位置関係については、第Ⅱ章第1図を参照されたい。

A. 小丸川流域の古墳時代集落

a) 小丸川左岸域

【上ノ別府遺跡】

上ノ別府遺跡⁵⁶は、広域盟主的首長墓古墳群である持田古墳群内に位置する。遺跡は、古墳群内の首長墓系譜に連なる前方後円墳群の展開する台地とは立地が異なり、谷を挟んだ東側台地上に所在する。調査の結果、堅穴住居跡9軒と2軒分の掘立柱建物跡（平地式と高床式）が確認された。

多くの堅穴住居跡は、平面方形で長軸4～5m、短軸3～4mを測り、主柱穴は4本柱である。一辺8.2×6.6mで6本柱の大型住居も1軒検出された。

火処は、土器埋設炉、炉（地床炉・焼土面）を採用するが、竈の可能性の高い住居跡も1軒存在する。

集落自体はより広範囲に及ぶと想定されている。集落の時期は6世紀後半～7世紀前半と考えられる。

【尾花A遺跡】

小丸川支流切原川左岸に広がる国光原台地の端部にあたる。開析谷を挟んで西側約1.5kmの地点に川南古墳群が位置する。

現在、発掘調査中であるため、詳細は不明であるが、古墳時代前期の堅穴住居跡90軒が検出されているという⁵⁷。

なお、尾花A遺跡の北側には西ノ別府遺跡⁵⁸が隣接

し、**彷彿重圓文鏡**1面が出土した古墳時代前期後半の堅穴住居跡が1軒調査されている。

b) 小丸川右岸域

【野首第1遺跡】

牛牧台地から小丸川に向かって派生する丘陵上と東側斜面に、古墳時代中期後半～後期初頭と後期後半から終末にかけての堅穴住居跡11軒が調査された。

このうち2軒（6世紀後半～7世紀中頃）は野首古墳群と関連性が高いとされている⁶²⁾。

【野首第2遺跡】

野首第1遺跡の南側に位置し、山王古墳群を眼前にひかえる丘陵南東斜面に立地する。古墳時代中期初頭～後期初頭の堅穴住居跡が38軒検出された。滑石製白玉を多量に有する住居もみられる⁶³⁾。

【南中原遺跡】

牛牧台地の北東端にあたり、小丸川右岸の沖積地との間に細長く延びる河岸段丘上に位置する。野首第2遺跡から南東へ約1kmの地点にある。古墳時代中期前半の土坑が1基検出された⁶⁴⁾。

【大戸ノ口第2遺跡】

小丸川右岸に広がる牛牧台地の最南東の舌状丘陵に位置する⁶⁵⁾。付近に大戸ノ口古墳群が隣接する。

東側の丘陵部で古墳に隣接する堅穴状造構1基（6世紀初頭）、谷を挟んだ西側丘陵基部で6世紀後半を中心とする堅穴住居跡16軒が検出された。

堅穴住居跡は、方形プランで一辺4～6mで4本柱、中央に炉ないし土器埋設炉を有している。竈ないし竈に類する遺構を持つ住居跡は5軒である。6本柱の堅穴住居跡も1軒認められる。

また、堅穴住居跡の時期に近いと考えられる掘立柱建物跡も数棟存在している。

【毛作第4遺跡】

北東に小丸川河口の沖積地を望む台地北縁部の平坦面に位置する⁶⁶⁾。毛作古墳群の北東約0.5kmの地点にある。古墳時代後期の堅穴住居跡が1軒調査され

た。平面プランが方形で東辺に竈を有している。

<註文献>

- (1)『東九州自動車道（都農～西都間）関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書V』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書100集 宮崎県埋蔵文化財センター 2005
- (2) (1)と同じ
- (3)『高鍋町の民話』
- (4)『高鍋町遺跡群詳細調査報告書』高鍋町文化財調査報告書第1集 高鍋町教育委員会 1989
- (5)『日向国史』喜田貞吉著 1930
- (6)2006年3月、宮崎県埋蔵文化財センターより刊行予定
- (7)『北牛牧第5遺跡・銀座A3A4遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書80集 宮崎県埋蔵文化財センター 2003
- (8)『持田中尾遺跡発掘調査概要報告書』高鍋町教育委員会 1982
- (9)『妻道南遺跡発掘調査報告書』高鍋町文化財調査報告書第4集 高鍋町教育委員会 1986
- (10)『中尾・牛牧地区遺跡』高鍋町文化財調査報告書第7集 高鍋町教育委員会 1995
- (11)茂山謙『兒湯郡高鍋町の繩文土器』『宮崎考古』第2号 宮崎考古学会 1977
- (12)『大戸ノ口第2遺跡』高鍋町文化財調査報告書第5集 高鍋町教育委員会 1991
- (13)『崩戸遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書103集 宮崎県埋蔵文化財センター 2005
- (14)『東九州自動車道（都農～西都間）関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書III』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書76集 宮崎県埋蔵文化財センター 2003
- (15)『野首第1遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書86集 宮崎県埋蔵文化財センター 2004
- (16)『老坂坂上第2遺跡・高鍋城跡』高鍋町文化財調査報告書第6集 高鍋町教育委員会 1991
- (17) (6)と同じ
- (18) (4)と同じ
- (19)護路部隊とは、太平洋戦争終盤期、日向灘沿岸から上陸すると予想される米軍を水際で迎撃殲滅する本土決戦のために設置された兵団である。
- (20)本来的には小丸川とその支流切原川を指すが、小丸川の南側にある小河川、宮田川も含めた。
- (21)『川原木寄遺跡』木城町文化財調査報告書第3集 木城町教育委員会 1993
- (22)『山塚原古墳群(2)』木城町文化財調査報告書第2集 木城町教育委員会 1990

- 23 『木城村古墳27・60号 横穴墓』宮崎県埋蔵文化財センター 発掘調査報告書31集 宮崎県埋蔵文化財センター 2000
- 24 『永山古墳』木城町文化財報告書第2集 木城町教育委員会 1990
- 25 古屋美樹「川南古墳群」「第29回九州古墳時代研究会古墳見学会資料」第29回九州古墳時代研究会実行委員会 2003
- 26 甲斐貴允「持田古墳群」「九州古墳時代研究会古墳見学会資料」第29回九州古墳時代研究会実行委員会 2003
- 27 (4)と同じ
- 28 『町内遺跡詳細分布調査報告書』木城町文化財報告書第5集 木城町教育委員会 1998
- 29 (28)と同じ
- 30 (28)と同じ
- 31 (4)と同じ
- 32 (25)と同じ
- 33 今堀屋毅「野首古墳群・山王古墳群・牛牧古墳群ほか」「第29回九州古墳時代研究会古墳見学会資料」第29回九州古墳時代研究会実行委員会 2003
- 34 (33)と同じ
- 35 「毛作第4遺跡発掘調査」「町内遺跡発掘調査報告書」高鍋町埋蔵文化財調査報告書第9集 高鍋町教育委員会 2003
- 36 「高鍋町光音寺横穴調査報告書」「宮崎県文化財調査報告書」第17集 宮崎県教育委員会 1973
- 37 「高鍋町水谷原古墳調査報告」「宮崎県文化財調査報告書」第18集 宮崎県教育委員会 1976
- 38 (4)と同じ
- 39 「永谷横穴墓」高鍋町教育委員会 1986
- 40 (29)と同じ
- 41 「祇園原地区遺跡」県営農村基盤整備パイロット事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 宮崎県教育委員会 1986
- 42 藤本貴仁「日向地方の横穴墓」「九州の横穴墓と地下式横穴墓」九州前方後円墳研究会 2001
- 43 (24)と同じ
- 44 (26)と同じ
- 45 「持田古墳群古墳範囲確認調査1」「町内遺跡発掘調査報告書」高鍋町埋蔵文化財調査報告書第9集 高鍋町教育委員会 2003 ほか
- 46 永友良典「正祐寺横穴群」「宮崎県史」資料編 考古2 宮崎県 1993
- 47 『九州の横穴墓と地下式横穴墓』九州前方後円墳研究会 2001
- 48 長津宗重「宮崎県」「前方後円墳集成 九州編」吉川弘文館 1992
- 49 (47)と同じ
- 50 (47)と同じ
- 51 戸高真知子「光音寺横穴群」「宮崎県史」資料編 考古2 宮崎県 1993
- 52 (37)と同じ
- 53 日高正晴「永谷横穴群」「宮崎県史」資料編 考古2 宮崎県 1993
- 54 なお、川南古墳群では石室が存在したとの伝承が伝えられているが詳細は不明である(国光塚など)。
- 55 野首古墳群は、小丸川の南岸に位置するが、小丸川河畔に突き出た丘陵上にあり、川面から離れた台地上の古墳群とは立地を異にしている。
- 56 「上ノ別府遺跡」「お染ヶ岡地区特殊農地保全整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」宮崎県教育委員会 1979
- 57 宮崎県埋蔵文化財センター 大野義人氏よりご教示
- 58 (1)と同じ
- 59 「東九州自動車道(都農~西都間)関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書IV」「宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書91集 宮崎県埋蔵文化財センター 2004
- 60 (1)と同じ
- 61 永友良典「南中原遺跡」「宮崎県史」資料編 考古2 宮崎県 1993
- 62 (2)と同じ
- 63 (39)と同じ
- <参考文献>
- 『日向地誌』平部謙南著 1929
 『高鍋町史』高鍋町 1989



写真1 下耳切遺跡第3遺跡遺構検出状況

第Ⅲ章 調査の方法と経過

第1節 確認調査の概要

【概要】

下耳切第3遺跡を大きくA～H区に8分割し、路線予定地内居宅の軒居や茶やトウモロコシ等の収穫終了に合わせて、確認調査を実施した（第5・6図）。

第1次確認調査として、C・G区の確認調査を平成12年6月19日～6月28日に実施した。

第2次確認調査は、平成12年8月7日～8月22日にA区とE区について実施した。

B区は、本調査期間内（平成13年8月～9月）、D・F区は本調査期間中（平成14年2月～3月）に随時実施することで対応した。

【確認調査の方法】

試掘調査の方法は、2m×2mの先行トレンチを人力で掘削して遺物包含層や遺構の検出と把握に努めたあと、重機で面的に広げて遺物や遺構の広がりや残存状況の把握を行った。

【各区の概要】

A区北半部ではK-Ah上面で縄文時代の土坑と縄文時代中期の土器片と石錐、古墳時代の堅穴住居跡の一部と古墳時代後期の土師器、須恵器片等が検出されたが、遺構の面的な広がりは確認できなかった。

しかし、A区南半部には、発掘調査対象である牛牧1号墳が位置するので、A区全域のK-Ah上面を本調査対象とした。

B区では、古墳時代の堅穴住居跡と土師器、須恵器片等が検出され、B区全体に遺構が展開することが確認できたので本調査対応となった。

C区では黒ボク層上面にて、硬化面を有する道路状遺構が検出され、本調査対応とした。

D区は、遺構・遺物は確認できず、確認調査で調査終了とした。

また、E・F区ではK-Ah上面にて東西に延伸する溝状遺構を3条検出した。立地と遺構のあり方から、道路（小径）と捉えた方が妥当であると考えられ、本調査対象区とした。

G・H区はいわゆる「天地返し」による土壤攪乱が著しく、遺構・遺物も確認できなかつたことから調査終了とした。

以上の結果から本遺跡は縄文時代中期及び古墳時代後期を主体とする遺跡と判明し、調査対象区はA～C区、E・F区全域の黒ボク層及びK-Ah上面での本調査と決定した。

A区南半部にある牛牧1号墳は、平成12年8月28日～29日にかけて測量調査を実施した。

なお、本調査開始後、A・B区についてはK-Ah上面検出の遺構精査終了後、それより下層の遺構や遺物の有無について確認調査を随時実施した。

その結果、後期旧石器時代と縄文時代早期の文化層の存在が明らかになり、A・B区の北半部分約6,100m²が新たに調査対象となった。

【A調査区下面の谷部】

A調査区の北側には開析谷が接しているが、この調査区側斜面とその下部を流れる小川周辺で縄文中期を主体とする縄文土器や石器類が多く表様できた。

さらに、A区における縄文中期集落の存在から水場遺構や水さらし遺構などの遺構の存在が想定されたので確認調査を実施することにした。

ただ、斜面部は急傾斜であったので、調査にあたっては安全を優先した範囲で確認トレンチを設定した。しかし、縄文時代中期～後期を中心とする遺物が表土より出土したのみで遺構は確認できなかつた。

そのため、A区北側の斜面について、本調査を実施せず、遺物をできる限り表面採集し、図化掲載することで対応することにした。

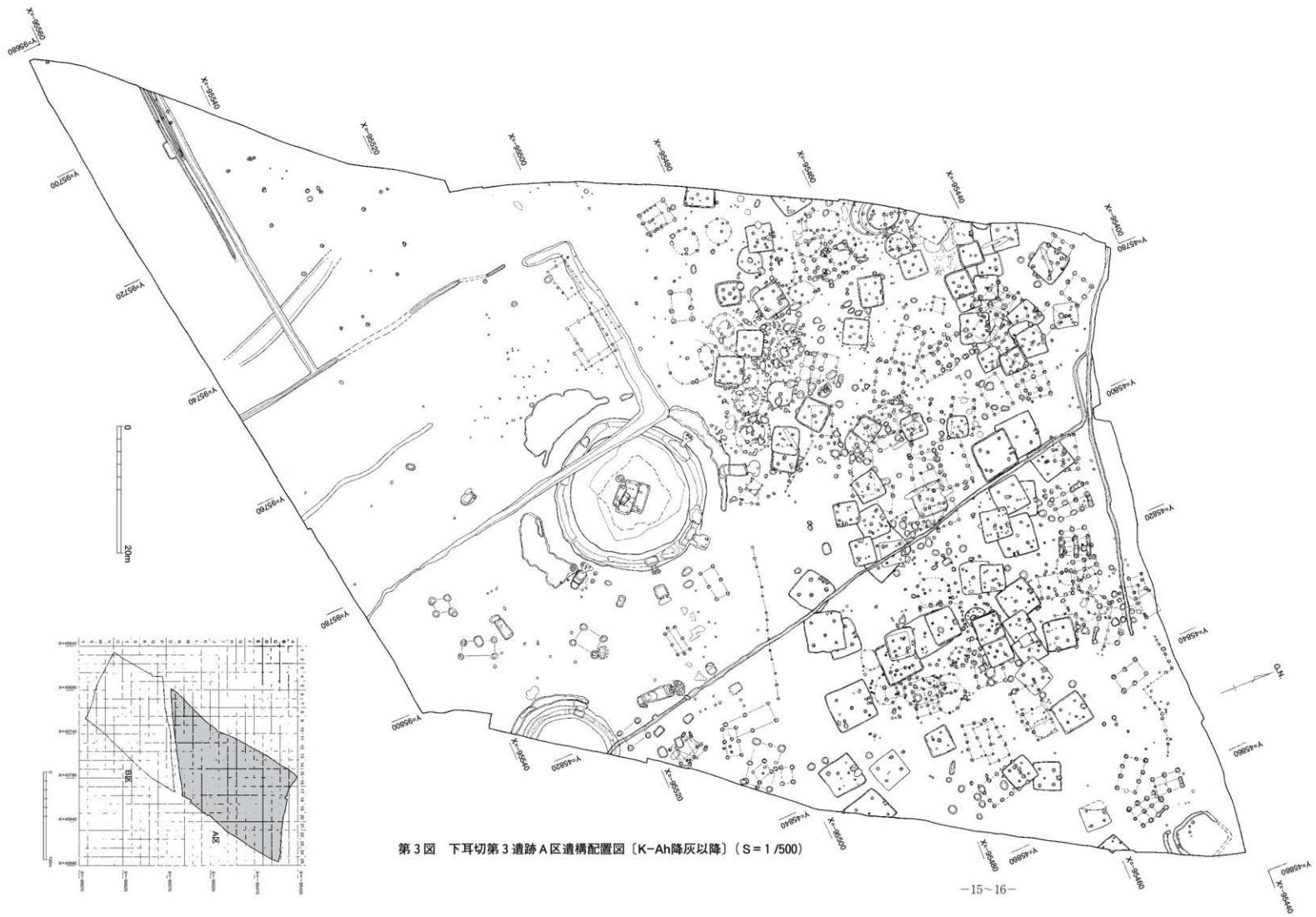
第2節 発掘調査の方法

【調査面積】

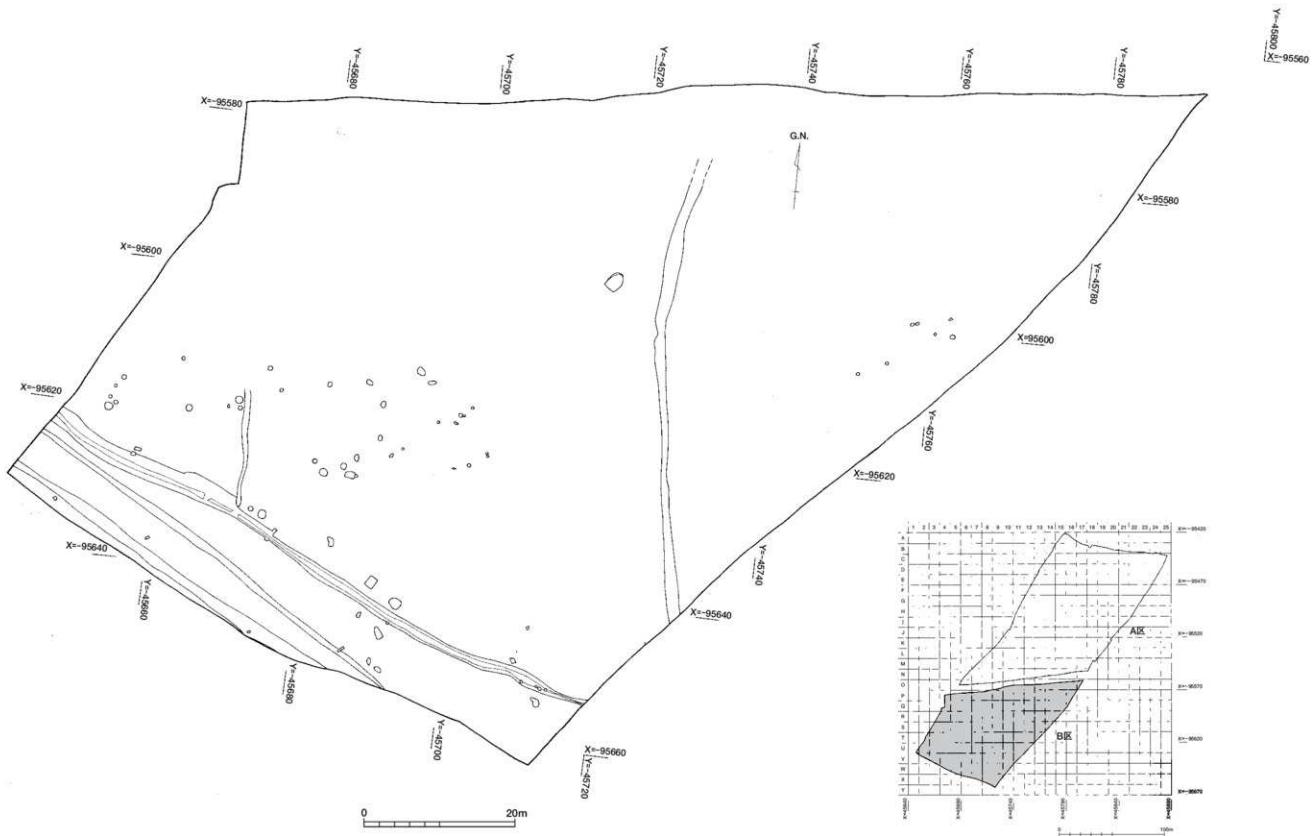
下耳切第3遺跡は、縄文時代中期及び古墳時代後期を主体とする遺跡である。調査対象区はA～C区、E・F区全域の黒ボク層及びK-Ah上面の本調査実施と決定し調査対象面積22,500m²となつた。

【調査の方法と経過】

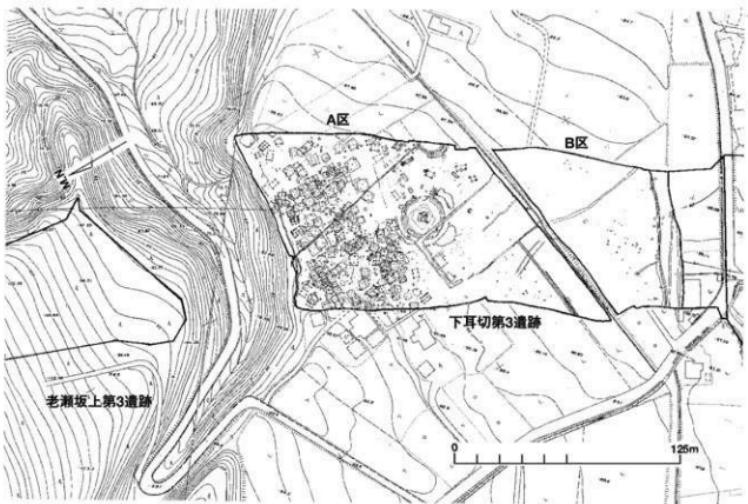
調査は、平成12年9月4日より、A区から着手した。まず、重機で表土・攪乱部分の除去を実施し、その後、



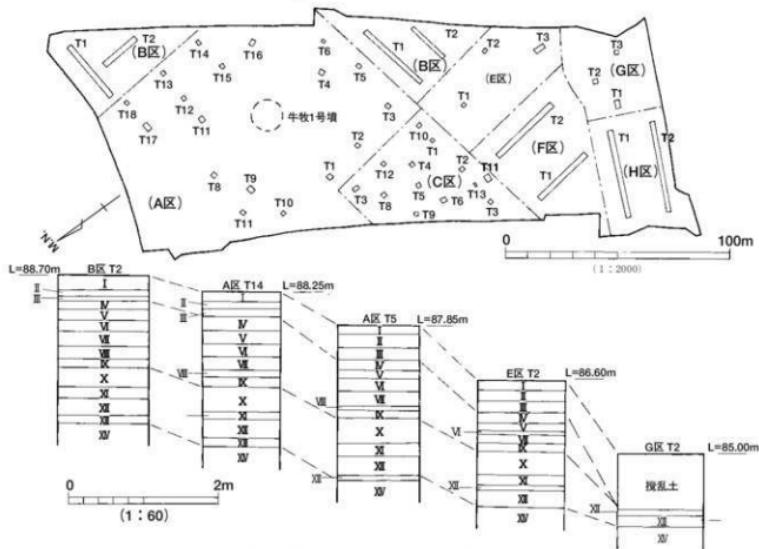
第3図 下耳切第3遺跡A区遺構配置図〔K-Ah降灰以降〕(S=1/500)



第4図 下耳切第3遺跡B区遺構配置図〔K-Ah降灰以降〕(S = 1/500)



第5図 下耳切第3遺跡と周辺地形 ($S = 1/2,500$)



第6図 確認調査トレンチと柱状図 ($S = 1/60 \cdot 1/2000$)

人力による遺構検出と精査を進めた。

A区では、予想に反して堅穴住居や土坑群を多数検出し、縄文時代と古墳時代の大集落の様相を呈した。また牛牧1号墳は地下式横穴墓が寄生する円墳であることが判明し、周辺にも地下式横穴墓や土坑墓といった墳墓群が展開することが確認された。

さらに、縄石刃文化層や縄文早期文化層がA区北半部とB区を中心に遺存したことでも新たに判明して、当初の調査工程を変更する必要に迫られた。

よって、A区古墳時代後期の集落の調査を平成12年9月4日～13年3月30日にかけて実施し（1次調査）、A区の古墳時代墳墓と縄文時代中期の集落、B区の調査を平成13年4月3日～14年3月29日（2次調査）、A・B区の後期旧石器～縄文時代早期の調査及びC・E・F区の道路状造構、溝状造構の調査を平成14年5月23日～15年8月29日（3次調査）に実施した。結果的に足掛け3ヶ年にわたる長期間の発掘調査となった。

【教育普及活動等】

発掘調査期間中には、県民、地域住民に随時調査成果を公表して埋蔵文化財保護への理解に供すべく、平成13年7月と平成14年2月に都合2回の現地説明会を開催した。

平成13年7月14日実施の第1回現地説明会は古墳時代後期の集落と墳墓の調査成果に焦点を絞った。

当日は猛暑の日の現地説明会であったが、総数262名に及ぶ多数の見学者が来跡され、埋蔵文化財に対する関心の高さを見せた。

第1回現地説明会は、東九州自動車道（都農～西都間）遺跡発掘調査における最初の現地説明会でもある。

第2回目は、平成14年2月9日に実施され、古墳時代中期の集落と墳墓の調査成果に焦点を絞った現地説明会であった。寒風吹きすさぶ日にも関わらず、総数254名に及ぶ多数の見学者が来跡された。

また現地説明会以外には、調査成果の速報性を生かすため講座活動を実施した。

平成14年6月に高鍋町教育委員会主催の高鍋町歴史講座、7月の宮崎県埋蔵文化財センター主催の埋蔵文化財講座において講演を行なった。

【調査雑録】

本遺跡は、南向きの日当たりの良い場所に位置し、周辺には風や直射日光を遮る遮蔽物が皆無だったことから夏は炎天下の中、冬は寒風吹きすさび、砂塵の舞う中の調査作業となつた。

この風は季節や時間帯によって風力や風向が異なっている。春から初夏にかけては北西から南東方向にやや弱い風が吹く。時たま、枇杷の香りを運んだりして、暑さを和らがせるだけでなく調査員や作業員一同の心を和ませる風でもあった。

夏になると西風、南西からの砂塵まじり熱風が吹き、小さな竜巻がよく発生した。秋は金木犀の香りと穏やかな風をもたらすが、冬になると南東からの砂塵を含む冷たい風が吹きすさぶ。

この風は、一年を通して午後2時頃から定期的に吹き始め、終業時刻前後（午後5時）になると強さを増すという法則性があった。

調査地周辺に点在する人家の多くは、宅地の周間に杉やマキといった、樹高の高い木々を植えており、台地に生きる人々の知恵の一端が表れている。

調査中は、調査主任の不憊により、熱中症を訴えたり、遺構に足をとらわれ転倒する発掘作業員が続出する事態も起きたが、なんとか調査終了に漕ぎ切られたのは、精力的に発掘作業に従事された絶勢30名近い発掘作業員の労苦の賜物である。

ここに記して心から感謝を申し上げたい。

【日誌抄】

- | | |
|------------|----------------|
| 2000, 9, 4 | 表土剥ぎ開始 |
| 2000, 9, 7 | 現場事務所設置 |
| 9, 11 | 発掘作業員投入 |
| 9, 18 | 多数の堅穴住居跡検出 |
| | 調査員、作業員共々歓喜に沸く |
| 10, 2 | 遺構検出面の平板実測開始 |
| 10, 16 | 牛牧第15号墳調査開始 |
| 10, 23 | 古墳時代堅穴住居跡精査開始 |
| 10, 26 | 高鍋町教委 山本格氏来跡 |
| 10, 27 | 牛牧1号墳調査開始 |
| | 坂井秀弥文化庁調査官来跡 |
| 11, 25 | カマドと土器埋設炉の初検出 |
| 12, 15 | 第2号地下式横穴墓検出 |

- 高鍋町初の地下式横穴墓検出に驚愕が走る
- 12, 18 牛牧1号墳周溝内にも地下式横穴墓発見、精査開始
宮崎大学 柳沢一男教授来跡
- 12, 25 UMK（テレビ宮崎）、報道取材
- 2001, 1, 10 UMK（テレビ宮崎）、報道取材
翌日夕刻の報道番組で放送
- 2001, 1, 15 第3号地下式横穴墓の調査開始
豊坑の長い地下式横穴墓と認識
- 1, 17 福岡大学 小田富士雄教授来跡
- 2, 9 宇土市教委 藤本貴仁氏来跡
- 2, 14 宮崎日日新聞社取材
- 2, 19 牛牧1号墳主体部の調査開始
- 2, 22 西都原古墳研究所所長 日高正晴氏来跡
- 2, 27 岩村哲雄県文化財保護指導員来跡
- 3, 2 地下式横穴墓の調査終了
- 3, 7 高岡町教委 烏田正浩氏来跡
- 3, 14 東九州指導委員会現地指導
- 3, 21 元興寺文化財研究所雨森・塚本氏来跡
- 3, 22 奈良大学 水野正好学長来跡
牛牧1号墳主体部検出
- 3, 29 大分県教委 洪谷忠章氏
宮崎産業経営大学 柴田博子講師
鹿児島ラサール高校 永山修一氏来跡
- 3, 30 福岡大学 武末純一教授来跡
第1次調査終了
- 4, 3 第2次調査開始
- 4, 11 鹿児島国際大学 中園聰教授、鹿児島女子短期大学 大西智和助教授来跡
- 4, 16 繩文時代中期遺構の精査開始
- 5, 17 繩文時代中期土坑群の検出
- 5, 28 横原考古学研究所 吉村・木下両氏来跡
- 6, 15 A区北端の調査区拡張開始
- 7, 2 共同通信社取材
- 7, 14 第1回現地説明会開催
- 7, 16 宮崎日日新聞社取材
- 7, 19 S C42（炭化ドングリ）精査
- 7, 25 円形に並ぶピット列の認定作業開始
- 8, 10 鹿児島国際大学 上村俊雄教授
鹿児島大学 橋本達也助教授
- 北川町教育委員会 田中茂教育長来跡
- 9, 28 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会（九州・中・四国ブロック）視察団来跡
- 10, 10 熊本大学 甲元眞之教授来跡
- 10, 11 白杵歴文化庁調査官来跡
- 10, 30 B区表土剥ぎ開始
古墳時代豊坑住居跡60軒突破
- 11, 28 埋蔵文化財写真研修
〔講師 牛嶋茂文部科学技官〕
- 12, 4 元興寺文化財研究所 角南伸一郎氏来跡
- 12, 11 C区調査開始（表土剥ぎ）
D・E区確認調査開始
- 2002, 1, 9 牛牧1号墳 盛土掘り下げ開始
縄文時代中期土坑100基突破
- 2, 9 第2回現地説明会
- 3, 6 牛牧1号墳旧表土（縄文後・晩期包含層）精査開始
- 3, 22 東九州指導委員会現地指導
- 3, 29 第2次調査終了、現場事務所撤収
- 2002, 5, 23 第3次調査開始（旧石器・縄文早期）
現場事務所設置
- 5, 29 集石遺構を多数検出
- 6, 4 縄文時代早期遺物取り上げ開始
- 7, 10 集石遺構30基突破
- 7, 15 旧石器包含層掘削開始
- 7, 17 E・F区の調査開始（表紙剥ぎ）
- 7, 30 縄文時代早期の調査終了
- 8, 16 第3次調査終了
- 8, 29 現場事務所撤収、排土埋戻して調査終了

第3節 整理作業及び報告書の作成

遺物の整理作業にあたっては、洗浄と注記を現場事務所と東畦原整理作業事務所にて平成13年4月～14年3月に実施した。遺物の接合・実測・拓本等及び報告書作成等は、平成14年4月～17年11月の期間において埋蔵文化財センター本館で実施した。

第Ⅳ章 調査の記録（I）

第1節 調査の概要

【下耳切第3遺跡における遺構と遺物】

下耳切第3遺跡における調査成果の概略は、第1表

基本層順	火山灰層	時代区分	主な遺構	主な遺物
第Ⅰ層	—	現代	掘立柱建物4棟、溝状遺構11条	陶磁器、瓦
第Ⅱ層	—	古墳時代終末期 ～古代初	古墳2基、地下式焼穴窯6基、土礫窯4基、鋸突土塁1基、馬糞堆土塁2基、土坑8基、溝状遺構1条、不明遺構1基、堅穴住居25軒、掘立柱建物82棟、樁列5条	馬蹄器、土師器、鐵器、裝飾品 有明打製石斧、磨石、磨石、石錘
第Ⅲa層	—	縄文時代後・晩期	土坑2基、陥し穴状遺構3基	圓錐（三万田式）土器、凹領土器、X類（孔列文）土器、X I類土器 打製石斧、有明打製石斧、スクレイバー、石核、剥片、磨石、藏石、石皿、台石、石錘
第Ⅲb層	—	縄文時代中期前葉～中葉	堅穴住居9軒、平地式建物32軒、掘立柱建物4棟、土坑143基、集石遺構1系、配石遺構1基	V類（船元式系）土器、VI類（船元式系・春日式）土器、VII類（春日式・貝殻文式系）土器 打製石器、打製石斧、スクレイバー、石錘、石核、剥片、二次加工剥片、磨石、藏石、石皿、台石、石錘、石製垂飾
第Ⅳ層	K-Ah			—
第Ⅴ層	MB 0	縄文時代早期後半	数種2基	I類（桑ノ丸式）土器、II類（押型文）土器、III類（無文）土器、IV類（圓文・燃余文）土器
第Ⅵa層	ML 1		集石遺構31基	尖頭器、打製石器、スクレイバー、石核、剥片、磨石、藏石、石皿、台石、石製垂飾
第Ⅵb層	ML 1	後期旧石器時代 Ⅱ期		細石刃、細石刀核、石核、剥片、二次加工剥片、碎片
第Ⅶa層	Kr-kb	後期旧石器時代 Ⅰ期		ナイフ形石器、角像石器、剥片尖頭器、石核、剥片
第Ⅷ層	ML 2	第Ⅸ層以下では遺構・遺物は未確認		

第1表 下耳切第3遺跡における遺構・遺物と出土層位

第2節 基本層序

1 基本層序（第8図）

【概況】

本遺跡における基本層序は、K-Ah火山灰以下霧島アワオコシまでの層が比較的良好に堆積していた。確認調査及び本調査時において土層は、表土から最下層の明褐色粘質土まで、大きく14に区分される。第Ⅷ層（明褐色粘質土）より下層の土層堆積は未掘のため把握できていない。

本遺跡における土層堆積状況は、新富町および高鍋町内の東九州自動車道関連遺跡で共通に見られる土層堆積状況と同様で、段丘群中の「三財原面」に相当する。本遺跡と隣接する北牛牧第5遺跡、老瀬坂上第3遺跡においても、類似した土層堆積状況を示しており、牛牧台地は三財原面に相当する。

なお、基本層序の呼称は、東九州自動車道関連遺跡の統一呼称（土層）と共に用いては、一部

に一覧化した。

【本章以下の調査区呼称について】

確認調査や本調査の段階では調査区をA～H区と区分していた。以下、本文および図表では、遺構や遺物説明の便宜上、A・B区と大きく調査区を2分割に再区分した上で叙述することにする（第7図）。

これを用いた(1)。

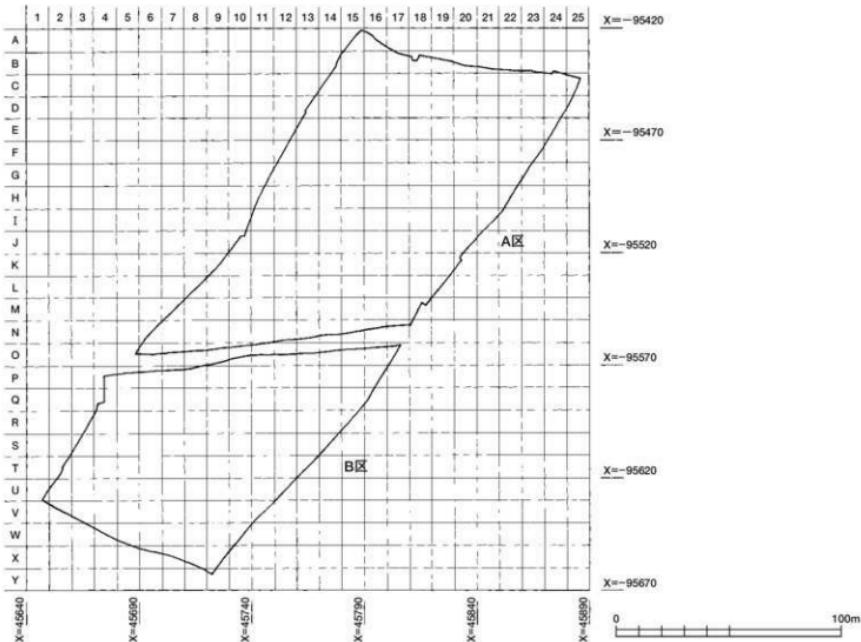
本遺跡で確認された、鍵層としては、第Ⅳ層に対応するK-Ah火山灰（K-Ah）、第Ⅶ層中に含まれる小林降下粗石（kr-kb）、第X層で始良T n火山灰（A T）、第XII層で霧島アワオコシ（Kr-Aw）を確認した。

【基本土層の概略】

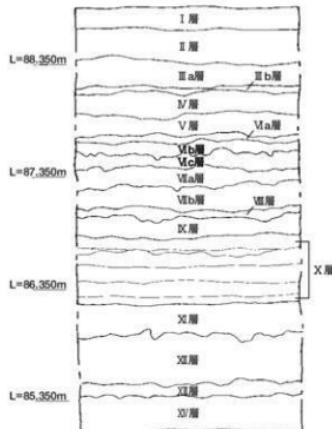
第Ⅰ層：表土（耕作土）で、層厚は平均約0.1～0.3m。後期旧石器から現代までの遺物を包含する。

第Ⅱ層：黒色土層（7.7Y R 1.7/1）。いわゆる「クロボク」に相当する。しまりが強いが粘性はない。触るとサラサラと崩れる。古墳時代以降の遺物包含層である。平均層厚0.15～0.2m前後で、調査区全体に比較的よく遺存している。上位にわずかに高原スコリアを含んでいる。ただ、遺物を含む層としてはA調査区の北部分に限定される。

第Ⅲ層：黒色土層。この層も「クロボク」層で、縄文時代中期～後・晩期の遺物包含層である。土



第7図 下耳切第3遺跡調査区割図 (S=1/1,000)



第I層：表土(耕作土)で、層厚は平均約0.1~0.3m
 第II層：黒色土層(7.YR1.7)/(クロボク層)で、古墳時代終末期~古代の遺物包含層
 第III層：黒色土層(クロボク層)である
 IIIa層：第III層の上層にあたる黒色土層(N1.5)/(縄文時代後晩期遺物包含層)
 IIIb層：第III層の下層にあたる黒色土層(10YR3/1)(縄文時代中期遺物包含層)
 第IV層：K-Ah層
 第V層：黒色粘質土(7.5YR2/1)
 第VI層：極暗褐色土(7.5YR2/3)(ML1相当層である)
 VIa層：第VI層の上層(縄文時代早期遺物包含層)
 VIb層：第VI層の中層(後期旧石器時代遺物包含層)
 VIc層：第VI層より黄みの強い粘質土である
 第VII層：褐色粘質土(10YR4/6)(Kr-Kb相当層)
 第VIII層：黒褐色粘質土(10YR3/1)(ML2相当層か?)
 第IX層：黄褐色粘質土(10YR5/6)(ML2相当層である)
 第X層：明黃褐色砂質土(2.5Y6/6)(ATの2次堆積層である)
 第XI層：黒褐色土(7.5YR2/3)(MB2-3相当層である)
 第XII層：褐色粘質土(10YR4/6)(ML3相当層である)
 第XIII層：赤褐色粘質土(2.5Y6/6)(Kr-Aw相当層である)
 第XIV層：明褐色粘質土(7.5Y5/8)(ML4相当層である)

第8図 下耳切第3遺跡における基本層序

質や遺物包含状況より2層に細分される。

Ⅲ a層：第Ⅲ層の上層にある黒色土層（N1.5）。粘性がやや強く、しまりも良い。粒子が細かく保水性に富む。縄文時代後・晩期の遺物包含層である。第Ⅲ a層の遺存状況は悪く、大半が失われている。

Ⅲ b層：第Ⅲ層の下層にある黒色土層（10Y R 3/1）。上層に比べ黄みが強くオリーブ色に近い土色を示す。また、硬質で硬くしまっている。縄文時代中期の遺物包含層である。平均層厚は0.15m前後である。

第IV層：K-Ah層である。Ⅲ b層の層界は土壤化が進む。

第V層：黒色粘質土（7.5Y R 2/1）。しまり良く硬質で、ブロック状に割れやすい。黄白色や赤褐色の微細粒子を多く含む。MB 0相当層と考えられる。C区ではやや黄味が強くなる（2.5 Y R 2/1）。

第VI層：極暗褐色土（7.5Y R 2/3）。しまり強く硬質である。粘性も強い。ML 1相当層と考えられる。このうち、土質や遺物包含のあり方から3層に細分される。

VI a層：第VI層の上層。VI b層よりやや黒味が強く、土壤化が進む層である。この上面で縄文時代早期の集石遺構が、上面及び層中から遺物が検出される。

VI b層：第VI層の中層。後期旧石器（細石刃）の包含層。

VI c層：第VI b層より黄みの強い粘質土である。とくに、A区南半部より南側の調査区では1cm以下の砂礫を含み、球形状のシミが多く認められる（灰黃褐色粘質土：10Y R 4/2）。

第VII層：褐色粘質土（10Y R 4/6）。硬質でブロック状に割れやすい、小林降下軽石（Kr-Kb）を含む層である。上層に小林軽石（第VII a層）、下部（第VII b層）に1~5cm大的砂礫が集中する。第VII a層中でナイフ形石器などの後期旧石器が出土する。

第VIII層：黒褐色粘質土（10Y R 3/1）。粘性強く、しまりもよい。硬質でブロック状に割れやす

い。ML 2相当層と考えられる。A区南半部より南側では途切れる層である。これより以下の層は無遺物層である。

第IX層：黄褐色粘質土（10Y R 5/6）。粘性に富みしまりがよい。球形状のシミ（径2~3cm）がまだら状に入る。

下部付近には第X層の1~15cm大的砂礫が混入する。ML 2相当層と考えられる。A区南半部からは砂礫が主体となる。

第X層：明黄褐色砂質土（2.5Y 6/6）。いわゆる始良Tn、ATである。この第X層は、平均0.5mの層厚をなし、A区南半部からは1.2m前後と厚く堆積している。縞状の堆積を示し、流水と沈殿作用が交互に繰り返されている。最下層では灰白色砂質土（2.5Y 8/1）が約3cmほど堆積し、大隅・幸屋降下軽石に相当する。

第XI層：黒褐色土（7.5Y R 2/3）。MB 2・3相当層と考えられる。粘性強く硬質でクラックが幾筋にも陥入する。上層には第X層由来の黄褐色砂質土ブロック（1cm大）が多く含まれる。全体的に白色粒子（白斑）を多く含む。

第XII層：褐色粘質土（10Y R 4/6）。ML 3相当層である。柔らかく粘性に富む。

第XIII層：赤褐色粘質土（2.5Y 6/6）。霧島アワコシを含む層、Kr-Aw相当層である。全体的に硬質で、アワコシがブロック状に含まれている。

第XIV層：明褐色粘土質土（7.5Y 5/8）。粘性がありやや硬質である。黄褐色粒子を多く含む。ML 4相当層と考えられる。

【各層の堆積状況】

調査区は北端の開析谷に接する部分から南に向かって緩やかに傾斜するにつれ、黒色土（第II層）以下の土層は徐々に厚く堆積する傾向を示した。特にA区の南半部は第II層が厚く堆積していた。

他方、A区の北半部とB・C区の耕作地や宅地部分であった箇所においては、第II層はほぼ失われている。特に畑地部分ではⅢ層まで損なわれていた。

第II・III層はいわゆる「クロボク」に相当する層で、

縄文時代中期～古代までの遺物包含層である。

また、始良Tn火山灰層（第IX層）は、水成堆積を示しており、幾重にも縞状の堆積が認められた。この堆積状況は、本遺跡南側に位置する北牛牧第5遺跡調査例と同様なので、AT降灰時、本遺跡周辺は、くぼ地や沼沢地形をなしていたと想定できる。

2 各層ごとの古環境復元

本遺跡における、後期旧石器時代から古代における古環境を推定復元するため、植物珪酸体分析と花粉分析を中心とした理化学的分析を株式会社古環境研究所に委託した。その具体的な分析結果、考察等について以下に示す。

なお、関連する自然科学分析資料は、第V章「自然科学分析の結果」において提示している。

分析試料は、H-11グリッドの西側調査区境界に位置する土層断面から計15点採取した（第9図）。

① 植物珪酸体分析結果

AT直下の第XI層では、ミヤコザサ節型が比較的大きく検出され、キビ族型、スキ属型、ウシクサ族A、シバ属、ネザサ節型なども検出された。

AT層の第X層では、植物珪酸体がまったく検出されなかった。

AT直上の第IX層では、キビ族型やミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。

Kr-Kb直下の第VII層では、ミヤコザサ節型が多量に検出され、スキ属型、ウシクサ族A、イネ科Bタイプ、クマザサ属型なども検出された。Kr-Kb混の第V層でも、おむね同様の結果である。

Kr-Kb直上の第VI層では、クマザサ属型が増加しており、ミヤコザサ節型は減少傾向を示している。また、同層上部ではメダケ節型やネザサ節型が出現しており、スキ属型やウシクサ族Aなども検出された。

第V層からK-Ah直下にかけては、メダケ節型やネザサ節型が大幅に増加しており、クマザサ属型やミヤコザサ節型は減少している。K-Ah層の第IV層では、各分類群とも大幅に減少している。

K-Ah直上の第III層下層では、メダケ節型やネザサ節型が多量に検出され、スキ属型、ウシクサ族A、ミヤコザサ節型なども検出された。

第III層上層から第II層にかけては、スキ属型、メダケ節型、ネザサ節型が大幅に増加しており、イネも検出された。イネの密度は700個/gと低い値であり、稻作跡の検証や探査を行う場合の判断基準としている3,000個/gを下回っている。また、第II層では樹木（照葉樹）のマンサク科（イスノキ属）も検出された。

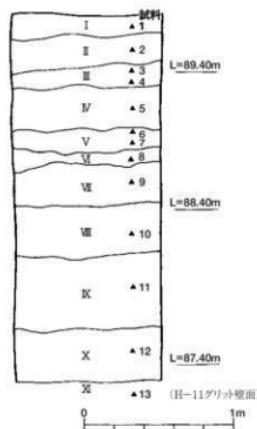
現表土の第I層ではイネが増加している。

おもな分類群の推定生産量によると、第Ⅹ層より下位ではミヤコザサ節型、第VI層ではクマザサ属型、第IV層より上位ではメダケ節型やネザサ節型が優勢であり、第3層上層より上位ではスキ属型も多くなっていることが分かる。

② 植物珪酸体分析から推定される植生と環境

始良Tn火山灰（AT、約2.4～2.5万年前）直下の第XI層の堆積当時は、クマザサ属（ミヤコザサ節）などのササ類を主体として、スキ属やチガヤ属、キビ族、シバ属、ネザサ節なども生育するイネ科植生であったと推定される。

その後、AT（第X層）の堆積によって当時の植生は破壊されたと考えられるが、AT直上の第IX層の時期には、キビ族やミヤコザサ節などのイネ科植生が再生していたと推定される。



第9図 自然科学分析試料採取土層図 (S=1/30)

霧島小林絆石（Kr-Kb、約1.4–1.6万年前）直下の第Ⅶ層からKr-Kb層準のⅨ層（後期旧石器時代Ⅰ期）にかけては、クマザサ属（おもにミヤコザサ節）が多く生育するイネ科植生であったと考えられ、部分的にススキ属やチガヤ属なども生育していたと推定される。

Kr-Kb直上の第VI層（後期旧石器時代Ⅱ期）では、クマザサ属のうちミヤコザサ節が減少して、シマザサ節やチマキザサ節が増加したと考えられ、部分的にメダケ属（メダケ節やネザサ節）も見られるようになつたと推定される。

タケ亞科のうち、メダケ属は温暖、クマザサ属は寒冷の指標とされており、メダケ率（両者の推定量産量の比率）の変遷は、地球規模の氷期–間氷期サイクルの変動と一致することが知られている（杉山、2001）。また、クマザサ属のうちシマザサ節やチマキザサ節は現在でも日本海側の寒冷地などに広く分布しており、積雪に対する適応性が高いとされるが、ミヤコザサ節は太平洋側の積雪の少ない比較的乾燥したところに分布する（室井、1960、鈴木、1978）。

これらのことから、Kr-Kb直下の第Ⅸ層からKr-Kb層準の第Ⅹ層（後期旧石器時代Ⅰ期）にかけては、積雪の少ない比較的寒冷で乾燥した環境であったと推定される。

その後、Kr-Kb直上の第VI層（後期旧石器時代Ⅰ期～縄文時代早期）の時期には、やや温暖化したと考えられ、一時に積雪量が増加した可能性が示唆される（杉山、1999）。

花粉分析によると約1.2万年前頃からブナ属の増加が認められ、日本海側を中心に多雪化したことが指摘されている（安田、1992）。今回の結果もこのような多雪化に対応したと考えられ、積雪量の増加に伴ってシマザサ節やチマキザサ節が一時に優勢となつたと推定される。

なお、A T直下の第XI層では、メダケ率が38%と比較的高いから、当時はA T直上層（第IX層）～Kr-Kb混層（第Ⅹ層：後期旧石器時代Ⅰ期）の時期より相対的にやや温暖な気候であったと考えられる。

第Ⅶ層（後期旧石器時代Ⅰ期）から鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah、約6,300年前）直下にかけては、メダケ属（メダケ節やネザサ節）を主体としてススキ属やチ

ガヤ属なども見られる草原植生に移行したと考えられ、クマザサ属はあまり見られなくなつたと推定される。このような植生変化は、縄文時代早期における急激な気候温暖化に対応したと考えられる。

その後、K-Ahの堆積によって当時の植生は一時に大きな影響を受けたと考えられるが、K-Ah直上の第Ⅲ層下部（縄文時代中期）の時期には、メダケ属（メダケ節やネザサ節）を主体としてススキ属やチガヤ属、キビ族、シバ属なども生育するイネ科植生が成立していたと推定される。

第Ⅲ層上部（縄文時代後・晚期）から第Ⅱ層（古墳時代以降）にかけては、ススキ属やメダケ属（メダケ節やネザサ節）などが多く生育する草原的な環境であったと考えられ、調査地点もしくはその周辺では稻作が行われていたと推定される。ススキ属などの草原が維持されるためには定期的な刈り取りや火入れ（焼き払い）が必要であることから（堀田1991、近藤、1995）、当時は火入れなど人間による植生干渉が行われていた可能性が考えられる。

なお、第Ⅱ層の時期には遺跡周辺にイスノキ属などの照葉樹林が分布していたと推定される。

現表土の第I層の堆積当時も、おおむね同様の植生・環境であったと考えられる。

③花粉分析結果

A T直下の第XI層、A T直上の第IX層、Kr-Kb直下の第Ⅸ層、Kr-Kb直上の第VI層では、花粉がほとんど検出されなかつた。

第V層とK-Ah直下では、イネ科やヨモギ属などが検出されたが、いずれも少量である。

K-Ah直上の第Ⅲ層下層では、樹木花粉よりも草本花粉の占める割合が高い。草本花粉では、イネ科やヨモギ属が優占し、アリノトウグサ属-フサモ属、キク亞科、タンボポ亞科、セリ亞科、カヤツリグサ科などが伴われる。

樹木花粉では、マツ属複雑管束亞属、コナラ属アカガシ亞属がやや多く、シイ属-マテバシイ属やコナラ属コナラ亞属などが伴われる。第Ⅲ層上層（試料3）でもおおむね同様の結果であり、ソバ属やアブラナ科が出現している。

第II層ではマツ属複雑管束亞属やスギが増加してお

り、コナラ属アカガシ亜属は減少している。

④花粉分析から推定される植生と環境

始良T n 火山灰（A T、約2.4～2.5万年前）直下の第XI層から霧島小林軽石（Kr-Kb、約1.4～1.6万年前）直上の第VI層（後期旧石器時代II期～縄文時代早期）にかけては、花粉がほとんど検出されないことから、植生や環境の推定は困難である。

花粉が検出されない原因としては、乾燥もしくは乾漫を繰り返す堆積環境下で花粉などの有機質遺体が分解されたことなどが考えられる。

第V層（縄文時代早期）や鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah、約6,300年前）直下でも、花粉があまり検出されないことから植生や環境の詳細な推定は困難であるが、当時はイネ科やヨモギ属などが生育する草原的な環境であった可能性が考えられる。花粉があまり検出されない原因としては、前述のようなことが考えられる。

K-Ah直上の第III層下層（縄文時代中期）の堆積当時は、イネ科やヨモギ科などの草本類が多く生育する陽当たりの良い比較的乾燥した草原的な環境であったと考えられ、周辺地域にはカシ類（コナラ属アカガシ亜属）などの照葉樹林やマツ類（マツ属複維管束亜属）などが分布していたと推定される。

第III層上層（縄文時代後・晩期）から第II層（古墳時代以降）にかけても、イネ科やヨモギ属などが多く生育する草原的な環境であったと考えられるが、この時期には周辺でソバやアブラナ科などの畑作が行われていたと推定される。

また、第II層（古墳時代以降）の時期にはスギの造林やマツ類の二次林が増加したと考えられ、カシ類などの照葉樹林は減少したと推定される。

⑤リン・カルシウム含量分析結果と考察

現表土の第I層では、リン酸含量が2.02%とかなり高い値であり、第II層（古墳時代以降）と第III層上層（縄文時代後・晩期）でも0.99%および0.89%と比較的高い値である。

これらの層では、イネの植物珪酸体分析およびソバやアブラナ科の花粉が検出されていることから、農耕による施肥の影響が大きいと考えられる。

農耕の影響が及んでいないと考えられるK-Ah直下の第V層上面とその下位の第V層本体では、リン酸含

量が0.51～0.55%であり、Kr-Kb直上の第VI層からA T直下の第XIII層にかけては0.35～0.48%である。これらのデータは、本遺跡から出土した遺構の性格を検討する際の基礎資料（比較試料）となる。

なお、カルシウム含量については、層位間でとくに大きな特徴は認められなかった。カルシウムは一般に溶解性が大きいことから（竹追、1993）、土壤中で拡散・移動した可能性が考えられる。

自然科学分析委託結果の引用について

- ※ 1. 採取時のグリットはF-2としていたが、採取後、調査区拡大に伴い現グリット名に変更した。
- ※ 2. 試料採取時の土層名は、本報告中の基本土層に準じる必要があるため、原文を一部変更した。
- ※ 3. ①～⑤の項では、原文中に呼称される採取土層名を本報告の基本土層に呼び変えた上に、採取土層の時期を冠した。
- ※ 3. ①～⑤の項で、原文中に引用される原典名は、第V章「自然科学分析の結果」に掲載している。

<註文献>

- (1) 鳥田史子「基本土層」「東九州自動車道（都農～西都間）関係埋蔵文化財調査概要報告書V」 宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第100集 宮崎県埋蔵文化財センター 2005

第3節 旧石器時代の遺物

【概要】

本遺跡で出土した後期旧石器群のうち、第Ⅷa層（Kr-kb相当層）で出土した遺物群を後期旧石器時代I期、第VIb層（ML1相当層）のものを後期旧石器時代II期として報告する。

なお、第VIc層以下の後期旧石器時代文化層の存在は認められなかった。

1 後期旧石器時代I期（第10～13図）

【遺物包含層の状況】

調査面積は、A調査区の北半部、特に開析谷縁辺部を中心とした約3,000m²で第Ⅷa層を精査した。

第Ⅷa層より出土した遺物は、ナイフ形石器3点、角錐状石器2点、剥片尖頭器3点（含原位置を離れたもの2点）、石核2点、剥片21点である。なお、礫群等の遺構は検出されなかった。

この第Ⅷa層を含む第Ⅷ層は、小林降下軽石を含む褐色粘質土である。この層自体は層厚0.3mを測るが、その大部分が第VIb層（1～5cm大の砂礫が集中する無遺物層）で、第Ⅷa層は層厚0.1～0.2mと比較的薄い堆積であった。

【石器石材について】

後期旧石器時代I期の石器石材は、ホルンフェルスとチャートである。このホルンフェルスは、風化面がオリーブ色、青灰色の色を呈するものや縞状の斑紋が入るもの、風化の著しい特徴がある。ホルンフェルスの多くは頁岩源ホルンフェルスと考えられ、複数の母岩が想定されるが、細分はしなかった。

チャートは、珪質で緻密で硬質である。色調は淡い緑～黄緑色で白い筋が入る。

【遺物出土状況】

遺物は、調査区全体に散漫に分布する。ナイフ形石器や角錐状石器、剥片尖頭器といった利器は、特にまとまりを持たず、散在して出土した。

剥片は、E18グリットとC24・25グリットの大きく2箇所に集中する。

【出土遺物】

出土した遺物は、石器石材によって大きく、ホルン

フェルス製石器群（ナイフ形石器・角錐状石器、剥片尖頭器、石核と剥片）とチャート製石器（角錐状石器）に大別される。

なお、後期旧石器時代I期の出土遺物は、すべて実測・図化し掲載した。

ホルンフェルス製石器群

石器群の大半は剥片が占め、利器としては、二側縁加工が施されるナイフ形石器（第11図1～3）、角錐状石器（4～5）、剥片尖頭器（6）がある。7及び8は繩文時代土坑埋立から出土したナイフ形石器と剥片尖頭器であるが、風化の度合いからしても本来はこの時期に属すると考えられる。

3は、縦縫状の歯潰し加工が施される、二側縁加工ナイフである。

角錐状石器4は、形状が紡錘形を呈する二面加工で、表面の二面とも裏面から剥離調整がなされる。裏面基部にも調整加工が及んでいる。

7は、基部が半分近くを占める剥片尖頭器と判断したが、二側縁加工のナイフ形石器の可能性もある。

8は、尖頭部を交互剥離された剥片尖頭器である。右側縁部と基部付近は欠損している。

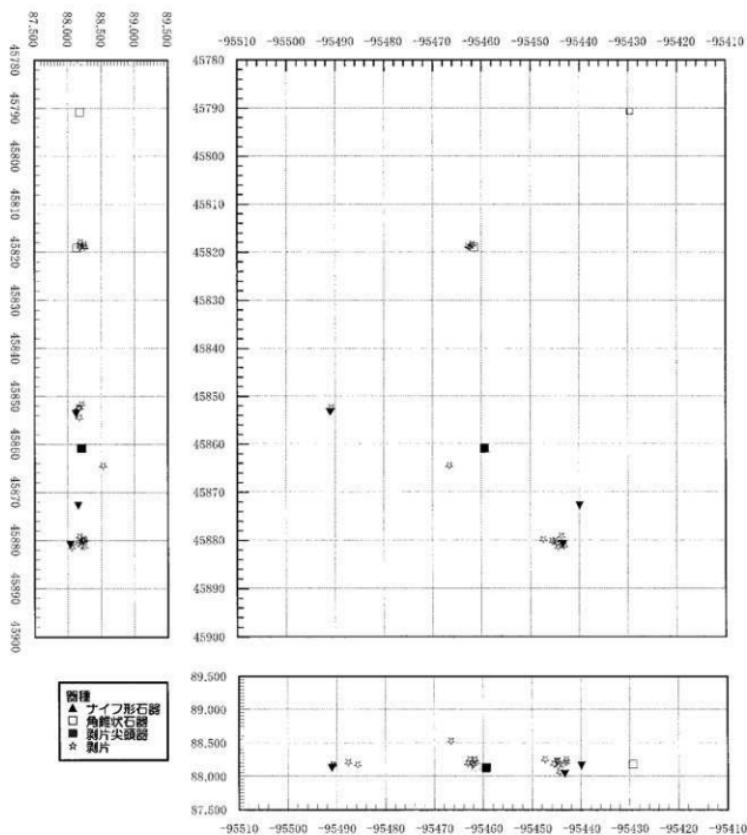
剥片は9・10と12～29、石核は11である。前述のとおり剥片の集中は2箇所確認できたため、すべての剥片及び石核、利器類の接合を試みたが、11の1例のみ接合したのみである。

剥片類は、縦長剥片を得るために石核を調整剥離する際に生じた、礫面を残す剥片（9・10と12～14）、縦長剥片（15～24）と不定形な剥片が連続剥離される一群（25～29）に大別される。

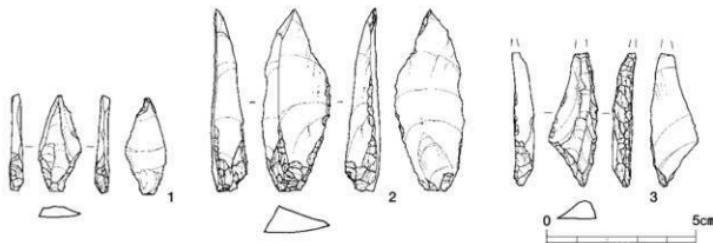
剥片類の諸特徴からは、縦長剥片の獲得を目的とした剥片剥離手法を読み取ることができる。ただ、碎片の集中が認められず、明確な石核（母岩）が確認されていないことは特徴的である。

チャート製石器

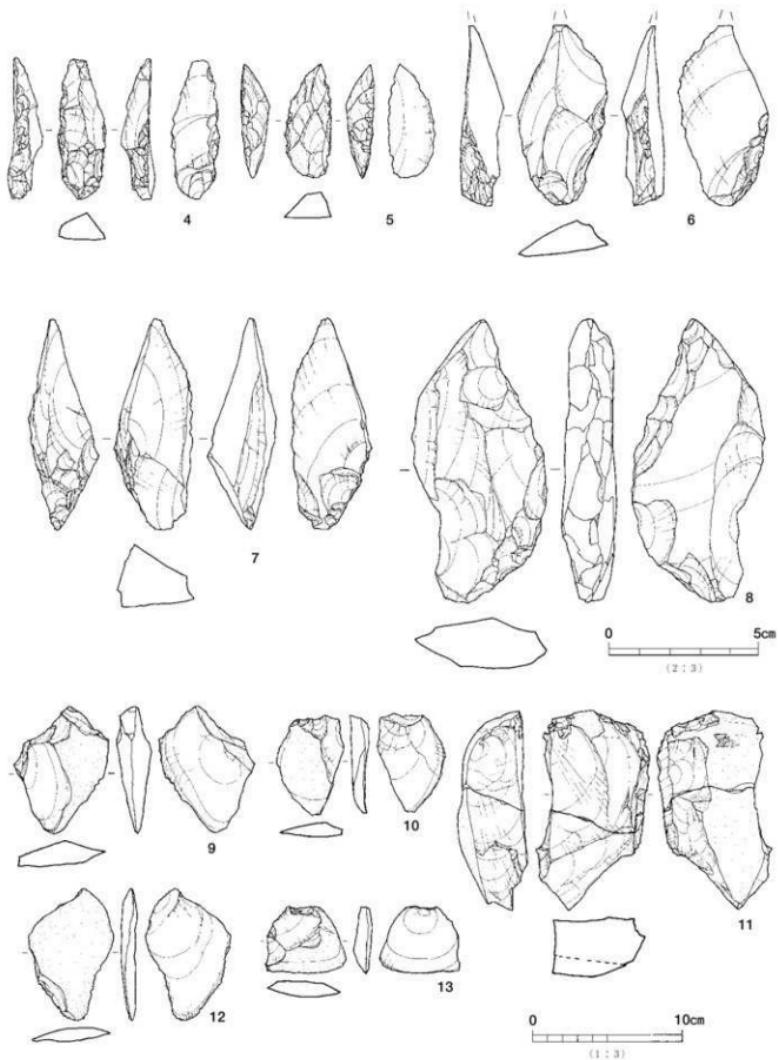
チャート製石器は角錐状石器、（5）1点のみである。形状が紡錘形を呈する二面加工で、側縁部両面とも裏面から剥離調整がなされる。表面基部は素材面が残っている。



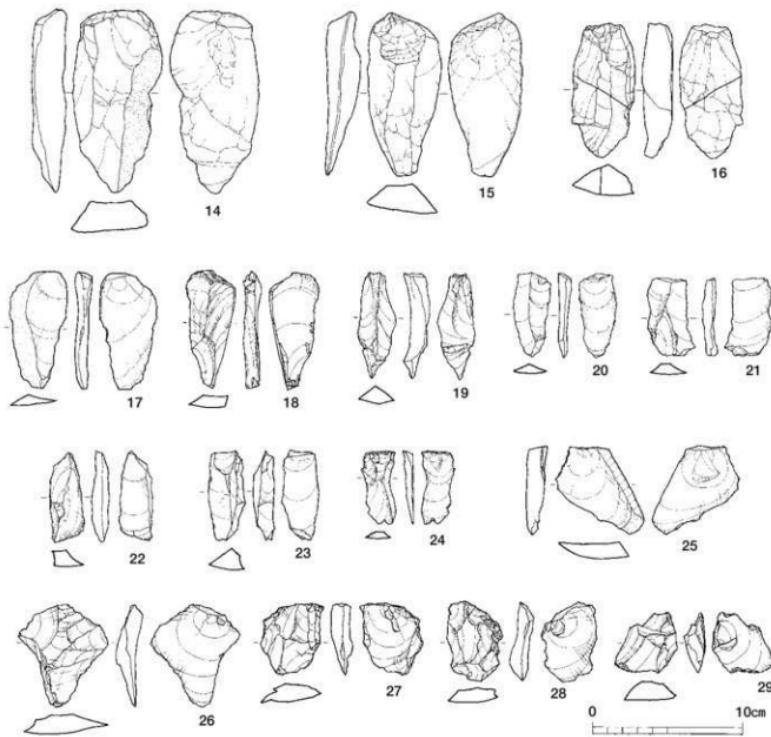
第10図 後期旧石器時代I期遺物出土分布図



第11図 後期旧石器時代I期出土遺物実測図〔1〕(S=2/3)



第12図 後期旧石器時代Ⅰ期出土遺物実測図〔2〕(S=2/3・1/3)



第13図 後期旧石器時代I期出土遺物実測図〔3〕(S=1/3)

2 後期旧石器時代II期(第14~20図)

【遺物包含層の状況】

調査面積は、A調査区の北半部、特に開析谷縁辺部を中心とした約3,000m²である。後期旧石器時代I期とほぼ同じ面積を調査した。

遺物は、細石刃核7点、細石刃82点、二次加工剥片3点、石核10点、剥片125点、碎片176点を数え、総重量224.93 gにのぼる出土が得られた。

なお、後期旧石器時代I期同様、礫群等の遺構は検出されなかった。

この第VI b層を含む第VI層は、極暗褐色土でML 1

相当層と考えられる。このうち、土質や遺物包含のあたりから3層に細分される。第VI b層は層厚0.1m前後と薄い堆積状況であり、第VI b層上位の縄文時代早期の遺物が包含する第VI a層も層厚0.15m前後で薄い堆積状況を示していた。

なおかつ層界も不明瞭であったため、後期旧石器時代と縄文時代早期に属する遺物が互いに上下して混在している可能性がある。

【石器石材について】

後期旧石器時代II期の石器石材は、黒曜石と頁岩に大別される。中でも黒曜石は、桑ノ木都留産黒曜石と

腰岳産黒曜石の二種類の石材使用が認められた。

＜後期旧石器時代Ⅱ期石材分類＞

頁岩…風化面の色調が暗青灰色をなすもの。後期旧石器時代Ⅱ期のホルンフェルスに類似するが、風化の度合いを優先させて、頁岩と呼称する。

桑ノ木都留産黒曜石

…ガラス質の滑らかな黒色～チョコレート色で透明度が高い。多数の微小気泡を含んでいる。
腰岳産黒曜石
…黒色のガラス質だが、透明度は桑ノ木都留産黒曜石よりも低く、薄片では濁った暗灰色。

a) 頁岩製石器群（第14～15図）

【遺物出土状況】

頁岩製石器群は、細石刃8点で構成される。細石核は出土しなかった。頁岩製細石刃は、A調査区の北東部隣を中心に散漫に出土した。

【出土遺物】

頁岩製細石刃のうち、5点を図化した。表面には連続剥離面が残っている。31、32と34は打面または先端面を欠損して全体的な大きさは不明である。

ただ、サイズ的には30・33とそれ以外の2種類が認められ、細石核自体は未検出であるが、本来的には複数個の細石核が存在していた可能性がある。

b) 桑ノ木都留産黒曜石石器群（第16～18図）

【遺物出土状況】

桑ノ木都留産黒曜石製石器群は、細石刃67点、細石核5点、石核10点、剥片108点、碎片157点で構成される。石核とは、原石打削時に生じたものや細石刃を剥ぎ取る段階までの調整剥離を受けたものとした。なお、回収された全遺物の総重量は189.6gを測る。

遺物は、頁岩製石器群と同様にA区北東部付近にいくつかの石器集中区をなしている。

出土集中区は大きく4箇所にわかれれる。西側からE18グリット、F19グリット、G22グリット、調査区北東隅の集中区（C23・24、D23・24、E23・24グリット）の4群である。それぞれの石器集中区では石核、剥片、碎片及び細石刃や細石核が伴っている。

さらに、北東隅に広がる石器集中区のうち、さらにC24グリットとD23グリットの2箇所にわかれれる。

【出土遺物】

ここでは、桑ノ木都留産黒曜石製の細石刃4点と細石核5点を図化し掲載した。

37・38は細石刃である。先端部や打面部が欠損している。35・36は側縁部や端部には自然面が残っているため、細石核の作業面再生剥片と考えられる。

39と40は、自然面が残る分割縫を素材とし、自然面打面による打面調整がなされており、表面にはその作業痕跡が認められる。正面に細石刃剥離の痕跡がこのこと。

41～42は、分割縫を素材とし剥離面打面で、表面に作業面がこのこと。正面及び側面に細石刃剥離痕が認められる。

43は石核である。他方向から剥片を剥離した痕跡が認められる。形状的には細石核と似ているので、細石核とする前の段階と考えられる。

その他、未図化ではあるが、細石核作業面再生や作業面調整に伴うと推定される剥片も多く得られた。これらの剥片と細石核や石核との接合を試みたが、接合し得なかった。

c) 腰岳産黒曜石石器群（第19～20図）

【遺物出土状況】

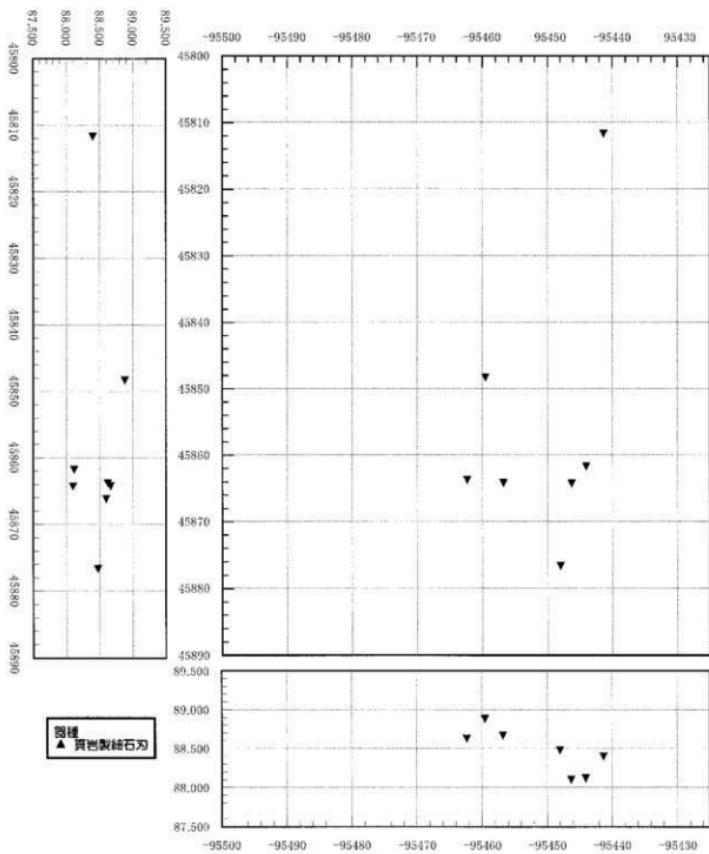
腰岳産黒曜石製石器群は、細石刃7点、細石核2点、剥片17点、碎片19点で構成される。回収された全遺物の総重量は33.3gを測る。

遺物の出土状況は、桑ノ木都留産黒曜石石器群の出土状況に類似している。西側からF19グリット、G22グリット及びC24グリットの大きく3箇所で石器出土集中区が認められる。

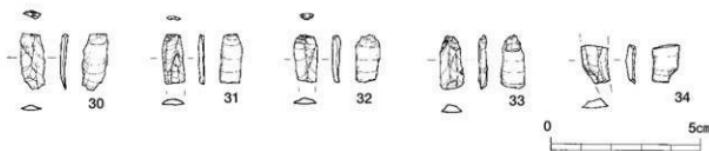
しかし、F19・G22グリットにおける遺物集中区では剥片のみで構成されるため、桑ノ木都留産黒曜石を腰岳産と誤認した可能性がある。仮に誤認としても、C24グリットでは細石刃と細石核及び二次加工剥片等が集中しており、少なくともこの付近が腰岳産黒曜石石器製作の場と捉えることができる。

【出土遺物】

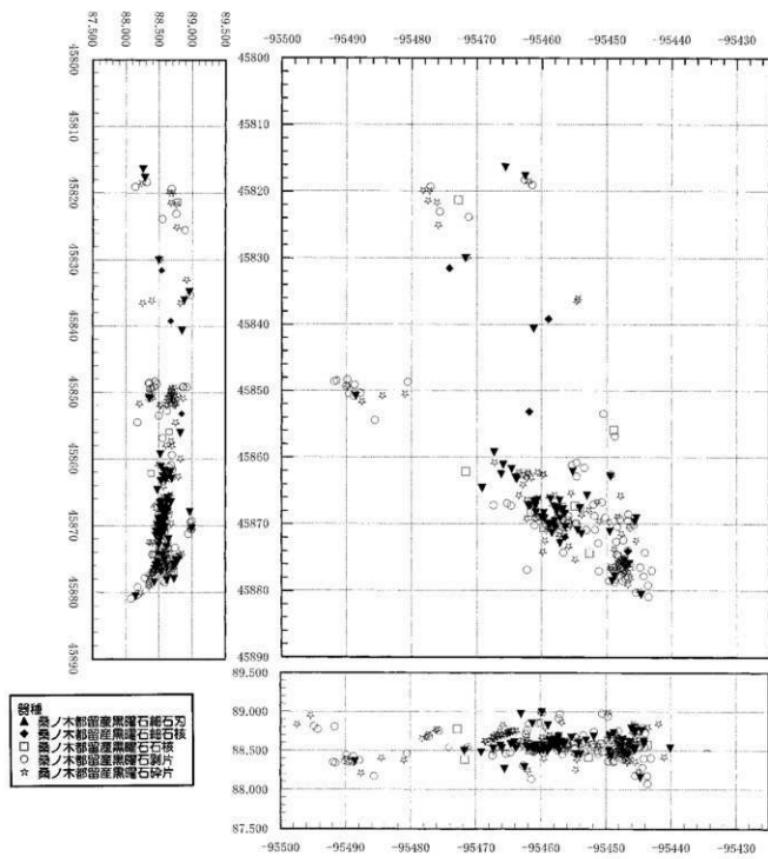
腰岳産黒曜石製の細石刃1点と細石核1点、及び二次加工剥片2点を図化し掲載した。



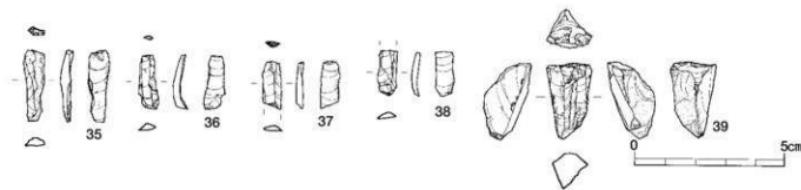
第14図 後期旧石器時代Ⅱ期遺物出土分布図(1)〔頁岩〕



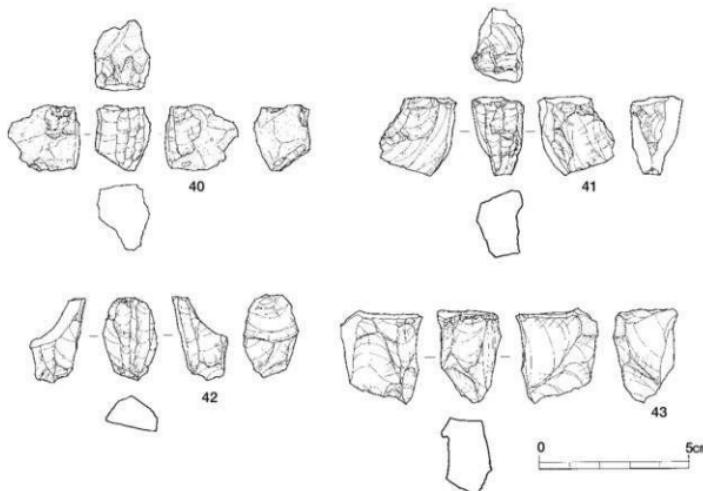
第15図 後期旧石器時代Ⅱ期出土遺物実測図(1)〔頁岩〕(S = 2 / 3)



第16図 後期旧石器時代Ⅱ期遺物出土分布図(2)【桑ノ木津留産黒曜石】



第17図 後期旧石器時代Ⅱ期出土遺物実測図(2)【桑ノ木津留産黒曜石】(S=2/3)



第18図 後期旧石器時代Ⅱ期出土遺物実測図(3) [桑ノ木津留産黒曜石] (S = 2 / 3)

44は、細石核作業面再生剥片と考えられる。

45は細石核で、自然面が残る分割礫を素材とし、正面には細石刃連続剥離が認められる。

46と47は二次加工剥片である。46は、側縁部に剥離調整を施され、石錐状の先端部が形成される。

47は上下方向を欠失しているが、断面三角形の側縁部に微細剥離が残る。

3 小結

後期旧石器時代Ⅰ期

始良T n 火山灰層上位の文化層、すなわちKr-kb層（第VII a層）では、ホルンフェルス製を主体とするナイフ形石器や角錐状石器、剥片類の出土を確認できた。剥片類の存在から、在地石材を使用した縱長剥片の入手技術の様相が看取される。

Kr-kb相当層前後の宮崎平野部においては、横長剥片剥離技術が通用化するが、本遺跡の場合は、上記のような縱長剥片技術が卓越している。

また、ホルンフェルス製剥片類の出土が認められたにも関わらず、剥片の接合は皆無であったこと、石器製作に必要な敲石といった工具や、原石や碎片の欠如

など、石器製作を具体的に示す資料が得られなかつたのも本遺跡の特徴でもある。同じホルンフェルス製ナイフ形石器や角錐状石器、剥片尖頭器といった利器は、同一母岩や剥片が見当たらず、搬入品と考えられる。チャート製の角錐状石器の出土も搬入品という脈絡で位置づけられよう。

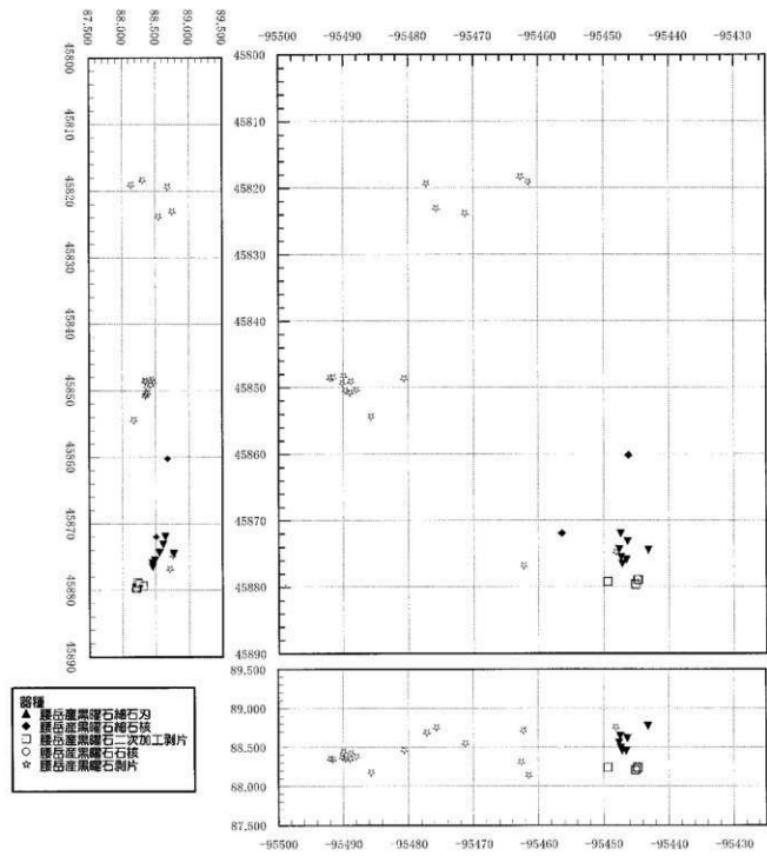
後期旧石器Ⅰ期においては、疊群が確認されていないもの含めて、一定期間を有する石器製作の場や居留の地というよりは、一時的な石器製作や狩場的様相が強いと考察される。

周辺遺跡では、老瀬板上第3遺跡〔旧石器時代Ⅰ期〕や北牛牧第5遺跡〔旧石器時代第Ⅱ文化層〕にて、本遺跡の後期旧石器時代Ⅰ期と同様な遺物構成を持つ文化層が調査された。本遺跡の場合は、上記2遺跡に比べ、出土量と石器構成には格差が認められる。時期差や遺跡空間差によるものであろう。

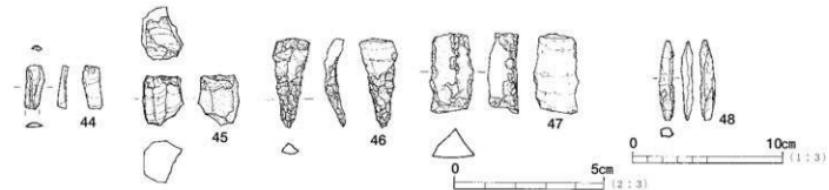
後期旧石器時代Ⅱ期

Kr-kb層（第VII a層）より上位のML 1層（第VI a層）では、細石刃や細石核等が多く出土した。

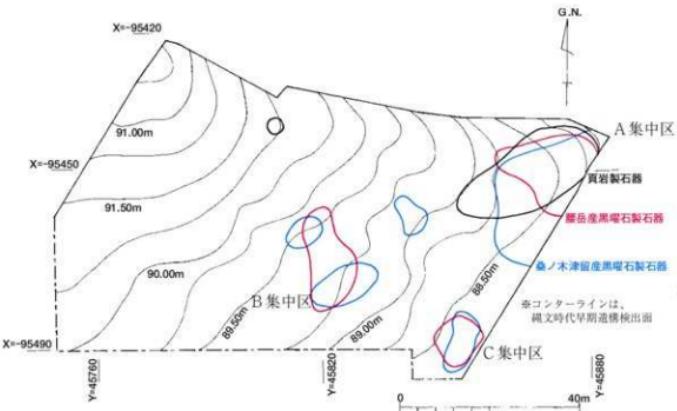
石器石材の分類から頁岩と桑ノ木津留産黒曜石、腰



第19図 後期旧石器時代Ⅱ期遺物出土分布図(3)〔腰岳産黒曜石〕



第20図 後期旧石器時代Ⅱ期出土遺物実測図(4)〔腰岳産黒曜石〕(S = 2/3・1/3)



第21図 後期旧石器時代Ⅱ期石材別出土傾向 ($S = 1/1,000$)

岳産黒曜石の3種類の石材が使用されていた。頁岩は別として、2種類の黒曜石の存在は、遠隔地石材の交易と流入を示唆している。

出土量からは、特に桑ノ木都留産黒曜石を用いた細石刃製作が盛んに行なわれていたと考えられる。

第21図は、頁岩、桑ノ木都留産黒曜石、腰岳産黒曜石の出土状況をグルーピング化し、模式的に示したものである。

3者の石器石材ともほぼ分布域を越えず、北側1箇所(A集中区)、南側2箇所(B・C集中区)の石器集中区に大きくわかかれている。特にA集中区は濃密である。A集中区では、さらに2~3箇所の石器集中区が認められる。

A集中区周辺は、地形的になだらかな斜面となるため、遺物の二次的移動の可能性も考慮する必要があるが、後期旧石器時代Ⅱ期においては、A集中区を中心とした石器製作の場が存在したと考えられる。

また、石器石材の分布域がほぼ重なりあうことから、3種類の石材が併用されていた可能性も示す。

しかしながら、礫群といった遺構が確認されなかつたこと、石器製作に関わる工具(敲石等)が検出されなかつたことを、どのように解釈するかについては問題として残った。

本遺跡周辺の、後期旧石器時代Ⅱ期と同様な石器構成を有する遺跡は、老瀬坂上第3遺跡〔旧石器時代Ⅰ期〕及び北牛牧第5遺跡〔旧石器時代第Ⅲ文化層〕が挙げられる。後期旧石器時代Ⅰ期と一転して、出土量、石器構成は本遺跡が卓越している。

本遺跡は、細石刃文化期において細石刃製作の場といいう位置づけと共に、牛牧台地縁辺部における一拠点的存在であったと推察される。



写真2 M16グリッド南壁土層（北から）

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量				出土地点		備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	
1	2104	石器	ナイフ形石器	Vla	ホルンフェルス	3.20	1.49	0.40	1.8	-95439.938	45872.793	88.157
2	2509	石器	ナイフ形石器	Vla	ホルンフェルス	6.10	2.30	1.20	12.4	-95490.972	45830.635	88.125
3	2112	石器	ナイフ形石器	Vla	ホルンフェルス	4.45	1.60	0.60	4.1	-95443.369	45880.897	88.036
4	1866	石器	角錐状石器	Vla	ホルンフェルス	4.70	1.60	0.90	7.2	-95461.640	45819.05	88.137
5	1746	石器	角錐状石器	Vla	チャート	3.80	1.60	0.90	4.8	-95429.335	45790.872	88.18
6	3884	石器	測定尖頭器	Vla	ホルンフェルス	6.00	3.00	1.30	21.6	-95460.411	45818.633	88.048
9	1397	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	8.40	6.30	2.35	38.2	-95445.539	45880.257	88.184
10	2550	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	6.55	4.50	1.20	30.6	-95485.701	45854.442	88.174
11	1430	石器	石核	Vla	ホルンフェルス	13.15	7.60	4.50	530.0	-95433.586	45882.099	88 1431と複合
11	1431	石器	石核	Vla	ホルンフェルス	—	—	—	—	-95443.594	45880.869	88.075 1430と複合
12	2114	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	8.70	5.70	1.10	42.3	-95444.682	45880.576	88.153
14	2888	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	12.18	6.47	2.14	170.5	-95463.133	45817.921	88.189
15	2571	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	10.92	4.92	1.96	102.0	-95490.678	45862.419	88.161
16	2146	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	8.96	4.70	2.02	72.9	-95444.412	45881.444	88.061
17	486	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	7.75	3.80	1.20	24.5	-95490.75	45862.428	88.175
18	2879	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	7.75	3.30	1.00	25.4	-95461.723	45818.934	88.249
19	1	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	7.00	2.50	1.40	18.6	-95466.535	45884.49	88.53
20	2240	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	5.60	2.50	0.90	9.5	-95444.972	45880.09	88.228
21	2575	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	5.10	3.10	0.90	13.5	-95445.650	45879.623	88.228
22	2125	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	6.00	2.30	1.10	34.1	-95443.648	45879.16	88.179
23	2825	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	6.00	2.50	1.40	17.8	-95444.734	45880.015	88.223
24	2975	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	4.85	2.20	0.60	5.5	-95462.648	45818.851	88.249
25	2867	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	5.80	5.90	1.20	31.1	-95487.642	45851.672	88.207
26	518	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	6.75	6.00	1.40	33.9	-95461.807	45818.395	88.242
27	427	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	4.70	4.20	1.30	24.9	-95443.092	45881.134	88.205
28	634	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	5.20	3.20	1.20	21.8	-95447.397	45879.86	88.253
29	546	石器	測片	Vla	ホルンフェルス	4.00	4.15	1.30	36.6	-95462.266	45818.981	88.186

図面番号	種類	器種	出土地点				重量(g)	石材	備考		
			出土通構	取り上げ番号	最大長(cm)	最大幅(cm)					
7	石器	測片尖頭器	SC107	覆土中	1	7.05	2.7	2	30.9	ホルンフェルス	—
8	石器	測片尖頭器	SC120	覆土中	—	9.5	4.5	1.9	77.7	ホルンフェルス	—

第2表 後期旧石器時代I期遺物観察表

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量				出土地点		備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	
35	2345	石器	細石刃	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	1.90	0.70	0.28	0.4	-95471.756	45839.04	88.493
36	1359	石器	細石刃	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	1.81	0.69	0.25	0.3	-95460.969	45867.38	88.521
37	2992	石器	細石刃	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	1.56	0.64	0.20	0.2	-95446.032	45875.116	88.791
38	2814	石器	細石刃	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	1.50	0.60	0.27	0.2	-95444.112	45875.039	88.584
39	468	石器	細石核	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	2.57	1.54	1.20	4.3	-95462.729	45874.07	88.496
40	2347	石器	細石核	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	2.21	1.89	2.20	9.7	-95474.183	45831.587	88.554
41	1354	石器	細石核	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	2.65	1.71	2.25	11.1	-95457.888	45870.317	88.537
42	2677	石器	細石核	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	2.82	1.80	1.18	7.0	-95458.595	45839.203	88.678
43	291	石器	細石核	Vlb	桑ノ木津留庵黒曜石	3.11	2.78	1.69	18.9	-95461.901	45853.205	88.844

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量				出土地点		備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	
44	2830	石器	細石刃	Vlb	鹿岳庵黒曜石	1.42	1.15	0.15	0.1	-95443.184	45874.487	88.772
45	701	石器	細石核	Vlb	鹿岳庵黒曜石	1.68	1.88	1.42	3.8	-95446.2	45869.22	88.682
46	773	石器	二次加工測片	Vlb	鹿岳庵黒曜石	2.95	1.25	0.40	1.3	-95444.7	45878.95	88.248
47	286	石器	二次加工測片	Vlb	鹿岳庵黒曜石	2.70	1.50	1.00	4.0	-95445.1	45859.71	88.206
48	2968	石器	二次加工測片	Vlb	鹿岳庵黒曜石	5.30	1.00	0.70	4.2	-95462.7	45819.17	88.247

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量				出土地点		備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	
30	3151	石器	細石刃	Vlb	頁岩	1.90	0.91	0.16	0.3	-95446.28	45861.299	88.098
31	2634	石器	細石刃	Vlb	頁岩	1.65	0.93	0.19	0.3	-95441.32	45811.735	88.398
32	3788	石器	細石刃	Vlb	頁岩	1.58	0.78	0.20	0.3	-95423.8	45866.171	88.596
33	3565	石器	細石刃	Vlb	頁岩	1.80	0.79	0.26	0.2	-95458.54	45848.357	88.882
34	511	石器	細石刃	Vlb	頁岩	1.31	0.95	0.29	0.3	-95456.79	45861.286	88.665

第3表 後期旧石器時代II期遺物観察表

取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点			法量		備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	
75	石器	細石刃	Mb	頁岩	-95462.34	45863.8	88.622	1.1	0.2	0.2
312	石器	細石刃	Mb	頁岩	-9548.017	45876.682	88.471	0.8	0.14	0.2
3136	石器	細石刃	Mb	頁岩	-9544.039	45861.79	88.115	1.4	0.2	0.23

第4表 後期旧石器時代Ⅱ期末図化遺物一覧(頁岩)

取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点			法量		備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	
142	石器	細石核	Mb	腰岳産黒曜石	-95466.413	45871.97	88.509	2.3	1.8	5.1
272	石器	細石刃	Mb	腰岳産黒曜石	-95447.323	45875.566	88.487	1.5	0.2	0.1
358	石器	細石刃	Mb	腰岳産黒曜石	-95447.13	45876.542	88.453	1.2	0.2	0.1
377	石器	細石刃	Mb	腰岳産黒曜石	-95446.535	45875.94	88.447	1.3	0.2	0.1
2105	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95454.62	45863.489	88.255	1.0	0.3	0.2
2106	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95454.416	45836.16	88.389	1.0	0.2	0.1
2111	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95462.303	45876.837	88.716	2.1	0.5	1.2
2113	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95459.862	45874.173	88.67	1.4	0.2	0.3
2147	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95448.109	45874.782	88.756	1.4	0.2	0.2
2233	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95477.175	45819.345	88.668	1.4	0.2	0.1
2235	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95477.281	45819.941	88.706	1.4	0.3	0.2
2237	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95478.23	45819.933	88.656	1.2	0.3	0.2
2239	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95477.49	45821.445	88.679	0.8	0.1	0.1
2242	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95476.134	45821.713	88.763	0.7	0.1	0.1
2247	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95475.697	45823.054	88.755	1.8	0.5	0.8
2249	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95475.916	45825.076	88.771	0.9	0.1	0.1
2253	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95480.643	45848.69	88.463	1.6	0.3	0.7
2254	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95481.036	45850.568	88.375	1.1	0.1	0.2
2255	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95484.504	45850.796	88.404	1.4	0.2	0.3
2258	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95485.701	45851.442	88.174	1.8	0.4	1.0
2259	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95488.807	45849.161	88.427	1.3	0.4	0.2
2265	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95489.892	45849.322	88.363	0.9	0.1	0.1
2266	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95490.094	45849.365	88.337	1.9	0.7	1.2
2268	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95488.806	45850.033	88.347	1.2	0.2	0.1
2269	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95487.966	45860.4	88.379	1.6	0.6	0.7
2273	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95488.96	45860.814	88.335	1.7	0.4	0.4
2275	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95489.641	45860.472	88.354	1.5	0.4	0.5
2280	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95489.928	45848.323	88.441	1.0	0.1	0.1
2282	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95491.264	45848.518	88.342	1.5	0.4	0.7
2283	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95491.963	45848.651	88.352	1.2	0.1	0.1
2296	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95487.642	45851.672	88.207	0.7	0.1	0.1
2319	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95461.988	45818.572	88.241	0.8	0.1	0.1
2322	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95461.449	45819.05	88.137	1.6	0.5	0.5
2329	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95462.699	45818.324	88.308	1.5	0.7	1.0
2343	石器	剥片	Mb	腰岳産黒曜石	-95471.245	45823.845	88.548	1.9	0.8	1.9
2344	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95471.385	45829.91	88.533	1.1	0.2	0.1
2488	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95448.225	45876.375	88.672	1.2	0.1	0.1
2489	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95448.184	45876.761	88.652	0.9	0.2	0.1
2492	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95448.191	45877.097	88.64	0.9	0.3	0.1
2493	石器	碎片	Mb	腰岳産黒曜石	-95448.369	45877.136	88.642	0.6	0.1	0.1
3033	石器	細石刃	Mb	腰岳産黒曜石	-95447.415	45871.984	88.645	1.3	0.3	0.2
3035	石器	細石刃	Mb	腰岳産黒曜石	-95446.341	45873.155	88.612	1.3	0.4	0.2
3041	石器	細石刃	Mb	腰岳産黒曜石	-95447.611	45874.346	88.557	1.5	0.2	0.1

第5表 後期旧石器時代Ⅱ期末図化遺物一覧(腰岳産黒曜石)

取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点			法量		備考	
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)		
37	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95469.144	45864.658	88.475	2.6	1.2	3.8	—
48	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95466.218	45862.646	88.562	1.0	0.2	0.1	—
50	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95467.256	45860.833	88.493	1.4	2.3	0.3	—
52	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95467.298	45869.297	88.523	0.7	0.1	0.1	—
53	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95465.927	45861.148	88.532	1.6	0.3	0.2	—
54	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95464.611	45861.805	88.582	1.2	0.2	0.1	—
57	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95464.044	45863.069	88.604	1.2	0.2	0.1	—
58	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95463.85	45863.32	88.553	0.8	0.1	0.1	—
59	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95463.722	45862.981	88.569	1.5	0.2	0.2	—
61	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95463.572	45862.269	88.589	1.2	0.2	0.1	—
62	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95463.144	45862.4	88.613	1.0	0.2	0.1	—
63	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95462.782	45862.666	88.617	1.9	0.3	0.7	—
64	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95462.105	45862.301	88.637	1.0	0.1	0.1	—
66	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95461.983	45862.53	88.603	1.0	0.2	0.1	—
67	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95460.626	45862.306	88.586	0.9	0.1	0.1	—
68	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.86	45862.632	88.616	1.0	0.3	0.1	—
69	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.717	45862.624	88.618	1.2	0.2	0.1	—
74	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95460.899	45864.135	88.567	1.0	0.2	0.1	—
76	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95462.269	45863.187	88.604	1.2	0.4	0.2	—
77	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95461.617	45863.164	88.598	1.1	0.2	0.1	—
81	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95466.222	45866.456	88.461	0.8	0.1	—	—
82	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95465.549	45866.303	88.495	1.5	0.2	0.3	—
83	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95465.351	45866.933	88.464	1.6	0.4	0.7	—
84	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95464.736	45867.282	88.475	1.3	0.2	0.2	—
86	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95467.452	45867.182	88.438	1.6	0.2	0.2	—
89	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95462.314	45869.232	88.537	0.7	0.1	0.1	—
90	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95462.006	45867.267	88.529	1.7	0.6	0.3	—
91	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95461.841	45867.302	88.546	1.3	0.3	0.1	—
93	石器	石核	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95461.647	45868.265	88.509	2.6	1.1	3.0	—
94	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95461.127	45868.19	88.503	1.8	0.4	0.6	—
95	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95460.921	45868.327	88.567	0.8	0.2	0.1	—
96	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95460.807	45868.066	88.57	0.7	0.2	0.1	—
98	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95460.762	45868.59	88.523	1.2	0.2	0.1	—
99	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95461.009	45869.025	88.492	2.7	0.6	1.5	—
100	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95460.99	45869.259	88.492	0.7	0.2	0.1	—
101	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95461.110	45867.203	88.482	2.2	0.4	0.4	—
104	石器	石核	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.728	45870.61	88.556	2.4	1.4	4.9	—
105	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.291	45870.975	88.499	0.8	0.1	0.1	—
106	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.3	45870.247	88.552	2.5	0.5	1.1	—
107	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95460.118	45869.022	88.492	1.2	0.2	0.1	—
109	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.982	45869.307	88.542	0.8	0.2	0.1	—
110	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.624	45868.875	88.542	0.9	0.2	0.1	—
111	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.679	45869.171	88.501	1.2	0.2	0.1	—
112	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.625	45869.287	88.511	1.2	0.2	0.1	—
114	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.961	45870.072	88.489	0.8	0.2	0.1	—
115	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.692	45869.943	88.523	0.8	0.2	0.1	—
116	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.954	45870.354	88.566	1.3	0.3	0.2	—
119	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95459.534	45872.506	88.396	0.7	0.2	0.1	—
121	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.823	45870.583	88.554	1.2	0.2	0.1	—
122	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.723	45870.565	88.583	1.2	0.2	0.2	—
123	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.442	45870.793	88.553	1.1	0.8	0.1	—
124	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.641	45870.285	88.582	1.2	0.1	0.1	—
125	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.229	45870.421	88.573	0.7	0.1	0.1	—
126	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.171	45870.32	88.582	1.7	0.6	0.9	—
127	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.117	45870.37	88.566	2.2	0.4	1.1	—
128	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.035	45870.487	88.571	1.3	0.2	0.1	—
129	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95458.444	45871.371	88.545	0.8	0.1	0.1	—
130	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95457.682	45870.68	88.545	0.8	0.3	0.1	—
131	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95457.247	45870.832	88.549	1.9	0.9	1.6	—
132	石器	洞片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95457.472	45871.251	88.509	1.8	0.4	0.5	—
136	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95457.192	45872.916	88.497	0.8	0.1	0.1	—
137	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95457.28	45871.755	88.539	0.9	0.1	0.1	—
139	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95456.634	45871.118	88.585	0.9	0.1	0.1	—
140	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95456.47	45871.376	88.536	0.9	0.1	0.1	—
145	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95455.865	45873.381	88.511	0.7	0.1	0.1	—

第6表 後期旧石器時代Ⅱ期末図化遺物一覧(1) (桑ノ木津留産黒曜石)

取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点			法量		備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	
146	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.715	45874.245	88.451	1.7	0.3	0.4
149	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.869	45875.335	88.461	0.9	0.1	0.1
154	石器	石核	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9542.674	45874.384	88.416	2.1	0.7	1.3
156	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.23	45877.027	88.465	2.9	1.3	3.4
160	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.53	45865.732	88.564	0.8	0.1	0.1
164	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9542.299	45866.438	88.581	0.7	0.1	0.1
165	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.65	45866.925	88.55	0.8	0.3	0.1
166	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.22	45866.651	88.521	0.7	0.1	0.1
167	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9560.52	45866.187	88.531	0.8	0.1	0.1
168	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9560.747	45866.503	88.537	0.9	0.1	0.1
169	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9561.089	45867.359	88.541	0.8	0.1	0.1
171	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9569.696	45868.369	88.572	1.1	0.2	0.1
175	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.316	45867.16	88.634	0.9	0.1	0.1
176	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.062	45867.429	88.639	1.6	0.2	0.1
177	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.641	45866.362	88.622	1.0	0.3	0.1
178	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.826	45865.986	88.656	0.8	0.3	0.1
179	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.992	45865.723	88.668	0.7	0.2	0.1
181	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.245	45866.548	88.682	0.8	0.1	0.1
184	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.546	45867.58	88.625	0.6	0.1	0.1
185	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.694	45868.158	88.592	1.0	0.2	0.1
186	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.569	45868.07	88.637	1.2	0.1	0.1
187	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9567.703	45866.864	88.569	0.6	0.1	0.1
188	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.408	45866.585	88.602	0.9	0.1	0.1
190	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.979	45869.57	88.561	0.8	0.1	0.1
194	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.669	45867.271	88.627	0.7	0.1	0.1
195	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.049	45867.785	88.657	0.8	0.1	0.1
196	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.736	45867.829	88.607	0.8	0.1	0.1
197	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.857	45868.156	88.616	1.0	0.2	0.1
198	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.109	45868.263	88.664	1.5	0.4	0.5
199	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.126	45869.206	88.589	1.3	0.2	0.1
200	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.913	45869.365	88.582	1.5	0.4	0.5
201	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.242	45870.106	88.614	2.2	0.9	2.3
202	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.057	45870.3	88.582	1.6	0.3	0.4
205	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.386	45870.497	88.574	1.3	0.2	0.1
206	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9569.077	45870.489	88.552	1.6	0.4	0.6
207	石器	石核	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.067	45869.994	88.568	2.7	1.2	2.4
209	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.884	45869.842	88.572	1.3	0.2	0.2
210	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.948	45869.406	88.597	2.1	0.8	1.9
211	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.88	45869.47	88.588	1.2	0.3	0.2
212	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.947	45868.777	88.566	1.7	0.4	0.6
213	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.444	45868.493	88.594	0.9	0.2	0.1
217	石器	石核	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.905	45867.327	88.626	2.2	1.5	5.0
220	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.632	45870.19	88.569	1.0	0.3	0.1
222	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.879	45869.889	88.523	2.0	0.6	1.0
223	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.665	45869.922	88.532	2.1	0.4	1.0
224	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.498	45870.189	88.454	1.0	0.2	0.1
225	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.894	45871.474	88.451	0.7	0.2	0.1
227	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.182	45870.887	88.486	2.5	0.7	1.8
228	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.881	45868.619	88.565	1.0	0.4	0.2
230	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.136	45867.616	88.603	3.0	0.5	1.8
233	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9542.778	45867.395	88.598	1.1	0.3	0.3
237	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9542.121	45867.096	88.565	1.7	0.4	0.7
239	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.937	45868.758	88.558	1.6	0.6	0.6
240	石器	纏石刃	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.134	45867.662	88.599	0.8	0.1	0.1
243	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.132	45869.599	88.562	1.3	0.2	0.1
246	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.425	45866.722	88.596	1.0	0.1	0.1
247	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9540.777	45866.722	88.596	1.7	0.5	0.9
249	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9540.237	45869.012	88.559	2.0	0.3	0.6
250	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.838	45870.795	88.589	1.5	0.4	0.5
251	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.32	45872.809	88.505	1.1	0.3	0.2
254	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.842	45873.853	88.492	1.2	0.3	0.2
261	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.438	45874.591	88.487	1.7	0.4	0.5
262	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.427	45874.567	88.499	1.4	0.3	0.3
266	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.422	45875.182	88.501	0.8	0.1	0.1
269	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.189	45875.218	88.448	1.2	0.2	0.1
270	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.094	45875.246	88.446	1.1	0.2	0.1
273	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.431	45875.629	88.492	0.9	0.1	0.1
274	石器	剥片	V1b	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.301	45875.91	88.441	0.8	0.1	0.1

第7表 後期旧石器時代Ⅱ期未図化遺物一覧(2) (桑ノ木津留産黒曜石)

取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点			法量		備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	
275	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.545	45875.763	88.477	1.0	0.1	0.1
276	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.839	45875.608	88.502	0.9	0.1	0.1
279	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.043	45875.679	88.494	0.7	0.1	0.1
280	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.432	45875.228	88.503	1.3	0.3	0.1
281	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.856	45875.301	88.458	1.0	0.2	0.1
286	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.237	45875.993	88.498	1.0	0.2	0.1
295	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.433	45876.722	88.463	1.2	0.2	0.1
296	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.384	45876.638	88.419	0.9	0.1	0.1
298	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.66	45878.457	88.367	1.0	0.3	0.1
305	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.006	45877.103	88.422	0.9	0.1	0.1
309	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.447	45876.703	88.471	1.3	0.3	0.3
314	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.841	45876.4	88.485	1.0	0.1	0.1
317	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.167	45876.041	88.512	1.4	0.1	0.1
323	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.167	45878.514	88.43	1.0	0.2	0.1
325	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.769	45878.298	88.372	1.8	0.7	0.9
327	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.83	45878.714	88.355	2.1	0.3	0.6
348	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.128	45877.296	88.39	1.0	0.1	0.1
351	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.336	45876.796	88.398	1.7	0.2	0.2
356	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.369	45876.5	88.432	0.8	0.1	0.1
357	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.278	45876.605	88.446	0.6	0.1	0.1
359	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.975	45876.777	88.424	0.8	0.1	0.1
363	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.286	45876.72	88.425	0.7	0.1	0.1
376	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.74	45876.198	88.465	0.7	0.3	0.1
379	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.293	45875.869	88.471	0.5	0.1	0.1
393	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.74	45879.093	88.353	0.4	0.1	0.1
404	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.539	45880.237	88.184	2.5	0.8	1.5
408	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.594	45880.862	88.075	2.0	0.6	1.4
409	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.682	45880.576	88.153	1.4	0.3	0.2
411	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.972	45880.093	88.228	0.8	0.1	0.1
416	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.648	45879.161	88.179	1.2	0.3	0.3
422	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.385	45877.792	88.286	1.7	0.3	0.3
434	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.36	45878.193	88.376	0.9	0.1	0.1
446	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.763	45877.927	88.38	1.6	0.9	1.5
454	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.678	45877.391	88.35	0.7	0.1	0.1
469	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.792	45873.93	88.508	0.7	0.1	0.1
471	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.108	45874.221	88.399	1.2	0.4	0.4
474	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.458	45872.397	88.492	1.0	0.1	0.1
475	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.587	45872.615	88.463	1.5	0.4	0.5
476	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.517	45871.151	88.504	1.1	0.2	0.1
481	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.729	45871.491	88.567	1.0	0.2	0.1
484	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.386	45871.223	88.515	1.0	0.1	0.1
487	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.432	45870.347	88.527	1.4	0.5	0.6
491	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.972	45869.292	88.473	1.9	0.7	1.1
493	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.317	45868.934	88.583	1.2	0.2	0.2
495	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.611	45869.732	88.458	1.0	0.1	0.1
504	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.046	45865.781	88.631	2.1	0.4	0.4
508	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.492	45865.382	88.672	0.9	0.1	0.1
524	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.718	45860.85	88.679	2.0	0.5	1.2
527	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.375	45861.173	88.649	1.5	0.5	0.7
534	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.243	45862.149	88.67	1.0	0.1	0.1
536	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.675	45862.858	88.672	1.1	0.2	0.1
538	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.394	45861.545	88.702	1.1	0.3	0.2
545	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.374	45862.601	88.699	1.4	0.7	0.5
546	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.206	45862.916	88.694	1.8	0.4	0.2
568	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.865	45865.804	88.573	1.1	0.1	0.1
587	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.707	45868.51	88.569	2.0	0.6	0.6
590	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.738	45869.497	88.542	2.0	0.9	2.3
599	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.673	45869.673	88.515	1.5	0.3	0.3
601	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.833	45870.107	88.526	1.6	0.6	0.8
604	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.439	45870.354	88.566	0.5	0.3	0.1
605	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.446	45870.466	88.579	2.0	0.6	1.6
608	石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.428	45869.117	88.519	0.7	0.2	0.1
2079	石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.457	45872.487	88.357	1.5	0.6	0.6
2089	石器	剥片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.821	45865.798	88.552	2.7	0.8	2.7
2091	石器	核	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.92	45865.898	88.654	2.5	0.7	3.5

第8表 後期旧石器時代Ⅱ期末図化遺物一覧(3) (桑ノ木津留産黒曜石)

取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	
2097 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9540.501	45853.448	88.492	2.0	0.2	0.5	-	
2245 石器	石核	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95472.809	45821.291	88.781	2.7	1.1	6.5	-	
2271 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.564	45850.875	88.353	0.8	0.1	0.1	-	
2297 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95487.54	45851.264	88.363	2.0	0.6	0.6	-	
2311 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9562.541	45817.176	88.287	0.8	0.1	0.1	-	
2341 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9565.584	45816.471	88.26	2.0	0.3	0.1	-	
2445 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95448.77	45877.947	88.727	1.3	0.1	0.1	-	
2448 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.614	45876.465	88.584	1.4	0.6	0.7	-	
2460 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.109	45869.478	88.973	1.0	0.5	0.3	-	
2467 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.513	45876.835	88.684	1.5	0.2	0.2	-	
2490 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.972	45876.705	88.648	1.2	0.1	0.1	-	
2507 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.237	45877.512	88.619	0.8	0.1	0.1	-	
2517 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.108	45878.144	88.552	1.2	0.4	0.2	-	
2521 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-95447.237	45876.471	88.557	1.4	0.3	0.3	-	
2523 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.094	45876.987	88.405	1.3	0.3	0.5	-	
2535 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.528	45875.813	88.711	0.6	0.1	0.1	-	
2537 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.407	45876.363	88.717	0.9	0.1	0.1	-	
2546 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9563.263	45860.687	88.847	0.6	0.1	0.1	-	
2671 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.127	45876.099	88.654	1.9	0.3	0.6	-	
2672 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.101	45875.933	88.658	2.4	0.5	1.4	-	
2673 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.158	45875.777	88.662	1.4	0.2	0.2	-	
2674 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.586	45876.127	88.598	1.2	0.1	0.1	-	
2678 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.038	45876.366	88.414	1.3	0.1	0.1	-	
2698 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9565.824	45859.928	88.828	1.2	0.3	0.1	-	
2706 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.844	45873.225	88.743	1.2	0.2	0.1	-	
2709 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.921	45876.483	88.647	1.1	0.1	0.1	-	
2710 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.977	45876.432	88.664	0.8	0.1	0.1	-	
2711 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.849	45875.928	88.627	0.7	0.2	0.1	-	
2716 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.009	45877.033	88.588	0.9	0.1	0.1	-	
2730 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.308	45875.836	88.588	0.9	0.3	0.1	-	
2732 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.955	45876.605	88.53	2.0	0.7	1.3	-	
2733 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.861	45876.013	88.602	1.4	0.5	0.3	-	
2802 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.531	45875.077	88.648	1.3	0.4	0.3	-	
2803 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.102	45874.714	88.631	1.2	0.3	0.1	-	
2806 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.435	45875.101	88.592	0.9	0.2	0.1	-	
2807 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.353	45875.184	88.588	0.5	0.1	0.1	-	
2810 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.148	45875.998	88.857	0.7	0.1	0.1	-	
2812 石器	石核	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.584	45875.451	88.573	3.1	1.2	7.5	-	
2818 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.243	45875.584	88.591	0.7	0.1	0.1	-	
2819 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.041	45875.702	88.548	2.0	0.6	1.4	-	
2836 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.094	45875.722	88.592	0.6	0.1	0.1	-	
2854 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.438	45795.547	88.468	1.5	0.3	0.2	-	
2858 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.536	45795.36	88.496	1.8	0.5	0.7	-	
2867 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.338	45790.872	88.818	1.6	0.4	0.6	-	
2868 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.866	45804.369	88.845	1.0	0.2	0.1	-	
2897 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.943	45874.554	88.662	1.3	0.2	0.1	-	
2899 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.401	45874.517	88.812	0.8	0.1	0.1	-	
2900 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.224	45874.748	88.804	1.1	0.1	0.1	-	
2902 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.445	45875.799	88.754	1.6	0.2	0.1	-	
2911 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.624	45875.942	88.687	1.0	0.1	0.1	-	
2915 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.935	45875.516	88.731	2.0	0.2	0.5	-	
2916 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.096	45875.918	88.621	1.1	0.3	0.1	-	
2917 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9540.063	45876.892	88.553	1.7	0.2	0.2	-	
2922 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.751	45870.547	88.889	1.5	0.3	0.2	-	
2923 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.83	45870.412	88.993	1.1	0.2	0.1	-	
2924 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.917	45870.341	88.997	1.1	0.3	0.1	-	
2925 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.937	45869.223	88.995	1.6	1.0	1.4	-	
2927 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.036	45867.919	88.967	0.9	0.2	0.1	-	
2929 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9543.519	45874.533	88.797	1.3	0.2	0.2	-	
2965 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.409	45875.681	88.729	1.2	0.1	0.1	-	
2996 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.534	45875.781	88.727	1.3	0.2	0.2	-	
2997 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.929	45876.208	88.736	1.0	0.1	0.1	-	
3000 石器	石核	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.203	45876.024	88.675	1.9	1.0	1.8	-	
3004 石器	刮片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.449	45874.542	88.794	1.4	0.2	0.2	-	
3006 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.726	45874.206	88.844	1.1	0.1	0.1	-	
3007 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.722	45874.507	88.816	1.0	0.1	0.1	-	
3011 石器	細石刃	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.489	45875.157	88.759	1.0	0.2	0.1	-	
3025 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.294	45854.521	88.752	0.9	0.1	0.1	-	
3026 石器	砂片	Vtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.348	45862.643	88.795	1.1	0.3	0.2	-	

第9表 後期旧石器時代Ⅱ期末図化遺物一覧(4) (桑ノ木津留産黒曜石)

取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点			法量		備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	
3027	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.339	45669.627	88.689	0.7	0.1	0.1
3034	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.913	45872.63	88.631	0.9	0.1	0.1
3038	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.797	45874.169	88.598	0.9	0.1	0.1
3044	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.064	45874.728	88.542	0.6	0.1	0.1
3046	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.828	45873.8	88.596	1.2	0.2	0.1
3047	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.735	45871.993	88.636	1.2	0.2	0.1
3048	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.771	45873.624	88.621	1.1	0.1	0.1
3049	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.434	45873.461	88.599	0.7	0.1	0.1
3050	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.256	45873.731	88.597	1.1	0.1	0.1
3051	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.242	45873.909	88.597	1.1	0.3	0.2
3052	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.63	45873.491	88.639	1.2	0.2	0.2
3063	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.544	45873.42	88.63	1.0	0.1	0.1
3064	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.453	45872.768	88.626	1.2	0.2	0.1
3059	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.627	45869.951	88.987	1.1	0.2	0.2
3145	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9549.723	45871.141	88.942	2.1	0.5	0.9
3148	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9540.576	45860.354	88.982	1.6	0.4	0.7
3156	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9542.985	45795.757	88.597	1.1	0.2	0.2
3377	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9587.473	45783.911	88.834	0.9	0.2	0.1
3379	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9585.371	45783.456	88.95	0.8	0.1	0.1
3400	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9584.911	45780.565	88.815	1.8	0.3	0.5
3401	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9584.209	45778.91	88.775	1.5	0.4	0.5
3404	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9581.716	45778.095	88.808	1.3	0.3	0.3
3405	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9554.091	45836.086	88.883	1.2	0.2	0.2
3406	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9554.988	45836.487	88.823	1.0	0.2	0.1
3413	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9530.818	45835.246	88.996	1.6	0.3	0.3
3414	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9531.516	45834.835	88.957	1.4	0.2	0.1
3415	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9530.992	45832.979	88.917	0.9	0.1	0.1
3421	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9529.281	45825.46	88.889	1.6	0.3	0.3
3423	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.109	45852.727	88.615	2.1	0.2	0.5
3425	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.499	45851.97	88.621	0.9	0.2	0.1
3426	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.597	45851.841	88.618	0.6	0.2	0.1
3440	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.763	45850.903	88.625	0.7	0.1	0.1
3443	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.718	45850.937	88.66	1.2	0.2	0.2
3445	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9567.031	45851.403	88.649	1.0	0.1	0.1
3466	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.718	45850.29	88.669	1.3	0.2	0.2
3467	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9567.322	45850.355	88.67	0.7	0.1	0.1
3481	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9566.907	45849.902	88.702	0.7	0.1	0.1
3483	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9566.622	45849.36	88.691	1.2	0.2	0.2
3505	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9566.308	45850.297	88.706	0.6	0.1	0.1
3514	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9566.765	45851.846	88.533	0.9	0.1	0.1
3522	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9565.923	45851.954	88.515	0.9	0.3	0.1
3526	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9565.113	45851.837	88.721	0.8	0.2	0.1
3527	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.462	45851.647	88.775	1.0	0.1	0.1
3528	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.633	45850.796	88.701	0.8	0.1	0.1
3530	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.158	45851.106	88.729	0.9	0.1	0.1
3531	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.241	45851.171	88.713	1.0	0.1	0.1
3532	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.977	45851.147	88.773	0.8	0.2	0.1
3534	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9564.574	45851.219	88.748	1.5	0.3	0.3
3535	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.377	45851.888	88.748	0.6	0.1	0.1
3536	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.427	45850.65	88.744	0.8	0.1	0.1
3537	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.256	45850.562	88.748	1.0	0.1	0.1
3544	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.287	45849.288	88.732	0.7	0.1	0.1
3548	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9542.112	45849.404	88.763	1.3	0.4	0.6
3553	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.397	45849.136	88.857	2.8	0.6	1.1
3554	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.608	45849.108	88.861	1.0	0.2	0.1
3618	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.822	45867.749	88.549	0.6	0.1	0.1
3622	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9541.837	45861.878	88.682	1.1	0.2	0.1
3635	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9544.061	45867.912	88.609	1.1	0.2	0.1
3636	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9548.615	45868.032	88.698	1.1	0.5	0.3
3637	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.427	45859.357	88.693	1.7	0.8	0.7
3652	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.491	45850.126	88.675	0.7	0.2	0.1
3653	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.135	45850.099	88.693	0.8	0.1	0.1
3657	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.095	45849.486	88.691	0.6	0.1	0.1
3666	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.716	45850.555	88.736	1.3	0.2	0.1
3785	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.123	45868.186	88.522	0.6	0.2	0.1
3786	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9546.343	45866.326	88.529	0.8	0.1	0.1
3820	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.648	45850.836	88.863	0.9	0.1	0.1
3821	石器	剥片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9547.203	45849.161	88.917	1.0	0.2	0.2
3822	石器	細石刃	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9545.849	45846.104	88.825	0.8	0.1	0.1
3831	石器	砂片	Mtb	桑ノ木津留産黒曜石	-9542.175	45867.323	88.696	0.8	0.2	0.1

第10表 後期旧石器時代Ⅱ期末図化遺物一覧(5) (桑ノ木津留産黒曜石)

第4節 繩文時代早期の遺構と遺物

1 概要

縄文時代早期の遺構と遺物は、A区の北半部、特に北側の開析谷と接する部分で検出された。縄文時代早期を対象とする調査面積は約6,100m²である。

遺構は集石遺構32基、遺物は縄文時代早期土器、石鏃やスクレイパー等の石器で、それらの検出層位は主に第V層および第VI a層である。

集石遺構はおもに散疊中に含まれ、散疊を除去してようやく認識できた場合が多い。

この散疊の構成疊は第V層下部付近から散見され始めるが、第VI a層上面付近になると濃密になる。遺物も同様で、第V層下層より剥片や碎片が検出されはじめ、第VI a層上面付近から第VI a層中にかけて密に出土する傾向が強い。

なお、散疊や集石遺構以外に、炉穴や陥し穴状遺構などの遺構は検出されなかった。

2 散疊と集石遺構

〔散疊〕

第IV層を除去し、第V層を精査すると、大きく2箇所の疊集中区が現れた。こうした広範囲に一様に散乱している疊の広がりを「散疊」とした。

散疊の内で、周辺疊より集中する、ある程度のまとまりをなす箇所や散疊以外の場所であるまとまりを持って疊が密に集中する箇所を「集石遺構」とした。

散疊は、大きく2箇所で検出され、調査区北辺中央寄りの集石遺構群1（S I 1・16・22~24・31・32）と、調査区北東端（S I 6~9、17~20、25~30）の集石遺構群2に伴うと考えられる。

ここでは、前者を散疊1、後者を散疊2と呼称する。なお、この散疊1および2については調査の都合上、図化等は実施していない。

散疊1は、疊が一面に薄く広がっていた。全体的に散漫で、いわばアーバー状の広がりを示し範囲が一様には捉えがたかった。そのなかに疊が円形に集中する、密な部分があり、これを集石遺構と認識された。

散疊の疊は、尾鈴山酸性岩類と砂岩等が中心で、赤化の著しい等、親指大に割れた破碎疊が主体であった。

散疊2の疊は、散疊1と同様に広がるが、特に北東側の調査区端に向かって厚く密に堆積していた。

散疊の検出状況時の表面観察では集石遺構の存在は不明確で、厚く堆積した疊を除去してようやく認識できた。從って集石遺構と認識できずに破壊した場合があり、実際の基数は多いと考えられる。

疊は、尾鈴山酸性岩類が中心で、平面形は円疊状、棒状である。散疊1の疊より大きい拳大であった。また、然による赤変を受けていない疊が比較的多い。

〔集石遺構〕

縄文時代早期の集石遺構は31基を数える。S I 3は第II層上面で検出された縄文時代中期の集石遺構と判断されるので、ここでは取り上げない。

集石遺構は、散疊内や散疊以外の箇所で検出されたが、明確にその輪郭を確かめられた層位は、第IV層上面である。

集石遺構は、A区北側調査区境界（解析谷との接点）に沿って、いくつかのまとまりを成しながら東西に展開しているように認識できる。また、このまとまりは集石遺構2~6基で構成する東、中央、西の3つの群とも読み取れる。

しかし、この散疊や集石遺構が検出された箇所は第VI層まで掘削される後世の擾乱（縄文時代や古墳時代の土坑や堅穴住居跡）が比較的薄い部分であった。

これらの検出された散疊や集石遺構は、辛うじて免れた遺構群であり、從って本来の一部分しか示していないと考えるのが妥当であろう。

本遺跡における集石遺構については、集石遺構の特徴、すなわち「掘り込みの有無」と「底石（配石）の有無」で注目して大きく3つに分類して掲載した。また、疊の集中範囲や掘り込みの「直径（大きさ）」の関連性を把握するため、各分類を細分した。

分類と分類基準

I類：掘り込み、底石（配石）のないもの

II類：掘り込みはあるが、底石（配石）はない

III類：掘り込み、底石（配石）もあり

I類：（S I 8, 10, 11, 13, 15~17, 20, 21, 27~31）

疊は、散疊中および散疊外の地点で周辺より密に集中しているが、掘り込みや底石（配石）を持たないも

のである。炭化物や熱による赤変を受けた礫(赤化礫)は比較的少なかった。

石材は砂岩、ホルンフェルスおよび尾鈴山酸性岩などが用いられる。

礫集中域の直径(短径と長径の平均値)から4タイプに細分した。

- ① I-a類: 直径0.5~0.7m
- ② I-b類: 直径0.8m
- ③ I-c類: 直径1.2m
- ④ I-d類: 直径1.4m
- ⑤ I-e類: 直径2.1m

① I-a類 (S I 10, 13)

S I 10 (第23図)

A区東側半部の西よりで検出された集石造構である。単独で存在し、近接する集石造構がない。礫集中箇所の直径は0.7mで、径約5~10cm程度の円礫や角礫が集まって構成する。炭化物は検出されていない。礫の総重量は22kgである。

S I 13 (第23図)

A区東側半部の南よりで検出された集石造構である。S I 13~15が東西方向に隣接する集石造構群中のひとつである。

径約5cm程度の角礫で構成する礫集中箇所の直径は0.5~0.8mを測る。礫の集中度合いはS I 10より散漫で、S I 14に伴う使用前の礫(準備礫)や使用後の礫(廢棄礫)の置かれた場所と想定される。

また、約1~5mm大の炭化物が検出面および理土中に散漫に出土した。赤変した礫も全体的に多くみられた。礫の総重量は18kgである。

② I-b類 (S I 11, 16, 21, 27, 28, 30)

S I 11 (第23図)

A区西側半部の南よりで検出された集石造構である。単独で存在し、近接する集石造構がない。礫集中箇所の直径は0.8mで、径約5~15cm程度の円礫や角礫が集まって構成する。

礫は密に集中し、礫の石材はホルンフェルスを中心としている。一方、赤変した礫は僅かで、炭化物は検出されていない。礫の総重量は、47kgである。

S I 16 (第23図)

散礫2中の南西隅にある。礫集中箇所の直径は0.8mを測り、径約10~15cm程度の角礫が集まって構成する。尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする石材が使用され、礫は比較的密に集中していた。赤変した礫や炭化物は検出されなかった。

なお、礫の総重量は、51kgであった。

S I 21 (第23図)

A区西側半部の北よりで検出された集石造構である。やや離れた箇所にS I 4・2が位置する。

礫集中箇所の直径は0.8mで、径約5cm程度の角礫を主体として、約10cm程度の少數の円礫で構成される。礫の石材は尾鈴山酸性岩と砂岩が主で、赤変、破碎した礫は砂岩の場合が多い。炭化物は検出されていない。礫の総重量は、19kgである。

S I 27 (第23図)

散礫2内に北側にある集石造構である。S I 28は北側に近接している。散礫2を除去した下から検出された。

径約10~15cm程度の円礫と角礫が集まって構成する。礫集中箇所の直径は0.8mを測り、尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする石材が使用されている。礫の総重量は、39kgである。

炭化物は検出されず、赤変した礫が礫集中範囲の周縁部に散在していた。

S I 28 (第23図)

散礫2内の北側に位置し、S I 27は南側に近接している。散礫2を除去した下から検出された。

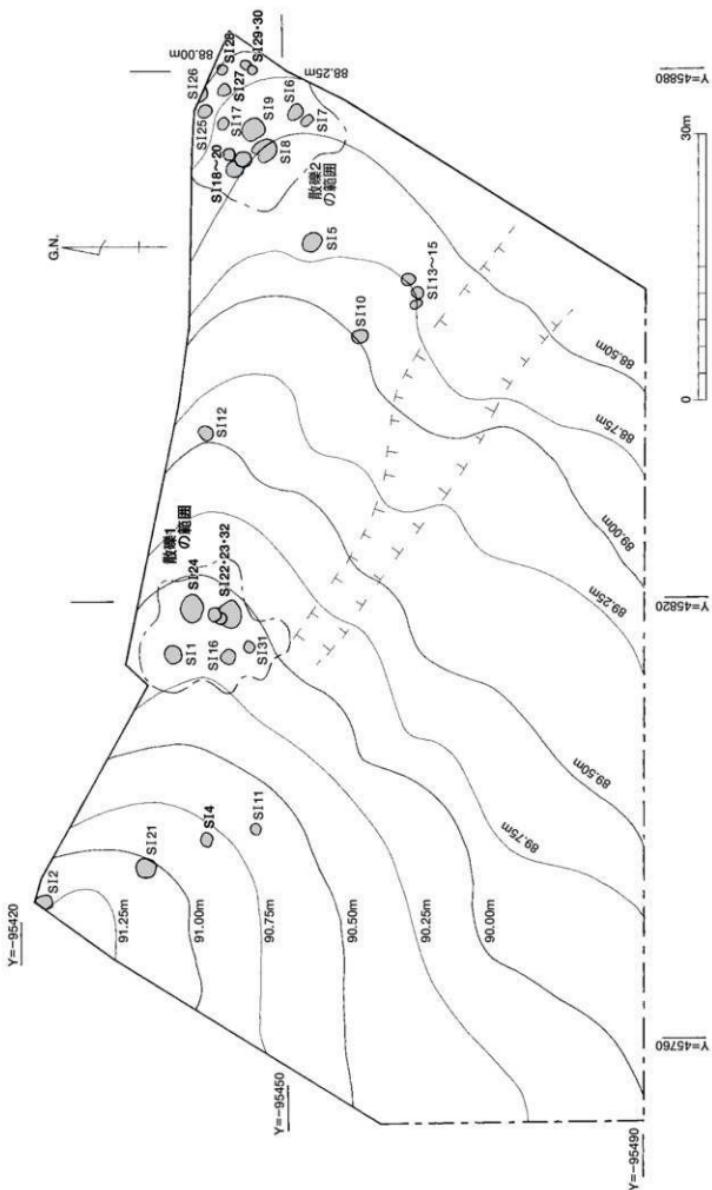
礫集中箇所の直径や石材等の諸特徴はS I 27と近似しているが、大きさ約10~15cm程度の礫の割合がやや多い。礫の総重量は、37kgである。

S I 30 (第23図)

散礫2内の東端にある。南側のS I 30と切りあい関係(重なり合い)を示し、その前後関係はS I 29に後出する。散礫2を除去した下から検出された。礫集中箇所の直径は0.8mを測り、径約10~15cm程度の円礫と角礫が集まって構成される。石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする。円礫は頁岩の場合が多くかった。

炭化物は検出されず、赤変した礫が礫集中範囲の中

第22図 細文時代早期集石遺構分布図 (S = 1/500)



心に散在していた。礫の総重量は、31kgである。

③ I-c 類 (S I 20, 29, 31)

S I 20 (第23図)

散礫 2 の西端にある集石造構のひとつである。東側の S I 19 と切りあい関係を示し、S I 19 に前出する。散礫 2 を除去した下から検出された。

礫集中箇所の直径は1.2mを測り、径約5~10cm程度の角礫と15cm程度の円礫で構成される。石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする。円礫の場合は頁岩が多い。礫の総重量は28kgである。

極めて微小な炭化物が埋土中および検出面でまばらに検出されたが、赤変した礫は認められなかった。

S I 29 (第23図)

散礫 2 の東端に位置する。散礫 2 を除去した下から検出された。北側にある S I 30 とは前出する切りあい関係（重なりあり）を示す。礫集中箇所の直径は1.2mを測り、径約5~10cm程度角礫が集まって構成される。礫の総重量は、24kgである。

石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする。炭化物は検出されず、赤変した礫もみられない。

S I 31 (第23図)

散礫 1 内の南端に位置する。S I 16 の南側に位置する。径約10~20cmのやや大きめの角礫が集まって構成する。

礫集中箇所の直径は1.2mを測り、尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする石材が使用されている。赤変した礫は中心部に比較的集中していたが、炭化物は検出されなかつた。礫の総重量は、36kgである。

I-d 類 (S I 15, 17)

S I 15 (第23図)

A 区東側半部の南よりで検出された集石造構である。S I 13~15 が東西方向に隣接する集石造構群中のひとつで、その東端に位置する。

礫集中箇所の直径は1.4mを測り、径約5cm程度の角礫と約10~15cmの円礫で構成される。

礫集中の度合いや石材構成、赤変の状況や炭化物の検出状況などは S I 13 と同様な方を示す。S I 13 と同じく、隣接する S I 14 に伴う使用前の礫（準備礫）や使用後の礫（廃棄礫）の置かれた場所と想定される。

礫の総重量は、16kgである。

S I 17 (第23図)

散礫 2 内の西側にある。北側に S I 25、南に S I 9 が近接する。散礫 2 を除去した下から検出された。礫集中箇所の直径は1.4mを測り、径約5~10cm程度の角礫と15cm程度の円礫で構成され、密に集中している。礫の総重量は、41kgである。

石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする。円礫の場合は頁岩が多い。

極めて微小な炭化物が埋土中および検出面でまばらに検出され、赤変した礫は礫集中域全体にまばらに広がる。

④ I-e 類 (S I 8)

S I 8 (第23図)

散礫 2 内の西側に存在し、散礫 2 検出時点でもその存在が明瞭であった。北側に S I 9 と S I 18~20 が近接する。

礫集中箇所の直径は2.1mを測り、径約5~10cm程度の角礫と円礫で構成され、礫集中域の周縁では径10cm前後の角礫と円礫が密に、中心部では赤変の著しい細かく破碎された5cm前後の角礫が疎らに広がる。礫の総重量は、91kgである。

石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスと砂岩を主体とし、赤変や破碎の著しい礫は砂岩の場合が多い。

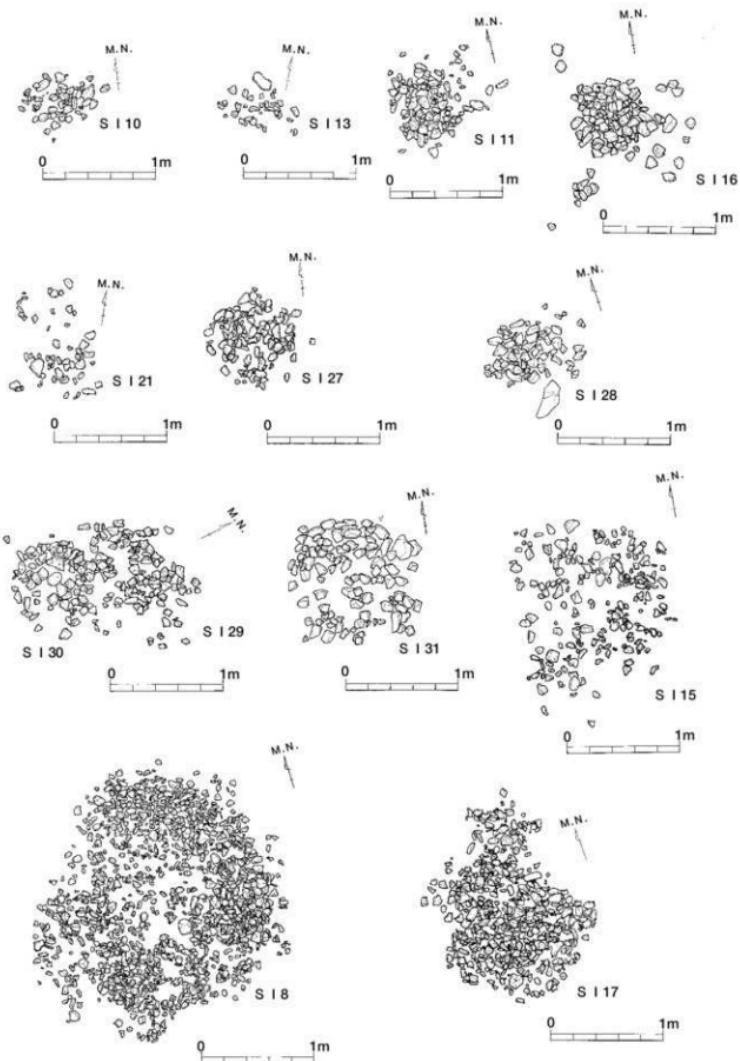
礫集中域の中心部の検出面と埋土中から径5mm前後の炭化物がやや密に検出された。

Ⅱ類 (S I 1, 2, 4~7, 9, 12, 14, 18~19, 23, 25, 26, 32)

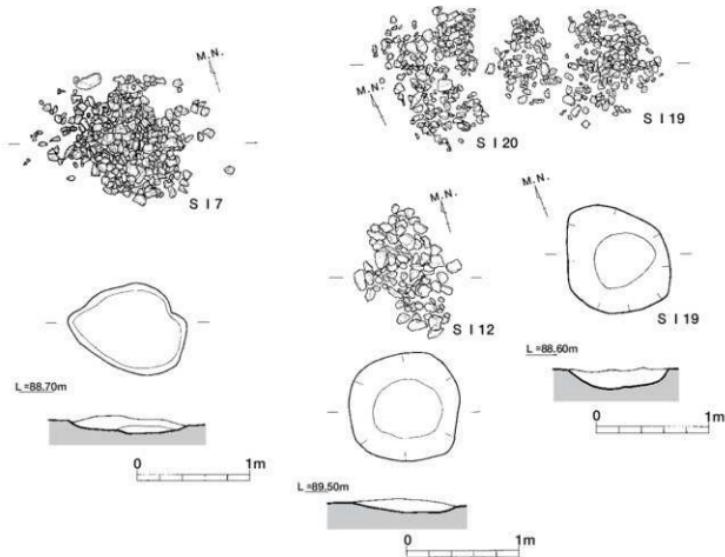
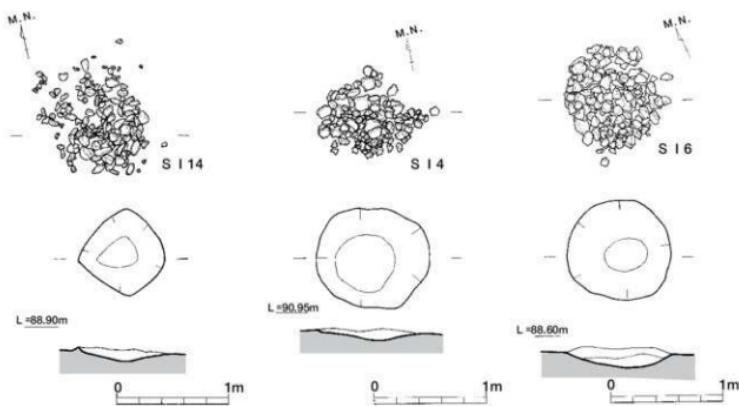
礫が周辺よりも密に集中する箇所のうち、掘り込みを有するが、底石（配石）を持たないものである。

掘り込み平面形は円形、楕円形を基調とする。掘り込みの断面形はスリバチ状で、検出面から底面までの深さは0.2m前後とほぼ一定している。

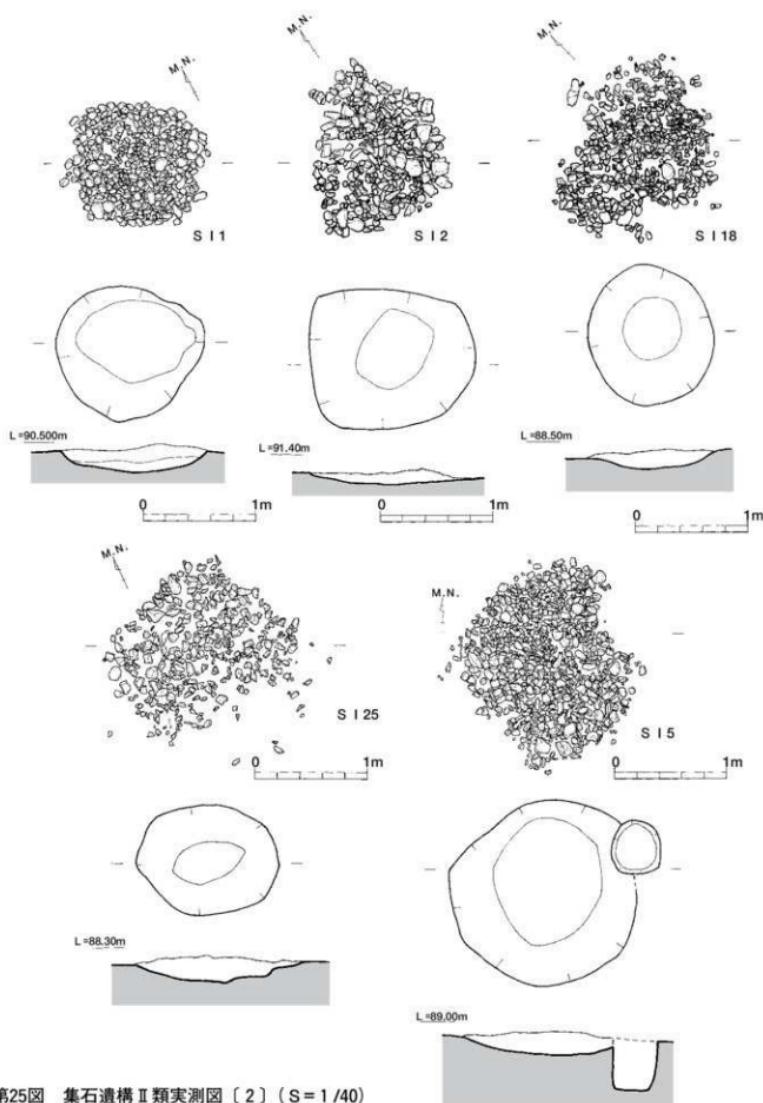
礫と掘り込み埋土と関係は、掘り込みの上面に礫が集中し、その下面是埋土となる、礫は掘り方埋土中に一様に存在する、礫は掘り方内に密に充填される場合が確認された。



第23図 集石遺構 I 類実測図 (S = 1/40)



第24図 集石遺構Ⅱ類実測図〔1〕(S=1/40)



第25図 集石遺構Ⅱ類実測図〔2〕(S=1/40)

また、掘り方埋土はきめの細かく、やや粘性の強い黒色土で炭化物や焼土粒が混入している。

礫が検出面から I 類に比べ炭化物や熱による赤変を受けた礫（赤化礫）が多い。

石材は砂岩、ホルンフェルスおよび尾鈴山酸性岩などが用いられる。

掘りかたの直径（短径と長径の平均値）から 4 タイプに細分した。

- ① II-a 類：直径0.8m
- ② II-b 類：直径1 m前後
- ③ II-c 類：直径1.3~1.5m
- ④ II-d 類：直径1.8~2 m

① II-a 類（S I 14）

S I 14（第24図）

A区東側半部の南よりで検出された。S I 13~15が東西方向に隣接する集石造構群中のひとつで、その中央に位置する。その両端に掘り込みを持たない S I 13・14が近接する。

礫集中箇所の直径は約 1 m、掘りかたの直径は約 0.8 m を測り、径約 5 cm 程度の角礫と約 10~15 cm の円礫で構成される。礫は掘り込み面レベルで面的に集中している。礫の総重量は 43 kg である。

石材は、S I 13・14 と同様だが、礫集中箇所の中心部は著しい赤変を示し、検出面と埋土中から約 1~5 cm 大の炭化物が少量検出された。

② II-b 類（S I 4, 6, 7, 12, 19, 23, 32）

S I 4（第24図）

A区西側半部の南よりで検出された集石造構である。北側に掘り込みを持たない S I 21、南に S I 11 が位置する。

礫集中箇所の直径は約 1 m、掘りかたの直径も約 1 m を測る。礫は掘り方底面に薄く張り付く形態で検出された。中心部に径約 10~15 cm の円礫が、その周辺に径約 5 cm 内外の赤変著しい角礫が広がる。

石材はホルンフェルスと尾鈴山酸性岩山を中心としている。礫の総重量は、41 kg である。

なお、炭化物は検出されていない。

S I 6（第24図）

散礫 2 内に位置する。北側に S I 6 が近接する。散礫 2 の南側縁辺付近にあたる。

礫集中箇所の直径は 1 m 前後、掘りかたの直径も約 1 m を測る。径約 10 cm 程度の比較的大きさのまとまりのある角礫で構成され、密に集中している。

礫は掘り込み面レベルで面的に集中し、下面に埋土が流入している。

石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする。また、極めて微小な炭化物が埋土中および検出面でやや密に検出されたが、赤変した礫は認められない。礫の総重量は、41.5 kg である。

S I 7（第24図）

集石造構群 2 のひとつで、南側に S I 7 が近接する。

礫集中箇所の直径は 1.5 m 前後、掘りかたの直径は約 1 m を測る。掘り方平面形はやや不整形をなす。礫は掘り方内に密に詰まっていた。その他の特徴は S I 6 と同様である。礫の総重量は、44 kg である。

S I 12（第24図）

調査区北端中央に位置する集石造構である。東側の集石造構群（S I 6 ~ 9、17~20、25~30）と西側の集石造構群（S I 1・16・22~24・31・32）のはば等距離の地点にある。

S I 12 を中心として直径約 3~5 m の範囲で礫が疎らに点在していた。

礫集中箇所の直径は 1 m 前後、掘りかたの直径も約 1 m を測る。径約 5 cm と 10~15 cm の角礫と円礫で構成され、多くは掘り込み底面付近に集中する。

石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とし、部分的に赤変する礫がわずかに認められた。礫の総重量は、37 kg である。炭化物は検出されなかった。

S I 19（第24図）

散礫 2 内の西端にある。西側の S I 20 と切りあい関係を示し、S I 20 に後出する。

礫集中箇所の直径は約 1 m、掘りかたの直径は約 0.9~1 m を測る。径約 5~10 cm 程度の角礫と円礫で構成される。礫の総重量は、36 kg である。

礫集中域の中心部は赤変の著しい破碎した礫が多い。また礫は掘り込み内に満遍なく入っている。

石材の特徴は S I 20 と同様である。炭化物は検出さ

れていない。

S I 23・32（第27図）

散礫1内の東南隅に位置する。後述する掘り込みを有し底石（配石）を持つS I 22、S I 23とS I 32がともに切りあう関係を示す。その前後関係はS I 22→S I 32→S I 23の順となる。

S I 23・32ともに礫集中箇所の直径は約1m、掘りかたの直径は約1m前後を測る。

両造構とも径約5cm以下と約10cmの角礫が集まって構成する。

石材はホルンフェルスと砂岩が主体となり、礫集中範囲の周縁は約10cm、中心部では約5cm以下の赤変の著しい破碎された礫が多い。

礫は掘り込み面レベルにおいて面的に広がっている。また、中心部にはタールのつく礫も多い。炭化物は約1cm前後のものが検出面と掘り方埋土中から検出されている。礫の総重量は、S I 23が47kg、S I 32は45kgである。

なお、S I 23の構成礫に混じって台石が1点出土した（第28図50）。珪質の頁岩で暗灰色を呈す。台石中央部は、潰打痕が明瞭に残る。

③ II-c類

S I 1（第25図）

散礫1内の北西隅に位置する。礫群1検出時点で確認された集石造構である。

礫集中箇所の直径は約1.1m、掘りかたの直径は約1.3mを測る。径約5cm以下と約10cm前後の角礫、円礫で構成される。礫の総重量は、89kgである。

石材はホルンフェルス、尾鈴山酸性岩と砂岩が主体で、礫集中域の中心部では砂岩を中心とする約5cm以下の赤変著しく細かく破碎した礫が多い。中心部にはタールのつく礫も多い。

礫は掘りかた内に密に入っていた。炭化物は認められていない。

S I 2（第25図）

調査区北西隅よりで検出された集石造構である。S I 2を中心に周辺には礫が薄く、疎らに直径2~3m四方に散乱していた。

礫集中箇所の直径は約1~1.3m、掘りかたの直径は

約1.2~5mを測る。掘りかたの平面形は円形だが一部圓丸となる。

石材は尾鈴山酸性岩のみで、径約5cm前後と約15cm前後の角礫、円礫で構成される。

また、礫は掘り込み面レベルにおいて面的に広がっており、礫集中域の中心部では赤変著しい礫が多い。一方、タールのつく礫も目立った。なお、炭化物は認められていない。礫の総重量は、54kgである。

S I 18（第25図）

散礫2内の西端に位置する。付近のS I 19・20と近接する。

礫集中箇所の直径は1.5m前後、掘りかたの直径は約1.3mを測る。掘りかたの平面形は梢円形を呈す。径約5~10cm程度の大きさの不ぞろいな角礫と円礫からなる。また、礫は掘り込み面レベルで面的に集中し、下面に埋土が流入していた。礫の総重量は、85kgである。

石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする。炭化物や赤変した礫は認められない。

S I 25（第25図）

散礫2内の北側に位置し、調査区境界付近で検出された集石遺物である。

礫集中箇所の直径は1.6m前後、掘りかたの直径は約1.3mを測る。掘り方の平面形はS I 18と同じ梢円形を呈す。径約5~10cm程度の大きさの不ぞろいな角礫と円礫からなる。

同タイプの集石造構と比べて礫の集中の度合いが比較的散漫である。

赤変した礫は全体的に広がっている。また、礫は掘り込み面レベルで面的に集中し、その下面は埋土が堆積する。礫の総重量は、52kgである。

石材は尾鈴山酸性岩、ホルンフェルス、砂岩および頁岩を主体とする。そのうち砂岩と頁岩の礫は細かく破碎されていた。炭化物は認められていない。

④ II-d類

S I 5（第25図）

調査区東側に位置する集石造構である。北東端の集石造構群（S I 6~9、17~20、25~30）と南側の集石造構群（S I 13~15）のほぼ等距離にある。

S I 5を中心として直径約2~3mの範囲で礫が陳

らに散在していた。

礫集中箇所の直径は1.6~8m前後、掘りかたの直径は約1.7mを測る。集石遺構の一部は古墳時代~古代の柱穴によって失われている。

径約5cm前後と約15cm前後の角礫、円礫で構成される。礫集中域の周縁は径約15cm前後の円礫が、中心部では約5cm前後の赤変、破碎の著しい角礫が密に存在する。礫の総重量は、83kgである。

また、礫は掘り込み面レベルで面的な広がりをみせ、その下面是埋土が堆積する。

石材は尾鈴山酸性岩やホルンフェルスを主体とする。赤変した礫は礫集中域の中心部において、炭化物は掘り方埋土中に認められた。

S I 9 (第26図)

散礫2のひとつで、集石遺構群のはば中心にあたり、平面規模も群内で最大である。周辺にやや小規模の集石遺構が取り巻いている。

礫集中箇所の直径は1.8~2m前後、掘りかたの直径は約2mを測る。掘りかたの平面形はやや不整形な円形である。

径約5cm前後と約10cm前後、15~20cm前後の角礫、円礫で構成される。また、掘りかた内に溝渓なく存在していた。

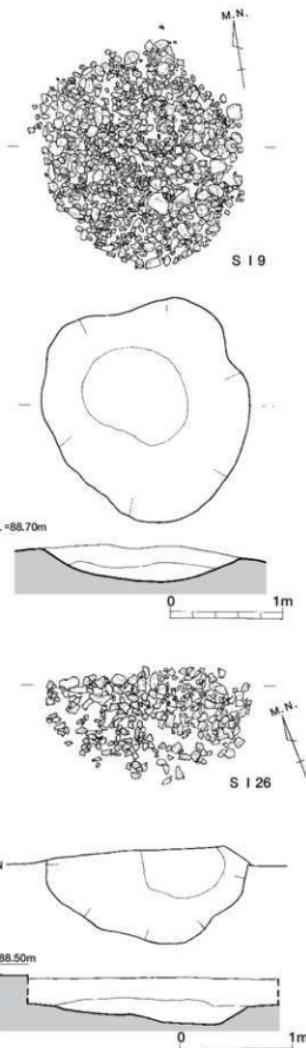
石材は尾鈴山酸性岩、ホルンフェルス、頁岩と砂岩を主体とする。掘りかた埋土中に長さ10cm前後の炭化木片を数点検出された。赤変した礫は全体的に認められた。礫の総重量は、82kgである。

集石遺構内から石錐が1点出土した(第28図49)。チャート製で軸部を欠損している。

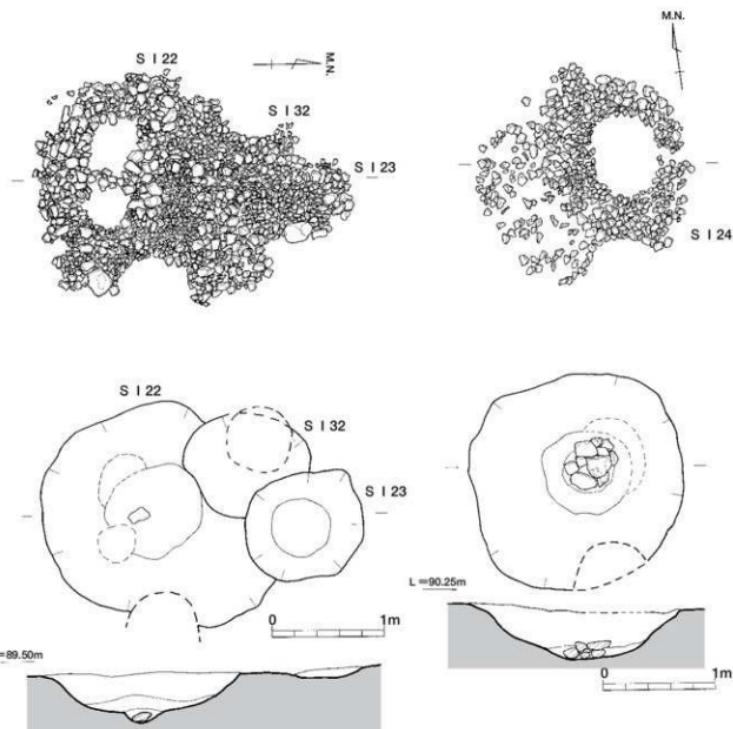
S I 26 (第26図)

散礫2内の北側に位置する。調査区境界付近に位置するため、集石遺構の北半分は未調査である。礫集中箇所の直径は1.8m、掘りかたの直径も同じである。径約5cm前後と約10cm前後の角礫、円礫で構成される。また、礫は掘りかた内に溝渓なく存在していた。

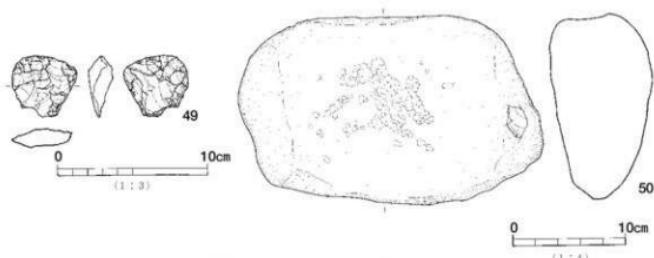
石材は尾鈴山酸性岩、ホルンフェルスと砂岩を主体とする。赤変した礫は数箇所点在しているが、炭化物は検出されていない。礫の総重量は42kgである。



第26図 集石遺構Ⅱ類実測図〔3〕(S=1/40)



第27図 集石遺構Ⅱ類実測図〔4〕(S=1/40)



第28図 集石遺構内出土石器実測図(S=1/3・1/4)

Ⅲ類（S I 22, 24）

礫が周辺よりも密に集中する箇所のうち、掘り込みと底石（配石）を持つタイプである。掘り方の直径は2m前後、その平面形は円形を基調とし、断面形は角の丸い逆台形をなす。

検出面から底面までの深さは0.4~0.45mと他の集石遺構より深めである。掘りかた底面には、一個から数個の扁平な石が置かれている。その他の諸特徴は第Ⅱ類と近似している。

S I 22（第27図）

散礫1の北東側に位置する。この集石遺構とS I 23とS I 32がともに切りあう関係を示す。

礫集中箇所の直径は2m前後、掘りかたの直径は約2~2.3mを測る。古墳時代～古代の掘立柱建物によつて一部破壊されている。

掘りかた底面の中央部をさらに掘り込んで径約0.2m前後の扁平な石を1個配置する。この掘りかたの規模は直径0.3m、深さ0.15mである。礫は掘り方内に密に詰まっていた。

また、遺構検出面で長さ3~5cm前後の炭化木片を10点ほど検出された。

赤変した礫は全体的に認められ、一部タールの付着したものもある。

一方、構成礫の石材や大きさはS I 23・32と同じことからS I 23・32の礫はS I 24のものを再利用したと推測される。礫の総重量は、207kgである。

S I 24（第27図）

散礫1の南東側にある。第Ⅲ類に分類される集石遺構は、この集石遺構群のみに存在する。礫集中箇所の直径は1.8~1.9m前後、掘りかたの直径は約2mを測る。礫中心部は古墳時代～古代の掘立柱建物によつて破壊されている。

掘りかた底面の中央部に径約0.1mと約0.2~0.3m前後の円礫（尾鈴山酸性岩と頁岩）を数個用いて円形に二段ほど積み重ねている。

集石遺構の検出面では礫の集中が密な部分と西側の疎らな部分が認められ、かき出しといった使用時の痕跡を残していると考えられる。

さらに、掘りかた底面付近は炭化物を含む黒色の粘性のある土が5~10cmほど堆積し、それより上位は

礫と埋土の層が交互に堆積しており、複数回の使用も想定される。

構成礫は尾鈴山酸性岩、砂岩、頁岩の径約5cm前後と約10cm前後の角礫、円礫である。

赤変した礫は全体的に認められ、一部タールの付着したものもある。礫の総重量は114kgである。

3 遺物

a) 概要

出土遺物は土器、石器合わせて3,500点近く取り上げた。土器は貝殻条痕文、押型楕円文、繩文土器、無文土器の深鉢片が、石器は打製石礫、石皿、蔽石、台石、磨石、剣片が出土した。

土器は、各型式を含めて14個体前後のみで、ほとんどが、黒曜石やチャートの剥片や碎片であった。全体の出土量に比して土器の占める割合が極端に少ない傾向が認められる。

特に打製石礫は61点と多く出土し、未製品のものが33点ほど見出された。石礫製作が行なわれた可能性が高い。多量に出土した剥片や碎片も、石礫製作に伴う遺物と考えられる。また石礫製作に使用された石材も、頁岩、姫島産黒曜石、日東産黒曜石、チャートと多岐にわたっている。

b) 土 器

【土器の分類】

第V層～第VI a層にかけて、縄文時代早期に位置づけられる土器が出土した。これらは、器形や文様により4分類される。ここでは、分類の基準と根拠を示した上で、若干の説明を加えることにする。

本報告中に掲載した遺物の詳細は、観察表を参照されたい。

I 類土器

外面に貝殻条痕文を有する土器である。全体の器形が把握可能な資料に乏しいが、平口縁で口縁部は、胴部からそのまま開く深鉢形の土器である。

内面は丁寧なナデ調整のみだが、外面は、ナデ調整のあと、櫛状施文具（貝殻腹線か）を「X」字形に斜格子状の施文を施す。

II 類土器

押型楕円文を主文様とする土器である。深鉢口縁

部と胴部破片のみの資料のため、全体の文様構成や器形は不明確である。

Ⅲ類土器

内外面ともナデ調整のみで施文されない土器群である。器壁はI類と比べやや薄手で、色調も淡い明赤褐色と異なっている。口縁部資料から、I類土器と同様な器形をなすと考えるが、底部形態は不明である。胎土には纖維の混入が認められる。

IV類土器

外面は、ナデ調整のあと繩文または撚糸文を器壁全体にアトランダムに施す。口縁部形態や器壁の厚さ、色調の度合い等はI類土器に近似する。

胎土は、I類より精良である。

【土器の出土状況】

I類～IV類土器は、A調査区東半部を中心に出土した。I類～IV類土器とも、全体に拡散したような出土状態であるが、それぞれ1～2箇所程度のまとまりを見出しができる。

特にIII類土器は、E22グリット部分が特に集中して出土した。

接合の結果、各類別土器の最小個体数は図化した遺物も含めて、I類土器：6個体、II類土器：2個体前後、III類土器：3個体前後、IV類土器：3個体前後と数えられる。

I類～IV類土器の垂直分布状況は、包含層自体が薄いためか、調査時点では、明確な層位差は見出しえなかつた。

しかし、第29図に示した垂直分布状況から、I～IV類土器の層位（出土レベル）的関係は、I類土器はII～IV類土器より上位で出土する傾向が読み取れる。それでもII～III類土器については、明確な出土レベル差は見出しがたく、出土層位から型式的変遷を追うことは困難である。

【出土土器】

51～54・59はI類土器に相当する。それぞれ施文のモチーフが異なる。「X」字状に施文する一群（51・52・53・59）、横方向に施文するもの（53）に大別される。前者の一群も施文具の違いによってバラエティーに富む。

55・56・61は、II類土器に、57と60は、III類土器に

相当する土器群である。

また、56・58・62・63は、IV類土器に相当する。外面の繩文または撚糸文は、施文原体を器壁にしっかりと押し当てた、軽く転がした場合との、外面に残る施文の深浅の別が認められる。

c) 石 器

出土した石器は、尖頭器、打製石鎌、スクレイバー、石核、剥片、碎片、敲石、磨石、台石、石皿、石製垂飾等、多種多様な内容を示す。これらの石器はI類～IV類土器と共伴して出土した。

本稿では整序よく記述する必要性から、石錐・石鎌以外の利器類と、石鎌及び石鎌製作に伴うと考えられる石核・剥片・碎片と大きく二分して報告する。

また、石鎌関連の遺物は、石材ごとに記述する。

【石材の分類】

ホルンフェルス

…後期旧石器時代I・II期に伴うよりも風化の度合いは弱い。表面が粉を吹いた状態のものを指す。新鮮な面は、暗紫色系統の色調である。

真岩…風化面の色調が暗青灰色をなすもの。堆積岩である。

砂岩…真岩と同じ堆積岩の一種。肉眼で砂粒が確認できるもの。粒径によりザラツキや滑らかな肌触りのものがある。

チャート…珪質で緻密、硬質である。色調は暗緑色～黄緑色で白い筋が入るもの、白色に灰色が混じるもの、赤褐色のものがある。

量的には、暗緑色のものが主体を占めたため、細分していない。

姫島産黑曜石…ガラス質で灰白色を呈する。

日東産黑曜石

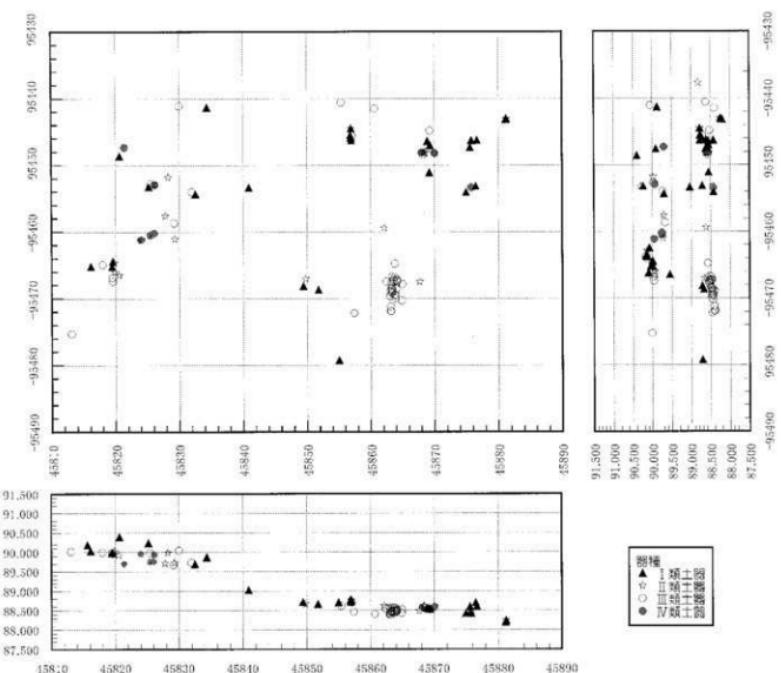
…ガラス質で黒色を呈する。細かい気泡が入る。

尾鈴山酸性岩類

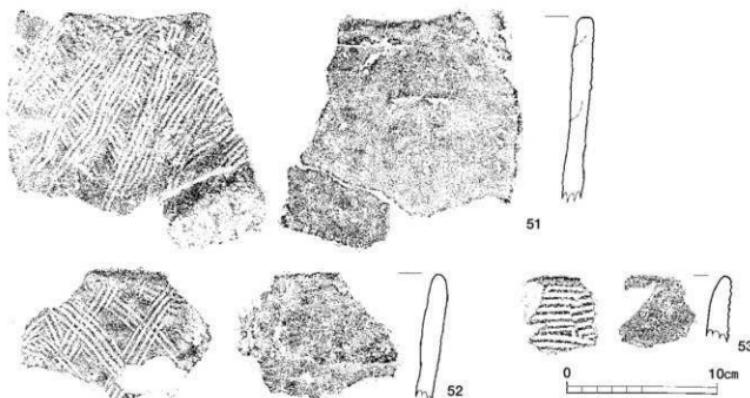
…溶結凝灰岩の一種。灰色～暗灰色で緻密、堅い。風化すると白色を呈する。

安山岩

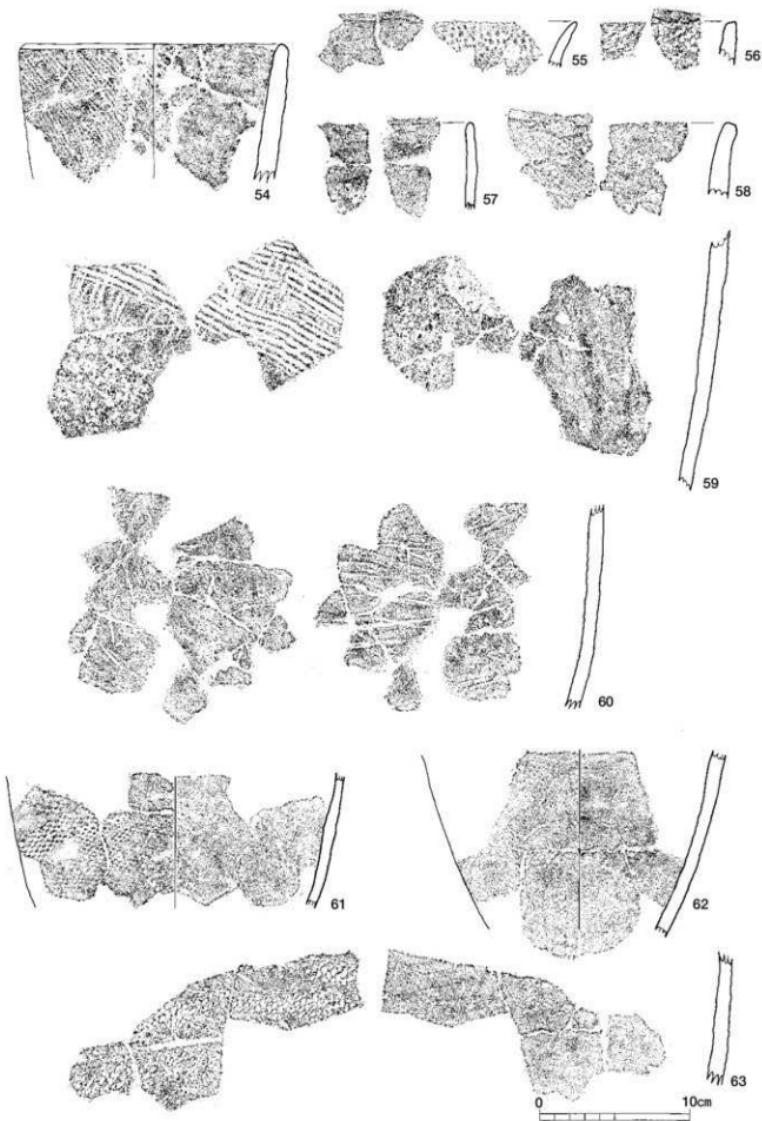
…風化面はホルンフェルスと類似するが、叩くと澄んだ金属音がする。新鮮な面は暗紫～灰色である。サヌカイトも含めた。



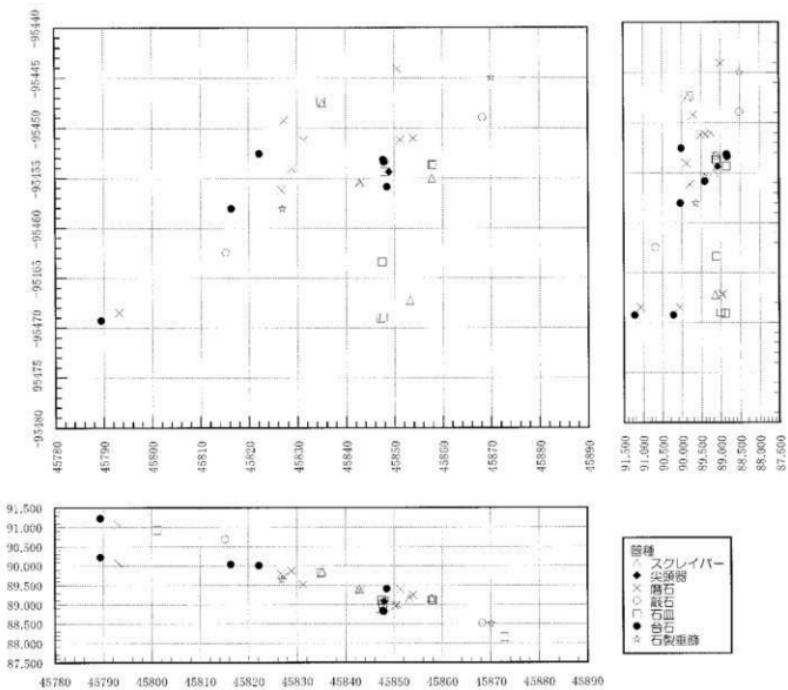
第29図 繩文時代早期土器群出土分布図



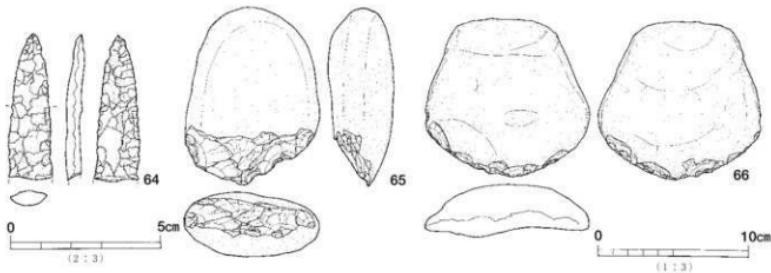
第30図 繩文時代早期土器実測図〔1〕(S=1/3)



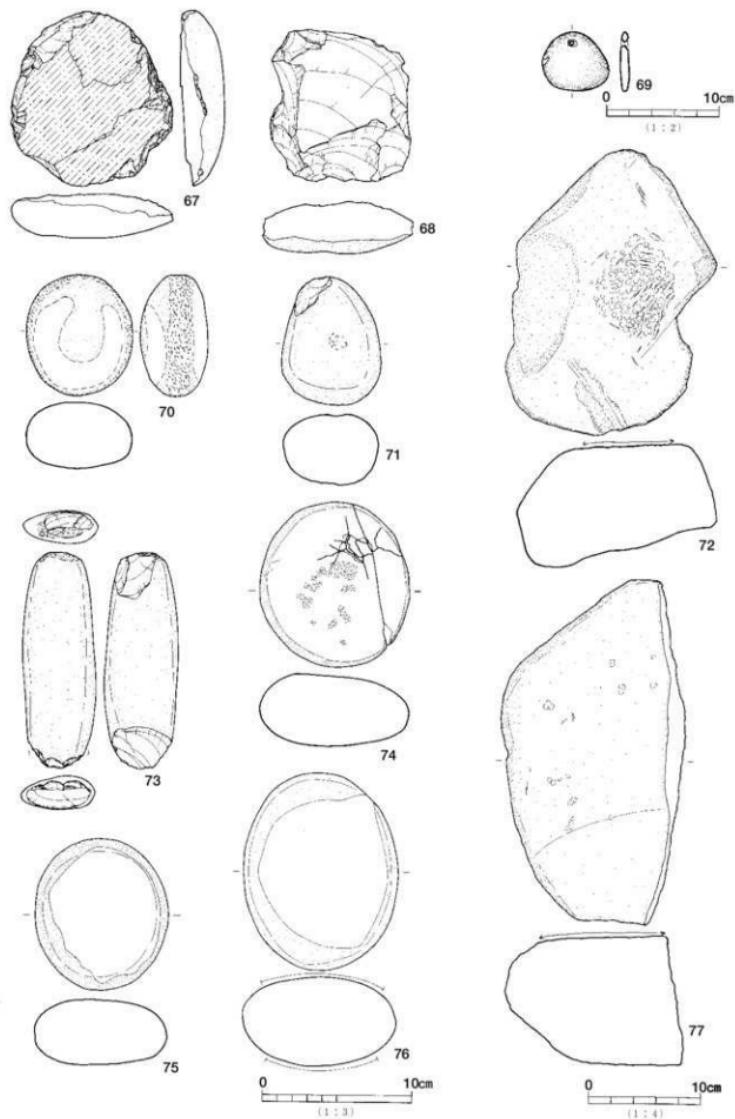
第31図 繩文時代早期土器実測図〔2〕(S=1/3)



第32図 繩文時代早期石器群出土分布図



第33図 繩文時代早期石器実測図〔1〕(S=2/3・1/3)



第34図 縄文時代早期石器実測図〔2〕(S=1/2・1/3・1/4)

I 石錐・石鏃以外の石器

本遺跡では、第V層及び第VI a層からスクレイバー、敲石、磨石、台石、石製垂飾等が出土した。

<遺物出土状況>

尖頭器やスクレイバーや敲石、磨石、石皿は、A調査区の北東部を中心に出土した。尖頭器1点、スクレイバー4点、敲石3点、磨石11点、石皿9点、台石6点および石製垂飾が1点検出された。

これらの遺物出土のあり方は、一見、散漫なようだが、台石や石皿、磨石や敲石の出土位置に注目するとある傾向が認められた。

台石と石皿の出土位置は、大きく4箇所にわたり、西側からF16、E20、E22、F21グリットとなる。この台石や石皿の周辺には、磨石や敲石がセット関係を示すような状態で近接した位置で出土するありかたが看取される。

尖頭器やスクレイバーも石皿や台石に近い位置で検出されているため、石皿や台石の検出位置は、遺跡空間内の中心的存在を占めていたと考えられる。

<出土遺物>

本稿では、尖頭器1点、スクレイバー4点、敲石4点、磨石2点と台石1点、石皿1点及び石製垂飾1点を図化し掲載した。

64は槍先形尖頭器である。石材は安山岩かサスカリトである。風化が進んでおり、茎部は欠損している。表裏とも細かい剥離が施され、鋸歯縁状の側縁を作り出している。

65~68はスクレイバーである。円窪の下端を打面剥離して刃部を形成する。一方、67と68は母岩より剥離した、片面に素材面を残す剥片の周縁部を剥離調整加工して刃部を作り出す。

70・71・73・74は敲石である。石材は砂岩と頁岩である。73は棒状の敲石、70・74は磨石転用の敲石である。潰打痕の特徴から側縁部ないし、端部を使用面とするもの(70・73)と表面の平坦面を利用するもの(71・74)がある。

75と76は尾鈴山酸性岩類の磨石である。使用頻度が高かったためか、磨面が明瞭に残っている。

69は石製垂飾である。石材はホルンフェルス、または頁岩で、不整な梢円形の扁平な環の一端に表裏方向

から穿孔がなされている。

II 石錐・打製石器

石錐、石鏃の石材観察や剥片や碎片の多量さから、これらは、外部からの持込みではなく、遺跡内で複数の母岩から製作された石器群と想定した。

この想定の可否を判断するには、石材別に石器構成と出土状況を把握する必要がある。従って、以下石材ごとに記述することにする。

a) 頁岩製石器群

第V層～第VI a層出土の頁岩製石器群は、スクレイバーや磨石、台石以外の石錐6点、石鏃1点で構成される。遺物の総重量は16.3gである。

<遺物出土状況>

頁岩製石器群は、D21・E22グリットを中心に出土している。遺物の少なさか、石器集中区は見出せない。剥片や碎片も1点も回収されなかった。

<出土遺物>

77～84は石錐である。平面形は二等辺三角形を基調とし、基部形態から平基錐(77)、微凹基錐(80～81)、凹基錐(82)、円基錐(83)、極凹基で脚部は円脚(84)に類別される。

78は石鏃である。軸部は丁寧に剥離が施される。

b) 水晶・石英石器群

第V層～第VI a層出土の石英石器群は石錐1点、剥片3点、石核1点で、水晶石器群は、剥片3点、碎片5点を数えるが製品は検出されなかつた。

遺物の総重量は22.5gである。

<遺物出土状況>

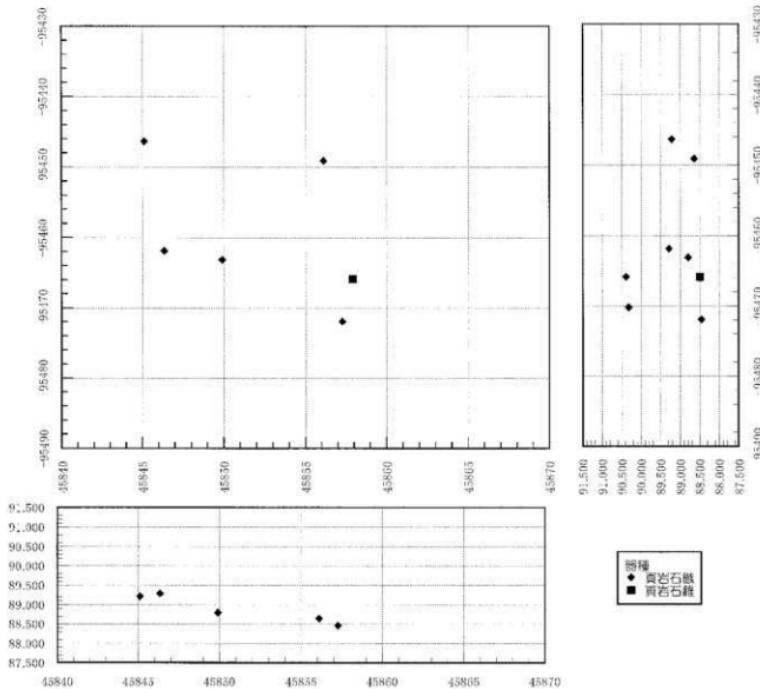
両石器群とも調査区北東部の緩やかな斜面部を中心に出土した。そのありかたは散漫で、石器集中区は見出せなかつた。

なお、出土遺物は小破片で図化に堪えなかつたので掲載していない。個々の遺物の詳細は、第14～38表縄文時代早期遺物一覧を参照されたい。

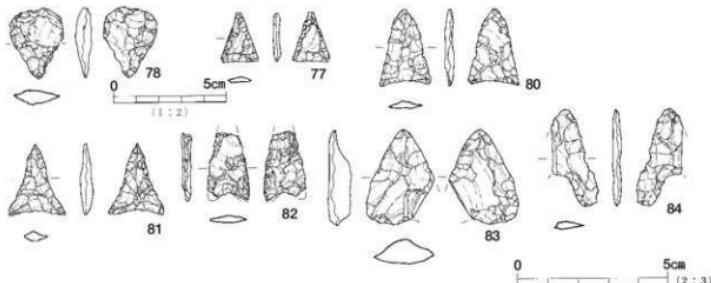
c) 姫島産黒曜石石器群

姫島産黒曜石石器群は、石錐8点、石核3点、剥片51点、碎片23点で構成する、石錐製作関連の石器群と推定される。遺物の総重量は65.4gである。

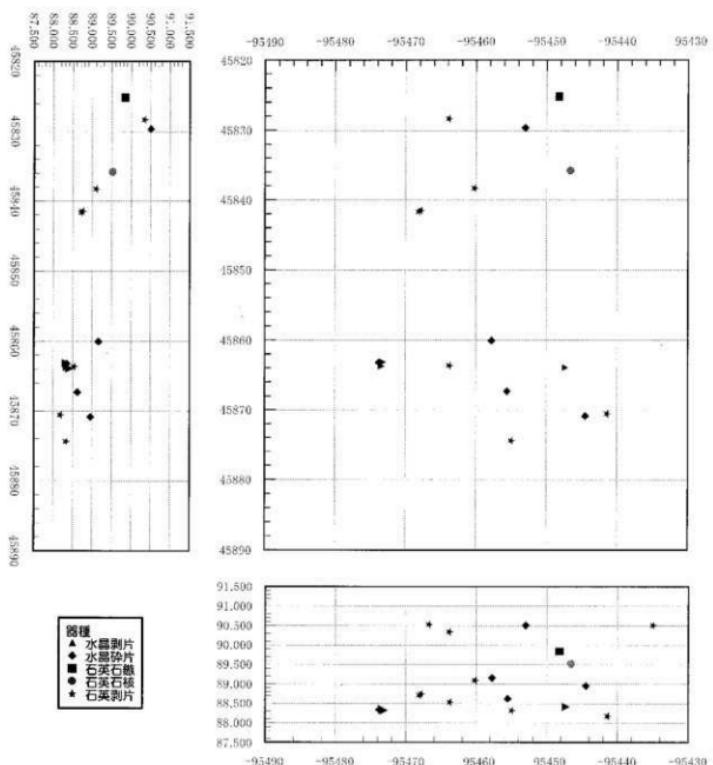
なお、剥片の中で、石錐製作過程の痕跡を残す(製作途中)のもの、形態は石錐だが、基部、脚部や側縁



第35図 繩文時代早期頁岩製石器出土分布図



第36図 繩文時代早期頁岩製石器実測図 (S = 2 / 3 • 1 / 2)



第37図 繩文時代早期水晶・石英製石器群出土分布図

部の剥離調整が粗く、微細な交互剥離がなされていないものを石錐未製品とした。3点を数える。

<遺物出土状況>

姫島産黒曜石石器群は、A区東半部の北側調査区境界に沿って東西に薄く広がっている。

巨視的には、大きく2~3箇所にまとまる様にみえる。西からB15グリット、E18グリット周辺、C20~24グリットである。特にD24グリット付近が濃密に遺物が集中する。

垂直分布状況では、ほぼ旧地形面に沿ったあり方を示すが、遺物出土ラインより極端に高い出土位置にあ

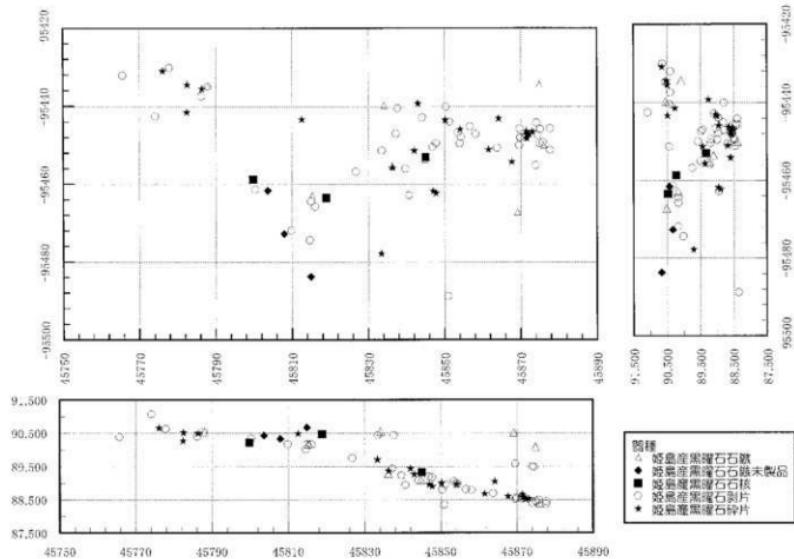
る石器は、二次的移動か遺物取り上げ時の記入ミスと考えられる。

<出土遺物>

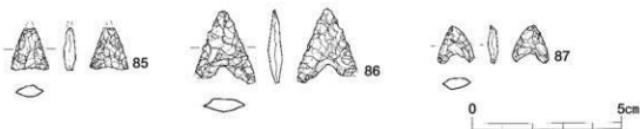
当該石器群のうち、石錐3点を図化し掲載した。これらは、出土した石錐群の形態的特徴を代表させていく。なお、個々の遺物の詳細は、第14~38表縄文時代早期遺物一覧を参照されたい。

85~86は平面二等辺三角形の石錐で、基部・脚部形態から、前者は微凹基、後者は凹基で脚部が細く直線的に開く直尖脚と類別される。

87は、平面正三角形に近い凹基で、脚部はやや内側



第38図 縄文時代早期姫島産黒曜石製石器群出土分布図



第39図 縄文時代早期姫島産黒曜石製石器実測図（S=2/3）

に内湾する曲脚である。

d) 日東産黒曜石石器群

日東産黒曜石石器群は、石錐3点、石核13点、剥片10点、碎片10点で構成される。姫島産黒曜石石器群と同様に石錐主体である。石錐未製品として1点が出土した。遺物の総重量は1753gである。

<遺物出土状況>

A区東半部の北側調査区境界に沿って東西に薄く広がっている。なかでもC17、C23グリット付近がもっとも遺物が集中して出土する。C17グリット部分が特

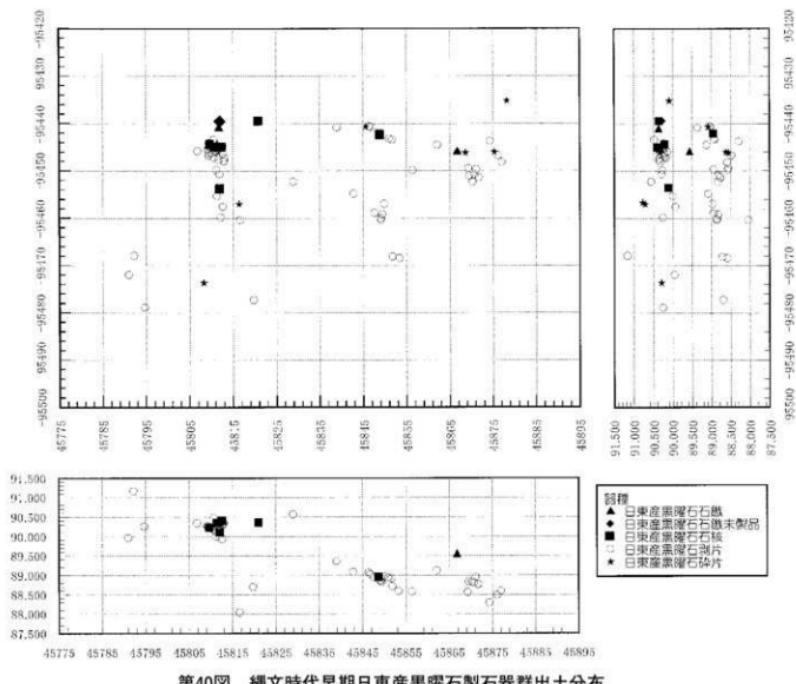
に濃密な出土分布を示す。

垂直分布状況では、ほぼ旧地形面に沿ったあり方を示すが、部分的に0.2~0.3mほどのレベル差があるので、二次的移動も認められる。

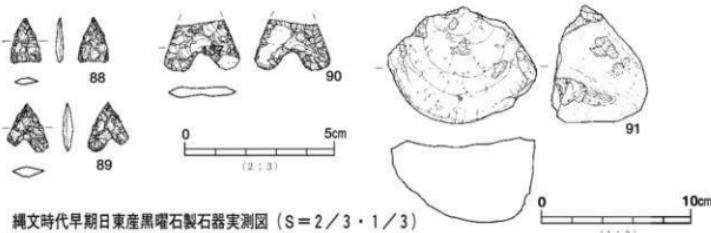
極端に低い位置で出土した遺物は、取り上げ時の記入ミスの可能性がある。

<出土遺物>

図化した遺物は石錐3点と石核1点である。図化した石錐は、出土した石錐群の形態的特徴を代表させている。



第40図 繩文時代早期日東産黒曜石製石器群出土分布

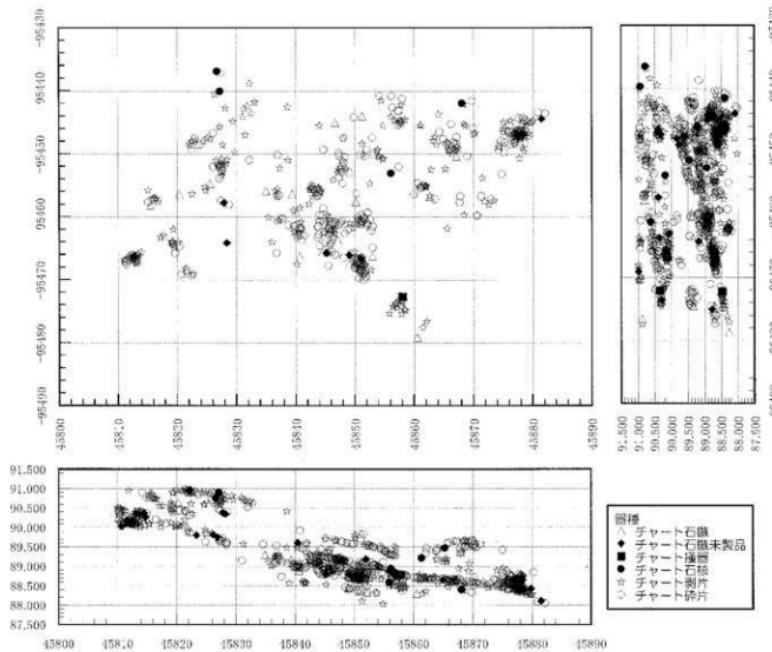


第41図 繩文時代早期日東産黒曜石製石器実測図 ($S = 2/3 \cdot 1/3$)

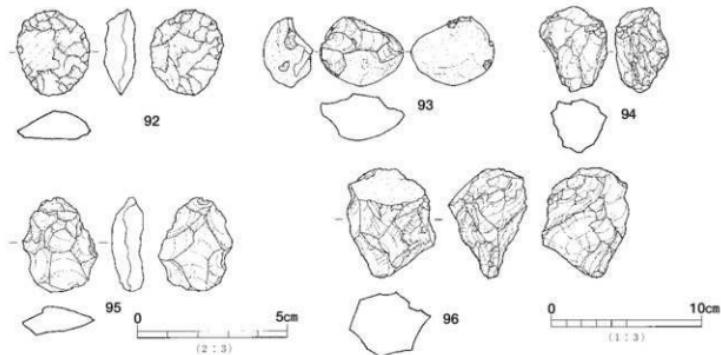
石核(91)は、古墳時代堅穴住居S A40覆土中の出土であるが、日東産黒曜石石器群に伴う参考資料として図化掲載した。

なお、個々の遺物の詳細は、第14～38表縄文時代早期遺物一覧を参照されたい。

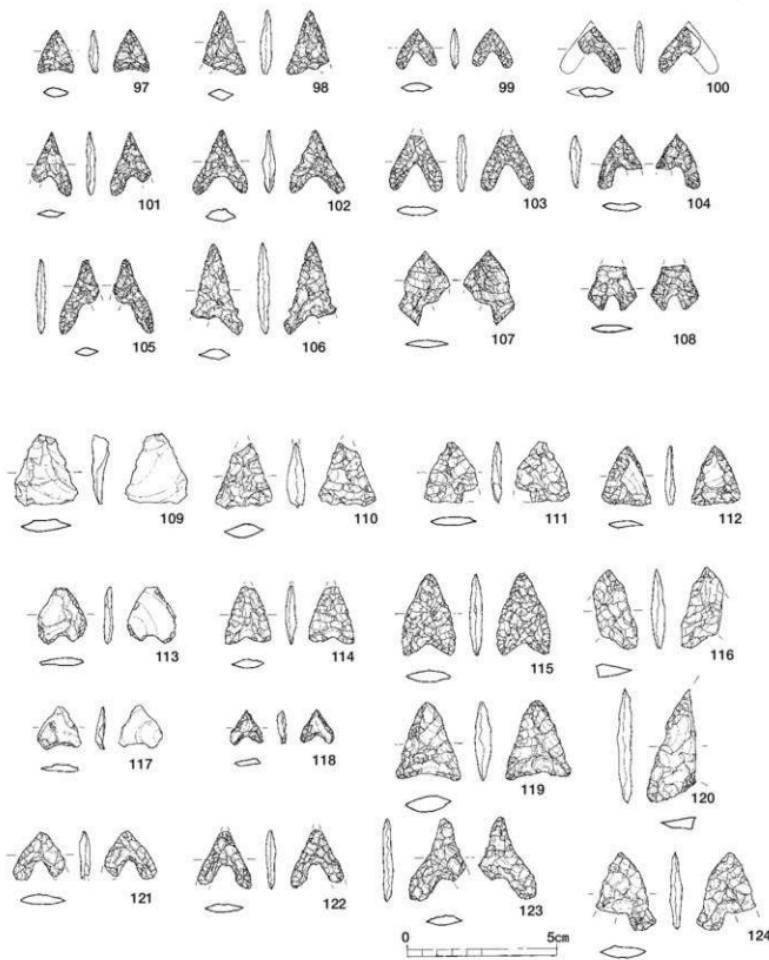
88～90は平面二等辺三角形を呈する石鎚である。基部の形態的特徴から平基(88)、凹基で脚部の端部が平坦な平脚(89)、89と同様な形態で、大型(90)に類別される。90は先端部を欠損している。



第42図 縄文時代早期チャート製石器群出土分布



第43図 縄文時代早期チャート製石器実測図〔1〕(S=2/3・1/3)



第44図 縄文時代早期チャート製石器実測図〔2〕(S=2/3)

e) チャート製石器群

チャート製石器群は、石錐43点、搔器2点、石核13点、剥片629点、碎片703点で構成される。石錐主体である。石錐未製品として26点が出土した。石錐主体の石器群では最大の遺物量と内容を示す。遺物の総重量は780.5gである。

<遺物出土状況>

A区の東半部全体に薄く広がるように出土している。E21・C24グリット付近では、剥片と碎片の集中出土箇所が点在しており、石錐や石錐未製品が伴う。

垂直分布状況では、ほぼ旧地形面に沿ったあり方を示すが、0.2~0.3mほど上位にも遺物出土帯が認められる。時期差か、他所からの二次的移動を示していると判断される。

<出土遺物>

図化した遺物は、搔器2点、石錐12点、石錐未製品と判断されるものの16点、石核3点である。

図化した石錐は、出土した石錐群の形態的特徴を代表させている。

なお、石核（94）は、古墳時代堅穴住居S A41覆土中の出土であるが、96と近似した形態を示すことから参考資料として図化掲載した。

個々の遺物の詳細は、第14~38表縄文時代早期遺物一覧を参照されたい。

97~108は平面二等辺三角形を呈する石錐である。

109~124は、石錐製作過程の段階と判断される、剥片（石錐未製品）である。

110~112・114~116・118~124は、一見したところ石錐の完成品にみえるが、97~108の石錐と判断した遺物群と比べて、①左右非対称、②厚みがある、③表面裏面とも粗い剥離のみで、側縁部は微細な調整剥離がなされず、直線的で整美なつくりではない、④基部のつくり、特に抉り部分や脚部端部が整えられていない、4点の差異が認められたので、石錐未成品と判断した。

石錐は、大きく平面二等辺三角形と正三角形を呈するものに区分される。

平面二等辺三角形のタイプは、基部や脚部の形態的特徴から、微凹基（97）、凹基で基部にV字やU字の抉りを入れ脚部を作り出す（98~101~102）、抉りが全長

の半分まで入る極凹基で長脚（103~104）、極凹基長脚でも円形に開く円脚（105）がある。

特殊な形態として、凹基で、側縁部が鋸歯縁状の（106）、脚部端部が軸線に斜交する（107・108）がある。一方、平面正三角形に近いタイプは極凹基（99~100）となる。

石錐未製品とした遺物群は、上記の石錐の平面形や基部や脚部形態とはほぼ対応している。

4 小結

I 遺物について

a) 土器の位置づけ

ここでは、I類~IV類土器の位置づけについて考察してみたい。

I類土器は、外面を斜格子状に施文する櫛描文である。鹿児島県桑ノ丸遺跡出土遺物中の桑ノ丸3類とする遺物群と類似する(1)。従ってI類土器は、桑ノ丸式土器の範疇と考えられる。

I類土器と類似した土器は、下耳切第3遺跡近辺では、高鍋町大戸ノ口第2遺跡(2)で出土した。

II類土器は、いわゆる押型文土器に属する。口縁部付近と胴部片の、風化が著しい破片であるため、押型格円文が施文されるという情報以外、器形や施文原体等は不明である。類似資料として、高鍋町崩戸遺跡(3)、野首第1遺跡出土遺物(4)がある。

特に、崩戸遺跡報告書掲載遺物（図9の番号16~19）の類似する。報告者は、図9掲載の番号11・16・19を九州北東部における押型文編年の「田村式」に相当するとされているので、下耳切第3遺跡出土の押型文土器も概ね「田村式」に対応するであろう。

III類土器は、いわゆる「無文土器」と呼称される土器群である。崩戸遺跡出土遺物と近似する。

近年、無文土器と押型文土器の共存関係の有無について様々な議論がなされるが、本例は底部形態は不明であるけれども、薄手なつくりが特徴的で、議論の対象となっている厚手・平底のものとは異なる。

II類土器との明確な層位差は認められないが、少なくとも同一層から出土した土器群としておきたい。

IV類土器は、外面に縄文ないし撚糸文を施す土器群である。本遺跡例は、口縁部の内面にも施文され、類

似資料としては野首第1遺跡の出土例がある。型式名の付されない「在地系」の土器群である。

以上、I類～IV類土器の位置づけを試みた。

本遺跡の場合、土器の特徴や出土層位から、押型文土器系(II類土器:田村式)から南九州貝殻条痕文系(I類土器:桑ノ丸式土器)へという変遷が追えた。現行の編年観から縄文時代早期中葉から後葉にかけての土器群と考えられる。

b) 石器の位置づけ

本遺跡では、打製石鏃を中心に多種多様な石器が出土した。とくに石鏃と石鏃未製品、及び同一母岩と考えられる石核、剥片や碎片の多量且つ集中的な出土のあり方が、石材別ごとに認められた。

この様相は、本遺跡では石鏃製作が行なわれていたことを示していると考えられる。

これらの石器群は、共伴して出土した土器の型式(I類～IV類土器)から縄文時代早期中葉～後葉の時期と考えられる。この時期に本遺跡では、石鏃製作の空間として機能していたと考えられる。

他方、石皿や台石、敲石や磨石の出土からは、一定期間の居留も想定される。

しかし、石器群はどの土器群に伴うか、石鏃石材の違いは時期差を示すのか、同時に多種類の石材を入手製作していたのかは、遺物や出土位置の検討のみでは明確にしえなかつた。石皿や台石が使用された時期と石鏃製作の時期との関係も同様である。

本遺跡の北側に位置する老瀬坂上第3遺跡(5)では、多量の打製石鏃が出土した。掲載遺物中には、未製品と判断される遺物が含まれており、谷を挟んだ遺跡空間構成を類推させる。

その他、特筆する遺物として尖頭器(第33図64)が挙げられる。槍先形尖頭器の一種と考えられ、本遺跡付近の遺跡では、崩戸遺跡、北牛牧第5遺跡(6)において出土例が知られている。両遺跡とも縄文時代草創期とされている。

本例の場合、石材は安山岩かサスカイトで平面は非対称であることから、宮崎県下の槍先形尖頭器を集め、総括された松本茂氏(7)の第II・III期(縄文時代早期中葉～後葉)に相当すると考えられる。本例と共に

して出土した土器の時期とも合致する。

ただ、本例は、平面非対称とはいえ、それほどの粗雑化は認められないので、古相の様相を残す資料としておきたい。

II 遺構について—集石遺構の展開—

本遺跡では、第VIa層～第V層において縄文時代早期の集石遺構31基を検出した。各集石遺構の検出レベルはさほど違わないので、各遺構とも時期的に近接していると推測される。一方、集石遺構群の検出面である第VIa層から第V層面にかけてはI～IV類土器が出土した。

これららの集石遺構は、共伴して出土した押型文土器(II類土器:田村式)および南九州貝殻条痕文系(I類土器:桑ノ丸式)の時期から縄文時代早期中葉から後葉にかけての所産と推定される。

ここでは、後世の遺構による擾乱が著しく本来のあり方を残しているとはいえないが、本遺跡検出の集石遺構の持つ諸特徴について概括しておきたい。

集石遺構の立地については、ほぼ調査区北側に面する開析谷との地形変換線上に位置し、それぞれ集石遺構(群)はある距離の間隔を保っている。

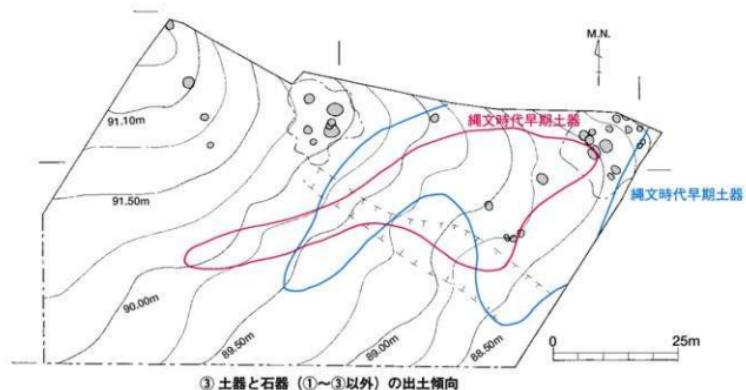
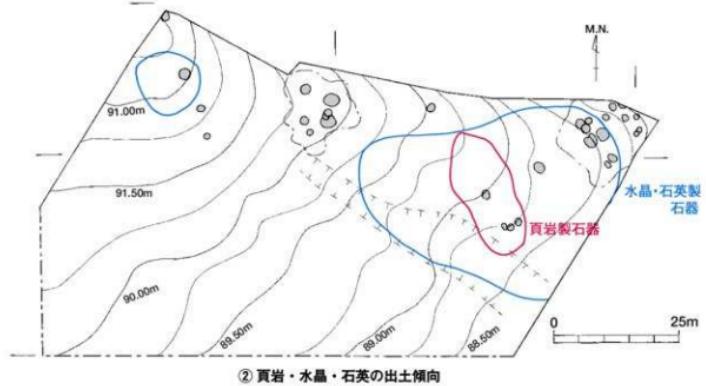
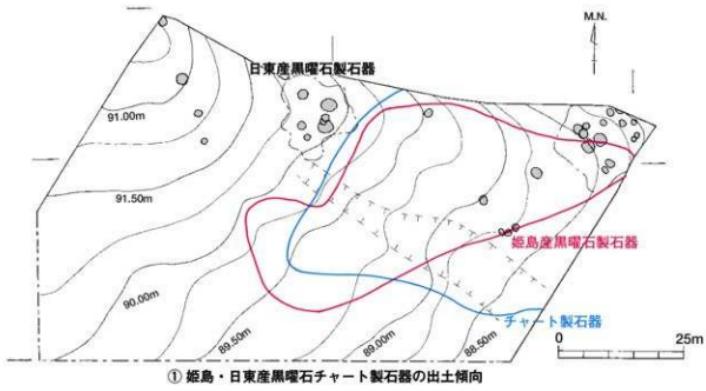
また、後世の遺構による擾乱による破壊を考慮しても、集石遺構の集中する群と単独ないし散在する集石遺構の、2者の傾向が想定される。

一方、集石遺構の諸属性、主に掘り込みの有無に着目して分類を試みた。從来、集石遺構は加熱の場に関係すると指摘されている。躍の赤変の度合いや埋土のあり方は、この観点に関連している。

この指摘に立脚するならば、掘り込みや底石(配石)を持たない、I類に該当する集石遺構の性格はいわゆる「準備礫」や「廃棄礫」の類いと想定される。II類とIII類にあたる集石遺構は実際に調理ないし加熱の場であったと考えられる。

本遺跡周辺では、開析谷を挟んで北側の老瀬坂上第3位遺跡でも多数の集石遺構が確認された。勾配の斜面地のかけあがり部分と頂部の平坦面には、本遺跡のI類～III類と対応する集石遺構群が展開している。

また、下耳切第3遺跡と老瀬坂上第3遺跡が立地する牛牧台地の北端にある野首第1・2遺跡で検出され



第45図 繩文時代早期の遺物別出土傾向

たような縄の下部に深い土坑を有する集石遺構が認められない点も共通している。

さらに、他の東九州自動車道関連調査では、集石遺構と炉穴がセット関係を示す事例が半ば通有化するが、両遺跡とも炉穴が確認されていない。

他方、老瀬第3遺跡で出土した縄文時代早期土器群と本遺跡の出土土器を比較した場合、老瀬第3遺跡で欠落する土器型式が本遺跡出土土器型式となることである。土器の型式＝集石遺構の時期と即断できないが、遺跡間における集石遺構の動向（縄文時代早期の人間活動）を考察する上で重要であり、興味深い事象であると考えられる。

この視点は、単に近接する遺跡間ではなく、本遺跡を含む、集石遺構が検出された他遺跡の立地する牛牧台地全体をフィールドとした、集石遺構の分類や分布状況さらには共伴遺物との関係性を追及しなければならない。本報告では、隣接する遺跡との関連性をいくつか指摘しておくにとどめておく。

Ⅲ 集石遺構と出土遺物との関連性

本遺跡では、縄文時代早期中葉～後葉の遺構として集石遺構、打製石錐製作関連に伴う多量の石器が検出された。この集石遺構と石器群及び土器群との関連性について若干の考察を加えていきたい。

第45図は、集石遺構の分布図に土器及び打製石錐製作に伴う石器群、打製石錐製作に関連する石器群以外の石器（磨石、敲石、石皿や台石等）の分布図を重ねたものである。

打製石錐製作関連以外の石器群は、集石遺構群の中間、つまり空白域に分布していることが読み取れる。土器群についても、ほぼ同様な傾向が伺える。

一方、打製石錐製作関連の石器群は、各石材別とも、その分布域は重なり合い、大きく逸脱はない。

特徴的なのは、土器や打製石錐製作関連以外の石器群とも分布域は同一であった点である。

つまり、土器群や石器群は、ほぼ同じ分布傾向を示し、且つ、集石遺構群間に挟まれた空間に展開しているのである。集石遺構、土器群と石器群が同時存在とするならば、集石遺構群間の空間が、石器製作（打製石錐）および生業の場と認定することも可能である。

集石遺構、土器群と石器群の検出レベルが近似しているのも傍証となろう。

ただ、出土繩文土器の型式は單一型式ではなく複数型式であり、縄文早期中葉～後葉と時期幅が認められること、打製石錐製作関連の石器群の分布は、石材によつて集石遺構の分布と一部交差する状況が認められる。

少なくとも、縄文時代早期中葉～後葉にかけて継続的、断続的に集石遺構と石器製作、食物加工（石皿の存在から）がセットとなった人間活動の営みがなされたと考えたい。

一方、本遺跡と直線距離で0.4km離れた北牛牧第5遺跡D区では、縄文時代草創期～早期の階層に穴状遺構2基および石鍬25点、尖頭器1点が検出された。仮に狩猟の場とするならば、本遺跡における石器製作、食料調理の場と対比的な関係となる。

このように周辺遺跡の調査及び整理・報告が進めば、本遺跡における縄文時代早期の位置づけがより明確化するであろう。

＜註文献＞

- (1)鹿児島県教育委員会「桑ノ丸遺跡」鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書第7集 1977
- (2)『大戸ノ口第2遺跡』高鍋町文化財調査報告書第5集 高鍋町教育委員会 1991
- (3)宮崎県埋蔵文化財センター『崩戸遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第103集 2005
- (4)宮崎県埋蔵文化財センター『野首第1遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第86集 2004
- (5)2006年3月、宮崎県埋蔵文化財センターより刊行予定
- (6)宮崎県埋蔵文化財センター『北牛牧第5遺跡銀座第3A遺跡』宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第80集 2003
- (7)松本茂2003『宮崎県における槍先形尖頭器の出現と消滅』『九州旧石器』7 九州旧石器文化研究会

面番号	出土点	出土層位	種別	器種	部位	法量(cm)		手法・調整・文様等		色調		胎土	焼成	備考	分類		
						口径	高さ	側径	底径	外側		内側					
										外側	内側	外側	内側				
51	A区	新居 土器	縄文 土器	口徑部 一輪鉢	深鉢	-	-	-	-	其数条板 ナ/テ/且 發條板文	ナ/テ/且 發條板文	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR7/4	6mm以下の灰白色 色・黒褐色粒子を含む	良好	-	I型土器
52	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部 一輪鉢	深鉢	-	-	-	-	ナ/テ/且 發條板文	ナ/テ/且 發條板文	明黄褐 10YR6/6	明黄褐 10YR7/6	2mm以下の灰白色粒子を多く含む。微 細な黑色粒子を多く含む。微 細な光沢粒子を多く含む。	良好	外画面黒斑	I型土器
53	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部	深鉢	-	-	-	-	其数条板 ナ/テ/且 發條板文	ナ/テ/且 發條板文	浅黄 2.5YR7/3	浅黄 2.5YR7/4	2mm以下の灰白色粒子を多く含む。2 mm以下の灰白色粒子を多く含む。	良好	-	I型土器
54	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部 一輪鉢	深鉢	-	-	-	-	斜椅子文	ナ/テ/且 發條板文	にぶい黄橙 10YR6/3	にぶい黄橙 10YR5/4	1.5mm以下の灰白色粒子を多く含む。	良好	外画面スヌ 付着	I型土器
55	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部	深鉢	-	-	-	-	南洋彌型 文/ナ/テ	ナ/テ/且 發條板文	にぶい黄橙 10YR6/4	にぶい黄橙 10YR7/4	1mm以下の灰白色粒子を多く含む。1 mm以下の黒褐色粒子を多く含む	良好	-	Ⅱ型土器
56	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部	深鉢	-	-	-	-	磯立施文 ナ/ナ	ナ/テ/且 發條板文	明黄褐 10YR6/6	明黄褐 10YR6/6	1mm以下の灰白色粒子を多く含む	良好	-	Ⅱ型土器
57	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部	深鉢	-	-	-	-	ナ/テ/且 發條板文	ナ/テ/且 發條板文	暗 4/6	暗 7.5YR5/6	微細な灰白色粒子を多く含む。	良好	-	Ⅱ型土器
58	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部 一輪鉢	深鉢	-	-	-	-	其数条板 文	ナ/テ/且 發條板文	灰 5Y5/1	灰 5Y6/1	微細な灰白色粒子を多く含む。1 mm以下の灰白色粒子を多く含む。	良好	外画面スヌ 付着	I型土器
59	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部 深鉢	脚部	-	-	-	-	斜椅子文	ナ/テ/且 發條板文	浅黄 2.5YR7/3	浅黄 2.5YR7/4	1mm以下の灰白色粒子を多く含む 多く含む。2mm以下の灰白色粒子を多く 含む。	良好	-	I型土器
60	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部	脚部	-	-	-	-	ナ/テ	ナ/テ	暗 4/6	暗 7.5YR5/6	2mm以下の灰白色粒子を多く含む。微 細な黑色粒子を多く含む。	良好	外画面スヌ 付着	Ⅱ型土器
61	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部	脚部	-	-	-	-	南洋彌型 文/ナ/テ	ナ/テ/且 發條板文	にぶい黄橙 10YR6/6	にぶい黄橙 10YR6/6	1mm以下の灰白色粒子を多く含む。	良好	外画面黒斑	Ⅱ型土器
62	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部 深鉢	脚部	-	-	-	-	ナ/テ/且 發條板文	ナ/テ/且 發條板文	明黄褐 10YR6/6	明黄褐 10YR6/6	微細な金黄色・光沢粒子を多く含む。 微細な光沢粒子を多く含む。	良好	外画面スヌ 付着	Ⅱ型土器
63	A区	新居 土器	縄文 土器	口縁部	脚部	-	-	-	-	ナ/テ/且 發條板文	ナ/テ/且 發條板文	明黄褐 10YR6/6	明黄褐 10YR6/6	微細な金黄色・光沢粒子を多く含む。微 細な光沢粒子を多く含む。	良好	-	Ⅱ型土器

第11表 縄文時代早期土器観察表

系上上げ 番号	出土層位	種別	器種・部位	X座標		出土地点	レベル	備考	
				X	Y			高さ	側径
2	Via	直脚土器	深鉢	-5956.764	5956.795	88.532	-	-	-
3	Via	直脚土器	深鉢	-5956.745	5956.356	88.482	実測番号60/取り上げ番号4・5・6・7・12・21・23・47・56・1363と複合	-	-
4	Via	直脚土器	深鉢	-5956.750	5956.439	88.541	実測番号60/取り上げ番号3・5・8・12・21・23・47・56・1363と複合	-	-
5	Via	直脚土器	深鉢	-5956.854	5956.114	88.529	実測番号60/3・4・8・12・21・23・47・56・1363と複合	-	-
7	Via	直脚土器	深鉢	-5956.512	5956.228	88.555	-	-	-
8	Via	直脚土器	深鉢	-5956.476	5956.291	88.565	実測番号60/取り上げ番号3・4・5・12・21・23・47・56・1363と複合	-	-
9	Via	直脚土器	深鉢	-5956.509	5956.658	88.551	-	-	-
10	Via	直脚土器	深鉢	-5956.473	5956.516	88.491	-	-	-
12	Via	直脚土器	深鉢	-5956.474	5956.254	88.487	実測番号60/取り上げ番号3・4・5・8・21・23・47・56・1363と複合	-	-
13	Via	直脚土器	深鉢	-5956.484	5956.359	88.461	-	-	-
14	Via	直脚土器	深鉢	-5956.761	5956.325	88.453	-	-	-
15	Via	直脚土器	深鉢	-5956.831	5956.303	88.453	-	-	-
16	Via	直脚土器	深鉢	-5956.842	5956.301	88.453	-	-	-
17	Via	直脚土器	深鉢	-5956.954	5956.429	88.462	-	-	-
18	Via	直脚土器	深鉢	-5956.512	5956.812	88.466	-	-	-
19	Via	直脚土器	深鉢	-5956.618	5956.291	88.452	-	-	-
21	Via	直脚土器	深鉢	-5956.955	5956.836	88.472	実測番号60/取り上げ番号3・4・5・8・12・21・23・47・56・1363と複合	-	-
23	Via	直脚土器	深鉢	-5956.651	5956.651	88.458	実測番号60/取り上げ番号3・4・5・8・12・21・23・47・56・1363と複合	-	-
26	Via	直脚土器	深鉢	-5956.514	5956.163	88.458	-	-	-
28	Via	直脚土器	深鉢	-5956.12	5956.162	88.408	-	-	-
27	Via	直脚土器	深鉢	-5951.889	5956.162	88.408	-	-	-
27	Via	直脚土器	深鉢	-5951.789	5956.209	88.384	-	-	-
31	Via	直脚土器	深鉢	-5956.285	5956.925	88.435	-	-	-
32	Via	直脚土器	深鉢	-5956.795	5956.795	88.416	-	-	-
38	Via	直脚土器	深鉢	-5956.561	5956.524	88.476	-	-	-
39	Via	直脚土器	深鉢	-5956.579	5956.052	88.476	-	-	-
44	Via	直脚土器	深鉢	-5956.556	5956.177	88.54	-	-	-
45	Via	直脚土器	深鉢	-5956.392	5956.117	88.501	-	-	-
46	Via	直脚土器	深鉢	-5956.269	5956.003	88.486	-	-	-
47	Via	直脚土器	深鉢	-5956.142	5956.092	88.466	実測番号60/取り上げ番号3・4・5・8・12・21・23・47・56・1363と複合	-	-
56	Via	直脚土器	深鉢	-5956.142	5956.092	88.466	実測番号60/取り上げ番号3・4・5・8・12・21・23・47・56・1363と複合	-	-
57	Via	直脚土器	深鉢	-5956.288	5956.133	88.622	-	-	-
29	Via	直脚土器	深鉢	-5956.841	5956.973	88.524	-	-	-
87	Via	直脚土器	深鉢	-5956.479	5956.661	88.449	-	-	-
150	Via	直脚土器	深鉢	-5953.96	5954.945	88.428	-	-	-
352	Via	直脚土器	深鉢	-5953.333	5953.706	88.428	実測番号56	-	-
580	Via	直脚土器	深鉢	-5953.242	5953.452	88.451	-	-	-
459	Via	直脚土器	深鉢	-5954.25	5956.081	88.585	実測番号63/取り上げ番号529・834・2270と複合	-	-
488	Via	直脚土器	深鉢	-5954.25	5957.081	88.585	-	-	-
529	Via	直脚土器	深鉢	-5954.131	5956.121	88.554	実測番号63/取り上げ番号459・834・2270と複合	-	-
588	Via	直脚土器	深鉢	-5954.672	5956.285	88.566	実測番号55	-	-
579	Via	直脚土器	深鉢	-5956.366	5956.366	88.615	-	-	-
579	Via	直脚土器	深鉢	-5956.174	5956.174	88.615	-	-	-
581	Via	直脚土器	深鉢	-5954.193	5956.637	88.551	-	-	-
583	Via	直脚土器	深鉢	-5954.517	5956.018	88.552	-	-	-
589	Via	直脚土器	深鉢	-5956.493	5956.344	88.55	-	-	-
592	Via	直脚土器	深鉢	-5956.436	5956.926	88.556	-	-	-
607	Via	直脚土器	深鉢	-5954.826	5956.916	88.514	-	-	-
704	Via	直脚土器	深鉢	-5954.132	5956.706	88.514	実測番号61/取り上げ番号280・3714と複合	-	-
730	Via	直脚土器	深鉢	-5954.554	5956.555	88.614	実測番号61/取り上げ番号284・3724と複合	-	-
748	Via	直脚土器	深鉢	-5954.554	5957.116	88.71	-	-	-

第12表 縄文時代早期土器取り上げ一覧(1)

取り上げ番号	出土層位	種別	器種・部位	出土地点			備考
				X座標	Y座標	レベル	
749	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95445.863	45866.929	88.717	-
834	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95446.534	45867.277	88.802	実測番号63/取り上げ番号 450・529・2270と接合
1069	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95498.6	45951.743	88.674	-
1122	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95468.1	45849.37	88.716	-
1351	Via	I 類土器	口縁部	-95451.063	45869.234	88.55	実測番号58
1362	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95469.482	45863.915	88.445	-
1363	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95467.315	45863.184	88.515	実測番号60/取り上げ番号 3・4・5・8・12・21・23・47・56と接合
1368	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95472.204	45857.402	88.46	-
1424	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95411.282	45834.347	90.575	-
1427	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95442.273	45834.213	90.592	-
1443	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95454.259	45862.524	90.402	-
1459	Via	II 類土器	口縁部	-95454.002	45851.988	90.433	実測番号57/取り上げ番号1461と接合
1461	Via	II 類土器	口縁部	-95441.106	45850.027	90.744	実測番号57/取り上げ番号1460と接合
1500	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95458.671	45829.207	90.374	-
1502	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95460.485	45826.063	90.477	-
1504	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95460.503	45825.47	90.451	実測番号62/取り上げ番号1505・1506・1524と接合
1505	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95460.191	45826.018	90.457	実測番号62/取り上げ番号1504・1506・1524と接合
1510	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95461.011	45829.281	90.43	-
1515	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95457.557	45827.794	90.41	-
1524	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95452.922	45826.149	90.632	実測番号62/取り上げ番号1504・1506・1506と接合
1541	Via	I 類土器	口縁部	-95453.367	45825.187	90.724	実測番号53
1544	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95452.727	45825.511	90.672	-
1556	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95451.77	45828.356	90.684	-
1583	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95464.366	45819.522	90.491	1585・1591と接合
1584	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95464.568	45819.705	90.523	-
1585	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95465.094	45819.426	90.493	1583・1591と接合
1587	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95466.455	45820.519	90.43	-
1589	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95465.988	45819.851	90.443	-
1591	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95466.867	45829.499	90.484	1583・1585と接合
1592	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95467.433	45819.526	90.458	-
1609	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95464.883	45817.985	90.495	-
1616	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95465.125	45816.07	90.544	-
1886	Via	I 類土器	口縁部	-95462.433	45795.716	90.58	実測番号52
1900	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95462.854	45795.477	90.644	-
1906	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95463.555	45795.768	90.623	-
1910	Via	I 類土器	口縁部	-95463.623	45795.672	90.677	実測番号51
1911	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95463.688	45795.874	90.634	-
1912	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95463.743	45795.486	90.661	-
1913	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95464.15	45796.603	90.617	-
1915	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95466.119	45796.3	90.66	-
1943	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95475.271	45813.05	90.013	-
1975	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95489.549	45815.572	90.69	-
2050	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95466.429	45792.985	91.053	-
2101	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95453.302	45860.921	88.633	-
2176	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95453.217	45796.367	90.799	-
2208	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95438.442	45782.825	91.321	実測番号59/取り上げ番号3874と接合
2270	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95447.312	45821.4	90.197	実測番号63/取り上げ番号459・529・834と接合
2395	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95430.12	45778.137	90.672	-
2483	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95443.092	45881.134	88.205	2525と接合
2520	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95446.186	45876.668	88.61	2483と接合
2525	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95442.986	45861.23	88.249	-
2675	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95447.287	45875.599	88.604	-
2706	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95453.054	45876.487	88.712	-
2798	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95479.196	45854.98	88.71	-
3172	Via	I 類土器	口縁部	-95447.555	45796.488	90.413	実測番号54
3184	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95437.678	45808.883	88.515	-
3480	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95466.99	45849.738	88.662	-
2525	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95442.986	45861.23	88.249	-
2525	Via	II 類土器	深鉢胴部	-95442.986	45861.23	88.249	-
3714	Via	I 類土器	口縁部	-95445.475	45866.826	88.767	704・730と接合
3732	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95444.668	45856.949	88.772	-
3767	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95446.252	45856.982	88.774	-
3732	Via	I 類土器	口縁部	-95444.668	45856.949	88.772	-
3767	Via	I 類土器	口縁部	-95446.252	45856.982	88.774	-
3874	Via	I 類土器	深鉢胴部	-95448.559	45820.621	89.899	実測番号59/取り上げ番号2208と接合

第13表 繩文時代早期土器取り上げ一覧(2)

尾鈴酸性岩類

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量			出土地点			備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	
76	2054	石器	磨石	Vla	尾鈴酸性岩類	13.09	10.25	5.95	1206.6	-9568.479	45793.129	91.07
75	2059	石器	磨石	Vla	尾鈴酸性岩類	10.10	8.92	4.38	622.7	-9545.044	45828.845	89.871
77	2026	石器	石皿	Vla	尾鈴酸性岩類	30.75	16.45	11.50	8650	-9546.335	45847.411	89.119

頁岩

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量			出土地点			備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	
66	1981	石器	スクリバー	Vla	頁岩	10.49	10.85	3.55	4351	-9554.996	45857.769	89.167
72	2024	石器	台石	Vla	頁岩	25.36	17.78	11.00	6450.0	-9562.546	45822.177	90.012
74	1984	石器	磨石	Vla	頁岩	11.00	9.98	4.80	720.6	-9551.142	45851.309	89.395
78	1369	石器	石鑿	Vla	頁岩	3.17	2.38	0.66	5.6	-9547.225	45857.897	88.496
79	1586	石器	石鑿	Vla	頁岩	1.67	1.26	0.25	0.4	-9546.863	45830.473	90.394
80	1603	石器	石鑿	Vla	頁岩	2.56	1.70	0.30	1.0	-9547.013	45822.001	90.326
81	2092	石器	石鑿	Vla	頁岩	2.40	1.90	0.40	1.0	-9544.982	45856.096	88.645
82	2008	石器	石鑿	Vla	頁岩	2.30	1.40	0.35	1.1	-9561.854	45846.339	89.289
83	1367	石器	石鑿	Vla	頁岩	3.20	2.30	0.80	5.0	-9547.192	45857.259	88.46
84	3604	石器	石鑿	Vla	頁岩	3.35	1.57	0.30	1.0	-9546.325	45845.105	89.217

砂岩

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量			出土地点			備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	
64	3806	石器	尖頭器	Vla	砂岩	6.50	2.00	0.64	9.7	-9547.04	45848.896	89.08
70	3570	石器	敲石	Vla	砂岩	8.05	7.05	4.39	3632.2	-9545.328	45848.156	89.11
71	3622	石器	敲石	Vla	砂岩	8.55	6.63	4.69	3565.5	-9548.918	45868.26	88.516
73	2980	石器	敲石	Vla	砂岩	14.38	4.90	2.23	2261	-9546.441	45815.213	90.686

チャート

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量			出土地点			備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	
92	1840	石器	種器	Vla	チャート	2.90	2.43	0.96	7.0	-9547.523	45807.945	90.336
93	3727	石器	石板	Vla	チャート	4.60	5.55	3.25	75.8	-9561.988	45818.572	88.241
95	1372	石器	種器	Vla	チャート	3.15	2.50	1.00	6.8	-9547.261	45858.023	88.457
96	1465	石器	石板	Vla	チャート	3.70	2.90	2.60	24.7	-9536.901	45836.698	90.741
97	1936	石器	石鑿	Vla	チャート	1.45	1.20	0.30	0.5	-9547.673	45815.633	90.876
98	688	石器	石鑿	Vla	チャート	2.10	1.40	0.40	0.8	-9544.008	45851.243	88.959
99	1733	石器	石鑿	Vla	チャート	1.84	1.34	0.26	0.3	-9567.159	45812.285	90.136
100	2222	石器	石鑿	Vla	チャート	1.50	1.13	0.30	0.4	-9574.906	45817.52	88.695
101	2121	石器	石鑿	Vla	チャート	2.10	1.35	0.30	0.6	-9574.913	45867.915	89.329
102	2157	石器	石鑿	Vla	チャート	2.15	1.80	0.45	0.9	-9530.319	45781.28	91.686
103	2134	石器	石鑿	Vla	チャート	1.88	1.77	0.30	0.7	-9560.839	45845.474	89.341
104	1881	石器	石鑿	Vla	チャート	1.80	1.46	0.27	0.5	-9571.983	45800.433	90.478
105	943	石器	石鑿	Vla	チャート	2.46	1.30	0.30	0.5	-9546.214	45840.628	88.879
106	1319	石器	石鑿	Vla	チャート	3.06	1.75	0.46	0.9	-9545.007	45846.647	89.152
107	924	石器	石鑿	Vla	チャート	2.50	2.20	0.25	0.7	-9543.734	45847.078	88.872
108	933	石器	石鑿	Vla	チャート	1.52	1.63	0.23	0.6	-9545.546	45844.474	88.802

第14表 繩文時代早期石器觀察表〔石材別〕(1)

109	2643	石器	石器未製品	Vla	チャート	2.35	2.10	0.56	1.7	45448.745	45877.264	88.574	—
110	1740	石器	石器未製品	Vla	チャート	2.20	1.90	0.60	1.8	45463.434	45810.773	90.039	—
111	1789	石器	石器未製品	Vla	チャート	2.10	1.80	0.30	1.0	45469.438	45822.3	90.972	—
112	975	石器	石器	Vla	チャート	1.96	1.60	0.35	0.8	45466.385	45839.339	89.15	—
113	743	石器	石器未製品	Vla	チャート	1.89	1.60	0.30	0.9	45445.229	45867.279	88.743	—
114	1297	石器	石器	Vla	チャート	1.96	1.50	0.36	0.7	45451.962	45847.436	89.201	—
115	514	石器	石器	Vla	チャート	2.70	1.80	0.40	1.6	45456.734	45862.67	88.655	—
116	2579	石器	石器未製品	Vla	チャート	2.70	1.43	0.45	1.5	45448.059	45840.441	89.591	—
117	2527	石器	石器未製品	Vla	チャート	1.45	1.45	0.32	0.4	45446.154	45879.263	88.374	—
118	2444	石器	石器	Vla	チャート	1.16	1.10	0.23	0.3	45449.056	45878.219	88.695	—
119	497	石器	石器	Vla	チャート	2.62	2.19	0.55	2.3	45450.419	45867.093	88.582	—
120	1685	石器	石器未製品	Vla	チャート	3.90	1.60	0.50	2.5	45466.207	45812.669	90.168	—
121	1390	石器	石器	Vla	チャート	1.60	1.72	1.60	0.7	45479.148	45860.892	88.264	—
122	2544	石器	石器	Vla	チャート	1.95	1.75	0.38	0.7	45464.899	45841.668	89.123	—
123	1885	石器	石器	Vla	チャート	2.80	1.90	0.35	1.1	45467.428	45800.919	90.472	—
124	1163	石器	石器	Vla	チャート	2.60	2.00	0.40	1.5	45457.546	45850.133	88.937	—
94	—	石器	石核	—	チャート	5.65	4.50	3.50	83.2	—	—	—	SA41出土資料

日東産黒曜石

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量				出土地点			備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	
88	2635	石器	石器	Vla	日東産黒曜石	1.50	1.00	0.25	0.3	45440.975	45811.813	90.368	—
89	2204	石器	石器	Vla	日東産黒曜石	1.63	1.37	0.34	0.5	45445.791	45866.805	89.569	—
90	367	石器	剥片	Vla	日東産黒曜石	1.72	2.56	0.34	1.5	45446.772	45876.232	88.685	—
91	—	石器	石核	—	日東産黒曜石	3.90	5.00	3.20	54.3	—	—	—	SA401出土資料

姫島産黒曜石

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量				出土地点			備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	
85	1275	石器	石器	Vla	姫島産黒曜石	1.40	1.25	0.40	0.5	45453.539	45844.773	89.105	—
86	1422	石器	石器	Vla	姫島産黒曜石	2.45	2.00	0.42	1.0	45439.684	45831.169	90.548	—
87	3199	石器	石器	Vla	姫島産黒曜石	1.25	1.20	0.30	0.3	45387.381	45858.773	90.515	—

ホルンフェルス

図面番号	取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	法量				出土地点			備考
						最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	
65	1987	石器	スクレイパー	Vla	ホルンフェルス	11.70	8.95	4.25	494.7	45385.173	89.846	—	
67	2073	石器	スクレイバー	Vla	ホルンフェルス	11.70	10.80	2.90	445.3	45467.224	45833.173	89.148	—
68	1990	石器	スクレイパー	Vla	ホルンフェルス	10.08	9.43	3.50	396.4	45455.456	45842.795	89.407	—
69	2023	石器	石質重飾	Vla	ホルンフェルス	2.63	3.00	0.38	4.0	45458.03	45826.867	89.64	—

集石遺構内出土石器

図面番号	出土地点		種類	器種	法量				石材	備考	
	出土遺構	取り上げ番号			最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)			
49	SI9	集石内	2	石器	台石	—	—	—	6200.0	ホルンフェルス	—
50	SI23	集石内	—	石器	石器	2.74	2.89	0.83	8.1	チャート	—

第15表 繩文時代早期石器觀察表〔石材別〕(2)

取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点				法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)		
1983	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95451.009	45853.942	89.248	6.4	3.3	166.8	表裏面に削痕	
1986	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95453.334	45843.033	89.366	11.4	4.2	318.4	表裏面に削痕	
1988	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95447.326	45843.91	89.812	25.8	8.6	7800.0	表面に縦い凹み	
1997	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95456.145	45839.667	89.796	10.5	5.2	538.4	表面面に削痕打痕あり	
2002	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95453.839	45848.51	89.405	10.3	9.5	3450.0	やや削痕が認められる	
2004	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95453.637	45857.797	89.116	25.5	7.8	3000.0	表面に縦い凹み	
2005	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95453.585	45854.41	89.105	14.3	5.2	1132.0	表面に縦い凹み	
2026	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95460.257	45847.689	89.057	17.8	7.5	2800.0	表面に縦い凹み	
2036	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-9543.687	45801.246	90.927	15.6	7.2	4820.0	表面に縦い凹み	
2068	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95469.262	45798.43	91.225	17.3	7.5	3850.0	やや削痕が認められる	
2069	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95453.239	45847.059	89.65	24.5	4.9	2880.0	表面に縦い凹み	
2072	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95469.052	45847.133	88.894	19.2	6.2	8900.0	表面に縦い凹み	
2797	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95467.22	45850.345	88.968	11.9	5.1	818.1	自然縫の可能性あり	
3626	石形	碧石	Vta	尾鉗腹側性岩	-95439.938	45862.793	88.157	17.7	5.2	7800.0	表面に縦い凹み	
取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点				法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)		
775	石形	碧石	Vta	頁岩	-95444.08	45850.697	88.996	9.8	6.2	362.4	表裏面に削痕	
883	石形	碧石	Vta	頁岩	-95433.111	45849.892	88.797	1.5	0.5	1.2	両脚欠損	
取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点				法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)		
2025	石形	台G	Vta	砂岩	-95458.03	45861.348	90.039	13.7	4.4	2850.0	やや削痕が認められる	
2063	石形	台G	Vta	砂岩	-95453.126	45847.73	88.839	19.2	4.9	4760.0	削打痕あり、黒化著しい	
2064	石形	台G	Vta	砂岩	-95453.352	45847.885	88.825	17.4	5.1	5790.0	削打痕あり、黒化著しい	
2796	石形	碧石	Vta	砂岩	-95467.114	45850.234	88.959	11.0	9.7	356.2	自然縫の可能性あり	
3839	石形	碧石	Vta	砂岩	-95449.21	45827.309	89.712	10.3	4.7	603.4	表裏面に削痕	
3882	石形	碧石	Vta	砂岩	-95451.208	45831.288	89.515	9.2	4.3	487.2	表裏面に削打痕あり	
取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点				法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)		
28	石形	砂片	Vta	水晶	-95473.275	45863.171	88.341	0.7	0.1	0.1	-	
29	石形	砂片	Vta	水晶	-95473.133	45863.123	88.326	1.5	0.5	0.9	-	
30	石形	砂片	Vta	水晶	-95473.370	45863.686	88.353	1.1	0.5	0.8	-	
215	石形	砂片	Vta	水晶	-95455.545	45867.289	88.623	0.8	0.1	0.1	-	
1494	石形	砂片	Vta	水晶	-95452.989	45829.919	90.508	1.1	0.5	0.8	-	
2086	石形	砂片	Vta	水晶	-95447.714	45863.904	88.419	1.8	0.7	0.5	-	
2988	石形	砂片	Vta	水晶	-95444.449	45870.859	88.958	0.9	0.1	0.1	-	
3147	石形	砂片	Vta	水晶	-95457.758	45860.027	89.16	0.7	0.1	0.1	-	
取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点				法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)		
2174	石形	石核	Vta	石英	-95453.292	45789.408	90.803	3.9	2.1	16.2	不定形剥片を削離	
2401	石形	剥片	Vta	石英	-95434.95	45777.966	90.509	1.7	0.4	0.8	-	
2549	石形	剥片	Vta	石英	-95468.1	45841.631	88.714	1.5	0.3	1.1	-	
2541	石形	剥片	Vta	石英	-95467.82	45841.429	88.748	1.7	0.4	0.7	-	
3861	石形	石核	Vta	石英	-95448.222	45825.151	89.844	1.4	0.3	0.3	両脚欠損	
取り上げ番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点				法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)		
102	石形	砂片	Vta	チャート	-95459.861	45870.572	88.53	0.6	0.1	0.1	-	
103	石形	砂片	Vta	チャート	-95459.758	45870.596	88.536	1.1	0.2	0.1	-	
133	石形	砂片	Vta	チャート	-95457.52	45871.746	88.555	1.0	0.2	0.2	-	
134	石形	砂片	Vta	チャート	-95458.031	45872.518	88.543	2.1	0.4	1.0	-	
135	石形	砂片	Vta	チャート	-95457.418	45873.352	88.43	2.1	0.4	1.2	-	
136	石形	砂片	Vta	チャート	-95456.159	45872.916	88.497	0.7	0.1	0.1	-	
138	石形	砂片	Vta	チャート	-95455.728	45871.302	88.513	0.8	0.2	0.1	-	
153	石形	砂片	Vta	チャート	-95432.307	45871.474	88.409	1.1	0.1	0.1	-	
163	石形	砂片	Vta	チャート	-95461.875	45867.625	88.516	1.4	0.3	0.6	-	
170	石形	砂片	Vta	チャート	-95459.685	45868.408	88.569	1.3	0.5	0.7	-	
183	石形	砂片	Vta	チャート	-95457.699	45867.657	88.644	0.6	0.1	0.1	-	
196	石形	砂片	Vta	チャート	-95456.774	45867.829	88.607	1.0	0.2	0.2	-	
226	石形	砂片	Vta	チャート	-95453.853	45871.466	88.467	1.7	0.5	1.5	-	
248	石形	砂片	Vta	チャート	-95450.327	45868.933	88.565	0.7	0.1	0.1	-	
253	石形	砂片	Vta	チャート	-95449.421	45874.187	88.445	1.2	0.1	0.1	-	
257	石形	砂片	Vta	チャート	-95449.817	45875.201	88.51	0.9	0.2	0.1	-	
259	石形	砂片	Vta	チャート	-95448.845	45874.263	88.502	1.5	0.2	0.2	-	
260	石形	砂片	Vta	チャート	-95448.795	45874.251	88.493	1.0	0.1	0.1	-	
263	石形	砂片	Vta	チャート	-95447.755	45874.003	88.49	1.0	0.2	0.1	-	
282	石形	砂片	Vta	チャート	-95448.154	45875.314	88.426	1.0	0.1	0.1	-	
287	石形	砂片	Vta	チャート	-95448.493	45875.947	88.504	0.7	0.1	0.1	-	
299	石形	砂片	Vta	チャート	-95449.585	45878.445	88.356	2.0	0.4	0.6	-	
306	石形	砂片	Vta	チャート	-95448.586	45877.013	88.453	2.4	0.3	0.8	-	

第16表 繩文時代早期石材別石器一覧表 [未図化資料] (1)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	
307	石器	刮削片	Vla	チャート	-96448.615	45877.363	88.419	1.6	0.3	0.4	-
308	石器	刮削片	Vla	チャート	-96448.528	45877.308	88.39	1.2	0.2	0.1	-
311	石器	刮削片	Vla	チャート	-96448.19	45876.847	88.52	0.8	0.1	0.1	-
318	石器	刮削片	Vla	チャート	-96449.628	45876.756	88.445	3.7	0.9	4.3	-
321	石器	刮削片	Vla	チャート	-96450.692	45877.756	88.379	1.0	0.2	0.2	-
324	石器	刮削片	Vla	チャート	-96448.497	45878.308	88.379	1.2	0.1	0.1	-
331	石器	刮削片	Vla	チャート	-96448.344	45878.579	88.376	1.0	0.2	0.1	-
335	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.579	45878.008	88.366	1.5	0.2	0.2	-
336	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.306	45878.355	88.4	1.2	0.1	0.1	-
337	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.125	45878.125	88.341	1.4	0.2	0.2	-
338	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.159	45877.869	88.365	1.4	0.3	0.3	-
339	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.472	45877.749	88.367	1.6	0.2	0.3	-
340	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.425	45877.941	88.35	2.1	0.7	2.2	-
341	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.471	45877.478	88.407	1.2	0.1	0.1	-
342	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.196	45877.514	88.367	1.4	0.3	0.3	-
343	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.523	45877.131	88.444	1.3	0.2	0.2	-
345	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.198	45877.723	88.436	1.3	0.1	0.1	-
347	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.507	45877.019	88.39	1.7	0.3	0.3	先端部欠損
349	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.257	45877.122	88.444	1.3	0.1	0.1	-
350	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.342	45877.014	88.398	1.5	0.2	0.4	-
354	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.116	45877.118	88.384	1.1	0.5	0.3	-
355	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.701	45877.066	88.444	2.9	1.0	3.9	-
358	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.113	45876.542	88.453	2.1	0.7	2.2	-
360	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.8	45876.822	88.453	0.8	0.1	0.2	-
361	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.690	45876.847	88.41	1.9	0.2	0.5	-
362	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.566	45876.993	88.44	1.1	0.2	0.1	-
364	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.541	45877.117	88.406	0.8	0.1	0.1	-
365	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.703	45877.341	88.338	1.5	0.3	0.3	-
366	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.972	45877.21	88.328	1.1	0.1	0.1	-
371	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.538	45877.232	88.387	1.3	0.4	0.4	-
372	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.299	45877.241	88.365	0.7	0.1	0.1	-
373	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.233	45877.351	88.377	1.0	0.2	0.1	-
374	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.322	45877.368	88.287	1.4	0.4	0.2	-
389	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.397	45879.86	88.253	0.8	0.2	0.1	-
390	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.14	45879.369	88.288	0.7	0.1	0.1	-
391	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.761	45879.288	88.285	1.8	0.2	0.3	-
392	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.937	45879.105	88.37	0.8	0.1	0.1	-
394	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.162	45878.665	88.335	1.5	0.4	0.5	-
395	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.006	45878.722	88.342	1.0	0.2	0.1	-
396	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.956	45878.468	88.352	1.2	0.2	0.2	-
397	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.777	45878.425	88.348	1.1	0.2	0.1	-
398	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.98	45878.208	88.359	1.2	0.2	0.1	-
399	石器	石器未製品	Vla	チャート	-96446.869	45878.23	88.351	2.0	0.4	0.8	周縁からの粗い整形のみ
400	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.584	45876.896	88.453	1.3	0.1	0.1	-
405	石器	石器未製品	Vla	チャート	-96444.412	45874.444	88.061	2.0	0.4	0.8	周縁からの粗い整形のみ
406	石器	刮削片	Vla	チャート	-96443.586	45882.099	88	1.0	0.2	0.1	-
407	石器	刮削片	Vla	チャート	-96443.366	45880.897	88.036	0.7	0.1	0.1	-
410	石器	刮削片	Vla	チャート	-96444.174	45880.015	88.23	1.2	0.3	0.4	-
413	石器	刮削片	Vla	チャート	-96445.037	45879.711	88.206	2.0	0.2	0.7	-
414	石器	刮削片	Vla	チャート	-96454.515	45879.623	88.228	1.1	0.3	0.2	-
417	石器	刮削片	Vla	チャート	-96444.684	45878.967	88.248	1.0	0.1	0.1	-
418	石器	刮削片	Vla	チャート	-96444.767	45878.872	88.281	1.8	0.3	0.6	-
419	石器	刮削片	Vla	チャート	-96444.589	45878.615	88.306	0.8	0.1	0.1	-
420	石器	刮削片	Vla	チャート	-96444.294	45878.332	88.313	0.9	0.1	0.1	-
423	石器	刮削片	Vla	チャート	-96444.169	45877.669	88.307	0.7	0.1	0.1	-
424	石器	刮削片	Vla	チャート	-96445.323	45878.373	88.351	0.9	0.1	0.1	-
425	石器	刮削片	Vla	チャート	-96445.512	45878.896	88.275	1.5	0.2	0.2	-
430	石器	石器	Vla	チャート	-96445.927	45878.674	88.336	1.4	0.5	0.4	先端部欠損
432	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.221	45878.712	88.371	1.0	0.1	0.1	-
433	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.157	45878.255	88.344	1.5	0.6	0.6	-
436	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.54	45878.267	88.352	0.9	0.2	0.1	-
437	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.17	45878.007	88.339	0.9	0.1	0.1	-
438	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.296	45877.595	88.382	1.2	0.2	0.1	-
439	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.234	45877.784	88.376	0.7	0.1	0.1	-
441	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.484	45877.769	88.364	1.5	0.2	0.3	-
442	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.51	45877.843	88.333	0.7	0.1	0.1	-
443	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.67	45878.001	88.336	1.1	0.1	0.1	-
444	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.769	45878.016	88.347	2.0	0.4	0.8	-
445	石器	刮削片	Vla	チャート	-96446.859	45878.016	88.395	1.2	0.5	0.4	-
447	石器	刮削片	Vla	チャート	-96447.026	45877.756	88.335	0.8	0.1	0.1	-

第17表 縄文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(2)

取り上げ番号	種類	器種	出土位置	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
449	石器	刮削片	Vta	チャート	-95446.795	45877.627	88.392	1.5	0.2	0.2	-
450	石器	刮削片	Vta	チャート	-95446.877	45877.507	88.336	1.9	0.2	0.3	-
451	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.784	45877.483	88.332	0.9	0.1	0.1	-
452	石器	刮削片	Vta	チャート	-95446.621	45877.7.7	88.368	1.7	0.3	0.4	-
453	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.602	45877.585	88.43	0.9	0.2	0.1	-
455	石器	刮削片	Vta	チャート	-95446.279	45877.639	88.384	1.2	0.2	0.2	-
457	石器	刮削片	Vta	チャート	-95444.173	45876.227	88.369	2.3	1.0	1.6	-
460	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.515	45876.038	88.378	0.7	0.1	0.1	-
462	石器	刮削片	Vta	チャート	-95444.995	45875.039	88.405	1.3	0.2	0.2	-
465	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.034	45874.944	88.401	1.8	0.5	0.9	-
466	石器	刮削片	Vta	チャート	-95446.504	45874.92	88.484	1.0	0.1	0.1	-
501	石器	刮削片	Vta	チャート	-95432.364	45865.267	88.643	2.4	0.7	1.5	-
513	石器	砂片	Vta	チャート	-95457.179	45863.497	88.669	0.7	0.2	0.1	-
515	石器	砂片	Vta	チャート	-95456.648	45862.671	88.654	1.8	0.5	0.7	-
517	石器	砂片	Vta	チャート	-95456.433	45860.006	88.675	1.0	0.1	0.1	-
520	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.628	45860.607	88.66	0.7	0.2	0.1	-
522	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.667	45860.701	88.669	1.5	0.2	0.2	-
525	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.162	45860.979	88.736	1.8	0.4	0.6	-
526	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.521	45861.153	88.659	0.7	0.1	0.1	-
528	石器	砂片	Vta	チャート	-95455.019	45861.606	88.647	1.1	0.1	0.1	-
529	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.91	45861.624	88.71	1.3	0.2	0.5	-
530	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.128	45861.749	88.685	2.3	0.7	2.1	-
531	石器	砂片	Vta	チャート	-95455.225	45861.879	88.674	1.6	0.7	0.7	-
532	石器	砂片	Vta	チャート	-95455.052	45862.018	88.667	1.5	0.2	0.2	-
533	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.119	45862.063	88.684	2.1	0.6	1.0	-
535	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.29	45862.038	88.683	2.0	0.2	0.3	-
539	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.482	45862.836	88.656	1.2	0.3	0.6	-
556	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.503	45863.781	88.674	2.3	0.5	1.1	-
557	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.907	45866.318	88.578	1.4	0.3	0.2	-
558	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.573	45865.896	88.561	1.8	0.4	0.4	-
559	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.483	45866.118	88.62	0.7	0.1	0.1	-
560	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.294	45865.808	88.623	1.2	0.1	0.1	-
561	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.256	45866.173	88.58	0.9	0.1	0.1	-
562	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.081	45866.636	88.617	3.0	0.9	3.5	-
563	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.409	45866.834	88.603	2.1	0.1	0.4	-
564	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.558	45867.048	88.612	0.8	0.1	0.1	-
565	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.412	45865.498	88.622	1.0	0.1	0.1	-
566	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.258	45865.574	88.646	3.0	0.3	1.5	-
567	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.263	45865.767	88.615	1.4	0.2	0.4	-
569	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.084	45867.056	88.592	1.2	0.2	0.2	-
570	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.238	45867.283	88.602	1.0	0.1	0.1	-
571	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.819	45867.185	88.592	1.9	0.2	0.4	-
572	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.414	45867.186	88.615	0.8	0.4	0.2	-
573	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.472	45866.951	88.62	1.0	0.1	0.1	-
574	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.157	45866.641	88.638	0.8	0.1	0.1	-
576	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.281	45867.17	88.574	1.0	0.1	0.1	-
595	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.501	45868.629	88.523	2.1	0.1	0.4	-
600	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.925	45869.941	88.547	1.4	0.2	0.2	-
602	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.892	45870.007	88.557	1.8	0.6	1.1	-
603	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.663	45870.249	88.562	1.8	0.3	0.6	-
617	石器	砂片	Vta	チャート	-95441.1603	45869.8	88.284	1.7	0.2	0.2	-
624	石器	砂片	Vta	チャート	-95441.98	45868.051	88.359	1.0	0.1	0.1	小型角礫岩材
626	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.029	45868.202	88.351	1.5	0.7	1.1	-
627	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.049	45868.358	88.342	3.5	0.7	2.5	-
633	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.427	45866.274	88.545	1.5	0.2	0.3	-
635	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.903	45864.969	88.641	1.0	0.2	0.1	-
636	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.232	45866.367	88.509	1.4	0.3	0.7	-
642	石器	砂片	Vta	チャート	-95443.655	45864.084	88.506	3.5	1.0	3.9	-
649	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.457	45864.31	88.613	1.4	0.2	0.3	-
652	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.217	45863.474	88.689	1.9	0.8	1.1	-
654	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.839	45863.305	88.663	2.5	1.1	8.9	-
669	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.445	45861.167	88.646	2.1	0.8	2.2	-
670	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.45	45860.951	88.601	1.4	0.4	0.9	-
672	石器	砂片	Vta	チャート	-95441.243	45858.039	88.336	1.2	0.2	0.1	-
673	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.175	45857.84	88.441	1.9	0.4	0.6	-
674	石器	砂片	Vta	チャート	-95443.3172	45857.499	88.691	0.6	0.1	0.1	-
675	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.638	45856.437	88.674	1.0	0.1	0.1	-
677	石器	砂片	Vta	チャート	-95440.833	45854.237	88.652	1.1	0.1	0.1	-
680	石器	砂片	Vta	チャート	-95441.167	45854.46	88.641	1.5	0.2	0.8	-
694	石器	砂片	Vta	チャート	-95444.178	45849.896	88.006	1.2	0.1	0.1	-

第18表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(3)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	
697	石器	砂片	Vta	チャート	-96447.404	45862.939	89.059	1.2	0.1	0.1	-
722	石器	測片	Vta	チャート	-96445.475	45854.788	88.916	1.1	0.3	0.3	-
727	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.03	45866.115	88.854	2.7	0.4	0.9	-
728	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.154	45867.352	88.693	1.5	0.1	0.2	-
729	石器	砂片	Vta	チャート	-96440.980	45866.248	88.549	0.9	0.1	0.1	-
732	石器	測片	Vta	チャート	-96444.165	45866.701	88.812	1.7	0.3	0.5	-
733	石器	測片	Vta	チャート	-96444.704	45866.751	88.808	1.8	0.3	0.5	-
734	石器	測片	Vta	チャート	-96444.453	45868.443	88.747	2.4	0.6	1.4	-
735	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.808	45867.97	88.76	1.1	0.3	0.2	-
736	石器	測片	Vta	チャート	-96445.125	45867.869	88.741	1.1	0.2	0.2	-
737	石器	測片	Vta	チャート	-96444.788	45867.813	88.751	1.4	0.6	1.1	-
738	石器	測片	Vta	チャート	-96444.896	45867.568	88.766	2.0	1.0	2.2	-
739	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.774	45867.576	88.734	0.7	0.1	0.1	-
740	石器	測片	Vta	チャート	-96454.119	45867.454	88.737	2.5	0.4	1.4	-
742	石器	砂片	Vta	チャート	-96445.418	45867.333	88.713	1.2	0.2	0.2	-
760	石器	砂片	Vta	チャート	-96426.095	45867.433	88.803	1.2	0.1	0.1	-
762	石器	測片	Vta	チャート	-96450.863	45864.762	88	2.0	0.2	0.6	-
763	石器	測片	Vta	チャート	-96450.653	45864.754	88.92	1.5	0.3	0.3	-
765	石器	測片	Vta	チャート	-96450.404	45864.127	88.972	2.5	1.1	5.1	-
766	石器	測片	Vta	チャート	-96450.313	45864.005	88.952	2.5	0.5	1.2	-
767	石器	砂片	Vta	チャート	-96450.173	45863.19	88.995	1.1	0.1	0.1	-
769	石器	測片	Vta	チャート	-96448.452	45863.739	88.99	1.7	0.7	0.9	-
771	石器	測片	Vta	チャート	-96448.286	45863.889	88.983	2.6	0.2	1.0	-
777	石器	測片	Vta	チャート	-96448.373	45861.205	88.079	2.1	0.3	0.8	-
778	石器	砂片	Vta	チャート	-96449.302	45861.98	89.052	0.9	0.2	0.1	-
779	石器	測片	Vta	チャート	-96450.077	45861.432	89.046	1.1	0.2	0.2	-
780	石器	砂片	Vta	チャート	-96450.135	45860.943	89.081	1.0	0.1	0.1	-
781	石器	砂片	Vta	チャート	-96450.386	45851.699	89.042	1.2	0.2	0.2	-
791	石器	石核	Vta	チャート	-96453.036	45866.151	88.903	1.1	0.1	0.1	不定形測片を剥離
796	石器	砂片	Vta	チャート	-96453.536	45861.269	88.649	1.3	0.3	0.5	-
815	石器	砂片	Vta	チャート	-96459.948	45861.894	88.666	1.0	0.1	0.1	-
816	石器	砂片	Vta	チャート	-96460.998	45861.489	88.606	0.8	0.1	0.1	-
817	石器	砂片	Vta	チャート	-96460.445	45861.778	88.656	1.1	0.3	0.2	-
820	石器	測片	Vta	チャート	-96469.586	45861.228	88.655	3.1	0.4	1.3	-
822	石器	砂片	Vta	チャート	-96469.732	45860.694	88.672	1.0	0.2	0.1	-
827	石器	測片	Vta	チャート	-96468.881	45861.664	88.675	0.7	0.1	0.1	-
828	石器	砂片	Vta	チャート	-96468.917	45861.372	88.653	1.0	0.2	0.1	-
831	石器	測片	Vta	チャート	-96468.407	45862.692	88.656	1.1	0.2	0.3	-
843	石器	石器	Vta	チャート	-96466.178	45862.955	88.778	0.9	0.3	0.1	両面欠損
857	石器	砂片	Vta	チャート	-96459.316	45865.225	88.816	1.2	0.2	0.1	-
858	石器	砂片	Vta	チャート	-96459.317	45861.935	88.826	0.9	0.1	0.1	-
860	石器	砂片	Vta	チャート	-96451.153	45863.016	88.814	0.8	0.1	0.1	-
861	石器	砂片	Vta	チャート	-96462.204	45862.824	88.829	0.8	0.1	0.1	-
881	石器	測片	Vta	チャート	-96461.1761	45869.744	88.889	2.9	0.6	1.8	-
887	石器	砂片	Vta	チャート	-96461.867	45869.141	88.904	0.7	0.1	0.1	-
889	石器	測片	Vta	チャート	-96461.013	45869.136	88.926	0.9	0.5	0.8	-
891	石器	砂片	Vta	チャート	-96462.085	45868.775	88.936	1.2	0.1	0.1	-
895	石器	砂片	Vta	チャート	-96462.648	45868.275	88.91	0.8	0.1	0.1	-
898	石器	砂片	Vta	チャート	-96460.993	45861.463	88.947	0.8	0.1	0.1	-
899	石器	砂片	Vta	チャート	-96461	45867.982	88.944	0.8	0.1	0.1	-
900	石器	測片	Vta	チャート	-96460.961	45867.573	88.917	0.7	0.1	0.1	-
903	石器	砂片	Vta	チャート	-96460.651	45867.732	88.941	0.7	0.1	0.1	-
902	石器	砂片	Vta	チャート	-96461.1249	45867.286	88.932	0.9	0.1	0.1	-
906	石器	砂片	Vta	チャート	-96460.967	45866.479	88.893	0.9	0.1	0.1	-
907	石器	砂片	Vta	チャート	-96460.815	45866.606	88.912	1.4	0.1	0.2	-
909	石器	砂片	Vta	チャート	-96460.764	45865.988	88.886	1.0	0.1	0.1	-
910	石器	砂片	Vta	チャート	-96461.031	45866.227	88.904	0.9	0.1	0.1	-
913	石器	測片	Vta	チャート	-96461.915	45865.545	88.892	1.2	0.2	0.4	-
918	石器	測片	Vta	チャート	-96462.658	45865.561	88.899	1.3	0.4	0.8	-
919	石器	砂片	Vta	チャート	-96463.207	45866.256	88.915	0.7	0.1	0.1	-
921	石器	測片	Vta	チャート	-96462.369	45866.327	88.825	1.0	0.2	0.2	-
926	石器	砂片	Vta	チャート	-96464.457	45864.102	88.761	0.9	0.1	0.1	-
931	石器	砂片	Vta	チャート	-96466.015	45866.639	88.738	0.9	0.1	0.1	-
932	石器	砂片	Vta	チャート	-96467.738	45865.499	88.774	0.7	0.1	0.1	-
934	石器	石器未製品	Vta	チャート	-96465.71	45865.158	88.778	1.7	0.5	0.7	測片の可能性あり
935	石器	砂片	Vta	チャート	-96465.736	45865.238	88.812	1.1	0.2	0.2	-
936	石器	砂片	Vta	チャート	-96465.618	45865.452	88.807	0.7	0.1	0.1	-
937	石器	砂片	Vta	チャート	-96465.571	45866.063	88.805	0.8	0.1	0.1	-
939	石器	測片	Vta	チャート	-96464.28	45865.804	88.845	2.4	0.5	2.3	-
940	石器	砂片	Vta	チャート	-96464.155	45864.014	88.817	0.9	0.1	0.1	-

第19表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(4)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
942	石器	測片	Vta	チャート	-95467.518	45840.123	88.939	2.8	0.7	3.3	-
946	石器	砂片	Vta	チャート	-95463.72	45840.998	88.938	1.0	0.1	0.1	-
947	石器	砂片	Vta	チャート	-95463.187	45840.241	88.977	1.2	0.2	0.1	-
950	石器	砂片	Vta	チャート	-95462.982	45841.119	88.929	0.9	0.1	0.1	-
951	石器	砂片	Vta	チャート	-95462.92	45840.797	88.938	0.6	0.1	0.1	-
953	石器	測片	Vta	チャート	-95462.603	45840.532	88.967	0.9	0.2	0.2	-
954	石器	砂片	Vta	チャート	-95462.775	45840.312	88.958	0.8	0.1	0.1	-
955	石器	測片	Vta	チャート	-95462.457	45840.521	89.003	1.3	0.3	0.3	-
956	石器	測片	Vta	チャート	-95462.338	45839.705	88.934	0.9	0.5	0.4	-
957	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.645	45839.653	88.992	0.7	0.1	0.1	-
959	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.48	45839.938	89.008	1.0	0.2	0.1	-
960	石器	測片	Vta	チャート	-95460.829	45840.418	88.922	1.2	0.2	1.2	-
961	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.845	45840.588	88.96	0.7	0.1	0.1	-
962	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.647	45840.883	89.903	1.0	0.1	0.1	-
963	石器	測片	Vta	チャート	-95461.807	45840.672	88.995	0.9	0.2	0.2	-
964	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.875	45840.871	88.996	1.2	0.1	0.1	-
966	石器	測片	Vta	チャート	-95458.998	45839.589	89.063	1.1	0.3	0.4	-
967	石器	石頭	Vta	チャート	-95459.213	45840.038	89.07	1.3	0.3	0.4	両脚大指
968	石器	測片	Vta	チャート	-95458.555	45840.677	89.088	1.2	0.3	0.3	-
970	石器	測片	Vta	チャート	-95457.9	45842.246	89.036	1.1	0.1	0.1	-
976	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.312	45845.817	88.833	0.7	0.1	0.1	-
982	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.847	45852.982	88.669	0.8	0.1	0.1	-
996	石器	砂片	Vta	チャート	-95460.409	45851.144	88.72	0.9	0.2	0.1	-
998	石器	砂片	Vta	チャート	-95460.533	45851.175	88.699	1.6	0.7	0.5	-
999	石器	石頭未製品	Vta	チャート	-95466.565	45850.975	88.71	0.3	0.4	0.9	剥片の可能性あり
1000	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.613	45851.113	88.695	1.0	0.2	0.1	-
1008	石器	測片	Vta	チャート	-95465.532	45849.955	88.757	0.5	0.1	0.1	-
1011	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.797	45849.256	88.759	1.1	0.1	0.1	-
1012	石器	石頭未製品	Vta	チャート	-95466.041	45849.042	88.767	2.2	0.6	1.4	基部の抉りのみ作り出す
1017	石器	測片	Vta	チャート	-95466.401	45849.932	88.741	1.9	1.1	2.4	-
1018	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.615	45849.97	88.761	1.0	0.1	0.1	-
1019	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.566	45850.249	88.812	1.0	0.1	0.1	-
1020	石器	測片	Vta	チャート	-95466.77	45850.056	88.754	1.4	0.2	0.2	-
1021	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.647	45850.469	88.736	1.0	0.1	0.1	-
1022	石器	測片	Vta	チャート	-95466.745	45850.681	88.721	1.2	0.2	0.4	-
1023	石器	測片	Vta	チャート	-95466.707	45850.905	88.769	1.8	0.4	0.6	-
1024	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.914	45850.5	88.79	1.0	0.2	0.1	-
1027	石器	測片	Vta	チャート	-95467.005	45851.084	88.727	1.6	0.5	2.0	-
1028	石器	測片	Vta	チャート	-95467.075	45851.346	88.705	1.6	0.3	0.4	-
1032	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.1	45850.993	88.719	0.9	0.2	0.1	-
1036	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.836	45849.999	88.747	1.0	0.1	0.1	-
1040	石器	測片	Vta	チャート	-95467.423	45850.281	88.742	1.0	0.3	0.1	-
1041	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.286	45850.366	88.705	0.5	0.1	0.1	-
1042	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.353	45860.439	88.717	0.7	0.2	0.1	-
1045	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.619	45850.727	88.683	0.9	0.1	0.1	-
1046	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.532	45850.881	88.7	0.9	0.1	0.1	-
1049	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.541	45851.18	88.729	0.8	0.2	0.1	-
1051	石器	測片	Vta	チャート	-95467.595	45851.733	88.675	2.8	0.7	2.8	-
1052	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.672	45851.481	88.685	1.4	0.1	0.1	-
1053	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.667	45851.381	88.686	1.9	0.3	0.6	-
1054	石器	測片	Vta	チャート	-95467.758	45851.634	88.675	1.0	0.1	0.1	-
1069	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.601	45851.743	86.74	0.9	0.2	0.1	-
1070	石器	測片	Vta	チャート	-95468.72	45851.664	88.713	1.5	0.3	0.3	-
1075	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.494	45851.128	88.699	0.1	0.2	0.1	-
1077	石器	砂片	Vta	チャート	-95469.231	45851.276	88.688	1.0	0.1	0.1	-
1078	石器	測片	Vta	チャート	-95467.989	45851.278	88.732	2.0	0.5	0.9	-
1079	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.959	45851.18	88.711	1.2	0.2	0.1	-
1080	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.877	45851.134	88.684	1.0	0.3	0.2	-
1081	石器	測片	Vta	チャート	-95467.701	45851.165	88.79	1.2	0.2	0.3	-
1082	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.566	45851.032	88.672	1.1	0.1	0.1	-
1083	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.471	45850.996	88.715	0.7	0.1	0.1	-
1084	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.243	45850.884	88.723	0.7	0.1	0.1	-
1087	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.70	45850.779	88.7	0.7	0.1	0.1	-
1089	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.339	45850.757	88.706	1.0	0.1	0.1	-
1094	石器	測片	Vta	チャート	-95468.023	45850.726	79.697	1.7	0.5	1.0	-
1107	石器	測片	Vta	チャート	-95467.681	45850.139	99.777	2.0	0.4	0.6	-
1109	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.839	45849.947	88.687	0.7	0.1	0.1	-
1110	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.176	45849.994	88.664	0.6	0.1	0.1	-
1111	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.141	45850.122	88.699	0.7	0.1	0.1	-
1114	石器	測片	Vta	チャート	-95468.46	45850.562	88.74	1.1	0.1	0.1	-

第20表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(5)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(㎝)	最大厚(㎝)	重量(g)	
1124	石器	石器	Vta	チャート	-96467.519	45869.051	88.713	1.2	0.3	0.2	両胸欠損
1126	石器	鉈片	Vta	チャート	-96461.376	45862.211	88.795	0.7	0.1	0.1	-
1127	石器	鉈片	Vta	チャート	-96461.135	45862.109	88.837	1.0	0.1	0.1	-
1129	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.505	45862.345	88.801	0.9	0.1	0.1	-
1130	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.930	45861.937	88.793	0.8	0.1	0.1	-
1132	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.193	45861.587	88.81	0.9	0.1	0.1	-
1133	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.244	45861.476	88.825	0.9	0.1	0.1	-
1134	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.112	45861.494	88.804	0.9	0.2	0.1	-
1136	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.711	45861.268	88.839	0.9	0.1	0.1	-
1138	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.019	45861.073	88.818	0.7	0.1	0.1	-
1139	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.655	45860.966	88.82	0.9	0.1	0.1	-
1140	G器	測定片	Vta	チャート	-96460.311	45860.859	88.872	1.3	0.2	0.2	-
1141	G器	鉈片	Vta	チャート	-96460.714	45861.068	88.819	1.1	0.2	0.1	-
1145	G器	鉈片	Vta	チャート	-96460.001	45860.921	88.866	1.0	0.1	0.1	-
1146	G器	鉈片	Vta	チャート	-96460.352	45860.723	88.81	0.7	0.1	0.1	-
1147	G器	鉈片	Vta	チャート	-96460.643	45860.684	88.826	0.9	0.1	0.1	-
1149	G器	鉈片	Vta	チャート	-96460.97	45860.744	88.795	0.9	0.1	0.1	-
1150	G器	測定片	Vta	チャート	-96460.932	45861.084	88.864	2.0	0.2	0.7	-
1152	G器	鉈片	Vta	チャート	-96461.078	45861.014	88.865	0.9	0.1	0.1	-
1154	G器	測定片	Vta	チャート	-96460.619	45860.323	88.867	1.1	0.1	0.1	-
1164	G器	鉈片	Vta	チャート	-96456.286	45860.244	88.984	0.8	0.1	0.1	-
1170	石器	石器	Vta	チャート	-96459.995	45865.663	88.984	2.1	0.4	0.7	先端部欠損
1171	石器	測定片	Vta	チャート	-96459.792	45865.303	88.961	1.4	0.2	0.2	-
1172	石器	測定片	Vta	チャート	-96460.476	45865.566	88.941	1.5	0.1	0.1	-
1173	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.681	45864.938	88.892	0.9	0.1	0.1	-
1174	石器	鉈片	Vta	チャート	-96461.139	45864.954	88.773	0.8	0.1	0.1	-
1175	石器	鉈片	Vta	チャート	-96461.225	45865.061	88.856	1.0	0.1	0.1	-
1176	石器	鉈片	Vta	チャート	-96462.141	45866.154	88.879	0.8	0.2	0.1	-
1177	石器	測定片	Vta	チャート	-96461.994	45865.994	88.865	1.2	0.1	0.1	-
1178	石器	鉈片	Vta	チャート	-96452.47	45865.814	88.92	1.1	0.1	0.1	-
1179	石器	（鉈）	Vta	チャート	-96462.114	45865.804	88.896	1.9	0.3	0.8	右脚欠損
1180	石器	鉈片	Vta	チャート	-96461.1947	45865.791	88.896	1.0	0.2	0.1	-
1181	G器	鉈片	Vta	チャート	-96461.998	45865.598	88.894	1.2	0.1	0.1	-
1182	G器	鉈片	Vta	チャート	-96461.811	45865.579	88.86	1.3	0.1	0.1	-
1183	G器	鉈片	Vta	チャート	-96461.834	45865.494	88.896	1.0	0.1	0.1	-
1184	G器	鉈片	Vta	チャート	-96462.763	45865.499	88.834	0.8	0.1	0.1	-
1186	G器	鉈片	Vta	チャート	-96462.44	45864.841	88.861	0.9	0.1	0.1	-
1187	G器	測定片	Vta	チャート	-96462.601	45864.639	88.917	1.5	0.2	0.2	-
1188	G器	鉈片	Vta	チャート	-96462.761	45863.867	88.875	1.1	0.1	0.1	-
1189	G器	鉈片	Vta	チャート	-96462.229	45863.709	88.874	1.0	0.1	0.1	-
1192	石器	鉈片	Vta	チャート	-96461.28	45864.616	88.908	1.1	0.1	0.1	-
1193	石器	鉈片	Vta	チャート	-96461.574	45863.714	88.914	1.4	0.1	0.1	-
1194	石器	鉈片	Vta	チャート	-96461.149	45863.76	88.916	1.0	0.2	0.1	-
1195	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.76	45864.092	89.025	1.0	0.1	0.1	-
1196	石器	測定片	Vta	チャート	-96460.58	45863.739	89.021	1.5	0.1	0.1	-
1198	石器	鉈片	Vta	チャート	-96459.795	45864.022	88.99	0.6	0.1	0.1	-
1199	石器	鉈片	Vta	チャート	-96459.703	45864.597	88.987	0.7	0.1	0.1	-
1200	石器	鉈片	Vta	チャート	-96458.628	45864.699	88.58	0.9	0.1	0.1	-
1206	石器	鉈片	Vta	チャート	-96458.479	45863.604	89.091	0.7	0.1	0.1	-
1207	石器	鉈片	Vta	チャート	-96456.561	45863.745	89.063	0.8	0.1	0.1	-
1208	石器	測定片	Vta	チャート	-96456.252	45863.365	89.055	2.0	0.6	1.2	-
1210	石器	測定片	Vta	チャート	-96456.157	45864.139	89.038	2.7	0.5	0.8	-
1211	石器	鉈片	Vta	チャート	-96455.997	45864.128	89.049	1.3	0.2	0.2	-
1212	石器	測定片	Vta	チャート	-96455.736	45864.123	89.115	3.2	1.0	4.3	-
1213	石器	鉈片	Vta	チャート	-96455.918	45863.901	89.042	0.9	0.1	0.1	-
1214	G器	鉈片	Vta	チャート	-96454.426	45863.983	89.115	1.3	0.9	0.3	-
1215	G器	鉈片	Vta	チャート	-96453.331	45863.702	89.078	1.8	0.2	0.6	-
1217	G器	鉈片	Vta	チャート	-96456.252	45863.172	89.06	1.1	0.2	0.1	-
1218	G器	鉈片	Vta	チャート	-96456.788	45862.827	89.024	1.0	0.1	0.1	-
1219	G器	鉈片	Vta	チャート	-96456.652	45862.979	89.046	1.3	0.1	0.1	-
1220	G器	測定片	Vta	チャート	-96455.71	45862.343	89.103	1.3	0.2	0.4	-
1222	G器	鉈片	Vta	チャート	-96455.574	45862.588	89.153	1.0	0.1	0.1	-
1223	G器	測定片	Vta	チャート	-96455.449	45862.729	89.081	1.7	0.3	0.6	-
1224	石器	鉈片	Vta	チャート	-96455.286	45862.778	89.119	1.2	0.2	0.2	-
1227	石器	鉈片	Vta	チャート	-96455.503	45862.655	89.122	1.5	0.1	0.1	-
1228	石器	測定片	Vta	チャート	-96455.373	45862.445	89.12	1.4	0.1	0.2	-
1228	石器	鉈片	Vta	チャート	-96455.148	45868.761	89.066	1.5	0.2	0.2	-
1229	石器	測定片	Vta	チャート	-96460.327	45867.826	89.086	0.9	0.1	0.1	-
1240	石器	鉈片	Vta	チャート	-96460.341	45867.471	89.171	1.0	0.1	0.1	-
1241	石器	測定片	Vta	チャート	-96460.623	45867.09	89.136	1.2	0.4	0.5	-

第21表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(6)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
1242	石器	砂片	Vta	チャート	-95490.515	45836.829	89.152	1.1	0.1	0.1	-
1247	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.783	45836.752	89.085	1.2	0.3	0.2	-
1249	石器	砂片	Vta	チャート	-95464.594	45835.942	89.004	1.2	0.2	0.1	-
1252	石器	砂片	Vta	チャート	-95460.066	45835.385	89.164	2.8	0.5	1.7	-
1262	石器	砂片	Vta	チャート	-95456.591	45837.179	89.216	1.2	0.2	0.1	-
1263	石器	砂片	Vta	チャート	-95456.848	45836.846	89.235	2.7	0.7	1.1	-
1264	石器	砂片	Vta	チャート	-95456.472	45836.712	89.243	2.1	0.2	0.5	-
1265	石器	砂片	Vta	チャート	-95455.575	45836.889	89.243	2.4	0.7	2.2	-
1266	石器	砂片	Vta	チャート	-95455.856	45836.483	89.252	2.2	0.3	0.6	-
1268	石器	砂片	Vta	チャート	-95455.878	45834.952	89.285	1.4	0.3	0.3	先端部欠損
1273	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.251	45837.253	89.284	2.9	0.6	1.3	-
1276	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.132	45846.316	89.107	1.6	0.3	0.3	-
1277	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.170	45847.944	89.136	1.0	0.2	0.1	-
1278	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.728	45847.287	89.136	1.5	0.2	0.4	-
1279	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.966	45847.047	89.155	1.6	0.2	0.4	-
1280	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.452	45847.188	89.14	1.7	0.3	0.4	-
1281	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.539	45847.69	89.131	0.7	0.1	0.1	-
1282	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.913	45847.792	89.142	1.1	0.1	0.1	-
1284	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.519	45848.38	89.123	1.6	0.4	1.0	-
1287	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.219	45848.505	89.112	2.9	0.8	2.1	-
1288	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.993	45849.081	89.111	0.9	0.2	0.1	-
1291	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.7	45862.55	88.874	2.4	0.8	3.1	-
1295	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.321	45848.072	89.127	0.8	0.1	0.1	-
1296	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.066	45847.931	89.131	1.5	0.2	0.3	-
1300	石器	砂片	Vta	チャート	-95450.513	45848.343	89.122	0.9	0.2	0.1	-
1301	石器	砂片	Vta	チャート	-95450.68	45847.746	89.156	1.2	0.1	0.1	-
1302	石器	砂片	Vta	チャート	-95450.34	45847.338	89.166	1.0	0.2	0.2	-
1303	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.911	45847.291	89.191	1.0	0.2	0.1	-
1313	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.354	45844.691	89.235	0.7	0.1	0.1	-
1314	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.523	45848.038	89.112	1.4	0.2	0.2	-
1315	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.7449	45848.11	89.067	1.0	0.2	0.1	-
1318	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.507	45843.964	89.186	1.6	0.2	0.6	-
1331	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.514	45838.608	89.047	1.5	0.2	0.3	-
1339	石器	砂片	Vta	チャート	-95460.174	45806.09	89.515	1.0	0.1	0.1	-
1342	石器	砂片	Vta	チャート	-95444.174	45878.207	88.275	1.5	0.4	0.6	-
1343	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.177	45867.71	88.354	0.8	0.1	0.1	-
1344	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.567	45867.524	88.374	0.7	0.1	0.1	-
1348	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.479	45875.987	88.378	1.1	0.1	0.1	-
1371	石器	砂片	Vta	チャート	-95472.602	45857.581	88.422	1.2	0.2	0.1	-
1373	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.387	45858.002	88.489	1.7	0.4	1.4	-
1374	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.391	45857.852	88.426	2.3	0.4	0.8	-
1375	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.319	45857.702	88.515	1.5	0.2	0.3	-
1376	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.256	45857.319	88.465	2.1	0.8	2.2	-
1377	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.908	45898.527	88.409	1.3	0.2	0.1	-
1378	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.7	45858.361	88.448	2.4	0.7	2.0	-
1379	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.372	45857.896	88.389	2.0	0.4	0.5	-
1381	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.587	45856.983	88.469	1.1	0.2	0.3	-
1383	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.212	45857.822	88.402	1.3	0.2	0.3	-
1386	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.363	45855.804	88.469	2.0	0.4	0.4	-
1388	石器	砂片	Vta	チャート	-95477.548	45861.442	88.26	1.8	0.4	2.3	-
1389	石器	砂片	Vta	チャート	-95476.616	45882.043	88.316	1.9	0.1	0.4	-
1393	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.166	45856.457	88.472	2.5	0.6	1.7	-
1394	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.125	45856.501	88.474	2.5	0.6	1.0	-
1395	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.447	45857.027	89.439	1.5	0.2	0.7	-
1396	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.845	45856.738	89.476	1.6	0.2	0.4	-
1409	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.486	45851.099	89.682	1.0	0.1	0.1	-
1412	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.733	45850.105	89.695	3.0	1.0	4.3	-
1413	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.217	45860.97	89.796	1.1	0.1	0.1	-
1414	石器	砂片	Vta	チャート	-95460.617	45851.562	89.799	1.1	0.1	0.1	-
1416	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.504	45838.666	90.41	1.8	0.3	0.4	-
1425	石器	砂片	Vta	チャート	-95441.768	45835.035	90.629	1.8	0.5	0.6	-
1433	石器	砂片	Vta	チャート	-95443.505	45832.45	90.663	2.9	0.2	0.8	-
1437	石器	砂片	Vta	チャート	-95444.04	45831.063	90.764	2.2	0.4	0.9	-
1438	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.745	45831.236	90.697	1.4	0.6	0.5	-
1440	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.39	45831.812	90.675	1.0	0.4	0.5	-
1448	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.009	45832.143	90.513	1.2	0.3	0.2	-
1449	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.979	45831.433	90.707	1.3	0.3	0.7	-
1455	石器	砂片	Vta	チャート	-95444.801	45829.397	90.805	1.0	0.2	0.5	-
1463	石器	砂片	Vta	チャート	-95438.809	45832.183	90.602	2.8	1.0	6.0	-
1466	石器	砂片	Vta	チャート	-95437.705	45830.116	90.649	1.1	0.1	0.1	-
1471	石器	砂片	Vta	チャート	-95437.146	45827.315	90.711	0.7	0.2	0.1	-
1474	石器	石核	Vta	チャート	-96440.05	45827.237	90.894	2.7	1.0	3.5	不定形削片剥離

第22表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(7)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
1476	石器	測片	Vta	チャート	-95440.526	45826.363	90.921	2.6	0.6	1.5	-
1482	石器	測片	Vta	チャート	-95442.708	45828.107	90.84	2.2	0.9	2.5	-
1491	石器	測片	Vta	チャート	-95449.684	45829.701	90.709	1.7	0.7	1.3	-
1499	石器	測片	Vta	チャート	-95458.038	45828.731	90.402	0.8	0.1	0.1	-
1508	石器	石器未品目	Vta	チャート	-95454.111	45828.344	90.343	2.0	0.4	0.8	石材測片面が良く残る
1516	石器	測片	Vta	チャート	-95457.437	45827.368	90.438	1.6	0.4	0.6	-
1525	石器	測片	Vta	チャート	-95452.821	45824.773	90.597	1.5	0.4	0.4	-
1526	石器	測片	Vta	チャート	-95456.37	45822.449	90.607	1.7	0.5	0.7	-
1527	石器	石器	Vta	チャート	-95456.397	45820.319	90.644	1.6	0.3	0.6	先端部欠損
1530	石器	測片	Vta	チャート	-95455.275	45824.687	90.587	1.3	0.2	0.2	-
1532	石器	石器	Vta	チャート	-95451.681	45825.524	90.608	1.0	0.1	0.1	左胸欠損
1535	石器	測片	Vta	チャート	-95453.9	45827.115	90.487	1.0	0.2	0.1	-
1536	石器	測片	Vta	チャート	-95453.461	45827.508	90.571	1.3	0.2	0.3	-
1537	石器	測片	Vta	チャート	-95452.821	45827.428	90.569	2.5	0.4	1.0	-
1538	石器	測片	Vta	チャート	-95452.699	45827.527	90.74	1.1	0.2	0.1	-
1539	石器	測片	Vta	チャート	-95452.617	45827.57	90.715	1.0	0.2	0.1	-
1545	石器	測片	Vta	チャート	-95452.075	45826.072	90.695	0.9	0.1	0.1	-
1547	石器	測片	Vta	チャート	-95451.107	45826.52	90.788	3.4	1.1	5.7	-
1548	石器	測片	Vta	チャート	-95451.180	45826.87	90.59	1.5	0.2	0.2	-
1549	石器	測片	Vta	チャート	-95452.029	45827.032	90.609	1.6	0.2	0.2	-
1550	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.73	45826.962	90.724	1.0	0.1	0.1	-
1551	石器	測片	Vta	チャート	-95451.785	45827.11	90.723	1.6	0.5	0.5	-
1552	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.02	45827.372	90.757	0.5	0.2	0.1	-
1553	石器	測片	Vta	チャート	-95451.741	45827.491	90.757	2.0	0.4	0.9	-
1554	石器	測片	Vta	チャート	-95451.656	45827.687	90.643	1.5	0.2	0.1	-
1555	石器	測片	Vta	チャート	-95451.562	45828.184	90.718	3.2	0.5	1.6	-
1559	石器	測片	Vta	チャート	-95450.911	45828.384	90.71	1.3	0.2	0.2	-
1560	石器	測片	Vta	チャート	-95450.781	45827.533	90.69	1.5	0.2	0.3	-
1562	G器	測片	Vta	チャート	-95448.55	45827.444	90.886	1.3	0.2	0.2	-
1563	G器	測片	Vta	チャート	-95445.570	45827.149	90.891	1.7	0.2	0.2	-
1565	G器	砂片	Vta	チャート	-95446.673	45826.055	90.93	1.3	0.5	0.4	-
1566	G器	測片	Vta	チャート	-95447.668	45825.576	90.863	2.2	0.4	1.0	-
1567	G器	測片	Vta	チャート	-95447.418	45825.047	90.895	3.0	0.5	2.9	-
1570	G器	測片	Vta	チャート	-95447.941	45821.392	90.809	3.0	0.8	2.9	-
1575	G器	砂片	Vta	チャート	-95461.651	45829.448	90.426	1.2	0.1	0.2	-
1585	G器	測片	Vta	チャート	-95464.152	45821.42	90.406	1.8	0.4	0.8	-
1596	G器	砂片	Vta	チャート	-95469.127	45820.667	90.437	1.0	0.1	0.1	-
1597	G器	砂片	Vta	チャート	-95464.914	45821.699	90.404	0.9	0.1	0.1	-
1598	G器	砂片	Vta	チャート	-95464.485	45821.594	90.429	1.3	0.3	0.3	-
1600	G器	測片	Vta	チャート	-95469.093	45822.694	90.362	1.8	0.5	0.6	-
1601	G器	測片	Vta	チャート	-95470.152	45823.036	90.322	1.8	0.2	0.3	-
1602	G器	砂片	Vta	チャート	-95469.317	45822.372	90.315	1.0	0.1	0.1	-
1604	G器	測片	Vta	チャート	-95461.948	45819.328	90.51	2.3	0.2	0.8	-
1605	G器	測片	Vta	チャート	-95463.857	45819.249	90.553	2.0	0.8	1.5	-
1606	G器	測片	Vta	チャート	-95463.967	45819.656	90.461	1.4	0.2	0.2	-
1607	G器	測片	Vta	チャート	-95464.114	45819.086	90.645	1.5	0.2	0.2	-
1608	G器	砂片	Vta	チャート	-95464.283	45819.218	90.551	0.8	0.1	0.1	-
1611	G器	測片	Vta	チャート	-95462.99	45817.683	90.561	2.0	0.4	0.6	-
1613	G器	測片	Vta	チャート	-95463.235	45817.225	90.556	1.8	0.2	0.3	-
1629	石器	石器	Vta	チャート	-95456.899	45815.99	90.782	1.2	0.3	0.3	先端部欠損
1631	石器	砂片	Vta	チャート	-95457.685	45815.106	90.788	0.8	0.1	0.1	-
1632	石器	砂片	Vta	チャート	-95457.527	45815.511	90.809	1.3	0.2	0.2	-
1633	石器	砂片	Vta	チャート	-95457.184	45815.968	90.799	1.1	0.1	0.1	-
1634	石器	測片	Vta	チャート	-95457.058	45815.905	90.774	1.8	0.2	0.3	-
1635	石器	測片	Vta	チャート	-95457.542	45816.766	90.746	1.7	0.2	0.2	-
1636	石器	測片	Vta	チャート	-95457.096	45816.429	90.73	1.3	0.1	0.2	-
1638	石器	測片	Vta	チャート	-95456.979	45816.29	90.746	1.1	0.3	0.2	-
1640	石器	測片	Vta	チャート	-95455.769	45815.038	81.789	1.7	0.4	0.6	-
1644	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.566	45823.795	90.856	1.0	0.2	0.1	-
1645	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.541	45823.269	90.914	0.9	0.1	0.1	-
1651	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.417	45822.487	90.877	1.0	0.3	0.2	-
1656	石器	測片	Vta	チャート	-95447.822	45822.96	90.803	1.1	0.2	0.1	-
1657	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.515	45822.949	90.939	0.8	0.1	0.1	-
1659	石器	測片	Vta	チャート	-95447.976	45822.525	90.949	1.3	0.2	0.2	-
1660	石器	測片	Vta	チャート	-95448.622	45822.13	90.883	1.5	0.2	0.3	-
1662	石器	測片	Vta	チャート	-95448.378	45822.009	90.942	1.7	0.2	0.1	-
1664	石器	測片	Vta	チャート	-95464.145	45820.268	90.935	1.6	0.3	0.4	-
1665	石器	測片	Vta	チャート	-95464.045	45820.211	90.953	1.5	0.3	0.2	-
1667	石器	測片	Vta	チャート	-95464.598	45819.398	90.9	1.2	0.4	0.5	-
1668	石器	測片	Vta	チャート	-95464.874	45819.499	90.899	1.5	0.3	0.3	-
1670	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.782	45819.664	90.925	1.0	0.1	0.1	-
1671	石器	測片	Vta	チャート	-95465.597	45813.929	90	1.3	0.2	0.2	-

第23表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(8)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
1672	石器	測片	Vta	チャート	-95465.769	45813.579	90.109	2.3	0.4	0.8	-
1673	石器	測片	Vta	チャート	-95466.118	45813.57	90.067	2.2	0.3	0.5	-
1674	石器	測片	Vta	チャート	-95466.053	45813.155	90.137	1.7	0.3	0.4	-
1676	石器	測片	Vta	チャート	-95466.3	45813.039	90.131	1.9	0.4	0.9	-
1677	石器	測片	Vta	チャート	-95466.472	45813.158	90.138	1.6	0.3	0.4	-
1678	石器	測片	Vta	チャート	-95466.732	45813.077	90.109	1.0	0.1	0.1	-
1679	石器	測片	Vta	チャート	-95467.348	45813.199	90.03	1.3	0.1	0.2	-
1680	石器	測片	Vta	チャート	-95467.35	45813.111	90.073	0.8	0.2	0.1	-
1681	石器	測片	Vta	チャート	-95467.08	45813.004	90.093	1.0	0.3	0.2	-
1682	石器	測片	Vta	チャート	-95467.264	45813.02	90.107	2.4	0.5	1.6	-
1683	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.991	45812.91	90.098	1.3	0.1	0.1	-
1686	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.052	45812.573	90.115	0.6	0.1	0.1	-
1687	石器	測片	Vta	チャート	-95466.234	45812.56	90.112	1.6	0.1	0.1	-
1688	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.33	45812.598	90.112	1.0	0.1	0.1	-
1689	石器	測片	Vta	チャート	-95466.245	45812.375	90.114	2.8	0.3	1.4	-
1690	石器	測片	Vta	チャート	-95466.401	45812.448	90.129	1.5	0.2	0.3	-
1691	石器	測片	Vta	チャート	-95466.523	45812.539	90.124	1.3	0.1	0.1	-
1692	石器	測片	Vta	チャート	-95466.773	45812.674	90.213	1.5	0.2	0.2	-
1693	石器	測片	Vta	チャート	-95466.709	45812.593	90.187	1.6	0.2	0.2	-
1694	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.142	45812.2	90.049	0.9	0.1	0.1	-
1695	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.173	45812.101	90.148	0.8	0.1	0.1	-
1697	石器	測片	Vta	チャート	-95466.432	45812.084	90.135	1.8	0.5	0.9	-
1699	石器	測片	Vta	チャート	-95466.484	45812.376	90.145	3.3	0.5	2.5	-
1701	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.805	45812.34	90.182	0.7	0.1	0.1	-
1702	石器	測片	Vta	チャート	-95466.817	45812.453	90.18	1.0	0.2	0.1	-
1703	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.869	45811.805	90.143	0.8	0.1	0.1	-
1704	G器	測片	Vta	チャート	-95466.732	45811.118	90.122	0.8	0.2	0.1	-
1705	G器	砂片	Vta	チャート	-95466.887	45811.165	90.132	1.8	0.2	0.4	-
1706	G器	砂片	Vta	チャート	-95466.973	45811.334	90.131	1.0	0.1	0.1	-
1707	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.162	45811.207	90.116	0.8	0.1	0.1	-
1708	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.217	45811.215	90.116	1.0	0.1	0.1	-
1710	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.555	45811.369	90.109	0.8	0.2	0.1	-
1711	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.555	45811.678	90.134	1.0	0.2	0.3	-
1712	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.922	45811.908	90.115	1.5	0.2	0.3	-
1713	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.284	45811.934	90.113	1.2	0.2	0.4	-
1714	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.137	45811.719	90.13	2.7	0.5	1.8	-
1715	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.136	45811.794	90.085	1.2	0.2	0.1	-
1716	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.678	45811.921	90.131	1.8	0.2	0.3	-
1717	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.908	45812.033	90.24	2.0	0.2	0.7	-
1718	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.178	45811.986	90.198	0.8	0.1	0.1	-
1719	G器	砂片	Vta	チャート	-95466.993	45812.193	90.136	0.5	0.1	0.1	-
1720	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.396	45812.113	89.106	0.7	0.1	0.1	-
1721	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.314	45812.155	90.111	1.1	0.2	0.1	-
1722	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.285	45812.4	90.104	1.0	0.2	0.1	-
1724	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.2	45812.308	90.146	0.8	0.1	0.1	-
1725	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.516	45812.352	90.108	0.9	0.1	0.1	-
1726	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.365	45812.64	90.097	0.9	0.1	0.1	-
1727	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.321	45812.528	90.086	1.3	0.1	0.1	-
1728	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.207	45812.449	90.092	0.6	0.1	0.1	-
1730	G器	測片	Vta	チャート	-95467.131	45812.495	90.125	1.2	0.3	0.3	-
1731	G器	測片	Vta	チャート	-95467.181	45812.658	90.099	0.9	0.2	0.1	-
1732	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.099	45812.625	90.1	0.9	0.1	0.1	-
1734	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.147	45812.338	90.151	0.9	0.2	0.1	-
1735	G器	砂片	Vta	チャート	-95465.549	45811.834	90.165	0.9	0.1	0.1	-
1736	G器	砂片	Vta	チャート	-95464.931	45810.94	90.161	1.1	0.2	0.1	-
1737	G器	砂片	Vta	チャート	-95464.127	45811.651	90.126	1.2	0.2	0.2	-
1738	G器	測片	Vta	チャート	-95464.129	45811.68	90.135	1.3	0.2	0.1	-
1739	G器	測片	Vta	チャート	-95463.598	45810.996	90.154	1.4	0.3	0.4	-
1741	G器	測片	Vta	チャート	-95463.269	45810.771	90.031	1.4	0.4	0.9	-
1742	G器	砂片	Vta	チャート	-95463.265	45812.373	90.098	1.3	0.3	0.2	-
1745	G器	測片	Vta	チャート	-95464.68	45813.773	90.083	1.3	0.2	0.6	-
1747	G器	測片	Vta	チャート	-95463.937	45813.962	90.155	2.8	0.7	2.4	-
1749	G器	測片	Vta	チャート	-95464.954	45815.432	90.089	1.8	0.3	0.7	-
1750	G器	測片	Vta	チャート	-95464.94	45814.746	90.06	1.2	0.5	0.5	-
1752	G器	測片	Vta	チャート	-95463.211	45815.472	90.105	1.4	0.3	0.3	-
1754	G器	砂片	Vta	チャート	-95462.231	45814.324	90.175	0.7	0.1	0.1	-
1755	G器	測片	Vta	チャート	-95461.807	45813.899	90.16	1.2	0.8	1.4	-
1758	G器	測片	Vta	チャート	-95460.215	45812.859	90.182	1.9	0.4	0.6	-
1761	G器	砂片	Vta	チャート	-95465.423	45813.568	90.152	0.9	0.1	0.1	-
1763	G器	測片	Vta	チャート	-95464.866	45811.955	90.954	1.8	0.3	0.7	-
1764	G器	砂片	Vta	チャート	-95465.1402	45814.35	90.897	1.1	0.2	0.1	-
1773	G器	砂片	Vta	チャート	-95468.676	45818.346	90.108	0.7	0.1	0.1	-

第24表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(9)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	
1776	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.876	45816.594	90.203	1.2	0.1	0.1	-
1777	石器	砂片	Vta	チャート	-95471.297	45817.411	90.112	0.5	0.1	0.1	-
1778	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.085	45817.417	90.118	0.9	0.1	0.1	-
1780	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.116	45819.706	90.031	1.2	0.2	0.2	-
1782	石器	砂片	Vta	チャート	-95469.733	45820.183	90.069	1.3	0.1	0.1	-
1783	石器	砂片	Vta	チャート	-95469.763	45820.245	90.069	0.9	0.1	0.1	-
1784	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.773	45821.212	90.933	2.0	0.3	1.0	-
1785	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.732	45821.512	90.953	1.5	0.5	1.5	-
1786	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.937	45821.463	90.993	2.1	0.2	0.8	-
1787	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.728	45821.913	90.913	1.1	0.3	0.2	-
1788	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.345	45822.198	90.911	2.0	0.4	0.5	-
1790	石器	砂片	Vta	チャート	-95469.997	45822.298	90.956	2.4	0.4	0.8	-
1792	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.447	45821.863	90.981	1.9	0.5	0.6	-
1791	石器	砂片	Vta	チャート	-95464.541	45822.71	90.902	1.5	0.5	0.5	-
1800	石器	砂片	Vta	チャート	-95464.233	45820.953	90.956	2.1	0.5	2.0	-
1801	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.082	45821.793	90.928	1.5	0.4	0.2	-
1802	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.295	45821.217	90.057	1.3	0.3	0.5	-
1815	石器	砂片	Vta	チャート	-95464.371	45817.345	90.023	1.1	0.4	0.5	-
1817	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.277	45819.901	90.016	1.5	0.1	0.1	-
1818	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.869	45820.587	90.032	1.2	0.2	0.1	-
1819	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.891	45819.069	90.127	1.4	0.1	0.2	-
1823	石器	砂片	Vta	チャート	-95471.89	45809.965	90.203	1.5	0.3	0.4	-
1825	石器	砂片	Vta	チャート	-95472.201	45809.211	90.227	1.1	0.2	0.1	-
1827	石器	砂片	Vta	チャート	-95472.114	45809.137	90.215	1.1	0.3	0.3	-
1828	石器	砂片	Vta	チャート	-95472.21	45809.117	90.216	1.5	0.2	0.1	-
1829	石器	砂片	Vta	チャート	-95472.023	45809.091	90.252	1.4	0.4	0.5	-
1834	石器	石繩	Vta	チャート	-95468.878	45806.289	90.302	2.5	0.5	1.1	先端部欠損
1835	石器	砂片	Vta	チャート	-95470.561	45806.605	90.325	0.7	0.3	0.1	-
1844	石器	砂片	Vta	チャート	-95472.931	45808.485	90.255	1.6	0.7	2.3	-
1847	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.65	45808.478	90.342	1.7	0.5	2.1	-
1848	石器	（礫未製品）	Vta	チャート	-95473.941	45808.82	90.281	2.9	0.6	1.7	整形は背面側を中心に削離
1850	石器	砂片	Vta	チャート	-95473.839	45809.19	90.33	1.2	0.2	0.2	-
1852	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.134	45809.406	90.26	0.9	0.2	0.1	-
1853	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.442	45809.689	90.33	1.4	0.4	0.6	-
1854	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.458	45809.338	90.309	1.1	0.3	0.2	-
1855	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.7	45808.943	90.313	2.4	0.7	4.7	-
1856	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.782	45808.392	90.305	0.9	0.2	0.1	-
1857	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.53	45807.988	90.306	0.8	0.1	0.1	-
1858	石器	砂片	Vta	チャート	-95474.311	45807.669	90.308	1.4	0.2	0.3	-
1859	石器	砂片	Vta	チャート	-95464.778	45805.883	90.361	1.8	0.5	0.9	-
1870	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.25	45803.966	90.379	0.9	0.2	0.1	-
1871	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.369	45803.513	90.384	1.1	0.3	0.1	-
1872	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.453	45803.443	90.349	1.0	0.1	0.1	-
1873	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.781	45803.515	90.389	1.3	0.3	0.1	-
1874	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.992	45802.93	90.371	0.7	0.1	0.1	-
1875	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.18	45802.916	90.402	0.8	0.2	0.1	-
1877	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.515	45802.677	90.452	1.6	0.2	0.3	-
1878	石器	砂片	Vta	チャート	-95469.048	45803.179	90.386	1.0	0.3	0.1	-
1880	石器	砂片	Vta	チャート	-95472.789	45800.586	90.467	1.2	0.1	0.1	-
1884	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.883	45800.732	90.505	1.0	0.1	0.1	-
1888	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.229	45801.428	90.458	1.2	0.3	0.1	-
1890	石器	砂片	Vta	チャート	-95464.324	45800.638	90.494	1.3	0.2	0.4	-
1893	石器	砂片	Vta	チャート	-95460.463	45798.251	90.337	2.2	0.7	1.4	-
1894	石器	砂片	Vta	チャート	-95460.912	45795.764	90.562	0.7	0.2	0.1	-
1895	石器	砂片	Vta	チャート	-95460.953	45795.668	90.676	1.2	0.3	0.5	-
1896	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.589	45795.4	90.599	3.0	1.0	2.5	縫合が残る
1897	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.828	45795.303	90.665	1.0	0.2	0.4	-
1916	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.977	45797.295	90.58	0.8	0.2	0.1	-
1920	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.441	45799.232	90.524	0.8	0.2	0.1	-
1921	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.173	45799.298	90.551	0.9	0.2	0.1	-
1922	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.109	45798.721	90.569	0.8	0.3	0.3	-
1924	石器	砂片	Vta	チャート	-95465.235	45798.456	90.545	1.6	0.5	1.6	-
1925	石器	砂片	Vta	チャート	-95466.345	45798.361	90.569	0.9	0.2	0.1	-
1926	石器	砂片	Vta	チャート	-95471.269	45804.651	90.235	1.0	0.3	0.1	-
1937	石器	砂片	Vta	チャート	-95477.79	45815.965	90.861	1.4	0.2	0.4	-
2013	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.244	45800.621	89.01	2.1	0.5	0.9	-
2014	石器	砂片	Vta	チャート	-95462.874	45804.861	89.074	0.9	0.1	0.1	-
2039	石器	砂片	Vta	チャート	-95464.984	45801.065	90.679	1.5	0.4	1.2	-
2060	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.78	45804.58	88.798	1.1	0.4	0.3	-
2076	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.831	45805.062	88.507	2.3	0.4	2.3	-

第25表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(10)

取り上げ番号	種類	器種	出土位置	石材	出土地点				法量	備考	
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	
2078	石器	鉢片	Vta	チャート	-95457.901	45837.749	88.716	0.9	0.2	0.1	-
2080	石器	鉢片	Vta	チャート	-95445.777	45872.499	88.481	1.3	0.3	0.8	-
2082	石器	鉢片	Vta	チャート	-95445.586	45868.721	88.518	1.6	0.4	0.5	-
2083	石器	鉢片	Vta	チャート	-95446.742	45865.58	88.429	1.4	0.4	0.6	-
2085	石器	石器未製品	Vta	チャート	-95447.055	45864.901	88.615	2.8	0.3	1.1	整形は背面側を中心に行被
2090	石器	鉢片	Vta	チャート	-95448.873	45865.135	88.671	3.7	0.7	4.7	-
2093	石器	鉢片	Vta	チャート	-95449.267	45855.882	88.556	2.6	0.5	1.8	縫合が残る
2099	石器	鉢片	Vta	チャート	-95451.135	45850.484	88.426	2.4	0.6	1.8	-
2102	石器	鉢片	Vta	チャート	-95453.834	45838.985	88.549	2.5	0.6	3.8	-
2107	石器	鉢片	Vta	チャート	-95455.411	45834.095	88.254	0.8	0.1	0.1	-
2115	石器	鉢片	Vta	チャート	-95455.515	45880.186	88.788	1.0	0.3	0.1	-
2116	石器	鉢片	Vta	チャート	-95457.447	45889.959	88.965	1.3	0.1	0.1	-
2117	石器	鉢片	Vta	チャート	-95457.362	45889.986	89.017	1.2	0.1	0.1	-
2122	石器	鉢片	Vta	チャート	-95474.798	45867.864	89.399	1.1	0.3	0.1	-
2123	石器	鉢片	Vta	チャート	-95474.34	45898.139	89.319	2.1	0.5	1.2	-
2127	石器	鉢片	Vta	チャート	-95472.472	45867.926	89.296	0.9	0.1	0.1	-
2128	石器	鉢片	Vta	チャート	-95472.204	45863.875	89.357	0.8	0.2	0.1	-
2129	石器	鉢片	Vta	チャート	-95472.58	45884.069	89.425	0.8	0.1	0.1	-
2130	石器	鉢片	Vta	チャート	-95472.78	45863.984	89.383	1.0	0.2	0.1	-
2131	石器	鉢片	Vta	チャート	-95472.964	45863.725	89.349	0.6	0.1	0.1	-
2132	石器	鉢片	Vta	チャート	-95474.1623	45868.192	89.431	1.2	0.3	0.3	-
2133	石器	鉢片	Vta	チャート	-95474.1527	45862.112	89.314	1.0	0.1	0.1	-
2135	石器	鉢片	Vta	チャート	-95469.853	45845.567	89.315	1.2	0.2	0.1	-
2136	石器	鉢片	Vta	チャート	-95469.895	45845.807	89.397	1.3	0.1	0.1	-
2137	石器	鉢片	Vta	チャート	-95469.289	45845.723	89.364	0.8	0.2	0.1	-
2140	石器	鉢片	Vta	チャート	-95464.136	45843.973	89.328	2.2	0.5	3.3	-
2145	石器	鉢片	Vta	チャート	-95473.584	45847.533	89.211	0.7	0.1	0.1	-
2152	石器	鉢片	Vta	チャート	-95434.365	45790.091	91.336	2.2	0.6	2.1	-
2158	石器	石器未製品	Vta	チャート	-95434.148	45783.283	91.409	2.8	0.3	1.1	左側縁は欠損
2165	石器	鉢片	Vta	チャート	-95458.338	45785.756	90.928	0.9	0.3	0.1	-
2183	石器	鉢片	Vta	チャート	-95460.9	45769.552	90.654	1.2	0.3	0.3	-
2185	石器	鉢片	Vta	チャート	-95460.007	45772.67	90.664	1.0	0.1	0.1	-
2188	石器	鉢片	Vta	チャート	-95460.058	45769.813	90.999	1.3	0.3	0.2	-
2190	石器	鉢片	Vta	チャート	-95451.423	45771.2	90.883	1.5	0.3	0.3	-
2193	石器	鉢片	Vta	チャート	-95463.837	45772.718	90.51	1.7	0.3	0.6	-
2194	石器	鉢片	Vta	チャート	-95465.384	45774.562	90.577	1.3	0.2	0.1	-
2199	石器	鉢片	Vta	チャート	-95463.233	45779.517	90.545	1.8	0.1	0.4	-
2200	石器	鉢片	Vta	チャート	-95465.164	45780.011	90.487	1.4	0.2	0.3	-
2206	石器	鉢片	Vta	チャート	-95439.869	45819.444	90.388	2.1	0.5	0.9	-
2208	石器	鉢片	Vta	チャート	-95447.31	45824.1	90.197	1.7	0.4	1.2	-
2214	石器	鉢片	Vta	チャート	-95463.418	45774.857	90.549	1.1	0.4	0.6	-
2215	石器	鉢片	Vta	チャート	-95464.905	45774.725	90.551	1.2	0.2	0.2	-
2219	石器	鉢片	Vta	チャート	-95444.842	45819.189	90.432	1.0	0.2	0.4	-
2223	石器	石器未製品	Vta	チャート	-95464.712	45851.931	89.161	2.5	0.5	1.1	基部の抉りのみ作り出す
2228	石器	鉢片	Vta	チャート	-95476.534	45818.78	88.665	1.2	0.2	0.1	-
2229	石器	鉢片	Vta	チャート	-95476.497	45818.984	88.664	1.0	0.1	0.1	-
2230	石器	鉢片	Vta	チャート	-95475.523	45819.508	88.694	0.8	0.3	0.1	-
2231	石器	鉢片	Vta	チャート	-95475.592	45819.813	88.714	0.7	0.1	0.1	-
2232	石器	鉢片	Vta	チャート	-95476.228	45819.877	88.723	0.9	0.1	0.1	-
2236	石器	鉢片	Vta	チャート	-95477.271	45819.847	88.679	0.9	0.2	0.1	-
2238	石器	鉢片	Vta	チャート	-95477.286	45820.219	88.694	1.5	0.5	1.2	-
2243	石器	石器未製品	Vta	チャート	-95475.512	45821.945	88.769	1.3	0.4	0.5	基部の抉りのみ作り出す
2246	石器	鉢片	Vta	チャート	-95471.150	45821.889	88.812	1.1	0.1	0.1	-
2251	石器	鉢片	Vta	チャート	-95474.972	45826.945	88.794	0.8	0.1	0.1	-
2252	石器	鉢片	Vta	チャート	-95481.046	45848.463	88.444	1.2	0.2	0.1	-
2260	石器	鉢	Vta	チャート	-95460.471	45848.92	88.425	1.7	0.3	0.4	先端部欠損
2261	石器	鉢片	Vta	チャート	-95469.812	45848.862	88.412	1.4	0.2	0.3	-
2262	石器	鉢片	Vta	チャート	-95469.77	45849.185	88.414	0.9	0.1	0.1	-
2263	石器	鉢片	Vta	チャート	-95469.992	45849.11	88.393	1.1	0.2	0.1	-
2274	石器	鉢	Vta	チャート	-95489.175	45850.794	88.346	0.9	0.3	0.1	先端部欠損
2276	石器	鉢片	Vta	チャート	-95489.961	45850.464	88.347	0.8	0.1	0.1	-
2293	石器	鉢片	Vta	チャート	-95489.803	45850.851	88.365	0.9	0.1	0.1	-
2294	石器	鉢片	Vta	チャート	-95489.784	45852.163	88.306	0.8	0.1	0.1	-
2295	石器	石器	Vta	チャート	-95489.616	45852.087	88.295	1.8	0.5	0.8	右側欠損
2312	石器	鉢片	Vta	チャート	-95462.581	45817.867	88.304	0.7	0.2	0.1	-
2313	石器	鉢片	Vta	チャート	-95462.655	45818.088	88.301	1.0	0.1	0.1	-
2316	石器	鉢片	Vta	チャート	-95462.20	45818.551	88.288	0.9	0.1	0.1	-
2317	石器	鉢片	Vta	チャート	-95461.807	45818.395	88.242	1.0	0.2	0.1	-
2320	石器	鉢片	Vta	チャート	-95461.723	45818.934	88.249	1.2	0.1	0.2	-
2323	石器	鉢片	Vta	チャート	-95462.266	45818.981	88.186	1.6	0.3	0.6	-

第26表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(11)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
2325	石器	測片	Vla	チャート	-96462.925	45818.964	88335	1.3	0.2	—	
2326	石器	測片	Vla	チャート	-96462.745	45818.696	88313	1.2	0.2	0.5	
2330	石器	測片	Vla	チャート	-96462.76	45818.076	88297	1.9	0.6	1.2	
2331	石器	測片	Vla	チャート	-96462.89	45818.318	88298	0.8	0.3	0.1	
2334	石器	測片	Vla	チャート	-96462.78	45817.789	88296	0.8	0.3	0.1	
2335	石器	測片	Vla	チャート	-96462.911	45817.781	88253	0.7	0.1	0.1	
2337	石器	測片	Vla	チャート	-96463.116	45817.948	88314	0.8	0.2	0.1	
2338	石器	測片	Vla	チャート	-96463.204	45817.929	88323	0.9	0.2	0.1	
2340	石器	測片	Vla	チャート	-96463.426	45817.733	88346	0.9	0.2	0.1	
2346	石器	測片	Vla	チャート	-96471.979	45830.721	88502	1.0	0.2	0.2	
2348	石器	測片	Vla	チャート	-96483.679	45845.147	88506	1.0	0.1	0.1	
2353	石器	測片	Vla	チャート	-96444.7	45807.388	90104	1.0	0.1	0.1	
2354	石器	測片	Vla	チャート	-96444.13	45805.577	90135	0.9	0.2	0.1	
2357	石器	測片	Vla	チャート	-96445.501	45805.204	90147	1.3	0.3	0.5	
2358	石器	測片	Vla	チャート	-96445.577	45805.437	90202	2.1	0.3	1.2	
2359	石器	測片	Vla	チャート	-96444.054	45808.16	90131	1.8	0.3	0.6	
2360	石器	測片	Vla	チャート	-96445.525	45808.334	90074	0.7	0.2	0.1	
2370	石器	石器	Vla	チャート	-96434.999	45787.482	90515	1.8	0.3	0.3	右脚欠損
2406	石器	測片	Vla	チャート	-96453.82	45776.334	90455	1.1	0.1	0.1	
2410	石器	測片	Vla	チャート	-96429.98	45759.306	90386	0.9	0.2	0.2	
2411	石器	測片	Vla	チャート	-96430.274	45759.607	90383	0.9	0.1	0.1	
2416	石器	測片	Vla	チャート	-96433.385	45763.686	90358	1.2	0.2	0.2	
2423	石器	測片	Vla	チャート	-96481.023	45863.68	88286	0.7	0.2	0.1	
2424	石器	測片	Vla	チャート	-96481.139	45883.707	88285	1.4	0.2	0.1	
2426	石器	測片	Vla	チャート	-96459.673	45824.7	88288	1.2	0.2	0.1	
2428	石器	測片	Vla	チャート	-96462.929	45817.986	88263	0.8	0.2	0.1	
2429	石器	測片	Vla	チャート	-96462.981	45817.968	88267	0.9	0.1	0.1	
2430	石器	測片	Vla	チャート	-96463.037	45818.017	88286	1.2	0.2	0.3	
2431	石器	測片	Vla	チャート	-96463.133	45817.921	88189	0.9	0.1	0.1	
2433	石器	測片	Vla	チャート	-96462.547	45818.43	88287	1.0	0.2	0.1	
2435	石器	測片	Vla	チャート	-96461.863	45818.97	88182	1.1	0.1	0.1	
2437	石器	測片	Vla	チャート	-96462.648	45818.854	88249	1.1	0.2	0.2	
2438	石器	測片	Vla	チャート	-96462.65	45819.173	88247	1.3	0.3	0.7	
2439	石器	測片	Vla	チャート	-96462.65	45819.763	88314	1.7	0.3	0.4	
2442	石器	測片	Vla	チャート	-96462.796	45817.729	88261	0.7	0.1	0.1	
2446	石器	石器	Vla	チャート	-96458.03	45868.012	88671	1.9	0.5	0.5	右脚欠損
2447	石器	測片	Vla	チャート	-96447.794	45878.209	88682	0.8	0.2	0.1	
2449	石器	測片	Vla	チャート	-96447.252	45878.461	88675	1.5	0.4	0.4	
2450	石器	石器	Vla	チャート	-96447.333	45878.307	88696	2.3	0.4	0.7	先端部欠損
2451	石器	測片	Vla	チャート	-96447.279	45878.24	88709	1.0	0.1	0.1	
2453	石器	測片	Vla	チャート	-96447.53	45865.165	88714	0.8	0.2	0.1	
2454	石器	測片	Vla	チャート	-96447.271	45878.102	88722	1.0	0.1	0.1	
2456	石器	測片	Vla	チャート	-96447.167	45878.127	88678	0.8	0.2	0.1	
2457	石器	測片	Vla	チャート	-96447.099	45878.079	8867	1.3	0.2	0.3	
2458	石器	測片	Vla	チャート	-96446.893	45878.201	88674	3.6	0.3	0.6	
2459	石器	測片	Vla	チャート	-96446.891	45878.07	88682	1.2	0.2	0.1	
2462	石器	測片	Vla	チャート	-96446.742	45877.676	88592	1.1	0.3	0.3	
2465	石器	測片	Vla	チャート	-96446.948	45877.745	88607	1.4	0.3	0.8	
2468	石器	測片	Vla	チャート	-96446.929	45877.447	88614	1.0	0.1	0.1	
2469	石器	測片	Vla	チャート	-96446.945	45877.403	88595	0.6	0.1	0.1	
2470	石器	測片	Vla	チャート	-96447.047	45877.835	88587	1.0	0.1	0.1	
2471	石器	測片	Vla	チャート	-96447.281	45877.969	88626	0.6	0.1	0.1	
2472	石器	測片	Vla	チャート	-96447.236	45877.835	88609	1.3	0.1	0.1	
2474	石器	測片	Vla	チャート	-96447.422	45877.706	88612	1.0	0.3	0.1	
2475	石器	測片	Vla	チャート	-96447.101	45877.717	88606	0.8	0.1	0.1	
2477	石器	測片	Vla	チャート	-96447.103	45877.5	88615	0.8	0.2	0.1	
2478	石器	測片	Vla	チャート	-96446.484	45877.165	88649	0.9	0.1	0.1	
2479	石器	測片	Vla	チャート	-96446.585	45877.945	88584	0.8	0.1	0.1	
2480	石器	測片	Vla	チャート	-96447.242	45878.323	8858	1.1	0.2	0.1	
2482	石器	測片	Vla	チャート	-96447.422	45878.115	88614	0.8	0.1	0.1	
2486	石器	測片	Vla	チャート	-96448.872	45876.476	88687	1.1	0.3	0.1	
2494	石器	測片	Vla	チャート	-96448.484	45877.377	88639	0.8	0.1	0.1	
2495	石器	測片	Vla	チャート	-96448.820	45877.432	88608	1.5	0.3	0.2	
2496	石器	測片	Vla	チャート	-96448.807	45877.53	88603	0.8	0.2	0.1	
2497	石器	測片	Vla	チャート	-96447.546	45877.326	886	1.1	0.3	0.1	
2498	石器	測片	Vla	チャート	-96448.078	45877.919	88606	0.8	0.3	0.1	
2499	石器	測片	Vla	チャート	-96448.073	45877.964	88604	0.9	0.2	0.1	
2500	石器	測片	Vla	チャート	-96448.803	45878.064	88557	1.1	0.3	0.1	
2502	石器	測片	Vla	チャート	-96447.813	45877.916	88616	0.7	0.1	0.1	
2503	石器	測片	Vla	チャート	-96447.684	45877.863	88615	0.6	0.1	0.1	

第27表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(12)

番号	種類	器種	出土層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
2504	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.566	45877.791	88.615	0.9	0.1	0.1	-
2505	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.577	45877.917	88.612	0.9	0.2	0.1	-
2506	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.428	45877.387	88.623	0.8	0.1	0.1	-
2508	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.286	45877.306	88.637	1.2	0.5	0.6	-
2509	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.254	45877.207	88.639	1.5	0.2	0.2	-
2510	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.099	45877.294	88.635	1.1	0.3	0.2	-
2511	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.143	45877.548	88.588	1.2	0.4	0.3	-
2512	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.077	45877.711	88.584	0.9	0.2	0.1	-
2515	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.095	45877.997	88.569	1.1	0.3	0.2	-
2517	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.104	45878.144	88.552	1.0	0.1	0.1	-
2519	石器	砂片	Vta	チャート	-95446.992	45878.319	88.481	1.0	0.1	0.1	-
2529	G形	砂片	Vta	チャート	-95447.923	45878.064	88.504	0.9	0.2	0.1	-
2533	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.292	45878.072	88.581	0.8	0.1	0.1	-
2534	G形	砂片	Vta	チャート	-95448.288	45878.073	88.616	0.7	0.1	0.1	-
2536	G形	砂片	Vta	チャート	-95449.501	45867.6	88.895	2.9	0.7	1.7	-
2547	G形	砂片	Vta	チャート	-95461.066	45881.835	88.957	0.8	0.3	0.1	-
2553	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.539	45841.774	89.336	1.6	0.2	0.2	-
2554	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.834	45841.834	89.387	0.9	0.1	0.1	-
2570	G形	砂片	Vta	チャート	-95450.619	45840.4	89.479	1.4	0.2	0.2	-
2570	G形	砂片	Vta	チャート	-95450.619	45840.4	89.479	0.9	0.2	0.1	-
2576	G形	砂片	Vta	チャート	-95448.096	45841.962	89.576	1.1	0.2	0.1	-
2577	G形	砂片	Vta	チャート	-95447.334	45841.895	89.574	0.5	0.3	0.4	-
2582	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.632	45841.257	89.446	1.1	0.1	0.1	-
2584	石器	砂片	Vta	チャート	-95442.241	45840.311	89.456	1.6	0.3	0.2	-
2602	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.201	45810.997	90.145	1.2	0.3	0.5	-
2607	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.592	45810.629	90.326	0.9	0.2	0.1	-
2608	石器	砂片	Vta	チャート	-95445.518	45810.614	90.369	0.9	0.2	0.1	-
2609	石器	砂片	Vta	チャート	-95444.946	45810.382	90.388	1.1	0.3	0.1	-
2615	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.746	45813.016	90.405	1.2	0.1	0.1	-
2616	石器	砂片	Vta	チャート	-95443.993	45811.243	90.429	0.9	0.1	0.1	-
2617	石器	砂片	Vta	チャート	-95443.537	45811.185	90.452	1.9	0.7	1.0	-
2619	石器	砂片	Vta	チャート	-95443.481	45810.551	90.467	1.5	0.2	0.2	-
2620	G形	砂片	Vta	チャート	-95443.429	45810.612	90.492	1.2	0.2	0.2	-
2621	G形	砂片	Vta	チャート	-95443.196	45810.382	90.482	1.2	0.5	0.3	-
2623	G形	砂片	Vta	チャート	-95442.499	45810.832	90.436	1.6	0.5	1.4	-
2624	G形	砂片	Vta	チャート	-95443.034	45810.655	90.439	0.8	0.2	0.1	-
2627	G形	砂片	Vta	チャート	-95442.652	45810.168	90.516	1.8	0.4	0.5	-
2630	G形	砂片	Vta	チャート	-95442.46	45811.465	90.287	1.3	0.4	0.5	-
2646	G形	砂片	Vta	チャート	-95447.738	45867.977	88.593	1.0	0.1	0.1	-
2647	G形	砂片	Vta	チャート	-95447.509	45867.058	88.497	1.9	0.3	0.7	-
2650	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.398	45877.351	88.538	0.9	0.1	0.1	-
2652	G形	砂片	Vta	チャート	-95447.186	45877.906	88.536	1.2	0.1	0.1	-
2653	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.067	45877.742	88.507	0.8	0.1	0.1	-
2654	G形	砂片	Vta	チャート	-95446.442	45877.333	88.505	1.3	0.3	0.1	-
2655	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.039	45877.406	88.533	1.1	0.3	0.2	-
2656	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.244	45877.67	88.53	1.1	0.2	0.1	-
2657	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.277	45877.79	88.56	1.0	0.2	0.1	-
2661	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.423	45877.533	88.564	0.8	0.1	0.1	-
2663	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.16	45877.304	88.591	0.8	0.1	0.1	-
2664	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.082	45877.226	88.592	0.9	0.2	0.1	-
2665	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.282	45877.217	88.613	1.3	0.3	0.3	-
2666	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.739	45877.094	88.619	2.2	0.4	0.7	-
2668	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.72	45877.262	88.607	1.0	0.2	0.1	-
2670	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.373	45867.056	88.644	1.6	0.3	0.3	-
2676	G形	砂片	Vta	チャート	-95446.755	45876.816	88.61	0.9	0.1	0.1	-
2684	G形	砂片	Vta	チャート	-95449.84	45874.933	88.603	1.2	0.2	0.1	-
2685	G形	砂片	Vta	チャート	-95442.301	45877.766	88.376	1.0	0.3	0.2	-
2686	G形	砂片	Vta	チャート	-95447.517	45877.477	88.559	0.8	0.1	0.1	-
2694	G形	砂片	Vta	チャート	-95447.423	45813.464	90.354	1.9	0.5	1.4	-
2695	石器	石器本製品	Vta	チャート	-95447.44	45813.335	90.357	3.2	0.7	3.0	周縁からの低い整形のみ
2695	G形	砂片	Vta	チャート	-95447.44	45813.335	90.357	0.8	0.1	0.1	-
2703	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.2	45869.253	88.832	1.4	0.3	0.5	-
2708	G形	砂片	Vta	チャート	-95448.405	45877.605	88.559	1.4	0.3	0.3	-
2712	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.33	45876.075	88.62	1.1	0.1	0.1	-
2713	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.618	45876.459	88.594	1.6	0.4	0.8	-
2715	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.122	45876.707	88.582	0.8	0.1	0.1	-
2717	石器	砂片	Vta	チャート	-95447.87	45876.901	88.589	0.8	0.1	0.1	-
2718	石器	石器	Vta	チャート	-95447.606	45877.017	88.614	2.2	0.5	1.2	右脚欠損
2719	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.144	45877.601	88.548	1.2	0.3	0.1	-
2720	石器	石器	Vta	チャート	-95447.789	45877.211	88.571	1.1	0.3	0.2	右脚欠損

第28表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(13)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
2722	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.604	45872.295	88.604	0.9	0.2	0.1	-
2725	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.234	45872.258	88.591	0.9	0.1	0.1	-
2727	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.136	45877.476	88.551	1.1	0.2	0.1	-
2728	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.221	45877.347	88.569	0.9	0.1	0.1	-
2729	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.811	45876.855	88.573	0.8	0.2	0.1	-
2736	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.556	45813.754	90.391	0.8	0.1	0.1	-
2737	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.375	45813.771	90.304	0.8	0.2	0.1	-
2738	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.459	45841.443	90.315	1.0	0.4	0.5	-
2739	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.397	45841.385	90.32	0.9	0.1	0.1	-
2740	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.48	45813.956	90.301	1.0	0.2	0.2	-
2741	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.48	45813.852	90.388	2.2	0.2	0.4	-
2742	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.842	45813.783	90.363	1.2	0.2	0.1	-
2743	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.805	45813.849	90.339	0.8	0.1	0.1	-
2744	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.724	45813.955	90.375	0.8	0.2	0.1	-
2745	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.639	45813.957	90.376	1.0	0.2	0.2	-
2746	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.617	45813.88	90.393	1.2	0.1	0.1	-
2747	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.556	45813.923	90.378	2.0	0.2	0.3	-
2748	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.332	45813.852	90.389	2.0	0.2	0.3	-
2748	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.332	45813.852	90.389	2.2	0.2	0.4	-
2750	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.463	45814.256	90.327	1.3	0.2	0.4	-
2751	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.289	45814.396	90.354	1.0	0.2	0.2	-
2751	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.289	45814.396	90.354	1.3	0.2	0.4	-
2762	石器	G(未)製品	Vla	チャート	-96447.711	45814.824	90.276	2.3	0.4	0.7	下面は折れ面
2763	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.889	45813.855	90.385	2.1	0.4	0.8	-
2763	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.889	45813.855	90.385	0.8	0.1	0.1	-
2764	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.903	45813.912	90.384	1.0	0.2	0.2	-
2764	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.903	45813.912	90.384	0.8	0.1	0.1	-
2765	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.903	45813.912	90.384	0.8	0.1	0.1	-
2766	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.436	45813.724	90.394	0.9	0.1	0.1	-
2767	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.543	45814.001	90.42	1.3	0.1	0.1	-
2768	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.759	45813.949	90.418	1.1	0.1	0.1	-
2769	石器	G(未)製品	Vla	チャート	-96446.844	45814.603	90.376	2.7	0.5	2.8	左側面を打面とし、調整削離
2769	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.844	45814.603	90.376	1.3	0.1	0.1	-
2769	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.564	45815.081	90.369	0.9	0.1	0.1	-
2761	石器	砂片	Vla	チャート	-96441.247	45813.196	90.405	1.4	0.2	0.4	-
2761	石器	砂片	Vla	チャート	-96441.247	45813.196	90.405	2.1	0.4	0.8	-
2765	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.332	45813.273	90.368	1.8	0.5	0.8	-
2766	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.277	45813.082	90.38	1.2	0.2	0.3	-
2767	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.916	45813.011	90.309	0.9	0.4	0.2	-
2768	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.929	45812.794	90.33	2.1	0.4	0.8	-
2768	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.906	45778.165	90.303	1.5	0.2	0.3	-
2804	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.343	45814.576	88.595	1.4	0.4	0.8	-
2804	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.343	45814.576	88.596	2.0	0.2	0.3	-
2817	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.095	45817.559	88.589	0.9	0.2	0.1	-
2820	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.829	45875.641	88.565	0.7	0.1	0.1	-
2821	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.332	45875.594	88.548	0.7	0.1	0.1	-
2822	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.332	45876.106	88.535	0.7	0.1	0.1	-
2825	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.71	45875.942	88.52	1.3	0.1	0.1	-
2825	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.705	45875.942	88.52	0.7	0.1	0.1	-
2826	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.817	45877.011	88.54	1.4	0.2	0.4	-
2826	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.517	45877.011	88.54	1.0	0.2	0.2	-
2828	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.866	45876.454	88.534	1.5	0.5	0.7	-
2828	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.866	45876.454	88.534	1.3	0.1	0.1	-
2829	石器	砂片	Vla	チャート	-96454.74	45865.249	88.538	0.9	0.1	0.1	-
2830	石器	砂片	Vla	チャート	-96454.563	45876.673	88.498	1.1	0.1	0.1	-
2831	石器	砂片	Vla	チャート	-96454.554	45876.536	88.501	0.7	0.1	0.1	-
2832	石器	砂片	Vla	チャート	-96454.563	45876.348	88.545	0.7	0.1	0.1	-
2833	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.405	45865.418	88.541	0.8	0.3	0.1	-
2834	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.187	45876.079	88.564	1.0	0.1	0.1	-
2837	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.407	45875.833	88.561	1.0	0.2	0.1	-
2838	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.518	45875.982	88.591	0.8	0.1	0.1	-
2841	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.961	45876.127	88.574	0.8	0.1	0.1	-
2844	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.658	45876.17	88.538	0.8	0.2	0.1	-
2845	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.604	45876.295	88.53	0.6	0.2	0.1	-
2846	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.662	45876.401	88.459	1.1	0.1	0.1	-
2846	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.665	45876.401	88.459	1.5	0.5	0.7	-
2848	石器	砂片	Vla	チャート	-96444.188	45876.317	88.573	0.9	0.2	0.1	-
2849	石器	砂片	Vla	チャート	-96434.558	45795.457	88.518	1.0	0.1	0.1	-
2850	石器	砂片	Vla	チャート	-96434.717	45795.645	88.565	0.7	0.1	0.1	-
2853	石器	砂片	Vla	チャート	-96434.479	45795.837	88.516	0.9	0.1	0.1	-
2854	石器	砂片	Vla	チャート	-96434.438	45795.547	88.468	1.0	0.2	0.1	-
2855	石器	砂片	Vla	チャート	-96434.361	45795.695	88.501	0.8	0.2	0.1	-
2857	石器	砂片	Vla	チャート	-96434.405	45795.357	88.497	0.7	0.1	0.1	-

第29表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(14)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
2859	石器	砂片	Vta	チャート	-45434.31	45795.689	88.503	1.0	0.2	0.1	-
2861	石器	砂片	Vta	チャート	-45434.165	45795.538	88.445	1.0	0.2	0.1	-
2862	石器	砂片	Vta	チャート	-45433.981	45795.198	88.438	0.8	0.1	0.1	-
2864	石器	砂片	Vta	チャート	-45434.06	45795.728	88.445	0.7	0.1	0.1	-
2865	石器	砂片	Vta	チャート	-45434.386	45796.742	88.498	1.6	0.1	0.2	-
2866	石器	砂片	Vta	チャート	-45434.131	45796.618	88.488	0.8	0.1	0.1	-
2869	石器	石器	Vta	チャート	-45448.137	45817.963	88.745	2.2	0.4	0.9	右胸欠損
2873	石器	砂片	Vta	チャート	-45434.905	45875.296	88.506	0.8	0.1	0.1	-
2874	石器	砂片	Vta	チャート	-45433.391	45795.438	88.436	0.6	0.1	0.1	-
2894	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.165	45875.956	88.607	1.5	0.3	0.4	-
2894	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.165	45875.956	88.607	1.0	0.1	0.1	-
2895	石器	砂片	Vta	チャート	-45446.627	45875.846	88.572	0.7	0.1	0.1	-
2905	石器	砂片	Vta	チャート	-45445.721	45866.103	88.742	0.6	0.1	0.1	-
2906	石器	砂片	Vta	チャート	-45445.503	45866.272	88.74	0.8	0.1	0.1	-
2909	石器	砂片	Vta	チャート	-45445.45	45866.419	88.706	0.8	0.1	0.1	-
2928	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.139	45875.706	88.815	1.2	0.1	0.1	-
2933	石器	石核	Vta	チャート	-45454.245	45811.828	90.16	1.3	0.9	1.7	縫面が残る
2940	石器	砂片	Vta	チャート	-45451.41	45811.117	90.255	4.0	0.7	5.3	-
2940	石器	砂片	Vta	チャート	-45451.41	45811.117	90.255	0.8	0.1	0.1	-
2990	石器	砂片	Vta	チャート	-45445.539	45874.926	88.801	1.0	0.1	0.1	-
3029	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.8	45870.198	88.679	0.8	0.2	0.1	-
3037	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.615	45873.562	88.613	1.1	0.2	0.1	-
3040	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.165	45873.306	88.589	0.9	0.1	0.1	-
3042	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.156	45874.509	88.557	1.1	0.2	0.1	-
3056	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.554	45869.953	88.565	0.9	0.2	0.1	-
3057	石器	砂片	Vta	チャート	-45451.017	45869.394	89.028	1.6	0.1	0.2	-
3057	石器	砂片	Vta	チャート	-45451.017	45869.394	89.028	1.8	0.3	0.4	-
3063	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.189	45874.076	88.849	1.4	0.2	0.1	-
3063	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.189	45874.076	88.849	1.1	0.2	0.1	-
3065	石器	砂片	Vta	チャート	-45445.597	45854.474	89.406	0.9	0.1	0.1	-
3066	石器	砂片	Vta	チャート	-45443.937	45865.276	89.334	1.2	0.2	0.1	-
3067	石器	砂片	Vta	チャート	-45443.726	45865.681	89.285	1.3	0.2	0.1	-
3068	石器	砂片	Vta	チャート	-45443.811	45865.185	89.365	1.2	0.2	0.1	-
3069	石器	砂片	Vta	チャート	-45442.853	45865.174	89.358	0.5	0.1	0.1	-
3070	石器	砂片	Vta	チャート	-45442.966	45865.219	89.358	1.0	0.1	0.1	-
3073	石器	砂片	Vta	チャート	-45442.562	45866.873	89.247	0.9	0.2	0.1	-
3076	石器	砂片	Vta	チャート	-45442.783	45866.729	89.253	0.7	0.1	0.1	-
3077	石器	砂片	Vta	チャート	-45442.284	45866.525	89.256	0.7	0.1	0.1	-
3078	石器	砂片	Vta	チャート	-45442.248	45866.366	89.26	1.0	0.1	0.1	-
3079	石器	砂片	Vta	チャート	-45443.15	45866.867	89.245	0.7	0.1	0.1	-
3083	石器	砂片	Vta	チャート	-45443.029	45866.177	89.266	0.9	0.1	0.1	-
3084	石器	砂片	Vta	チャート	-45443.039	45866.062	89.268	0.7	0.2	0.1	-
3086	石器	砂片	Vta	チャート	-45441.1847	45865.847	89.295	0.7	0.1	0.1	-
3088	石器	砂片	Vta	チャート	-45443.573	45865.145	89.364	0.6	0.1	0.1	-
3092	石器	砂片	Vta	チャート	-45446.536	45864.573	89.422	0.8	0.1	0.1	-
3093	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.265	45864.489	89.466	1.1	0.2	0.1	-
3095	石器	砂片	Vta	チャート	-45446.834	45865.075	89.303	1.0	0.2	0.1	-
3096	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.977	45863.028	89.48	1.2	0.1	0.1	-
3097	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.965	45862.729	89.493	1.0	0.2	0.2	-
3098	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.773	45862.538	89.514	0.9	0.1	0.1	-
3099	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.855	45863.228	89.46	0.7	0.1	0.1	-
3101	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.774	45862.267	89.522	0.8	0.1	0.1	-
3101	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.737	45862.569	89.489	1.1	0.2	0.1	-
3102	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.161	45861.715	89.526	1.5	0.2	0.2	-
3102	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.161	45861.715	89.526	1.5	0.2	0.2	-
3103	石器	砂片	Vta	チャート	-45447.268	45849.98	89.566	0.6	0.1	0.1	-
3104	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.654	45868.733	89.579	1.0	0.3	0.2	-
3107	石器	砂片	Vta	チャート	-45450.394	45869.496	89.562	1.1	0.1	0.1	-
3109	石器	砂片	Vta	チャート	-45450.627	45867.889	89.613	1.0	0.1	0.1	-
3110	石器	砂片	Vta	チャート	-45450.735	45867.924	89.616	0.7	0.1	0.1	-
3111	石器	砂片	Vta	チャート	-45450.659	45866.691	89.633	0.9	0.2	0.2	-
3111	石器	砂片	Vta	チャート	-45450.659	45866.691	89.633	1.1	0.1	0.1	-
3114	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.606	45866.906	89.637	1.0	0.2	0.2	-
3114	石器	砂片	Vta	チャート	-45449.606	45866.906	89.637	1.0	0.2	0.2	-
3116	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.543	45864.67	89.633	0.8	0.1	0.1	-
3118	石器	砂片	Vta	チャート	-45445.056	45865.114	89.686	2.1	0.9	2.2	-
3118	石器	砂片	Vta	チャート	-45445.056	45865.114	89.686	0.6	0.1	0.1	-
3120	石器	砂片	Vta	チャート	-45445.852	45865.199	89.696	1.0	0.1	0.1	-
3125	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.118	45869.746	89.548	0.7	0.1	0.1	-
3128	石器	砂片	Vta	チャート	-45448.524	45861.95	89.507	1.1	0.1	0.1	-

第30表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(15)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	大厚さ(cm)	重量(g)	
3129	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.809	45853.233	89.47	1.2	0.2	0.1	-
3130	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.792	45853.186	89.47	0.9	0.1	0.1	-
3134	石器	砂片	Vla	チャート	-96451.149	45855.156	88.908	1.7	0.3	0.3	-
3134	石器	砂片	Vla	チャート	-96451.149	45855.156	88.908	1.0	0.2	0.2	-
3135	石器	砂片	Vla	チャート	-96449.004	45877.813	88.748	1.1	0.1	0.1	-
3142	石器	石核	Vla	チャート	-96446.537	45861.315	89.173	1.8	1.1	5.9	不定形削片を剥離
3149	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.969	45865.014	89.08	1.0	0.3	0.2	-
3149	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.969	45865.014	89.08	0.8	0.1	0.1	-
3150	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.474	45865.578	89.077	1.4	0.1	0.2	-
3150	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.474	45865.578	89.077	1.0	0.1	0.1	-
3152	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.526	45863.986	89.134	1.4	0.3	0.3	-
3170	石器	砂片	Vla	チャート	-96430.034	45799.299	88.619	0.7	0.1	0.1	-
3170	石器	砂片	Vla	チャート	-96430.034	45799.299	88.619	1.5	0.1	0.1	-
3176	石器	砂片	Vla	チャート	-96462.278	45831.104	89.133	1.0	0.1	0.1	-
3180	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.635	45865.723	88.576	1.0	0.2	0.1	-
3181	石器	砂片	Vla	チャート	-96451.104	45847.005	89.098	1.0	0.2	0.1	-
3183	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.643	45844.097	89.053	0.7	0.1	0.1	-
3188	石器	砂片	Vla	チャート	-96403.1924	45862.976	90.967	2.0	0.7	1.3	-
3191	石器	砂片	Vla	チャート	-96403.13	45800.828	91.07	1.4	0.4	0.4	-
3193	石器	石核	Vla	チャート	-96384.1393	45867.025	91.819	2.5	0.9	3.3	不定形削片を剥離
3194	石器	砂片	Vla	チャート	-96374.497	45883.257	91.275	1.1	0.3	0.2	-
3197	石器	砂片	Vla	チャート	-96382.129	45867.377	90.862	1.4	0.3	0.3	-
3198	石器	砂片	Vla	チャート	-96383.510	45871.103	90.948	1.5	0.4	0.5	-
3203	石器	砂片	Vla	チャート	-96411.203	45883.219	90.805	1.8	0.7	0.7	-
3209	石器	砂片	Vla	チャート	-96418.196	45881.241	90.521	1.4	0.2	0.3	-
3211	石器	砂片	Vla	チャート	-96418.3702	45880.442	90.63	1.7	0.4	0.8	-
3215	石器	砂片	Vla	チャート	-96419.023	45679.68	90.6	1.6	0.4	1.5	-
3226	石器	砂片	Vla	チャート	-96424.1319	45881.579	90.487	0.9	0.2	0.2	-
3227	石器	砂片	Vla	チャート	-96424.181	45881.367	90.499	1.8	0.3	0.3	-
3230	石器	砂片	Vla	チャート	-96420.227	45862.982	90.566	1.4	0.3	0.9	-
3224	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.005	45879.700	90.165	0.8	0.2	0.1	-
3228	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.139	45868.477	90.175	0.7	0.1	0.1	-
3229	石器	砂片	Vla	チャート	-96434.154	45878.511	90.125	1.1	0.1	0.1	-
3241	石器	砂片	Vla	チャート	-96437.487	45878.311	90.176	1.4	0.2	0.2	-
3241	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.487	45678.311	90.176	1.4	0.2	0.2	-
3243	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.538	45877.645	90.171	1.1	0.3	0.2	-
3244	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.843	45877.638	90.179	1.1	0.2	0.1	-
3247	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.843	45877.638	90.179	1.1	0.2	0.1	-
3247	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.518	45877.017	90.156	1.5	0.2	0.2	-
3251	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.518	45877.017	90.156	0.8	0.2	0.1	-
3253	石器	砂片	Vla	チャート	-96403.003	45869.651	90.597	1.4	0.5	0.5	-
3254	石器	砂片	Vla	チャート	-96433.369	45870.139	89.92	0.9	0.1	0.1	-
3254	石器	砂片	Vla	チャート	-96437.1	45862.132	90.019	0.9	0.1	0.1	-
3254	石器	砂片	Vla	チャート	-96437.1	45862.132	90.019	0.9	0.1	0.1	-
3264	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.577	45844.734	89.709	0.8	0.3	0.1	-
3265	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.682	45874.498	89.707	0.7	0.2	0.1	-
3266	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.197	45863.829	89.74	1.0	0.2	0.3	-
3266	石器	砂片	Vla	チャート	-96445.197	45863.829	89.74	1.1	0.3	0.2	-
3267	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.805	45863.337	89.716	1.4	0.3	0.3	-
3267	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.805	45873.537	89.716	1.5	0.4	0.5	-
3269	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.99	45873.919	89.666	1.1	0.2	0.2	-
3270	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.99	45872.806	89.708	0.8	0.1	0.1	-
3275	石器	砂片	Vla	チャート	-96449.323	45871.832	89.668	0.6	0.1	0.1	-
3276	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.246	45870.194	89.639	0.8	0.2	0.1	右脚欠損
3277	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.579	45869.973	89.626	1.2	0.2	0.1	-
3278	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.997	45869.833	89.626	0.7	0.2	0.1	-
3280	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.187	45866.045	89.571	1.0	0.2	0.1	-
3281	石器	砂片	Vla	チャート	-96446.696	45965.75	89.556	0.6	0.1	0.1	-
3282	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.222	45866.731	89.611	0.8	0.2	0.1	-
3283	石器	砂片	Vla	チャート	-96447.384	45867.245	89.602	0.7	0.1	0.1	-
3284	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.702	45868.694	89.613	0.7	0.1	0.1	-
3285	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.923	45868.848	89.622	0.7	0.3	0.2	右脚欠損
3286	石器	砂片	Vla	チャート	-96449.409	45868.885	89.616	1.2	0.2	0.1	-
3286	石器	砂片	Vla	チャート	-96449.409	45868.885	89.616	1.3	0.2	0.2	-
3287	石器	砂片	Vla	チャート	-96449.141	45868.495	89.613	1.1	0.2	0.1	-
3287	石器	砂片	Vla	チャート	-96449.141	45868.495	89.613	0.9	0.1	0.1	-
3289	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.695	45868.304	89.612	0.7	0.3	0.2	-
3289	石器	砂片	Vla	チャート	-96448.695	45868.304	89.612	1.2	0.3	0.3	-
3291	石器	砂片	Vla	チャート	-96449.603	45867.36	89.601	0.9	0.2	0.2	-
3293	石器	砂片	Vla	チャート	-96450.753	45869.65	89.567	0.8	0.2	0.2	-
3296	石器	砂片	Vla	チャート	-96452.078	45870.435	89.531	0.8	0.1	0.1	-
3297	石器	砂片	Vla	チャート	-96452.009	45870.307	89.525	1.2	0.2	0.2	-

第31表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(16)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
3299	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.839	45870.071	89.495	0.8	0.1	0.1	-
3301	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.731	45871.226	89.524	1.3	0.1	0.1	-
3302	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.193	45871.293	89.529	0.5	0.2	0.1	-
3303	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.313	45870.566	89.469	1.1	0.2	0.1	-
3304	石器	砂片	Vta	チャート	-95455.103	45870.257	89.451	1.1	0.4	0.5	-
3305	石器	砂片	Vta	チャート	-95455.421	45870.563	89.422	0.8	0.1	0.1	-
3306	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.502	45869.357	89.482	0.7	0.1	0.1	-
3307	石器	砂片	Vta	チャート	-95452.568	45869.127	89.49	1.0	0.2	0.1	左脚欠損
3309	石器	砂片	Vta	チャート	-95453.77	45868.699	89.467	0.6	0.1	0.1	-
3310	石器	砂片	Vta	チャート	-95454.471	45868.788	89.477	1.0	0.1	0.1	-
3311	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.83	45865.283	89.43	2.2	1.0	9.2	小型角礫素材
3311	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.83	45865.293	89.43	0.6	0.1	0.1	小型角礫素材
3320	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.353	45865.184	89.142	1.8	0.2	0.4	-
3320	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.353	45865.184	89.142	0.7	0.1	0.1	-
3321	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.179	45865.55	89.141	1.7	0.3	0.8	-
3321	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.179	45865.55	89.141	2.7	0.5	1.5	-
3322	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.06	45865.411	89.154	2.0	0.3	0.7	-
3322	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.98	45865.411	89.154	2.0	0.3	0.7	-
3323	石器	砂片	Vta	チャート	-95463.349	45863.929	89.139	1.9	0.2	0.1	-
3323	石器	砂片	Vta	チャート	-95463.349	45863.929	89.139	1.0	0.2	0.1	-
3326	石器	砂片	Vta	チャート	-95451.856	45867.021	89.366	0.8	0.1	0.1	-
3328	石器	砂片	Vta	チャート	-95463.899	45844.319	89.43	0.5	0.1	0.1	-
3344	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.638	45789.121	89.256	0.7	0.1	0.1	-
3349	G器	砂片	Vta	チャート	-95479.339	45788.627	89.224	1.2	0.4	0.2	-
3359	G器	砂片	Vta	チャート	-95480.541	45788.501	89.206	1.0	0.2	0.2	-
3361	G器	砂片	Vta	チャート	-95482.524	45787.325	89.115	0.9	0.2	0.1	-
3373	G器	砂片	Vta	チャート	-95497.135	45786.578	89.109	1.6	0.3	0.6	-
3376	G器	砂片	Vta	チャート	-95496.944	45784.389	88.937	1.2	0.9	1.5	-
3387	G器	砂片	Vta	チャート	-95489.229	45788.805	89.233	0.9	0.1	0.1	-
3388	G器	砂片	Vta	チャート	-95489.063	45788.63	89.239	1.0	0.1	0.1	-
3390	石器	石器	Vta	チャート	-95487.476	45789.458	89.212	1.2	0.9	1.5	左脚欠損
3393	石器	砂片	Vta	チャート	-95485.065	45784.937	88.973	1.1	0.2	0.1	-
3395	石器	砂片	Vta	チャート	-95488.486	45784.507	89.033	1.0	0.2	0.1	-
3397	石器	砂片	Vta	チャート	-95490.453	45784.659	89.049	1.1	0.5	0.2	-
3407	石器	砂片	Vta	チャート	-95324.432	45844.1	89.227	1.2	0.2	0.2	-
3420	石器	砂片	Vta	チャート	-95332.74	45827.826	88.804	0.9	0.1	0.1	-
3429	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.616	45880.754	88.619	1.0	0.2	0.1	-
3432	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.007	45831.112	88.64	2.1	0.6	3.0	-
3432	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.007	45831.112	88.64	0.7	0.1	0.1	-
3434	石器	砂片	Vta	チャート	-95468.043	45850.897	88.633	0.6	0.1	0.1	-
3437	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.623	45851.047	88.62	1.7	0.3	1.0	-
3437	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.624	45851.047	88.62	1.9	0.2	0.1	-
3438	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.827	45850.852	88.634	1.1	0.2	0.1	-
3441	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.707	45850.727	88.636	0.7	0.1	0.1	-
3442	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.375	45850.975	88.648	1.3	0.4	0.4	-
3442	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.375	45850.975	88.648	0.9	0.2	0.1	-
3444	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.233	45831.014	88.674	1.0	0.1	0.1	-
3449	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.068	45830.952	88.672	0.9	0.3	0.5	-
3449	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.068	45830.952	88.672	1.7	0.3	1.0	-
3450	石器	砂片	Vta	チャート	-95467.846	45851.042	88.666	1.1	0.3	0.2	-
3451	石器	砂片	Vta	チャート	-95469.846	45850.959	88.666	1.1	0.3	0.2	左脚欠損
3453	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.139	45850.771	88.688	1.4	0.3	0.4	左脚欠損
3454	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.231	45850.693	88.682	0.7	0.1	0.1	-
3455	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.24	45850.654	88.684	0.6	0.1	0.1	-
3457	G器	砂片	Vta	チャート	-95468.467	45850.301	88.586	0.8	0.1	0.1	-
3459	G器	砂片	Vta	チャート	-95468.267	45849.982	88.632	0.7	0.2	0.1	-
3460	G器	砂片	Vta	チャート	-95468.176	45849.979	88.63	0.7	0.1	0.1	-
3461	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.2	45850.668	88.661	0.8	0.1	0.1	両脚欠損
3462	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.252	45850.256	88.649	0.6	0.1	0.1	-
3463	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.716	45850.273	88.659	0.9	0.3	0.3	-
3463	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.716	45850.273	88.659	0.6	0.1	0.1	-
3470	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.281	45850.067	88.673	0.5	0.1	0.1	-
3473	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.715	45830.16	88.674	1.5	0.7	3.5	-
3473	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.715	45830.16	88.674	1.5	0.7	3.5	-
3475	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.472	45850.116	88.662	0.9	0.1	0.1	-
3475	G器	砂片	Vta	チャート	-95467.472	45850.116	88.662	0.9	0.3	0.3	-

第32表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(17)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大幅(cm)	最大深(cm)	重量(g)	
3477	石器	刮削片	Vta	チャート	-95467.128	45849.881	88.678	1.5	0.6	1.2	-
3477	石器	刮削片	Vta	チャート	-95467.128	45849.881	88.678	1.1	0.3	0.2	-
3478	石器	刮削片	Vta	チャート	-95467.433	45849.206	88.674	0.7	0.2	0.1	-
3479	石器	刮削片	Vta	チャート	-95467.282	45849.281	88.667	0.8	0.2	0.1	-
3485	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.979	45850.145	88.693	1.0	0.2	0.2	-
3486	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.591	45849.96	88.688	0.8	0.1	0.1	-
3487	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.699	45850.063	88.688	1.2	0.3	0.4	-
3487	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.699	45850.063	88.689	1.2	0.3	0.4	-
3488	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.675	45850.198	88.679	0.9	0.2	0.1	-
3492	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.638	45850.309	88.663	1.2	0.2	0.5	-
3492	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.632	45850.309	88.663	0.5	0.1	0.1	-
3494	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.511	45850.274	88.684	0.7	0.2	0.1	-
3495	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.609	45850.267	88.676	0.8	0.1	0.1	-
3497	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.449	45850.709	88.686	1.6	0.4	1.2	-
3497	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.449	45850.709	88.686	0.6	0.1	0.1	-
3501	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.355	45850.656	88.701	0.5	0.1	0.1	-
3501	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.355	45850.656	88.701	1.2	0.5	0.3	-
3502	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.393	45850.728	88.695	0.9	0.1	0.1	-
3503	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.387	45850.482	88.698	0.5	0.1	0.1	-
3506	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.254	45850.222	88.703	0.9	0.2	0.1	-
3507	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.1	45850.849	88.693	0.8	0.1	0.1	-
3508	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.099	45850.533	88.706	0.6	0.1	0.1	-
3510	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.121	45850.836	88.69	0.8	0.1	0.1	-
3512	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.406	45851.362	88.667	0.7	0.1	0.1	-
3513	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.582	45851.695	88.603	1.0	0.3	0.1	-
3517	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.571	45851.681	88.564	0.9	0.1	0.1	-
3519	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.138	45851.713	88.529	0.6	0.1	0.1	-
3521	石器	刮削片	Vta	チャート	-95466.071	45852.041	88.473	0.7	0.1	0.1	-
3538	石器	刮削片	Vta	チャート	-95464.491	45850.168	88.756	1.4	0.2	0.1	-
3538	石器	刮削片	Vta	チャート	-95464.491	45850.168	88.756	0.8	0.1	0.1	-
3539	石器	刮削片	Vta	チャート	-95465.518	45850.254	88.686	0.6	0.1	0.1	-
3541	石器	刮削片	Vta	チャート	-95465.674	45849.798	88.711	0.6	0.1	0.1	-
3543	石器	刮削片	Vta	チャート	-95465.785	45848.958	88.719	0.5	0.1	0.1	-
3546	石器	刮削片	Vta	チャート	-95462.406	45849.051	88.79	1.1	0.1	0.1	-
3547	石器	刮削片	Vta	チャート	-95461.164	45850.162	88.781	1.0	0.1	0.2	-
3549	石器	刮削片	Vta	チャート	-95461.181	45851.575	88.758	1.0	0.1	0.1	-
3551	石器	刮削片	Vta	チャート	-95460.367	45849.753	88.826	1.0	0.1	0.1	-
3552	石器	刮削片	Vta	チャート	-95460.655	45849.096	88.854	1.3	0.3	0.7	-
3552	石器	刮削片	Vta	チャート	-95460.655	45849.096	88.854	1.3	0.3	0.7	-
3556	石器	刮削片	Vta	チャート	-95461.291	45847.552	88.86	1.2	0.2	0.1	-
3557	石器	刮削片	Vta	チャート	-95462.185	45845.553	88.817	0.7	0.1	0.1	-
3558	石器	刮削片	Vta	チャート	-95456.5245	45847.142	88.052	1.4	0.2	0.3	-
3558	石器	刮削片	Vta	チャート	-95456.5245	45847.142	88.052	0.5	0.1	0.1	-
3561	石器	刮削片	Vta	チャート	-95467.199	45850.668	88.681	0.6	0.2	0.1	両側欠損
3562	石器	刮削片	Vta	チャート	-95461.309	45851.018	88.702	1.0	0.1	0.1	-
3567	石器	刮削片	Vta	チャート	-95454.428	45848.162	88.103	1.2	0.2	0.4	-
3567	石器	刮削片	Vta	チャート	-95454.428	45848.162	88.103	1.3	0.3	0.7	-
3568	石器	刮削片	Vta	チャート	-95454.103	45848.042	88.128	1.4	0.2	0.2	-
3568	石器	刮削片	Vta	チャート	-95454.103	45848.042	88.128	0.8	0.1	0.1	-
3569	石器	刮削片	Vta	チャート	-95453.744	45848.701	88.109	1.5	0.2	0.3	両側欠損
3571	石器	刮削片	Vta	チャート	-95453.263	45847.138	88.127	0.7	0.2	0.1	-
3572	石器	刮削片	Vta	チャート	-95453.082	45847.377	88.116	0.9	0.1	0.1	-
3573	石器	刮削片	Vta	チャート	-95454.168	45843.95	88.096	0.9	0.4	0.5	-
3573	石器	刮削片	Vta	チャート	-95454.168	45843.95	88.096	0.5	0.1	0.1	-
3575	石器	刮削片	Vta	チャート	-95456.615	45847.067	88.154	0.8	0.2	0.1	-
3576	石器	刮削片	Vta	チャート	-95457.172	45847.388	88.148	0.9	0.2	0.1	-
3577	石器	刮削未製品	Vta	チャート	-95450.304	45847.918	89.135	1.2	0.3	0.2	下部は折れ面
3578	石器	刮削片	Vta	チャート	-95450.303	45847.555	89.155	0.7	0.2	0.1	-
3579	石器	刮削片	Vta	チャート	-95450.297	45847.249	89.162	0.7	0.1	0.1	-
3580	石器	刮削片	Vta	チャート	-95450.26	45847.209	89.161	0.7	0.1	0.1	-
3583	石器	刮削片	Vta	チャート	-95449.617	45846.962	89.18	0.7	0.1	0.1	-
3584	石器	刮削片	Vta	チャート	-95450.345	45846.315	89.17	1.5	0.3	0.1	-
3584	石器	刮削片	Vta	チャート	-95450.345	45846.315	89.17	0.7	0.1	0.1	-
3585	石器	刮削片	Vta	チャート	-95450.342	45845.851	89.184	0.7	0.1	0.1	-
3593	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.978	45844.458	89.243	1.3	0.7	1.2	-
3593	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.978	45844.458	89.243	0.7	0.1	0.1	-
3597	石器	刮削片	Vta	チャート	-95448.639	45843.932	89.231	1.7	0.4	1.2	-
3597	石器	刮削片	Vta	チャート	-95448.639	45843.932	89.231	0.9	0.2	0.1	-
3598	石器	刮削片	Vta	チャート	-95448.277	45842.675	89.258	2.0	0.3	0.8	-
3598	石器	刮削片	Vta	チャート	-95448.277	45842.675	89.258	0.5	0.1	0.1	-
3599	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.654	45842.782	89.26	1.4	0.2	0.2	-

第33表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(18)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
3599	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.654	45842.782	89.26	0.7	0.1	0.1	-
3600	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.386	45843.357	89.249	1.3	0.4	0.6	-
3600	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.386	45843.357	89.249	1.2	0.2	0.4	-
3601	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.256	45843.374	89.268	0.8	0.3	0.2	-
3601	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.256	45843.374	89.268	0.7	0.1	0.1	-
3602	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.006	45843.63	89.262	0.5	0.2	0.1	-
3603	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.251	45844.58	89.235	1.4	0.2	0.3	-
3603	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.251	45844.58	89.235	0.9	0.4	0.5	-
3606	石器	刮削片	Vta	チャート	-95446.429	45846.053	89.189	0.6	0.1	0.1	-
3608	石器	刮削片	Vta	チャート	-95447.056	45846.161	89.199	1.2	0.2	0.1	-
3611	石器	刮削片	Vta	チャート	-95450.162	45853.256	88.995	0.6	0.1	0.1	-
3612	石器	刮削片	Vta	チャート	-95448.892	45853.019	88.998	0.6	0.1	0.1	-
3613	石器	刮削片	Vta	チャート	-95449.001	45854	88.984	0.5	0.2	0.1	-
3616	石器	刮削片	Vta	チャート	-95445.016	45858.775	88.711	1.7	0.5	0.4	-
3621	石器	刮削片	Vta	チャート	-95451.851	45862.038	88.681	1.4	0.3	0.4	右脚欠損
3628	石器	刮削片	Vta	チャート	-95463.199	45867.016	88.454	0.6	0.2	0.1	-
3629	石器	刮削未製品	Vta	チャート	-95445.359	45855.873	88.866	0.5	0.2	0.1	無い形ののみ
3630	石器	刮削片	Vta	チャート	-95481.1829	45841.799	88.538	0.9	0.2	0.3	-
3630	石器	刮削片	Vta	チャート	-95481.1829	45841.799	88.538	0.8	0.1	0.1	-
3631	石器	刮削片	Vta	チャート	-95482.023	45841.517	88.577	1.1	0.2	0.1	-
3632	石器	刮削片	Vta	チャート	-95481.587	45841.683	88.555	1.8	0.5	1.9	-
3632	石器	刮削片	Vta	チャート	-95481.587	45841.683	88.555	1.8	0.5	1.9	-
3633	石器	刮削片	Vta	チャート	-95481.372	45841.57	88.569	1.2	0.3	0.5	-
3633	石器	刮削片	Vta	チャート	-95481.372	45841.57	88.569	1.2	0.4	0.4	-
3634	石器	刮削片	Vta	チャート	-95482.068	45841.194	88.594	1.0	0.2	0.2	-
3634	石器	刮削片	Vta	チャート	-95482.068	45841.194	88.594	1.7	0.5	0.4	-
3638	G型	刮削片	Vta	チャート	-95451.984	45852.124	88.894	0.6	0.1	0.1	-
3640	G型	刮削片	Vta	チャート	-95448.386	45842.728	89.247	0.6	0.1	0.1	-
3643	G型	刮削片	Vta	チャート	-95430.163	45846.164	89.127	0.6	0.1	0.1	-
3645	G型	刮削片	Vta	チャート	-95447.746	45866.161	88.873	0.7	0.2	0.1	-
3649	G型	刮削片	Vta	チャート	-95458.881	45849.084	88.637	0.9	0.1	0.1	-
3651	G型	刮削片	Vta	チャート	-95460.606	45860.421	88.667	0.6	0.1	0.1	-
3655	G型	刮削片	Vta	チャート	-95464.442	45849.281	88.674	1.0	0.2	0.1	-
3656	G型	刮削片	Vta	チャート	-95465.352	45849.292	88.671	0.6	0.2	0.1	-
3658	G型	刮削片	Vta	チャート	-95466.073	45849.575	88.684	0.7	0.2	0.1	-
3661	G型	刮削片	Vta	チャート	-95463.038	45849.144	88.729	0.8	0.1	0.1	-
3662	G型	刮削片	Vta	チャート	-95463.017	45849.577	88.712	1.6	0.3	0.4	-
3663	G型	刮削片	Vta	チャート	-95463.274	45849.577	88.712	1.6	0.3	0.4	-
3667	G型	刮削片	Vta	チャート	-95465.721	45848.864	88.686	1.0	0.2	0.2	-
3670	G型	刮削片	Vta	チャート	-95446.081	45861.97	89.052	0.7	0.1	0.1	-
3674	G型	刮削片	Vta	チャート	-95446.465	45863.679	89.357	1.4	0.2	0.1	-
3680	G型	刮削片	Vta	チャート	-95449.317	45827.307	89.724	1.4	0.4	0.2	-
3680	G型	刮削片	Vta	チャート	-95449.317	45827.307	89.724	1.4	0.4	0.2	-
3681	G型	刮削片	Vta	チャート	-95449.908	45827.331	89.676	0.5	0.2	0.1	-
3682	G型	刮削片	Vta	チャート	-95449.952	45827.241	89.678	0.7	0.1	0.1	-
3684	G型	刮削片	Vta	チャート	-95451.155	45824.95	89.627	0.9	0.4	0.1	-
3685	G型	刮削片	Vta	チャート	-95457.274	45860.428	88.659	0.5	0.1	0.1	-
3686	G型	刮削片	Vta	チャート	-95459.667	45844.682	88.956	0.7	0.1	0.1	-
3688	G型	刮削片	Vta	チャート	-95452.106	45846.677	89.132	0.9	0.2	0.1	-
3690	G型	刮削片	Vta	チャート	-95451.098	45847.315	89.138	0.6	0.1	0.1	-
3691	G型	刮削片	Vta	チャート	-95450.601	45846.966	89.146	1.3	0.2	0.4	-
3691	G型	刮削片	Vta	チャート	-95450.601	45846.966	89.146	0.7	0.1	0.1	-
3692	G型	刮削片	Vta	チャート	-95450.633	45846.834	89.151	0.6	0.1	0.1	-
3694	G型	刮削片	Vta	チャート	-95449.979	45847.887	89.133	0.9	0.2	0.1	-
3695	G型	刮削片	Vta	チャート	-95449.934	45848.371	89.126	0.7	0.1	0.1	-
3696	G型	刮削片	Vta	チャート	-95447.431	45846.423	89.179	1.1	0.2	0.1	-
3697	G型	刮削片	Vta	チャート	-95447.218	45845.592	89.201	0.8	0.1	0.1	-
3698	G型	刮削片	Vta	チャート	-95447.299	45845.542	89.206	0.7	0.1	0.1	-
3699	G型	刮削片	Vta	チャート	-95446.801	45845.129	89.201	0.7	0.1	0.1	-
3704	G型	刮削片	Vta	チャート	-95445.14	45853.354	88.975	1.6	0.3	1.0	-
3705	G型	刮削片	Vta	チャート	-95444.263	45854.234	88.903	0.9	0.1	0.1	-
3708	G型	刮削片	Vta	チャート	-95445.296	45854.476	88.939	0.8	0.1	0.1	-
3709	G型	刮削片	Vta	チャート	-95445.546	45863.153	88.83	2.8	0.5	1.6	右脚欠損
3710	G型	刮削片	Vta	チャート	-95445.254	45856.137	88.873	0.8	0.1	0.1	-
3710	G型	刮削片	Vta	チャート	-95445.254	45856.137	88.873	0.7	0.1	0.1	-
3711	G型	刮削片	Vta	チャート	-95444.973	45856.243	88.856	1.0	0.5	0.9	-
3712	G型	刮削片	Vta	チャート	-95444.993	45856.412	88.849	0.9	0.2	0.1	-
3715	G型	刮削片	Vta	チャート	-95445.505	45857.066	88.765	0.7	0.2	0.1	-
3716	G型	刮削片	Vta	チャート	-95444.827	45856.752	88.766	1.1	0.2	0.1	-

第34表 繩文時代早期石材別石器一覧表〔未図化資料〕(19)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 位置	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	
3717	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.845	45857.054	88.768	1.2	0.2	0.2	-
3717	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.845	45857.054	88.768	1.1	0.2	0.1	-
3720	石器	刮削片	Vta	チャート	-96434.639	45855.82	88.804	1.4	0.3	0.4	-
3720	石器	刮削片	Vta	チャート	-96443.639	45855.82	88.804	1.1	0.2	0.1	-
3721	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.401	45856.169	88.865	0.6	0.1	0.1	-
3723	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.178	45856.305	88.821	0.8	0.1	0.1	-
3725	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.507	45856.345	88.773	1.0	0.1	0.1	-
3728	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.661	45857.167	88.763	0.7	0.1	0.1	-
3729	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.714	45857.902	88.749	1.4	0.2	0.6	-
3729	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.714	45857.902	88.749	0.7	0.1	0.1	-
3730	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.571	45857.509	88.755	0.8	0.2	0.2	-
3730	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.571	45857.509	88.755	0.9	0.3	0.3	-
3731	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.428	45857.455	88.766	0.9	0.2	0.1	-
3734	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.130	45857.34	88.776	0.4	0.1	0.1	-
3737	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.123	45856.963	88.774	0.9	0.1	0.1	-
3739	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.136	45856.657	88.794	1.3	0.9	1.9	-
3740	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.136	45856.657	88.794	1.7	1.7	3.7	-
3740	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.199	45856.723	88.794	0.8	0.1	0.1	-
3741	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.632	45856.755	88.776	0.9	0.2	0.1	-
3742	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.519	45856.806	88.776	0.9	0.1	0.1	-
3743	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.512	45856.873	88.746	0.9	0.1	0.1	-
3744	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.088	45856.725	88.741	2.5	0.7	2.2	-
3744	石器	刮削片	Vta	チャート	-96443.086	45856.725	88.741	0.8	0.1	0.1	-
3746	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.105	45857.085	88.706	0.9	0.2	0.1	-
3747	石器	砂片	Vta	チャート	-96442.12	45856.919	88.729	0.5	0.1	0.1	-
3748	石器	刮削片	Vta	チャート	-96442.11	45856.041	88.581	1.0	0.3	0.3	-
3748	石器	刮削片	Vta	チャート	-96442.11	45856.041	88.581	1.5	0.5	0.5	-
3749	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.271	45857.022	88.744	0.8	0.1	0.1	-
3750	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.526	45857.073	88.772	1.0	0.1	0.1	-
3752	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.302	45857.611	88.715	0.6	0.1	0.1	-
3753	石器	砂片	Vta	チャート	-96442.90	45858.113	88.603	0.9	0.2	0.1	-
3754	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.218	45857.394	88.711	0.8	0.1	0.1	-
3755	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.573	45858.561	88.705	0.5	0.1	0.1	-
3756	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.921	45857.75	88.728	0.9	0.1	0.1	-
3757	石器	刮削片	Vta	チャート	-96443.56	45857.459	88.741	1.0	0.2	0.1	-
3757	石器	刮削片	Vta	チャート	-96443.36	45857.459	88.741	1.1	0.3	0.1	-
3758	石器	砂片	Vta	チャート	-96443.922	45856.96	88.788	0.8	0.1	0.1	-
3759	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.182	45856.819	88.786	1.3	0.1	0.1	-
3760	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.375	45856.494	88.807	0.4	0.1	0.1	-
3761	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.402	45856.563	88.806	1.3	0.3	0.1	-
3764	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.526	45856.552	88.8	1.3	0.1	0.1	-
3765	石器	石器未製品	Vta	チャート	-96444.1522	45856.298	88.848	1.7	0.2	0.4	概い形態のみ
3766	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.176	45856.839	88.782	1.2	0.2	0.2	-
3766	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.176	45856.839	88.782	1.2	0.2	0.2	-
3768	石器	砂片	Vta	チャート	-96445.938	45857.294	88.738	0.7	0.2	0.1	-
3772	石器	刮削片	Vta	チャート	-96445.365	45857.322	88.699	1.2	0.3	0.3	-
3772	石器	刮削片	Vta	チャート	-96445.365	45857.322	88.699	0.4	0.1	0.1	-
3773	石器	刮削片	Vta	チャート	-96444.658	45857.324	88.747	0.4	0.1	0.1	-
3773	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.658	45857.324	88.747	0.4	0.1	0.1	-
3774	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.448	45857.815	88.746	1.0	0.2	0.1	-
3776	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.253	45857.826	88.749	0.8	0.1	0.1	-
3777	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.444	45856.657	88.787	0.9	0.2	0.1	-
3778	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.769	45856.639	88.793	0.9	0.1	0.1	-
3779	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.771	45856.362	88.83	0.7	0.1	0.1	-
3780	石器	砂片	Vta	チャート	-96444.774	45856.319	88.831	0.7	0.1	0.1	-
3782	石器	砂片	Vta	チャート	-96447.418	45866.043	88.581	1.0	0.2	0.1	-
3783	石器	砂片	Vta	チャート	-96446.916	45866.865	88.561	1.4	0.2	0.2	-
3783	石器	砂片	Vta	チャート	-96446.916	45866.865	88.551	1.8	0.2	0.3	-
3784	石器	砂片	Vta	チャート	-96447.074	45867.061	88.551	1.9	0.2	0.5	-
3784	石器	砂片	Vta	チャート	-96447.074	45867.061	88.551	0.7	0.1	0.1	-
3789	石器	砂片	Vta	チャート	-96453.146	45865.406	88.626	0.6	0.1	0.1	-
3790	石器	砂片	Vta	チャート	-96463.474	45867.526	88.439	0.6	0.1	0.1	-
3797	石器	砂片	Vta	チャート	-96451.69	45854.088	88.951	0.8	0.1	0.1	-
3798	石器	刮削片	Vta	チャート	-96450.355	45853.523	88.975	2.1	0.8	2.0	-
3798	石器	刮削片	Vta	チャート	-96450.355	45853.523	88.975	0.6	0.1	0.1	-
3799	石器	砂片	Vta	チャート	-96450.51	45853.466	88.992	0.7	0.1	0.1	-
3800	石器	砂片	Vta	チャート	-96450.574	45853.227	89	0.7	0.1	0.1	-
3801	石器	砂片	Vta	チャート	-96449.513	45851.248	89.035	0.7	0.1	0.1	-
3802	石器	砂片	Vta	チャート	-96449.649	45851.296	89.036	0.8	0.1	0.1	-
3803	石器	砂片	Vta	チャート	-96449.948	45851.479	89.032	0.5	0.1	0.1	-
3804	石器	刮削片	Vta	チャート	-96447.489	45851.104	89.077	0.9	0.2	0.2	-

第35表 繩文時代早期石材別石器一覧表 [未図化資料] (20)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量		備考
					X座標	Y座標	レベル	最大(m)	次大(m)	
3804	石器	測片	Vta	チャート	-95447.489	45851.104	89.077	0.9	0.2	-
3812	石器	測片	Vta	チャート	-95446.427	45843.857	89.252	1.5	0.2	0.1
3823	石器	測片	Vta	チャート	-95446.427	45843.857	89.252	0.8	0.1	0.1
3830	石器	測片	Vta	チャート	-95453.546	45856.613	88.742	1.1	0.1	0.1
3832	石器	測片	Vta	チャート	-95447.949	45825.086	89.844	0.5	0.1	0.1
3833	石器	測片	Vta	チャート	-95448.339	45825.016	89.843	1.8	0.5	0.6
3833	石器	測片	Vta	チャート	-95448.339	45825.016	89.843	0.5	0.1	0.1
3836	石器	測片	Vta	チャート	-95451.365	45828.48	89.592	0.8	0.1	0.1
3837	石器	測片	Vta	チャート	-95450.007	45827.309	89.643	0.7	0.1	0.1
3852	石器	測片	Vta	チャート	-95449.774	45831.294	89.565	0.9	0.2	0.1
3852	石器	測片	Vta	チャート	-95449.774	45831.294	89.565	0.9	0.2	0.1
3858	石器	石器未製品	Vta	チャート	-95453.495	45823.383	89.797	2.1	0.4	1.2 製品の可能性あり
3860	石器	測片	Vta	チャート	-95446.919	45826.027	89.848	0.7	0.1	0.1
3863	石器	石器未製品	Vta	チャート	-95448.343	45826.222	89.805	2.2	0.3	0.6 基部側はやや分厚い
3865	石器	石器未製品	Vta	チャート	-95449.337	45826.941	89.74	2.2	0.7	3.3 形態は背面側を中心に削離
3866	石器	砂片	Vta	チャート	-95449.004	45827.747	89.714	0.9	0.3	0.1
3867	石器	砂片	Vta	チャート	-95450.893	45828.587	89.613	0.6	0.1	0.1
3868	石器	砂片	Vta	チャート	-95450.957	45827.718	89.632	0.7	0.1	0.1
3870	石器	砂片	Vta	チャート	-95448.386	45822.255	89.859	1.0	0.2	0.1
3872	石器	測片	Vta	チャート	-95447.902	45821.843	89.884	1.3	0.4	0.4
3872	石器	測片	Vta	チャート	-95447.902	45821.843	89.884	2.2	0.7	3.3
3873	石器	砂片	Vta	チャート	-95461.155	45836.517	89.045	0.8	0.1	0.1
3875	石器	測片	Vta	チャート	-95446.136	45824.875	89.933	0.9	0.6	0.6
3875	石器	測片	Vta	チャート	-95446.136	45824.875	89.933	0.9	0.6	0.6
3878	石器	測片	Vta	チャート	-95445.971	45821.984	89.954	1.1	0.5	0.5
3878	G型	測片	Vta	チャート	-95445.971	45821.984	89.954	1.0	0.2	0.1
3881	石器	砂片	Vta	チャート	-95431.122	45828.525	89.548	0.7	0.1	0.1

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量		備考
					X座標	Y座標	レベル	最大(m)	次大(m)	
494	石器	測片	Vta	東京産墨岩	-95449.491	45869.327	88.56	1.3	0.3	-
593	石器	砂片	Vta	東京産墨岩	-95446.197	45868.643	88.562	1.0	0.2	0.1
1066	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95464.164	45851.826	88.71	2.6	1.1	2.5
1159	G型	砂片	Vta	東京産墨岩	-95452.201	45849.465	88.819	2.0	0.5	1.3
1165	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95456.964	45849.874	88.964	1.9	0.6	1.6
1169	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95458.9	45847.619	88.948	2.2	0.5	1.2
1226	G型	砂片	Vta	東京産墨岩	-95454.834	45842.837	89.079	2.8	1.1	3.7
1567	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95452.279	45828.969	90.566	1.8	0.9	1.6
1637	G型	砂片	Vta	東京産墨岩	-95456.984	45816.368	90.719	0.8	0.5	0.2
1795	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95459.806	45812.193	90.254	2.8	1.0	1.2
1846	G型	砂片	Vta	東京産墨岩	-95453.836	45888.199	90.296	1.0	0.3	0.1
2053	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95467.909	45792.267	91.166	2.2	0.7	1.3
2095	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95449.85	45806.38	88.577	3.1	0.8	5.7
2177	G型	砂片	Vta	東京産墨岩	-95469.663	45764.591	90.777	1.2	0.2	0.1
2234	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95477.228	45819.731	88.69	1.8	0.6	0.7
2441	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95460.411	45816.613	88.048	3.2	0.9	4.1
2603	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95447.604	45811.794	90.355	3.2	0.9	4.1
2603	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95447.604	45811.794	90.355	2.8	1.0	3.3
2605	石器	砂片	Vta	東京産墨岩	-95445.925	45811.543	90.334	1.0	0.5	0.2
2610	石器	石核	Vta	東京産墨岩	-95451.571	45811.369	90.352	1.6	0.8	1.3 不定形測片を削離
2610	石器	石核	Vta	東京産墨岩	-95451.571	45811.369	90.352	1.2	0.2	0.1 小型角礫素材
2618	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95443.431	45810.65	90.481	2.0	0.3	0.5
2628	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95442.466	45810.22	90.465	1.9	1.0	1.2
2629	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95442.412	45810.514	90.498	1.9	0.5	1.0
2696	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95447.345	45813.029	90.335	1.8	0.6	1.2
2697	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95447.781	45812.925	90.326	1.2	0.3	0.3
2699	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95452.31	45870.313	88.831	2.6	0.9	1.5
2709	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95451.358	45871.74	88.759	2.0	0.5	0.9
2701	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95450.795	45870.713	88.798	1.8	0.9	1.5
2702	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95451.024	45869.52	88.827	1.7	0.5	0.8
2714	G型	測片	Vta	東京産墨岩	-95448.217	45877.045	88.592	2.4	0.6	1.5
2731	G型	砂片	Vta	東京産墨岩	-95446.027	45875.519	88.626	1.2	0.3	0.3
2769	石器	石核	Vta	東京産墨岩	-95439.419	45820.965	90.363	1.2	0.3	0.3 縫面が残る
2769	石器	石核	Vta	東京産墨岩	-95439.419	45820.965	90.363	1.2	0.3	0.3 縫面が残る
2770	石器	石核	Vta	東京産墨岩	-95444.961	45812.551	90.407	1.8	0.8	2.0 不定形測片を削離
2770	石器	石核	Vta	東京産墨岩	-95444.961	45812.551	90.407	1.8	0.8	2.0 不定形測片を削離
2783	石器	測片	Vta	東京産墨岩	-95457.544	45812.68	88.93	1.5	0.7	1.1
2783	石器	測片	Vta	東京産墨岩	-95457.544	45812.68	88.93	1.2	0.3	0.3
2791	石器	測片	Vta	東京産墨岩	-95446.324	45812.738	90.3	3.0	0.6	3.4
2792	石器	測片	Vta	東京産墨岩	-95445.958	45811.096	90.143	1.8	0.4	0.7
2799	石器	測片	Vta	東京産墨岩	-95447.205	45810.693	90.191	1.9	0.8	1.8

第36表 繩文時代早期石材別一覧表〔未図化資料〕(21)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点			法量			備考
					X座標	Y座標	レベル	最大長(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
2799	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96447.205	45810.693	90.191	1.7	0.5	0.8	-
2877	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96445.818	45806.874	90.339	1.8	0.6	1.0	-
2877	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96445.818	45806.874	90.339	1.2	0.3	0.3	-
2936	石器	石核	Vta	日東産黒曜石	-96453.543	45811.965	90.12	1.8	1.1	1.7 小型角礫素材	-
2936	石器	石核	Vta	日東産黒曜石	-96453.543	45811.965	90.12	2.4	1.9	3.1 不定形測片を剥離	-
2943	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96450.688	45811.891	90.287	1.8	0.5	0.9	-
2943	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96450.688	45811.891	90.287	1.5	0.4	0.9	-
2944	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96449.918	45811.187	90.27	1.5	0.4	0.9	-
2944	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96449.918	45811.187	90.27	1.2	0.3	0.3	-
2946	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96446.798	45809.468	90.211	1.6	0.6	0.7	-
2946	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96446.798	45809.468	90.211	1.2	0.3	0.3	-
2947	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96446.282	45809.532	90.233	1.2	0.7	1.9	-
2947	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96446.282	45809.532	90.233	1.2	0.7	1.9	-
2949	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96446.284	45809.532	90.234	1.8	0.9	1.3	-
2949	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96446.284	45810.132	90.234	1.2	0.3	0.3	-
2972	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96443.052	45809.495	90.252	1.6	0.4	0.4	-
2972	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96443.052	45809.495	90.252	1.6	0.4	0.4	-
2974	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96453.304	45811.271	89.999	1.6	0.8	0.8	-
2974	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96453.304	45811.271	89.999	1.2	0.3	0.3	-
3013	G器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96445.509	45809.174	90.265	2.0	0.6	1.3	-
3013	G器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96445.509	45809.174	90.265	1.6	0.8	0.8	-
3016	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96444.118	45809.497	90.22	3.8	1.0	6.5	-
3016	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96444.118	45809.497	90.22	2.0	0.6	1.3	-
3017	石器	石核	Vta	日東産黒曜石	-96444.1392	45808.6	90.22	2.4	1.2	5.4 繩面が残る	-
3017	石器	石核	Vta	日東産黒曜石	-96444.1392	45808.6	90.22	1.6	0.6	0.7 不定形測片を剥離	-
3018	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96444.1592	45809.516	90.231	1.2	0.7	1.9	-
3018	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96444.1592	45809.516	90.231	1.8	1.1	1.2	-
3020	石器	砂片	Vta	日東産黒曜石	-96444.188	45811.321	90.258	1.6	0.4	0.4	-
3022	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96444.543	45809.265	90.243	1.7	0.8	1.1	-
3022	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96444.543	45809.265	90.243	1.6	0.6	0.7	-
3137	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96444.1543	45862.123	89.122	1.9	0.5	0.6	-
3137	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96444.1543	45862.123	89.122	1.6	0.4	0.4	-
3145	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96449.722	45871.141	88.943	1.6	0.4	0.4	-
3163	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96478.851	45794.737	90.25	1.6	0.8	0.8	-
3163	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96478.851	45794.737	90.25	1.2	0.3	0.3	-
3168	G器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96471.1929	45791.072	89.999	1.3	0.5	0.2	-
3168	G器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96471.1929	45791.072	89.999	1.4	0.3	0.1	-
3216	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96418.008	45697.298	90.626	2.0	1.0	2.3	-
3240	石器	砂片	Vta	日東産黒曜石	-96433.179	45868.349	90.097	1.1	0.4	0.2	-
3422	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96468.446	45863.343	88.586	1.7	0.9	1.2	-
3422	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96468.446	45863.343	88.586	2.3	1.4	2.2	-
3553	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96469.397	45846.136	88.857	2.9	1.9	3.2	-
3554	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96469.058	45846.108	88.861	2.3	1.4	2.2	-
3625	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96443.754	45874.329	88.29	1.8	0.4	0.9	-
3625	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96443.754	45874.329	88.29	1.9	0.5	0.6	-
3675	石器	砂片	Vta	日東産黒曜石	-96438.976	45831.816	89.663	1.6	0.4	0.4	-
3702	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96443.141	45861.028	88.931	1.6	0.4	0.4	-
3702	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96443.141	45861.028	88.931	1.6	0.8	0.8	-
3703	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96443.138	45851.685	88.914	1.2	0.3	0.3	-
3703	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96443.138	45851.685	88.914	1.3	0.3	0.2	-
3813	石器	石核	Vta	日東産黒曜石	-96442.023	45868.639	88.958	1.4	0.3	0.1 不定形測片を剥離	-
3813	石器	石核	Vta	日東産黒曜石	-96442.023	45868.639	88.958	1.5	0.3	0.1 不定形測片を剥離	-
3816	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96440.723	45866.804	89.024	1.6	0.3	0.1	-
3827	石器	砂片	Vta	日東産黒曜石	-96440.683	45885.617	89.063	1.0	0.2	0.1	-
3829	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96440.619	45866.366	89.065	1.6	0.9	0.5	-
3845	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96440.861	45869.948	89.363	1.6	0.7	1.1	-
3845	石器	測片	Vta	日東産黒曜石	-96440.891	45869.948	89.363	1.0	0.2	0.1	-
3859	石器	石核未脱品	Vta	日東産黒曜石	-96439.38	45811.941	90.287	1.6	0.3	0.5 表面は素材測片のまま	-

第37表 繩文時代早期石材別一覧表〔未図化資料〕(22)

取り上げ 番号	種類	器種	出土 層位	石材	出土地点				法量	備考	
					X座標	Y座標	レベル	最大高(cm)	最大幅(cm)	重量(g)	
472	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95446.477	45873.035	88.529	1.2	0.2	0.1	-
473	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95447.066	45872.212	88.506	1.0	0.2	0.1	-
478	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95447.285	45871.628	88.604	1.2	0.2	0.1	-
479	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95447.332	45871.332	88.604	2.0	0.5	1.3	-
482	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95447.286	45871.334	88.548	1.5	0.3	0.2	-
483	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95448.131	45871.574	88.563	1.1	0.2	0.1	-
485	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95448.03	45871.119	88.541	1.8	0.3	0.3	-
489	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95448.107	45869.893	88.555	1.8	0.3	0.7	-
490	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95447.9	45869.862	88.548	2.7	0.4	1.2	-
544	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95450.589	45863.744	88.668	2.6	0.4	0.4	-
599	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95454.652	45869.673	88.515	1.8	0.3	0.3	-
689	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95454.3	45851.209	88.963	1.5	0.2	0.1	-
690	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95440.085	45860.38	88.794	3.0	0.7	2.9	-
698	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95446.65	45853.478	89.047	3.5	1.0	3.0	-
718	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95447.857	45854.307	88.966	2.6	0.6	1.4	-
720	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95446.295	45855.521	88.918	2.2	0.5	0.7	-
723	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95445.451	45855.679	88.907	2.2	0.6	1.3	-
751	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95447.09	45858.121	88.786	2.0	0.4	1.0	-
779	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95449.51	45853.981	88.981	1.1	0.2	0.1	-
895	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95452.296	45847.681	88.905	1.2	0.1	0.1	-
904	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95461.754	45865.979	88.96	0.9	0.2	0.1	-
952	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95462.791	45840.691	88.941	2.2	0.5	1.1	-
1269	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95458.598	45839.665	89.227	1.7	0.4	0.6	-
1267	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95458.705	45836.262	89.372	0.8	0.1	0.1	-
1272	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95458.203	45836.262	89.359	1.3	0.3	0.1	先端部欠損
1273	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95459.207	45866.83	89.192	2.2	0.7	0.6	-
1307	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95449.432	45847.745	89.176	3.0	0.8	2.9	-
1326	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95443.839	45844.963	89.086	1.8	0.7	0.7	-
1329	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95439.221	45842.965	89.267	0.8	0.1	0.1	-
1337	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95446.947	45837.226	89.438	2.0	0.8	1.8	-
1421	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95440.429	45857.64	90.436	2.6	0.7	1.7	-
1447	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95451.324	45835.532	90.436	1.5	0.4	0.5	-
1753	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95462.841	45815.348	90.175	2.6	0.7	1.7 左脚欠損	-
1766	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95463.293	45814.996	90.166	2.2	0.4	1.0	-
1769	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95465.576	45816.067	90.164	1.1	0.8	0.7	-
1811	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95463.46	45818.885	90.478	1.1	0.8	0.7 不定期片を削除	-
1824	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95471.884	45809.844	90.17	2.0	0.2	0.7	-
1843	石器	石器未製品	Vta	船島南黒曜石	-95472.709	45807.893	90.334	2.0	0.2	0.7 周縁からの無い整形のみ	-
1860	石器	石器未製品	Vta	船島南黒曜石	-95461.517	45803.598	90.435	3.3	0.9	7.7 離肉を残す	-
1862	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95468.651	45799.774	90.227	1.5	0.8	0.8 不定期片を削除	-
1865	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95461.31	45800.336	90.336	3.0	0.6	1.9	-
1934	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95474.359	45814.647	90.018	1.7	0.4	0.8	-
1944	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95482.63	45817.872	90.668	0.9	0.1	0.1	-
1946	石器	石器未製品	Vta	船島南黒曜石	-95483.709	45814.865	90.672	0.9	0.1	0.1 左側縁は欠損	-
1985	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95432.968	45844.351	89.337	0.9	0.1	0.1 不定期片を削除	-
2142	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95474.774	45833.375	89.713	1.1	0.4	0.3	-
2164	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95462.516	45841.48	89.257	2.2	0.9	1.9	-
2191	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95444.285	45779.799	91.067	2.2	0.7	1.0	-
2209	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95469.754	45857.749	89.745	1.2	0.5	0.4	-
2272	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95488.817	45850.963	88.335	1.5	0.5	0.5	-
2368	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95431.753	45787.666	90.525	1.8	0.5	0.6 先端部欠損	-
2369	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95434.815	45785.835	90.552	1.4	0.2	0.2	-
2373	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95433.501	45796.528	90.503	1.0	0.1	0.1	-
2378	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95437.41	45796.191	90.405	1.8	0.9	0.6	-
381	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95433.589	45784.391	90.453	0.8	0.1	0.1	-
3282	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95434.408	45827.487	90.52	0.8	0.2	0.1	-
3296	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95430.12	45777.867	90.635	1.1	0.3	0.2	-
3298	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95430.89	45776.094	90.657	1.0	0.3	0.1	-
2405	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95441.144	45782.391	90.272	0.9	0.3	0.1	-
2413	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95432.096	45765.682	90.397	2.4	0.4	1.0	-
2566	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95451.276	45841.99	89.438	1.1	0.2	0.1	-
2763	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95443.348	45812.579	90.449	1.2	0.4	0.1	-
3031	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95446.302	45871.409	88.658	0.8	0.2	0.1	-
3159	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95443.063	45864.153	89.052	1.0	0.1	0.1	-
3229	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95422.236	45883.794	90.564	1.1	0.3	0.1	-
3252	石器	石器	Vta	船島南黒曜石	-95434.417	45874.848	90.089	1.6	0.4	0.2 両脚欠損	-
3292	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95449.59	45869.6	89.577	2.1	0.5	0.3	-
3293	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95454.296	45869.6	89.577	1.2	0.4	0.1	-
3294	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95454.296	45874.491	89.482	1.7	0.7	0.7	-
3301	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95447.295	45874.491	89.482	1.7	0.7	0.7	-
3309	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95455.069	45873.965	89.501	1.9	0.2	0.4	-
3330	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95455.069	45873.965	89.501	1.6	0.4	0.2	-
3620	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95451.07	45861.471	88.68	0.7	0.2	0.1	-
3701	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95443.491	45860.153	89.001	0.9	0.1	0.1	-
3707	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95443.854	45864.078	88.959	0.7	0.1	0.1	-
3713	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95443.511	45866.811	88.813	0.7	0.1	0.1	-
3713	石器	鉢片	Vta	船島南黒曜石	-95443.511	45866.811	88.813	1.9	0.4	0.5	-

第38表 繩文時代早期石材別石器一覧表 [未図化資料] (23)

第5節 繩文時代中期の遺構と遺物

1 概要

a) 遺構の概要

遺構は堅穴住居跡9軒、円形にめぐるピット列（平地式建物跡）32棟、掘立柱建物跡4棟、土坑（壙）143基、集石遺構1基、配石遺構1基が検出された。

遺物は、縄文土器深鉢、石鎌、石斧、スクレイバー、石錐、石匙、敲石、磨石、台石、石皿と石錘がある。出土土器の型式は、縄文時代中期前葉から中葉（船元II・III式期）と考えられる。

なお、縄文時代中期包含層は、第III b層にあたる。

b) 検出状況

遺構検出部位は、第III b層～第IV層上面である。縄文時代中期の遺構埋土は縄文時代後晩期や古墳時代以降の遺構埋土とは異なり、黒色土でも黄みの強いオリーブ色で硬質であった。

遺構検出面の輪郭は第IV層をやや削り込んでも明瞭ではなく、「シミ」や「にじみ」状であった。特に第III層が失われている箇所での検出は特に困難であった。さらに、遺構面が乾燥すると平面観察では検出不可能に陥ることがしばしばで、さらに埋土と第IV層、第V層が一見似ているため、壁面の立ち上がりや床面の精査も困難を極めた。

遺構精査時は、トレチを適宜設定しながら、壁の立ち上がりと床面を確認しながら慎重に掘り進めた。しかし、多くの場合は半截後、床面を確認したのちに徐々に床面からの壁面の立ち上がりを追いかける精査方法を探った。

調査中は当該期の遺構の存在とその平面形を確実におさえること、遺物の出土状況を正確に記録すること等を優先して精査を進めた。

c) 遺構の分布状況

土坑は、等高線に沿って開析谷に向かって扇形に開くような分布を示した。堅穴住居及び円形に並ぶピット列（平地式建物跡）群は、調査区の東側と西側に二分されているが、土坑群は、その住居跡群を結ぶ中軸線上に展開する。古墳時代遺構の削平等を勘案する必要があるが、複数基で土坑群をなしたり、列状または帯状な配置形態がなされている。

2 遺物の分類

堅穴住居跡や土坑など遺構や包含層（第III b層）からは、主に縄文時代中期に属すると考えられる大量の土器、石器が出土した。

土器については、形態や調整の観察から瀬戸内地方を中心とする広域土器型式である船元II・III式土器や、南九州の春日式土器に類似する縄文土器深鉢が多い点が特徴的であった。

a) 土器の分類

ここでは、縄文時代中期と考えられる土器群について分類を試みた。

縄文時代中期と考えられる遺構及び遺物包含層（第III a層）出土土器は、少数を除いて器形全体が把握しやすい破片資料である。

そこで、口縁部や胴部片を観察すると、大きく地文は、①縄文、②ナデ調整、③貝殻条痕文に大別され、それらの地文を基に隆帶や半截竹管文、沈線文といった複雑、多様な施文技法が駆使されているという結果を得た。そして多くは、近畿・瀬戸内の土器型式である船元式に類似した土器と考えられた。

この、船元式に類似した土器（外面縄文地）と、南九州で一般的な貝殻条痕地の土器、どちらに属するか不分明なナデ調整と、地文に着目してV～Ⅷ類に分類し、施文技法や文様構成に基づいて細分を行なった。無論、口縁部や底部形態といった器形の特徴も重要な分類要素であり、各細分型式に反映させた。なお、第39表に分類概念を掲載している。

【V類土器】

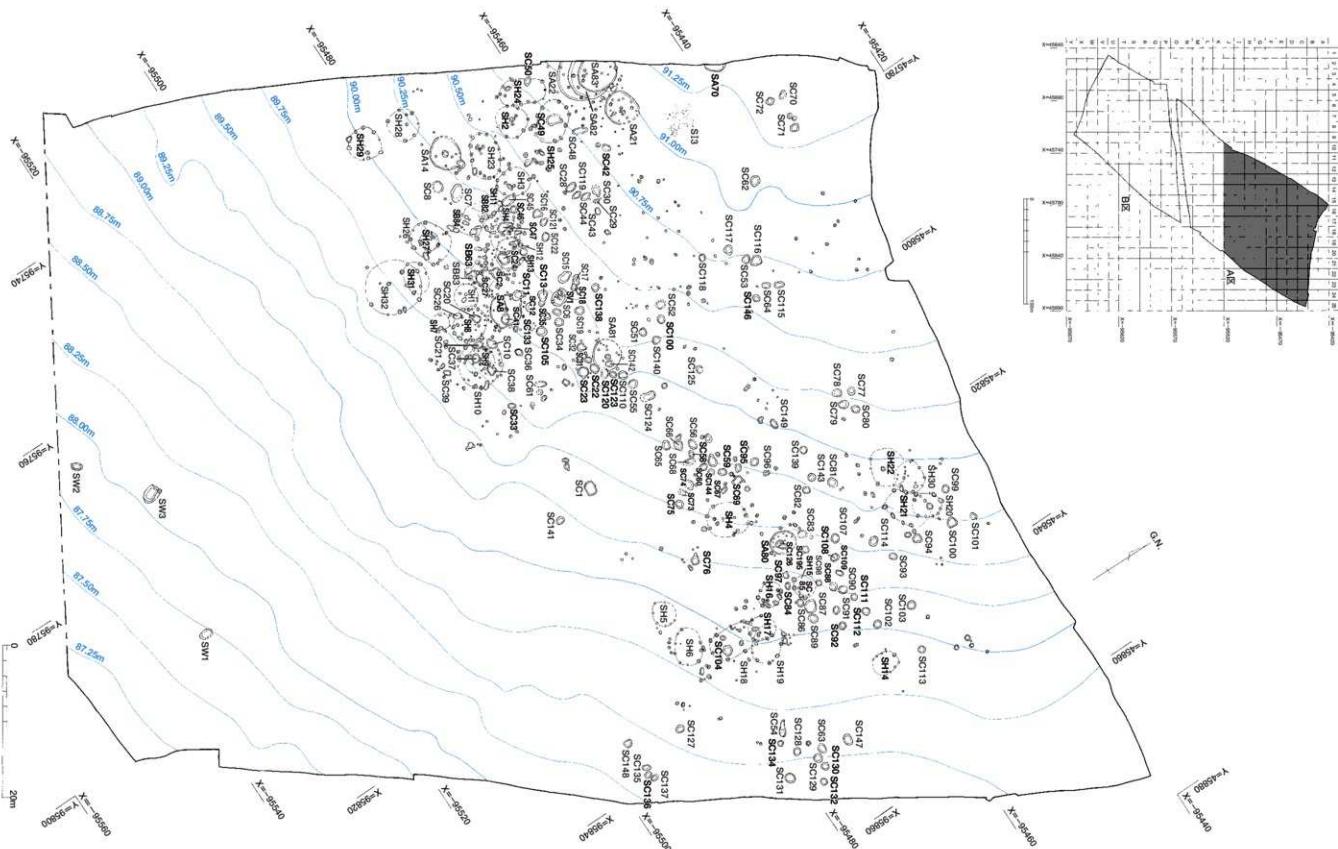
V類土器は、外面縄文を地文とし、口縁部に隆帶の貼付けや沈線、押引文、刺突文、竹管文などの施文がなされる土器群である。

器壁は約6～7mmを測り、内面はナデ調整が主体である。ナデ調整の中では皮革を用いたような丁寧なナデ、板状工具の痕跡が残るものがある。また、ケズリ様調整後、ナデがなされる場合もみられた。

また、口縁端部や内面には、刻み目および縄文が施文される場合もある。

器形は、①ほぼ直立、②緩やかに外反、③内湾する「キャリバー形」の口縁部に特徴付けられる。

③「キャリバー形」場合は、(a) 強く内湾するも



第46図 繩文時代中期遺構配置図 (S = 1/500)

の、(b) 内湾の弱いもの、(c) 口縁端部のみを内湾するもの、(d) 内湾口縁部の端部からさらに短く外反する口縁部が接続する二段口縁の 4 種類がある。

口縁部は、①ないし②が主体的で、③は少數である。また、多くは平口縁で、緩やかな波状口縁を呈するものも少數存在する。

底部は、上げ底状の形状をなすものがある。

①V-1類

口縁部端部に突帶を貼り付け、肥厚させる形態である。突帶部には縄文や貝殻背面を刺突する施文がなされる場合がある。それ以外の部分は縄文地のままである。

口縁部はキャリバー状と、ほぼ直立する 2 形態が認められる。

②V-2類

口縁部に隆帶を貼り付け、その隆帶上に施文がなされる一群である。

隆帶は、縦位、横位、波状および「∞」状で構成される。横位や波状隆帶の場合、2~4 条ほど貼り付けられる。隆帶上には、縄文や刺突文、刻み目が施文される。

口縁部は、キャリバー状、直立気味とがある。キャリバー状口縁は比較的少ない。

③V-3類

V-2 類と類似する土器群だが、隆帶上に施文がされない一群をさす。また、隆帶の構成は、波状、連弧文など V-2 類より複雑化している。

④V-4類

V-3 類に沈線文が組み合わされる文様構成をなす一群である。隆帶で三角形をモチーフにした区画に沈線文が入る。4 方の瘤状突起を有する波状口縁深鉢に代表される。キャリバー口縁が主体的である。

⑤V-5類

太めの隆帶と沈線文、刺突文等で構成される文様帶を有する土器群である。

口縁部上半部は、縦位、横位、波状や「∞」状の隆帶、口縁下半部は縦位の沈線文や刺突文という文様構成となる。隆帶上には工具刺突が施文されるものもある。胴部にも文様を施すのも特徴である。

口縁部はキャリバー状が主体で、キャリバー口縁の

端部に外反口縁が接続するものも一定量存在する。

また、胴部には、撚りの綱い縄文原体が施文される傾向がある。

⑥V-6類

隆帶の両側に半截竹管工具によって平行文が施される一群である。

⑦V-7類

隆帶は貼り付けられず、口縁部に刺突文や押引文が施文される。口縁部はキャリバー状主体である。

⑧V-8類

隆帶は貼り付けられず、半截竹管工具で口縁部から胴部まで全面施文される土器群である。

文様は、縦位の条線を描き巡らしたり、平行文や斜交文、連弧文を組み合わせたモチーフである。キャリバー状やほぼ直立気味の口縁部となす。

⑨V-9類

隆帶を貼り付けず、沈線文が施文される一群である。文様は、横位の平行文、波状文や連弧文や縦位の平行文等で構成される。

⑩V-10類

縄文地文のみで、文様がみられないもの。内面調整は貝殻条痕文の場合もある。

口縁部は、キャリバー状、キャリバー口縁の端部に外反口縁が接続する、直立気味の 3 者が認められる。

【VI類土器】

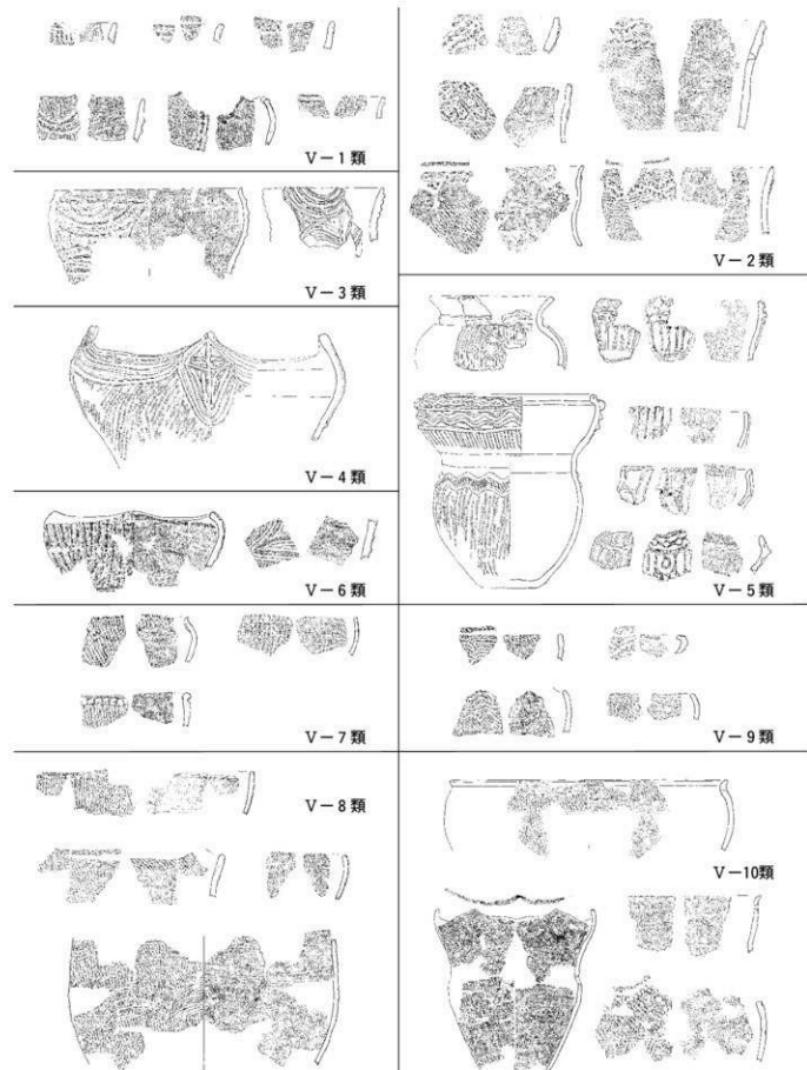
VI 類土器は、外面ナデ調整で、口縁部に隆帶の貼付けや沈線、押引文、刺突文、竹管文などの施文がなされる土器群である。

内面の調整は V 類土器と同様であるが、ナデ調整ではなく貝殻条痕文の場合がある。器壁も V 類よりやや厚手の場合もみられる。

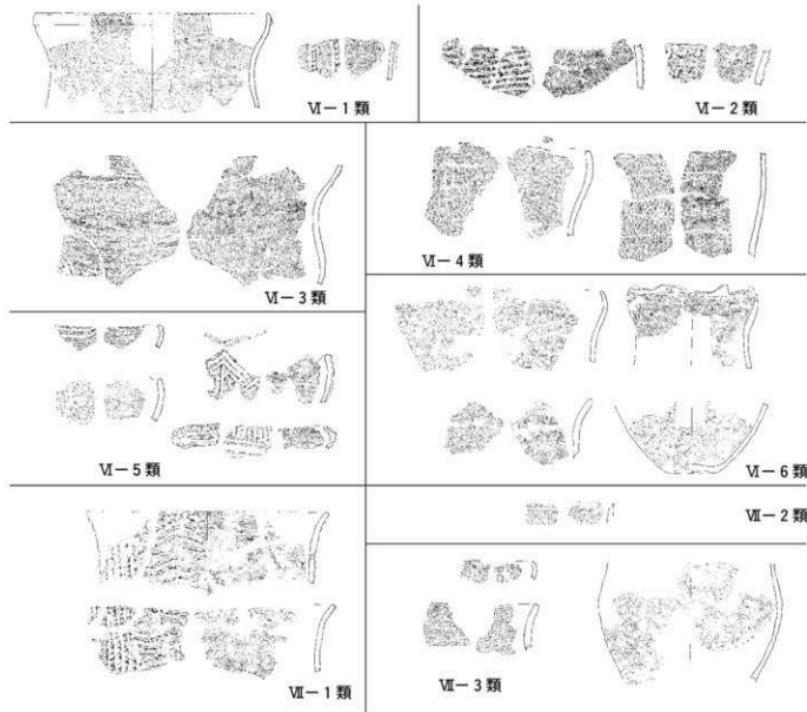
口縁部形態は、V 類土器と同じ特徴を示すが、キャリバー口縁の端部に外反口縁が接続するタイプは少ない傾向がある。

多くの場合は平口縁だが、緩やかな波状口縁を呈するものも少數存在する。

底部は、やや上げ底気味、やや端部が張り出す平底と大きく 2 種の形態がある。上げ底気味のタイプが古相を示していると考えられる。



第47図 V類土器の細分型式（縮尺は不統一）



第48図 VI類土器及びVII類土器の細分型式（縮尺は不統一）

①VI-1類

口縁部端部に突帯を貼り付け、肥厚させる形態である。突帯には刺突列点文が施される。V-1類と対応関係にある。

口縁部の屈曲部に刺突列点文、口縁部外面に縦位の貼付隆帯（刺突列点文有す）を有す土器も含めた。

②VI-2類

口縁部に隆帯を貼り付けるが、隆帯上に施文がない。V-3類と対応関係にある。隆帯の構成はV-3と類似するが、5~7条前後と多条なものがある。

口縁部の主体は直立気味なタイプが占める。

③VI-3類

口縁部に隆帯、胴部に沈線文が施文される一群。隆

帶の両側に半截竹管工具による平行文や横位の竹管文がなされる。個体的に数例しか確認されない。

④VI-4類

隆帶は貼り付けられず、半截竹管状工具による竹管文か施文される一群である。口縁部は縦位に描き巡らせる縦書き条線で、胴部は縦書き条線および斜交文である。口縁部はキャリバー状口縁が多い。

⑤VI-5類

隆帶貼り付けはみられず、沈線文・刺突文主体的一群をさす。口縁部に横位の刺突列点文や押引文を施文するもの、縦位の短沈線や横位の沈線文で文様を構成するもの、三角形の区画線内に沈線文でさらに文様を付加するものなどがある。

類別土器	地文	隆帯(口縁部端部)		隆帯(口縁部全体)					隆帯なし		施文なし	
		隆帯上施文 (刺突文・純文)	隆帯上施文 (刺突文・純文)	隆帯上施文なし					押引文 刺突文	竹管文	沈線文 刺突文	—
				隆帯との施文組合せ								
V類土器	縦文	V-1	V-2	V-3	V-4	V-5	V-6	V-7	V-8	V-9	V-10	
VI類土器	ナデ調整	VI-1	VI-2			VI-3		VI-4	VI-5	VI-6		
VII類土器	貝殻条痕文		VI-1						VI-2	VI-3		

第39表 調整・文様形態からみた類別型式

口縁部形態はキャリバー状、ほぼ直立するものに2大別される。キャリバー口縁の端部に外反口縁が接続するタイプもみられる。

⑥VI-6類

ナデ調整のみで施文がなされない一群。全く装飾性が皆無でなく、口縁部端部に刻み目を有するものが一定量存在する。

口縁部形態はキャリバー状、ほぼ直立するものに2大別される。複数の瘤状突起を有する緩い波状口縁深鉢もみられる。

【VI類土器】

VI類土器は、外面貝殻条痕文調整で、口縁部に隆帯の貼付けや沈線、押引文、刺突文、竹管文などの施文がなされる土器群である。

内面の調整も、貝殻条痕文主体となる。器壁もVI類同様や厚手の場合もみられる。

口縁部形態も、VI類土器と同じ特徴を示す。底部の形状は、平底で端部がやや張り出す形状である。また、底面はナデ仕上げで組織圧痕は認められない。

①VI-1類

隆帯が付される一群である。この隆帯は、縦位や波状に貼り付けられ隆帯上に刺突列点文が施される。

口縁部はやや直立気味の形態である。

②VI-2類

外面に沈線が施される土器である。少数でかつ小破片であるため、文様構成や口縁部形態等は不明である。条痕地に沈線文が施される土器として概念的な意味で設定した。

③VI-3類

貝殻腹縁による器面調整のみで施文がなされない一群である。口縁部形態は、キャリバー状とやや直立気味、外反気味のタイプが認められる。

c) 石器の分類

石器については、器種ごとのヴァリエイションがそれほど認められず、遺物に与えた器種名それ自体は、他報告例と大きく逸脱していないと考えられるため、特に分類しなかった。

石材分類についても、第3・4節における石材分類に準じておくことにする。

e) 遺物記述について

本文中では、遺物出土状態の記述を重視し、遺物の諸特徴は必要最低限の言及にとどめた。個々に遺物説明を行なうと非常に煩雑になるためである。

そのため、個々の遺物の詳細については遺物観察表を参照されたい。

また、個々の土器に与えた分類名(型式名)は、遺物観察表に記載した。



写真3 作業風景(1)



写真4 作業風景(2)

3 壺穴住居跡

【概要】

縄文時代中期の壺穴住居跡は S A 8・14・21・22・70・80・81・82・83の総計9軒を数える。

壺穴住居跡はA調査区の西側部分を中心として分布し、平地式建物跡群や土坑群と混在する。

壺穴住居跡の平面形は円形で、直径4～5mの規模が主体であるが、直径3.6mや5.5mの大小のタイプも存在する。床面は、K-Ah面やML 1相当層を断面皿形、すり鉢型に浅く掘り込んで直床とする。各壺穴住居跡とも炉が検出されなかった。

また、住居跡の柱穴は、中央の柱穴を中心に放射状に小柱穴が配置される、壺穴外縁に沿って小柱穴が巡る、明確な規則性が認められない例がある。

S A 8（第49～51図）

【立 地】

F 15グリットに位置する壺穴住居跡である。壺穴住居跡の北側はS C 11に切られる。

【規 模】

遺構の平面形は、不整な円形プランを呈す。北側（S C 11）方向及び南東方向（S C 41）部分がやや張り出し気味となる。直径は、約5.5m前後を測り、床面までの深さは検出面から0.3mで浅めである。平面積は約24m²である。

遺構断面形は、壁面の立ち上がりがしっかりしているため、皿状よりは、すり鉢ないし逆台形に近い。

【床面・柱穴】

住居床面は概して平坦で、ML 1相当層をまで掘り下げて直床とする。焼土面や地床炉といった火處は確認されていない。

柱穴は、床面にて3ないし4箇所検出された。床面中央にある柱穴（P 1）は、直径0.5m大で床面からの深さ0.6mの柱穴を中心として、3方向に直径0.3mで深さ0.3～0.4mの小柱穴が配されている。

住居床面中心の柱穴と壁際の柱穴との距離は、約2m前後とほぼ等距離である。

また、住居平面の周縁には小穴が巡っていた。この小穴の直径は平均約0.2mで、大きめの場合は約0.5mを測る。検出面からの深さは、約0.4m前後と一定であ

る。この小穴がL8～2 m前後の間隔で、壺穴掘り方ラインにほぼ沿うように廻繞していた。

なお、住居内床面でS C 41が検出された。この土坑は壺穴住居に付属する住居内土坑かどうか、調査段階で確認できなかつたため所属関係は不明である。

【覆土の状況】

覆土は、黒褐色ないしオリーブ褐色のしまりのやや強い硬質な土質を示す。

【出土遺物】

壺穴住居の検出面付近で縄文時代後・晚期の台付皿の口縁部と粗製深鉢の口縁部破片や底部（IX・X I類土器）が、第3層と床面付近でV・VI類土器および石器類が出土した。

床面付近ではV・VI類土器の口縁部片やスクレイバー、石錐、石錘は散漫に、石皿や磨石及び石核と剥片はやまとまりを持って出土した。

【遺構の時期】

遺構検出面の遺物と覆土（第3層）および床面の遺物の時期差が生じている。S A 8より後出するS C 11は、その出土遺物からV類土器の時期が想定されるため、S A 8はS C 11より先行する時期（船元II・III式併行）に相当すると考えられる。

なお、検出面のIX・XI類土器は、住居埋没時か、検出に失敗した別遺構に伴う遺物と判断している。

S A 14（第52～53図）

【立 地】

F 13グリットに位置する壺穴住居跡である。住居北西部分は、古墳時代の壺穴住居S A 15に切られる。

【規 模】

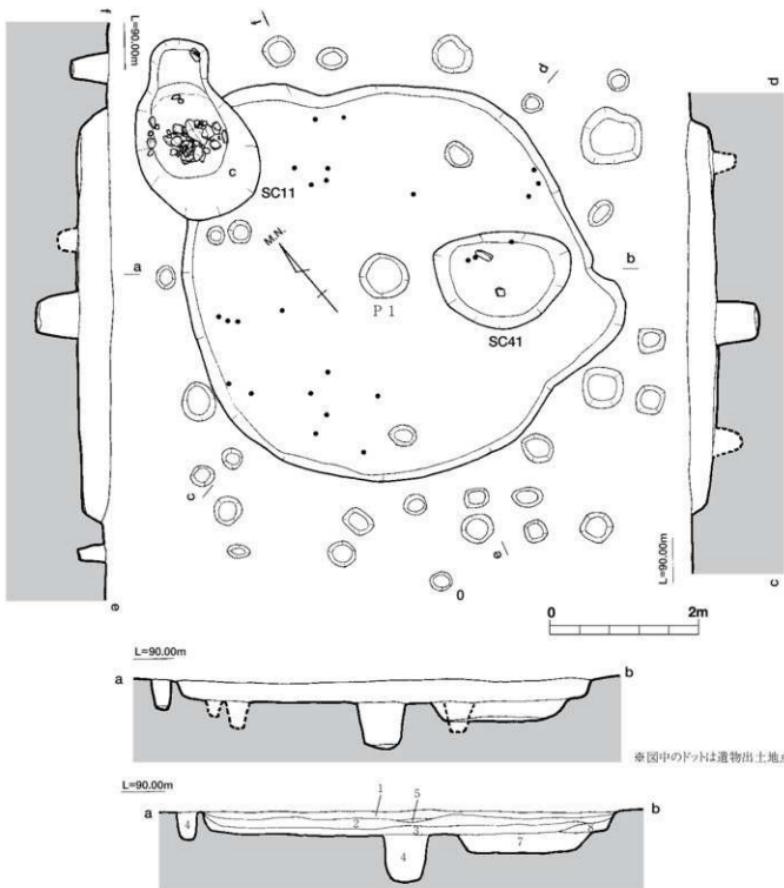
遺構の平面形は、直径4 m前後を測る不整な円形プランである。床面までの深さは検出面から0.1mで浅めである。平面積は約13m²を測る。

壁面の立ち上がりはやや弱く、住居断面形は皿状ないしすり鉢状に近い。

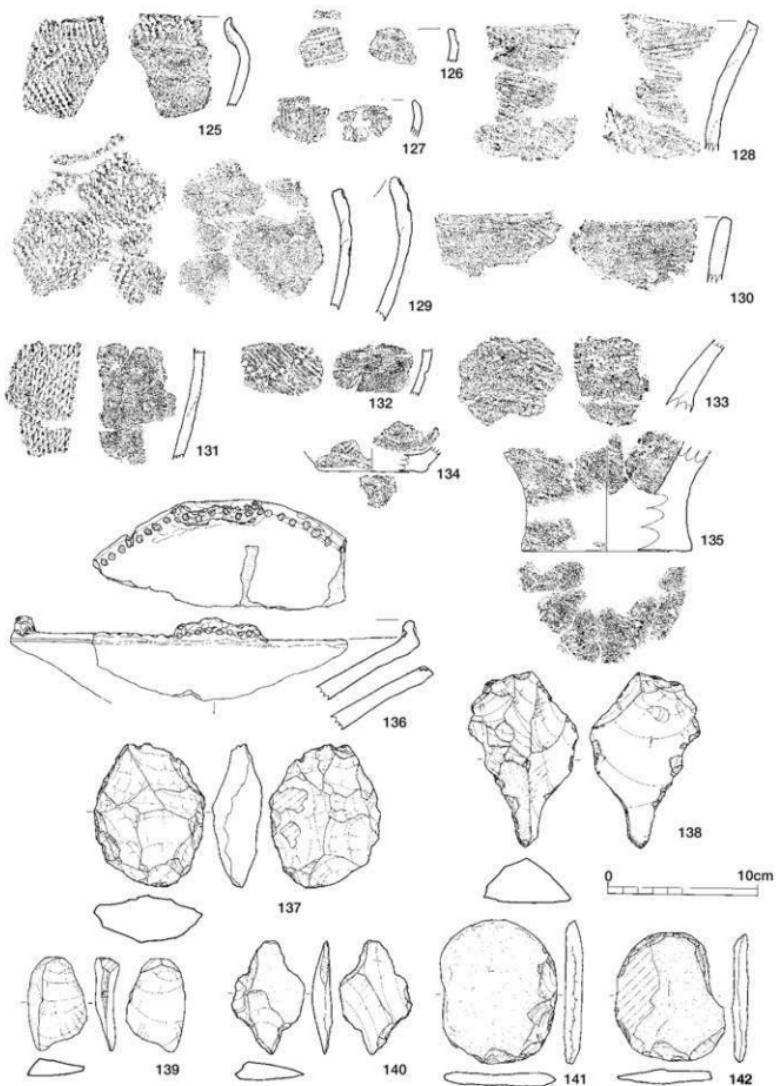
一方、住居跡北東部分には、円形の突出部が認められた。この突出部の床面は、住居本体の床面レベルより約0.1mほど高い。

【床面・柱穴】

住居床面は、概して平坦で、K-Ah層を浅く掘り下

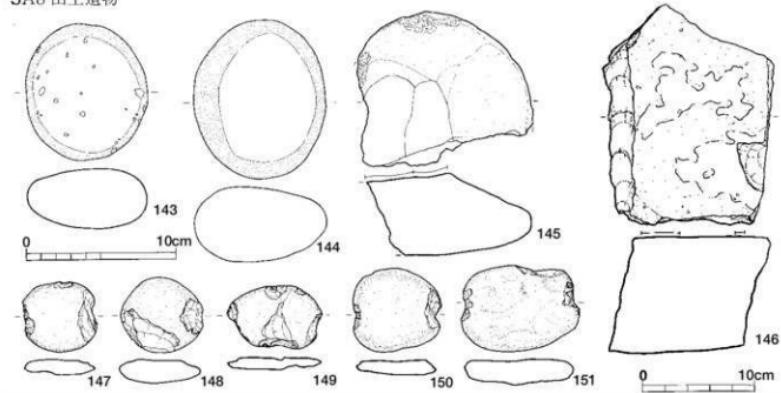


第49図 SA8 実測図 (S = 1/60)

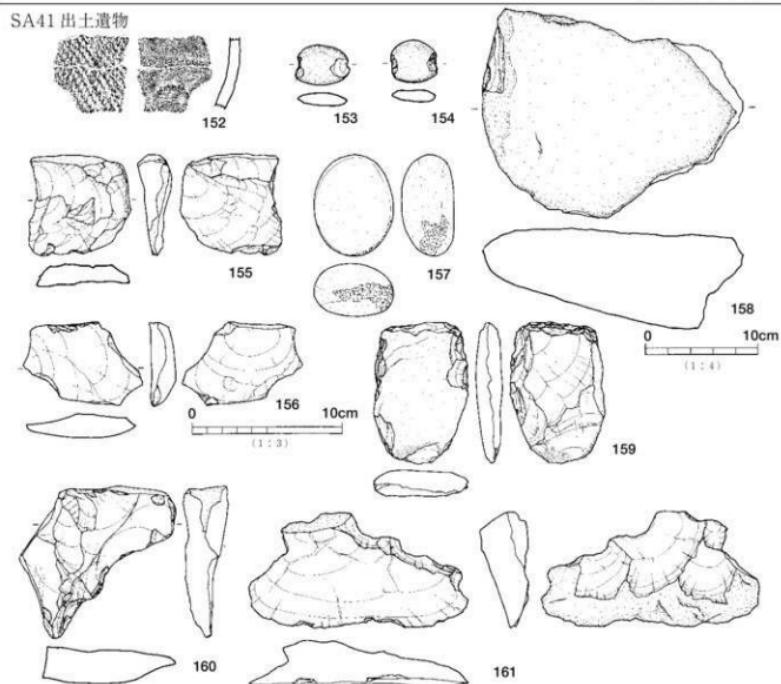


第50図 S A 8 出土遺物実測図 (S = 1 / 3)

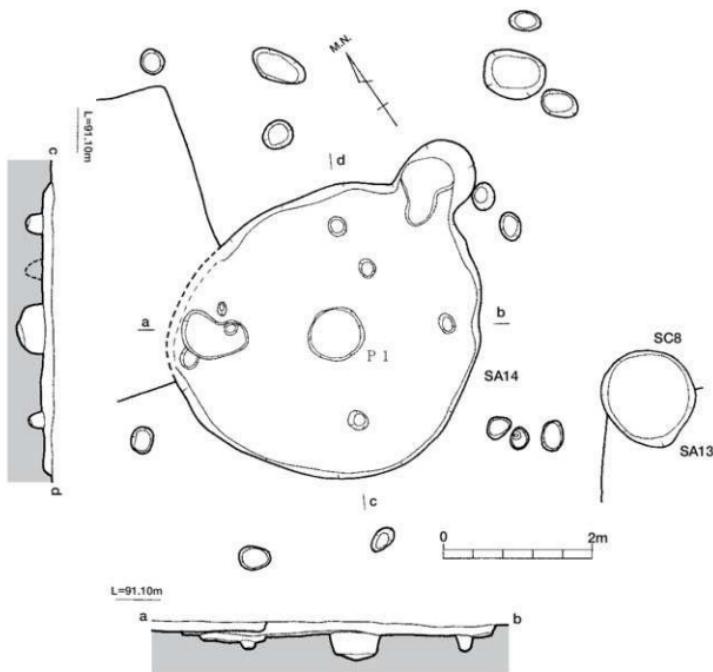
SA8 出土遺物



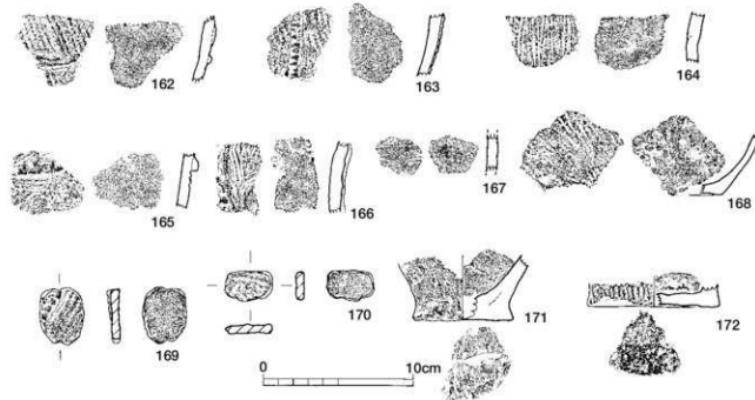
SA41 出土遺物



第51図 SA8・SC41出土遺物実測図 (S=1/3・1/4)



第52図 SA14実測図 ($S = 1/60$)



第53図 SA14出土遺物実測図 ($S = 1/3$)

げて直床とする。床面西側隅付近には、浅い掘り込みがあり、堅穴住居跡に付属する土坑と考えられる。

柱穴は住居平面中央に1箇所、その周辺に小穴が放射状に位置している。

このうち、床面中央にある柱穴（P 1）は、直径0.65m大で床面からの深さ0.35mを測る。

P 1を中心いて、4方向に直径0.2mで深さ0.2mの小柱穴が配される。住居床面中心の柱穴と壁際の小柱穴との距離は約1.2m前後とほぼ等距離である。

また、住居平面プランの周縁には小穴が巡っている。この小穴の直径は、平均約0.2~0.3mで検出面からの深さは約0.2m前後である。

この小穴が2m前後の間隔で、堅穴掘り方ラインには沿うように巡回している。

【出土遺物】

住居跡覆土中からV~VI類土器片および土器片錐、土器片加工円盤が出土した。床面直上の遺物は細片にとどまる。石器類も少量得られた。

【造構の時期】

本住居跡は平面規模はSA 8より一回り小さいが、柱穴や土坑のあり方は類似する。床面出土遺物に乏しいが、V~VI類土器の時期（船元II~春日式北手牧段階）と考えておきたい。

S A21（第54~55図）

【立地】

D14グリットに位置する堅穴住居跡である。この東側は、SA 15とSB 10に切られる。

【規模】

造構の平面形は、不整な円形プランである。直径4.2m、床面までの深さは検出面から0.2mを測る。平面積は約14m²を測り、SA 14と同規模である。

壁面の立ち上がりはやや弱く、断面形は皿状ないしすり鉢状に近い。

【床面・柱穴】

住居床面は概して平坦で、K-A h層を浅く掘り下げて直床とする。

柱穴は、住居平面中央に1箇所、その周辺に小穴が放射状に位置している。

床面中央にある柱穴（P 1）は直径0.35m大で床面

からの深さ0.5mを測る。P 1中心として、放射状に直径0.25mで深さ0.25mの小柱穴が配されている。

P 1と壁際の小柱穴群との距離は約1.3m前後を測り、ほぼ等距離な位置関係となる。

【出土遺物】

堅穴住居跡の覆土中および床面付近でV~VI類土器片部片や調片類が出土した。

【造構の時期など】

本住居跡は、SA 14と同規模であるが、住居内土坑や平面プランに沿って巡る小穴列はみられないのが特徴的である。

本住居跡出土のV~VI類土器は、やや時期幅があるが、概ね船元II式から春日式北手牧段階となる。

S A22・82・83（第56~59図）

【立地】

D13~14グリットに位置する堅穴住居跡群で、3軒の切りあいと考えられる。住居跡群の南側からSA 22、SA 82、SA 83と呼称する。

この住居跡群の西側は、調査区外となり、北側はSB 10に切られるので、全体の概要は把握しにくい。

なお、住居跡群の北東側には绳文時代中期の堅穴住居跡であるSA 21が近接している。

【各住居跡の前後関係】

造構面検出時は、直径8m規模の大型住居跡として捉えていた。覆土は黒褐色やオリーブ褐色粘質土が主体で明快な識別が困難であったためである。

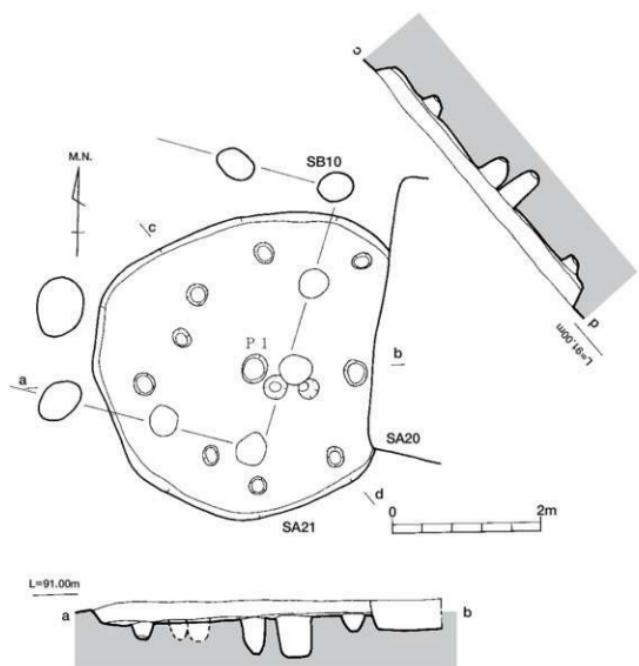
しかし、断面土層の観察と、住居床面レベルの違い（SA 22はML 1相当層上面、SA 82はMB 0相当層、SA 83はKA h層が床面）、及び遺物出土状況を再度検討した結果、3軒の切りあいと判断した。

SA 22から北側の方向へ。平面規模を縮小させながら、かつ掘り込み面を浅くしつつ切り合う前後関係となる。

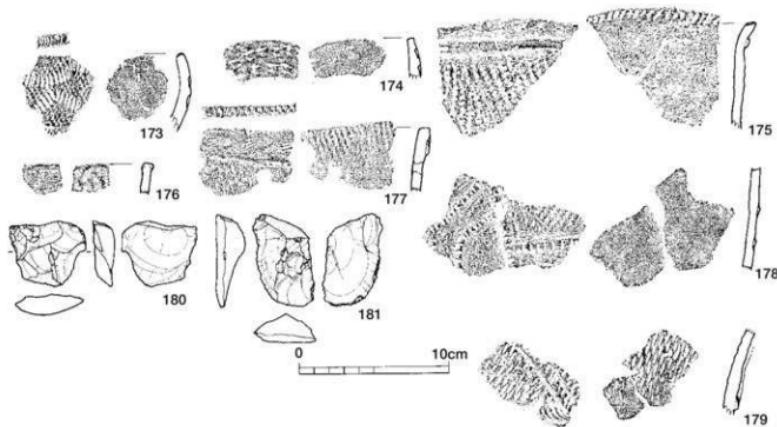
【SA 22】

SA 22は、平面円形で直径は約6m前後と考えられる。床面までの深さは検出面から0.4mと深い。平面積は、約28m²を測り住居跡群中最大である。

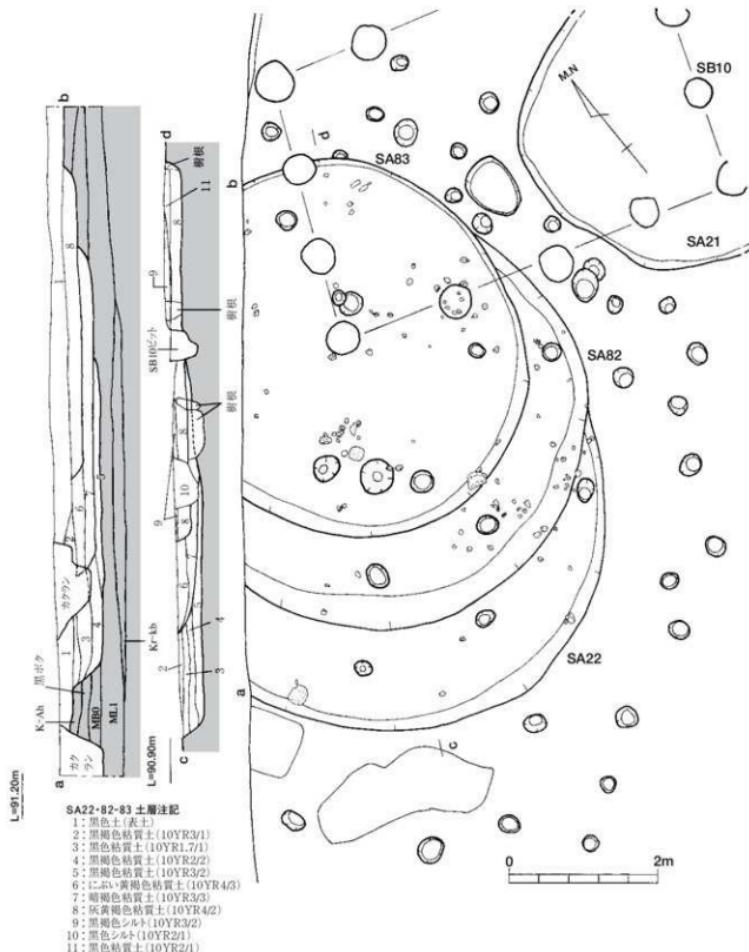
壁面の立ち上がりは明確で、断面形はすり鉢ないし逆台形に近い。



第54図 SA 21実測図 ($S = 1/60$)

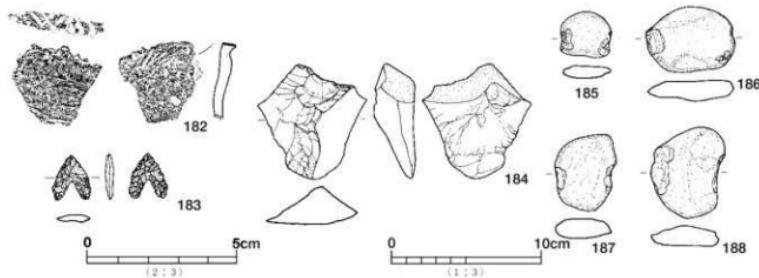


第55図 SA 21出土遺物実測図 ($S = 1/3$)

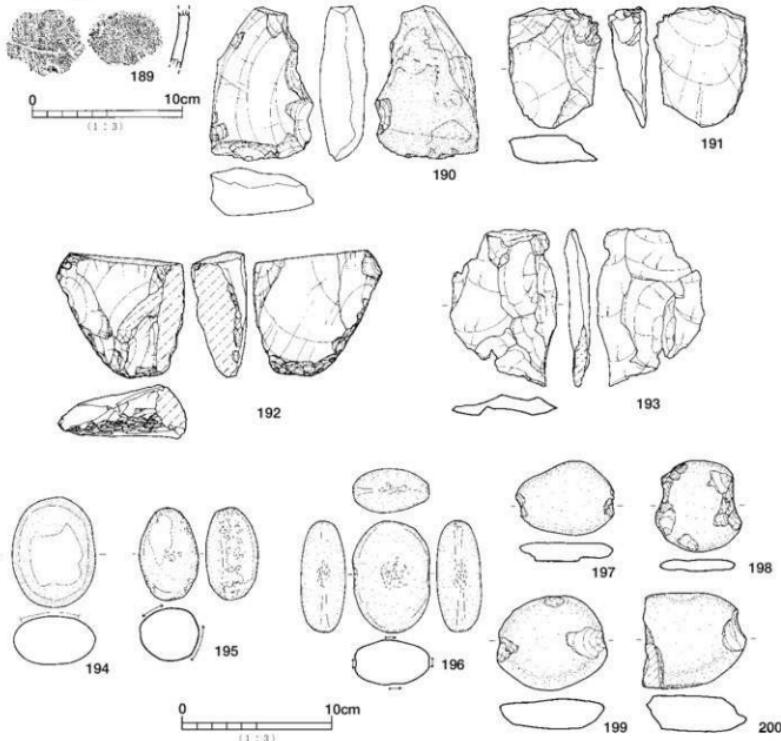


第56図 S A 22・82・83実測図 (S = 1 /60)

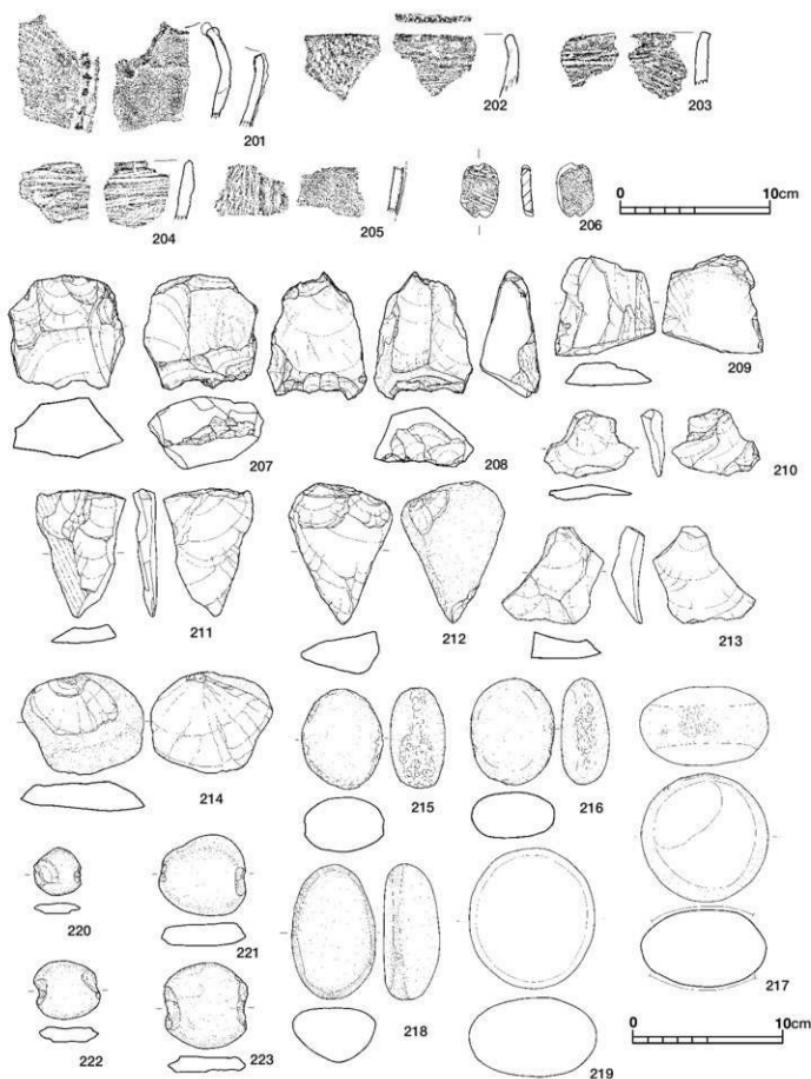
SA22 出土遺物



SA82 出土遺物

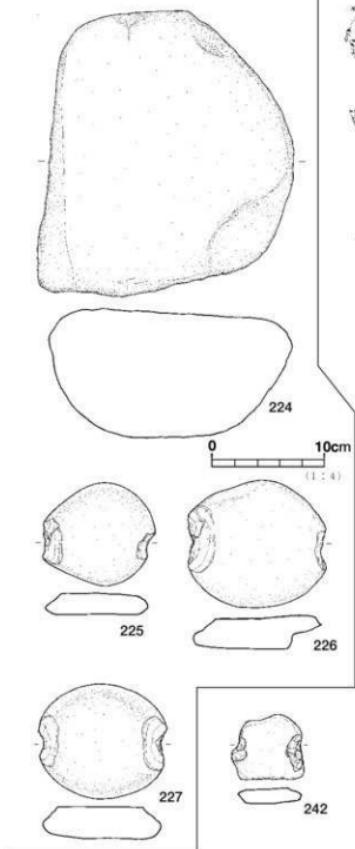


第57図 SA22・82出土遺物実測図 (S = 2/3・1/3)

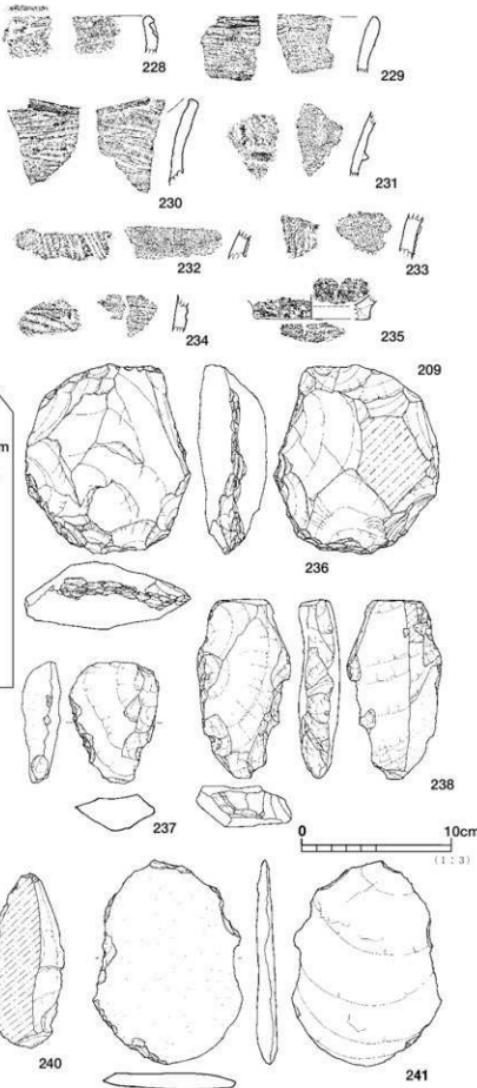


第58図 S A 83出土遺物実測図 (S = 1 / 3)

SA83 出土遺物



SA22-82-83 遺構検出面出土遺物



第59図 SA83・遺構検出面出土遺物実測図 (S = 1/3・1/4)

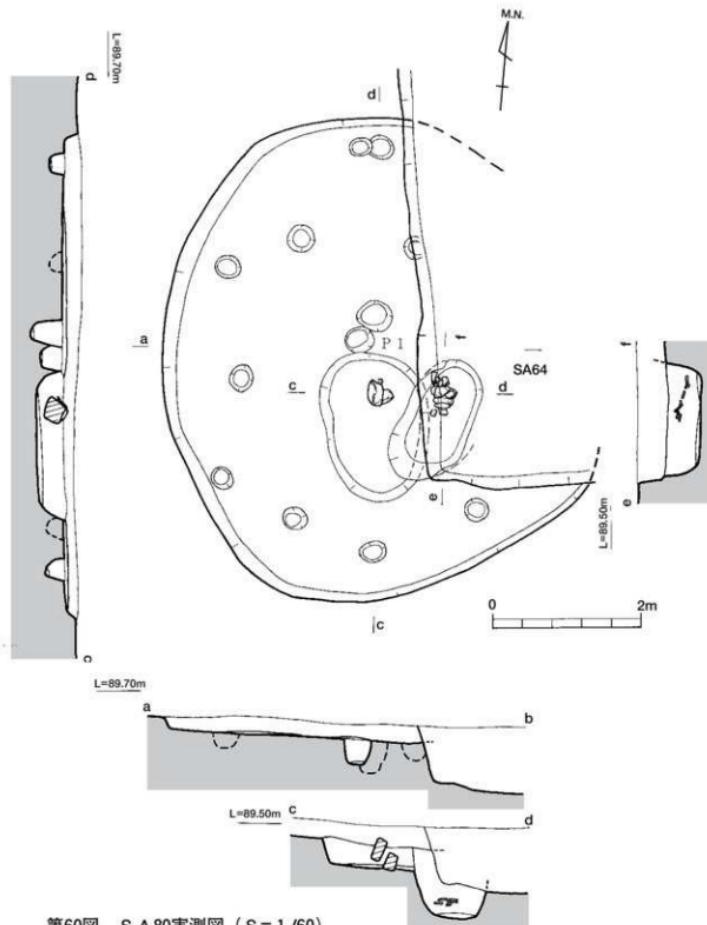
柱穴は、住居底面に3箇所の小穴が認められる。平面円形で直径0.2m、深さ0.3mを測る。

遺物は、床面と覆土中よりV・VI類土器胴部片や石鏃、石錐が少量出土した。また、住居壁面付近には人頭大の尾鈴山酸性岩の円礫が1個検出されたが、明確

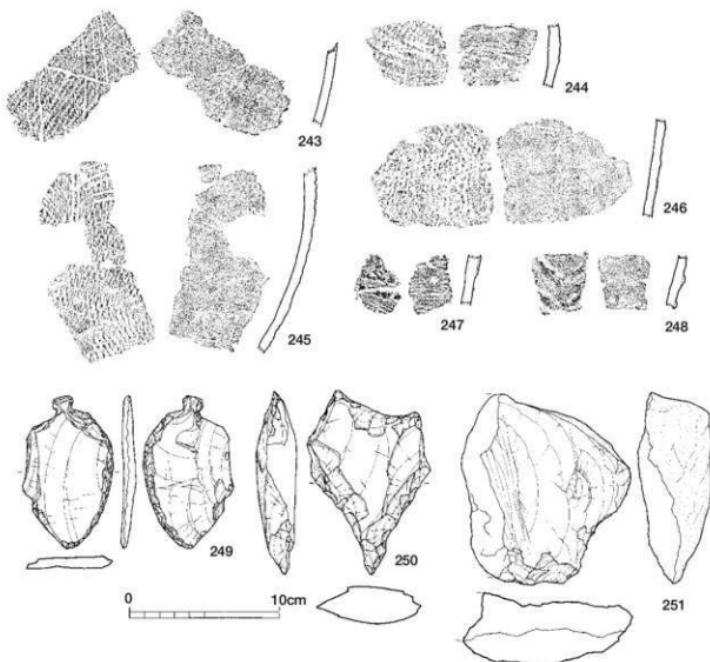
な使用痕はみられない。

【S A82】

S A82は、平面円形で直径は約5.8m前後と考えられる。床面までの深さは、検出面から0.3mとS A22より若干浅くなっている。平面積は約27m²を測り、S



第60図 S A 80実測図 (S = 1/60)



第61図 S A 80出土遺物実測図 (S=1/3)

A22と同規模である。

壁面の立ち上がりは緩やかで、断面形はすり鉢ないし皿状に近い。また、住居内の壁面に沿うように3箇所の小穴が検出された。ともに平面円形で直径0.2m、深さ0.3mとなる。

遺物は、住居東側床面の壁際を中心に、V・VI類土器、打製石斧、磨石や敲石等が出土した。

[S A83]

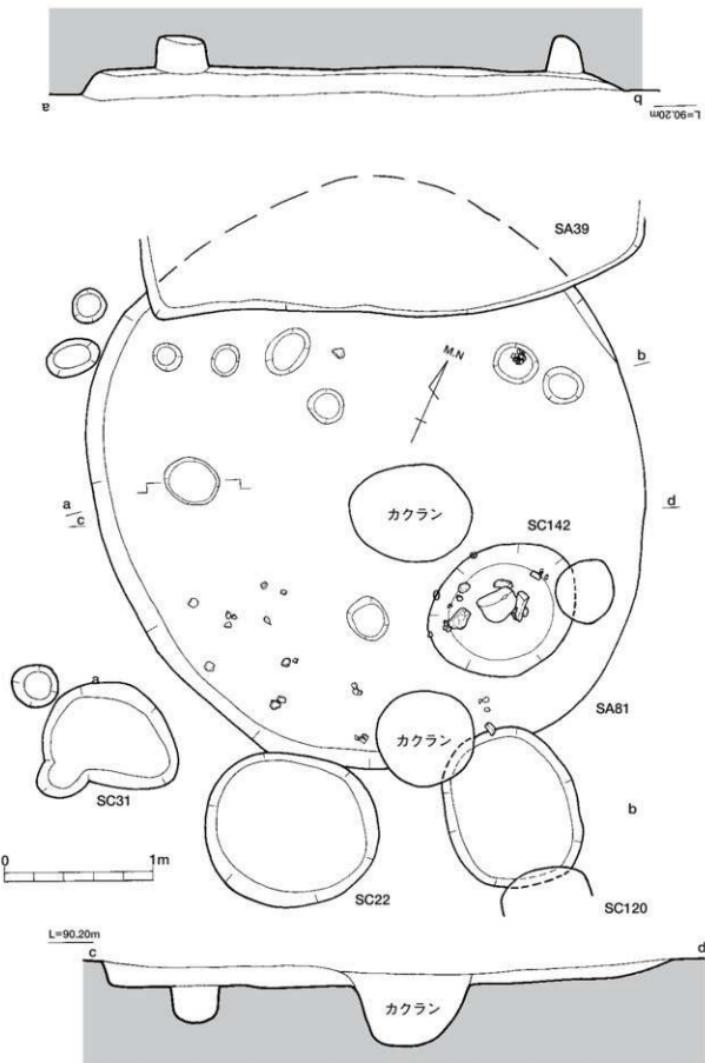
S A83は、平面円形で直径は約4.9m前後と考えられる。床面までの深さは検出面から0.2mで、S A82よりさらに浅くなる。

平面積は約19m²とやや狭小となる。

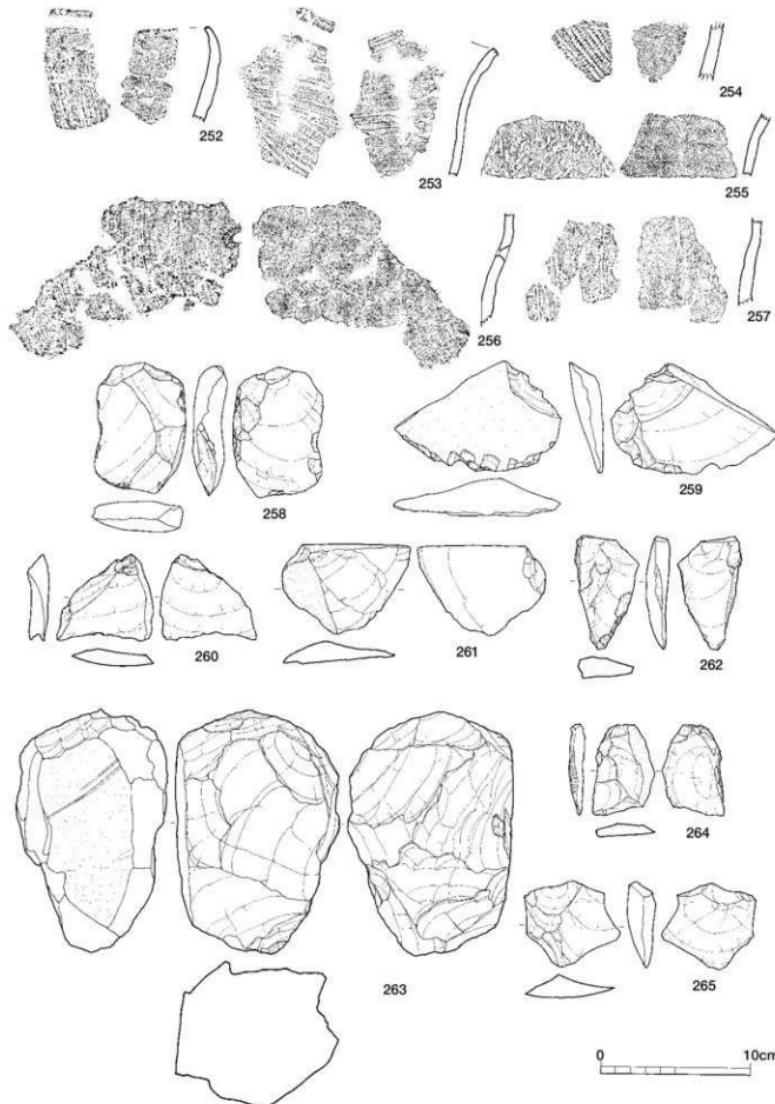
壁面の立ち上がりは緩やかで、断面形はすり鉢ないし皿状に近い。

住居内の中央と壁面付近に計7箇所の小穴が検出された。ともに平面円形で直径0.2~0.4m、深さ0.3~0.5mを測る。小穴は柱穴と考えられるが配置や掘り方の深さに規則性は認められない。

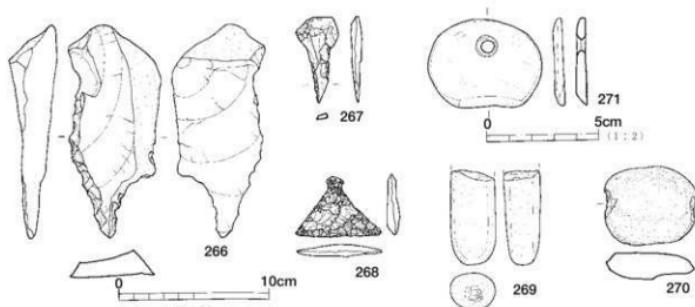
遺物は、床面全体に散在して出土した。V・VI類土器、石核や剥片等が多く出土した。握り拳台の砂岩や尾鈴山酸性岩の円礫も少量出土している。



第62図 SA81実測図 ($S = 1/40$)



第63図 S A 81出土遺物実測図〔1〕(S=1/3)



第64図 S A81出土遺物実測図〔2〕(S=1/2·1/3)

【住居群について】

堅穴住居跡3軒の所属時期はそれぞれ、S A22（船元Ⅱ・Ⅲ式）、S A82（船元Ⅲ式）、S A83（船元Ⅲ式～春日式北手牧段階）と推定される。

一方、S A82・83からは多量の洞片と石核が出土しており、住居内で石器製作がなされた可能性を想定することができる。

S A70（第353図）

B14グリットに位置する。遺構平面の大部分が調査区外となるため詳細は不明である。

調査部分から復元すると直径3.5m、深さ0.15mの円形プランの遺構と推定される。ここでは、土坑の可能性も否定できないが、堅穴住居跡と報告する。

床面はML 1相当層まで掘り込まれ、平坦である。覆土は、暗褐色粘質土で硬質であった。遺構に伴う柱穴は認められず、遺物は洞片数点にとどまる。

覆土の土質や土色は、古墳時代の遺構および縄文時代後・晩期の遺構や包含層とは異なっており、縄文時代中期の遺構のものと類似している。

さらに、住居平面形を円形プラン、直径を3.5mと推定した場合、S A80・81と近似した形態となる。

従って、遺構の時期を決める遺物に欠けるが、覆土や復元プラン等の検討から、本遺構は縄文時代中期前葉から中葉、すなわち船元Ⅱ・Ⅲ式併行期の堅穴住居跡の可能性がある。

S A80（第60～61図）

【立地】

E20グリットに位置する堅穴住居跡である。住居跡の北東部は、古墳時代の堅穴住居跡S A64、住居跡中央部を縄文時代後期の土坑S C126に切られる。

【規模】

遺構の平面形は不整な円形プランである。直径3.2mを測り、床面までの深さは検出面から0.1mで浅い。平面積は、約8 m²で最小の住居面積となる。

断面形は皿状ないしすり鉢状に近く、床面は住居中心に向かってやや落ち込む形となる。また、壁面の立ち上がりはやや弱い。

【床面・柱穴】

床面はK-Ah面まで掘削し、直床としている。

柱穴は、住居平面中央に1箇所、住居壁周縁に沿うように多数検出された。

床面中央にある柱穴（P 1）は直径0.2mで床面からの深さ0.25mを測る。P 1を中心として、直径0.1～0.15mで深さ0.1mの浅い小柱穴が放射状に配置される。

一方、床面中心より南側部分で、土坑1基が検出された。土坑は平面長方形プランで、長軸1m、短軸0.7mを測り、深さは0.2mである。検出状況からS A80に伴う住居内土坑と考えられる。この住居内土坑を切るのがS C126である。

この土坑内には尾鈴山酸性岩の円礫が2点出土し、覆土中には、焼土粒や炭化粒が僅かに含まれていた。

【出土遺物】

覆土中を中心としてV・VI類土器深鉢片が、床面付

近で石匙や石錐などの石器類が出土した。

【遺構の時期等】

S A80は、本遺跡で検出された9軒を数える縄文時代住居跡の中では、最小の規模である。住居面積は狭小であるが、住居床面の柱穴配置や住居内土坑の存在は、他の堅穴住居跡と同様である。

S A80の時期は、出土した縄文土器から概ね船元II・III式の時期と想定される。少なくともS C126に先行する堅穴住居と考えられるので、縄文時代後期以前となる。

S A81（第62～63図）

【立地】

F17グリットに位置する堅穴住居跡である。堅穴住居跡の西側をS A15、東側をS B31と縄文時代中期の土坑S C22・120に切られる。

【規模】

遺構の平面形は均整な円形プランである。直径3.65m、床面までの深さは検出面から0.15mを測る。平面積は約10m²とS A80に近い面積規模を有する。

断面形はすり鉢状または皿状に近く、住居南側に比べ北側壁面の立ち上がりは不明瞭である。

【床面】

住居床面の中心部は概して平坦で、壁際付近は緩やかな上り勾配となる。K-Ah層を浅く掘り下げて直床とする。住居床面中央付近では、S C142を検出されたが、S A81との先後関係は、調査時において明らかにできていない。

仮にS A81に伴う土坑ならば、S A8やS A80例のような住居内土坑と位置づけることも可能である。

柱穴は住居平面で8箇所検出された。平均して直径0.2m、床面からの深さ0.2～0.3mを測る。しかし、柱穴の認定や柱穴配置の推定は困難である。

【出土遺物】

堅穴住居跡の床面付近でV類土器を中心とする縄文土器深鉢片や石器類が多く出土した。扁平碟に穿孔を施した石製垂飾も1点検出された。

【遺構の時期等】

S A81は、V・VI類土器を中心に出土していることから、概ね船元III式～春日式北手牧段階に併行する時

期に所属すると考えられる。

4 平地式建物跡（円形や楕円形に巡る柱穴列）

a) ピット（柱穴）列の認定と概要

ピット（小柱穴）は、A調査区の北半部を中心に東西で集中する部分がみられた。

このピット群中に、ピットがある一定の間隔で円形や楕円形に巡るピット列が認められた。

ピットの断面形は素掘りで、検出面から鉛直方向に掘削されており、ピット列中心に向けて斜めに掘り込まれてはいない。

また、ピットの覆土は暗褐色や暗オリーブ褐色土でやや粘性があり硬質である。

ピット列の時期は、ピット内遺物は僅少なため、詳細な時期比定は困難であるが、縄文時代中期の堅穴住居跡や土坑覆土と近似しているため、並行ないし前後すると考えられる。

こうした円形や楕円形に巡るピット列を積極的に評価すれば、平地のままに構築された建物跡と考えることも可能である。ここではピット列を平地式建物跡に伴う柱穴列と読み替えた。

しかし、円形や楕円形に巡る柱穴列（平地式建物跡）は、堅穴住居の床面や住居掘り込み外縁に存在する小柱穴のあり方や、住居床面がK-Ah面を床面とする場合がある等から、本来は堅穴部の掘り込みが浅い、あるいは壁体が消失・削平された堅穴住居に伴う可能性も否定できない。

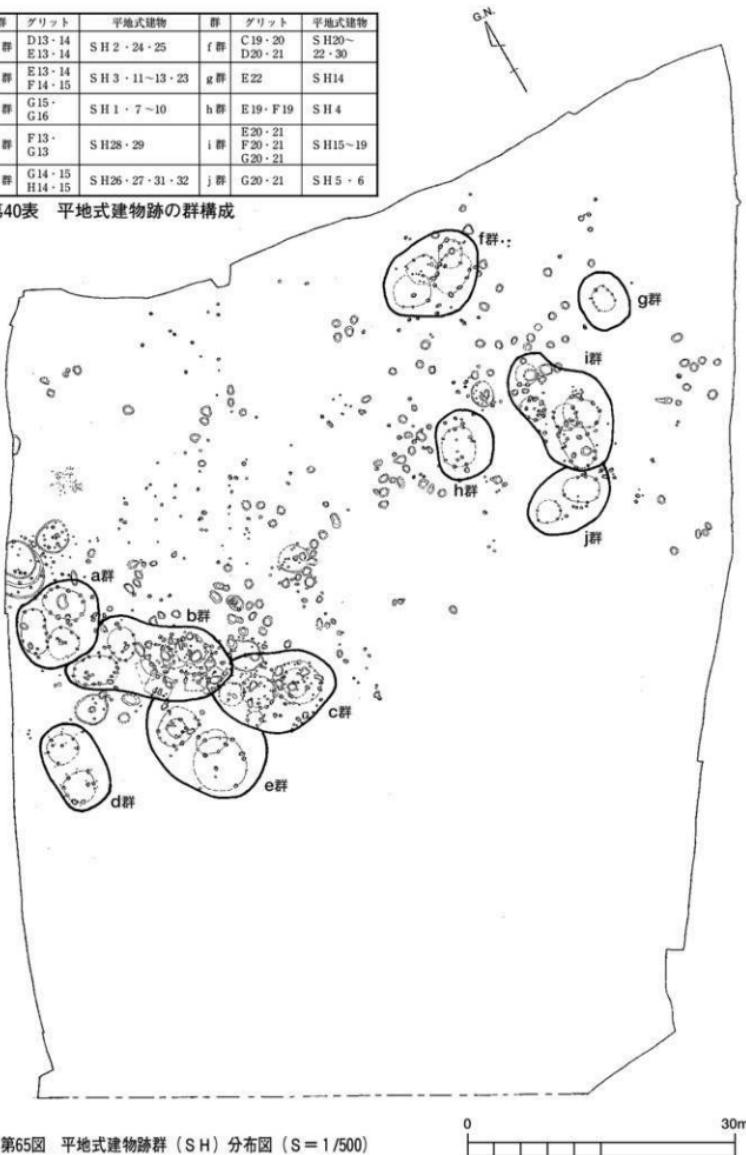
また、検出面は第IV層（K-Ah層）上面のため、既に当時の生活面を失っている状況であった。そのため、炉跡や各施設等の有無は不明である。

上記の状況から、柱穴列が掘り込みなしに平地のままで構築されたかどうか、すなわち「平地式建物跡」と見極めるのは困難であった。

本報告にあたり、未だ検討の余地があるにせよ、柱穴が一定の間隔で円形や楕円形に巡る以外に、有機的な関連性や結びつきは認められなかった場合のみ、何らかの建物跡という意味づけにおいて「平地式建物跡」として認定した。

群	グリット	平地式建物	群	グリット	平地式建物
a群	D13・14 E13・14	S H 2・24・25	f群	C19・20 D20・21	S H 20～ 22・30
b群	E13・14 F14・15	S H 3・11～13・23	g群	E22	S H 14
c群	G15・ G16	S H 1・7～10	h群	E19・F19	S H 4
d群	F13・ G13	S H 28・29	i群	E20・21 F20・21 G20・21	S H 15～19
e群	G14・15 H14・15	S H 26・27・31・32	j群	G20・21	S H 5・6

第40表 平地式建物跡の群構成



第65図 平地式建物跡群 (S H) 分布図 (S = 1/500)

b) 分布と構造

平地式建物跡は32軒を数えた。その構成は、単独または3軒程度でまとまり、C～G18グリットラインを境に大きく東西に分布する。また、堅穴住居跡や土坑群の集中域内に存在する傾向が強い。

平面形は円形及び楕円形で、楕円形の場合は比較的大きい。面積は3～39と多岐に及ぶが、一般的なのは9～12m²である。小柱穴は、10基以上で構成されていたと考えられる。

また、平面中央に柱穴（主柱穴か？）や土坑を有する場合が見られる。

分布状況から、a～j群の10群にまとめられる。

S H 1 (第66図)

【立 地】

G15グリット位置し、S A 9・10に切られる。

【規 模】

平面楕円形で、長軸3.2m、短軸2.5mを測る。面積は約6m²である。炉は検出されていない。

【柱 穴】

平面中心には、直径0.4m、深さ0.3mの円形柱穴（P1）が位置し、P1を中心とする楕円形の軌道線上に、小柱穴が0.5m間隔で規則的に配置されている。現存する柱穴数は9基である。

各柱穴とも平面円形や楕円形で、直径は0.2m、深さ0.1～0.2mを測る。断面形は素掘りである。

また、柱穴内部でSC25が検出されたが、SH1に伴うかはどうか不明である。

【遺 物】

遺物は、P1覆土中よりY類土器片が得られた。時期推定可能な遺物は1点のみであるが、SH1は、船元II式以降の時期が想定される。

S H 2 (第67図)

【立 地】

E13グリットに位置し、S B 6に切られる。SH2の北側にS H25が、南側にSH3・24がある。

【規 模】

平面形は円形で、直径4mを測る。面積は約13m²となる。なお、炉等は検出されなかった。

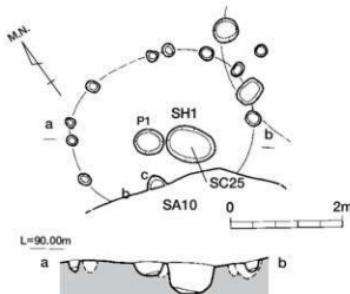
【柱 穴】

遺構平面中央には直径0.4m、深さ0.3mの円形柱穴（P1）があり、P1を中心とする円弧上に、小柱穴が1m間隔でほぼ規則的に配置されている。現存する柱穴は6基である。

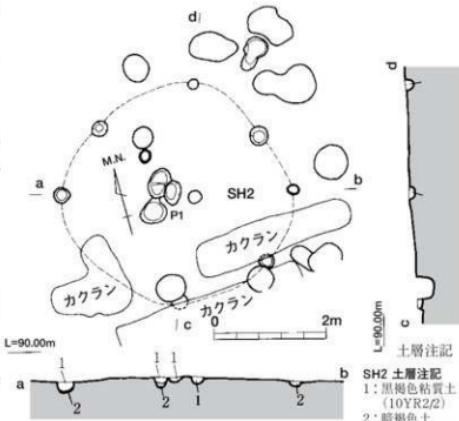
各柱穴とも平面円形で、直径は0.1～0.2m、深さ0.2mを測る。ピットの断面形は素掘りである。

【遺 物】

小柱穴より土器片加工円盤が1点出土したのみでSH2の時期は推定困難である。覆土の状況から縄文中期前後となるであろう。



第66図 SH1 実測図 (S=1/80)



第67図 SH2 実測図 (S=1/80)

S H 3 (第68図)

【立地】

E 14グリットに位置し、S A 12の北側にある。また、柱穴の一部がS C 45を切る。

【規模】

平面形は、やや椭円形に近い円形で、直径3.8m～4mを測る。平面積は約12m²となる。

平面中央付近には、長軸0.9m、短軸0.3mで深さ0.2mを測る長椭円形の小土坑が1基検出された。

ただ、炉の痕跡は認められず、機能は不明である。

【柱穴】

小柱穴は、1～1.3m間隔ではほぼ規則的に円弧を描くラインに沿って配置されている。北西部の柱穴列は、攪乱等で失われ6基が現存している。

各小柱穴の平面形は、円形や椭円形で、直径は0.2～0.3m、深さ0.2mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

S H 3に伴う遺物は皆無に近く、時期推定は困難である。現況では、遺構配置状況や柱穴覆土の類似性から縄文時代中期前後と考えられる。

S H 4 (第69図)

【立地】

E 19・F 19グリットに位置し、S B 32に切られる。

【規模】

平面形は円形で、直径5.2mを測る。平面積は約21m²である。なお、炉跡などは検出されなかった。

【柱穴】

小柱穴は、1～1.5m間隔で円弧を描くラインに沿って規則的に配置されている。各柱穴は、平面円形や椭円形で、直径は0.2～0.3m、深さ0.3mを測る。断面形は素掘りで、現存する柱穴数は8基である。

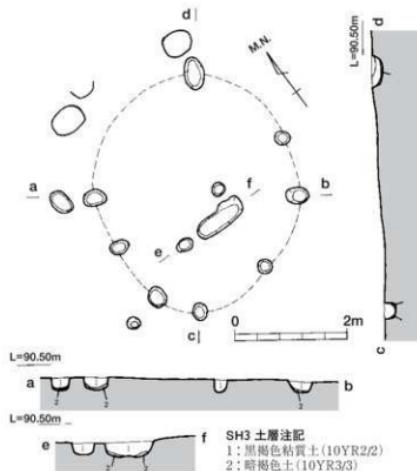
【遺物】

S H 4に伴う遺物は縄文土器小破片のみで、時期推定は困難である。現況では、遺構配置状況や柱穴覆土の類似性から縄文時代中期前後と考えられる。

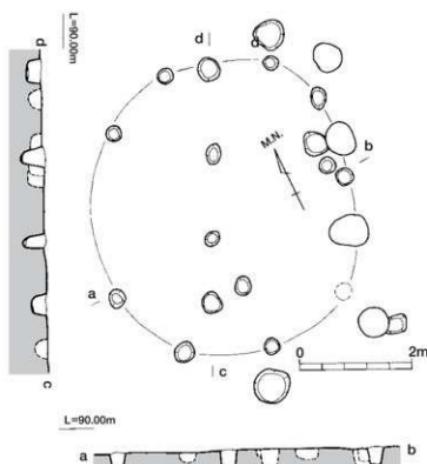
S H 5 (第70図)

【立地】

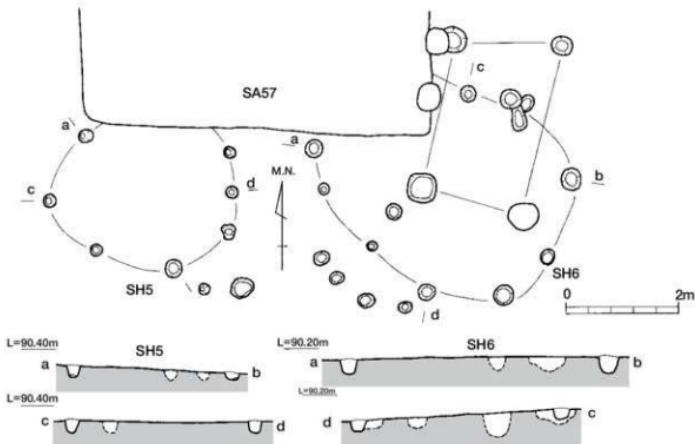
G 20グリットに位置し、S A 57に切られる。



第68図 S H 3 実測図 (S = 1/80)



第69図 S H 4 実測図 (S = 1/80)



第70図 SH5・6実測図 ($S = 1/80$)

【規 模】

平面形は円形で直径3m、面積は約7m²を測る。柱穴内部には、炉や土坑等は検出されていない。

【柱 穴】

小柱穴は、円弧上に沿って1.2m間隔で規則的に配置されている。各柱穴は平面円形で、直径は0.2m、深さ0.2mを測る。現存する柱穴数は6基を数え、その断面形は素掘りである。

【遺 物】

SH5に伴う遺物は石器剥片数点のみで、時期推定は困難である。現況では、遺構配置状況や柱穴覆土の類似性から縄文時代中期前後と考えられる。

SH6 (第70図)

【立 地】

G21グリットに位置し、SA57に切られる。

【規 模】

平面形は楕円形で、長軸4.5m、短軸3.5mである。面積は約16m²を測る。炉跡等は検出されなかった。

【柱 穴】

平面楕円形の軌道線上に、小柱穴が1.2m間隔で規則的に配置される。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2~0.3m、深さ0.3mを測る。現存する柱穴数は9基を数え、その断面形は素掘りである。

なお、柱穴列の南側では、SH6とは別個の柱穴列が認められた。SH6に伴うかどうか不明である。

【遺 物】

SH6に伴う遺物は縄文土器小破片のみで、時期推定は困難である。現況では、遺構配置状況や柱穴覆土の類似性から縄文時代中期前後と考えられる。

SH7 (第71図)

【立 地】

G15に位置し、SH8の南側にある。

【規 模】

平面形は円形で、直径2.5mを測る。面積は約5m²でSH24と同様、最小規模である。炉や土坑等は検出されなかつた。

【柱 穴】

小柱穴は、円弧上に0.5~1m間隔で規則的に配置されている。南西部分は削平で失われている。現存する基数は7基を数える。

各柱穴の平面形は、円形や楕円形で、直径は0.2m、深さ0.3~0.4mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

SH7に伴う遺物は縄文土器小破片のみで、時期推定は困難である。現況では、遺構配置状況や柱穴覆土の類似性から縄文時代中期前後と考えられる。

S H 8 (第71図)

【立 地】

G15グリットに位置し、S H 1はその西側にある。また、S H 8の東側にあるS H 10とは切りあい関係を示し、S H 10が後出すると考えられる。

【規 模】

平面形は円形で、直径4mを測る。面積は約13m²である。柱穴列内部で、S C25が検出されたが、S H 8に伴うかは不明である。

【柱 穴】

小柱穴は、円弧上に沿って1.2m間隔で規則的に配置されている。9基が現存している。

柱穴平面形は、円形や楕円形で、直径は0.2~0.3m、深さ0.3mを測る。断面形は素掘りである。

なお、S H 8の南側に半月弧を描く柱穴列が認められた。長軸0.5~0.6mを測る平面楕円形の柱穴列で深さは0.3mである。この柱穴列は、位置関係からS H 8以外に関連する遺構である可能性がある。

【遺 物】

柱穴覆土中よりV類土器片が1点出土した。S H 8は、遺物の時期から船元Ⅱ式前後と推定される。

S H 9 (第71図)

【立 地】

G16グリットに位置し、西側にS H 8隣接する。また、S H 9は、S H 10内で検出された形となる。

【規 模】

平面形は円形で直径3.5mを測る。面積は約10m²である。炉や土坑などは検出されていない。

【柱 穴】

遺構平面中心部分に、直径0.3m、深さ0.5mの円形柱穴（P 1）が位置し、P 1を中心とする円弧上に、小柱穴が1~1.5m間隔でほぼ規則的に配置されている。現存する柱穴は9基である。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.1~0.3m、深さ0.3mを測る。断面形は素掘りである。

なお、柱穴列内部ではS C37が検出された。この土坑は、P 1を切っている。

【遺 物】

S H 9に伴う遺物は縄文土器小破片のみで、時期推

定は困難である。S C37との先後関係や柱穴覆土の類似性から縄文時代中期前後と考えられる。

S H 10 (第71図)

【立 地】

G16グリットに位置し、西側にS H 8が所在する。また、S H 10内にはS H 9が包含される格好となる。

【規 模】

平面形は円形で直径6mを測る。面積は約29m²である。S H 10内外では土坑数基が検出された。

S H 10柱穴列内部ではS C37、S H 10の外縁にはS C10・21・38が検出された。

S C 10については、ピット列の平面配置の関係からS H 10より後出する土坑と考えられる。なお、S C 21・38はS H 10に伴う遺構かは不明である。

【柱 穴】

S H 10中心部分に、直径0.4m、深さ0.5mの円形柱穴（P 2）が位置し、P 2を中心とする円弧上に、小柱穴が1.5~2m間隔でほぼ規則的に配置されている。現存する柱穴数は、15基を数える。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2~0.5m、深さ0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中よりV類土器破片が出土した。この遺物の時期からS H 10は、船元Ⅱ式前後と推定される。

S H 11 (第72・73図)

【立 地】

F14グリットに位置する。柱穴列の一部をS C24・45・46、S B84に切られる。

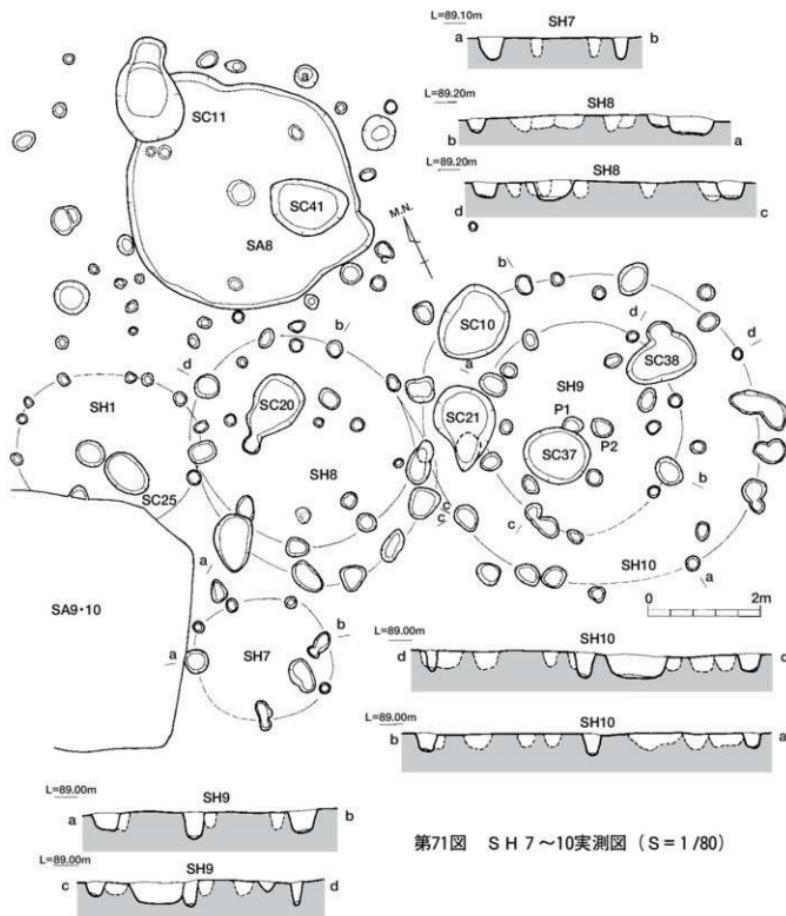
【規 模】

平面形は円形で、直径4mを測る。面積は約13m²である。柱穴列内部ではS C47が検出された。この土坑はS H 11に伴うものかどうか不明である。

【柱 穴】

S H 11中心部分に、直径0.3m、深さ0.2mの円形柱穴（P 1）が位置し、このP 1を中心とする円弧上に、小柱穴が1m間隔でほぼ規則的に配置されている。現存する柱穴数は、8基を数えた。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2~0.5m、深さ0.2mを測る。断面形は素掘りである。



第71図 S H 7～10実測図 (S = 1/80)

【遺物】

柱穴覆土中よりV類土器が出土した。この遺物の時期からSH10は、船元Ⅲ式前後と推定される。

S H 12 (第72・73図)

【立地】

F15グリットに位置する。柱穴列の一部をSC47に切られる。また、東側にSH13、西側にSH11が隣接している。

【規模】

平面形は円形で、直径3.5mを測る。面積は約10m²で小型である。炉跡などは検出されていない。

【柱穴】

現存する小柱穴は9基を数え、円弧に沿うように1～2m間隔ではば規則的に配置されている。

各柱穴は、平面円形や梢円形で、直径は0.2～0.3m、深さ0.15mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

柱穴覆土中よりV類土器数点と、石器として石匙1点が出土した。これら遺物の時期からSH12は、船元II・III式前後と推定される。

SH13（第72・73図）

【立地】

F15グリットに位置する。柱穴列の一部をSC45に切られる。また、西側にSH12、南側にはSB63が隣接している。

【規模】

平面形は円形で直径4mを測る。面積は約13m²でSH11と同規模である。また、柱穴列内部ではSC24が検出された。しかし、この土坑はSH13に伴うものかどうか不明である。

【柱穴】

現存する柱穴は12基を数え、円弧上に1m間隔ではほぼ規則的に配置されている。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2~0.3m、深さ0.2mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

柱穴覆土中からは縄文土器小破片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。ただ、遺構配置状況や柱穴覆土の比較からSH11・12と近い時期が想定される。

SH14（第75図）

【立地】

E20グリットに位置する。柱穴列一部をSB41に切られる。北側にはSA75が隣接している。

【規模】

平面形は楕円形で長軸3.2m、短軸2.6mを測る。面積は約8m²である。炉跡等は検出されていない。

【柱穴】

平面楕円形の軌道線上に、小柱穴が0.5m間隔でやや密に配置される。現存する柱穴は9基を数える。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2m、深さ0.2mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

柱穴覆土中からは縄文土器小破片数点が出土したの

みで遺構の時期は推定困難である柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

SH15（第74図）

【立地】

E20・21グリットに位置する。柱穴列の大部分を古墳時代住居SA65によって失われている。SC85にも切られている。

【規模】

平面形は円形で直径3mを測る。面積は約7m²前后と考えられる。炉跡などは検出されていない。

【柱穴】

現存する柱穴は4基を数え、0.5~1m間隔ではほぼ規則的に配置される。各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.4~0.5m、深さ0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

柱穴覆土中からは縄文土器小破片や剥片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

SH16（第74図）

【立地】

F20グリットに位置し、SH15・18の中間にある。

【規模】

平面形は、楕円形で長軸3.5m、短軸2.8mを測る。面積は約10m²である。柱穴列内部にも小柱穴が数基検出されたが、炉跡等は確認されなかった。

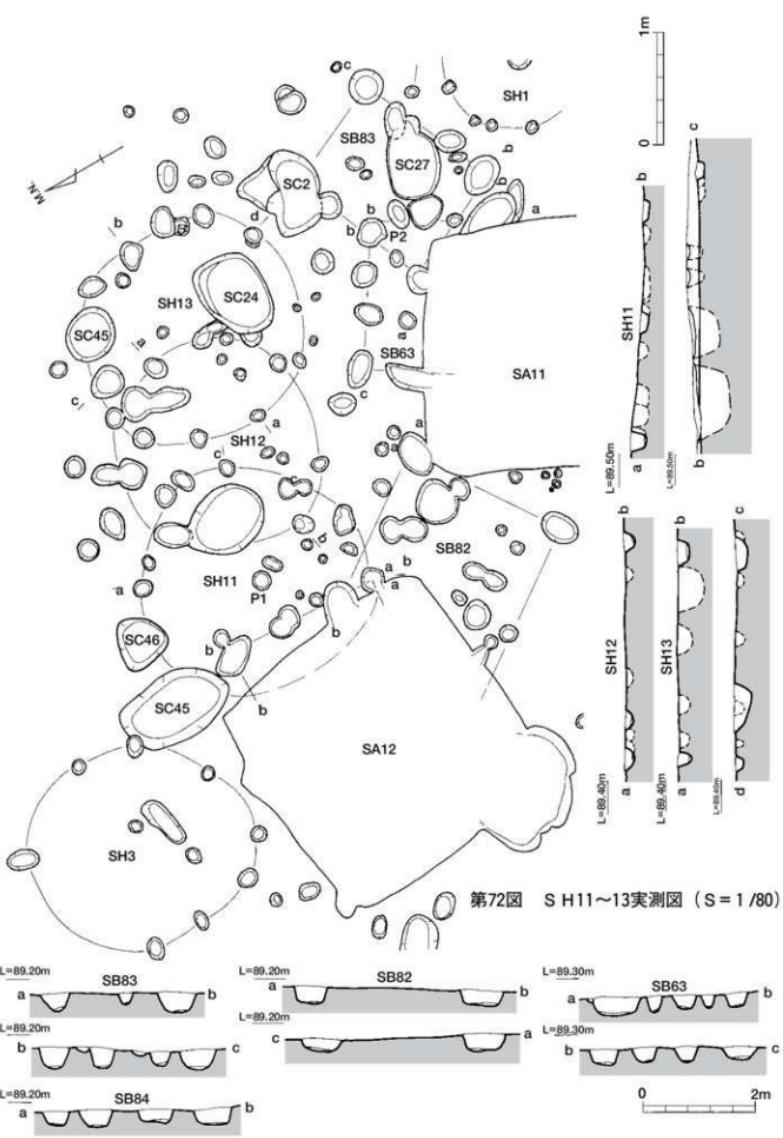
【柱穴】

遺構平面中央に、直径0.2m、深さ0.2mの円形柱穴(P1)が位置し、P1を中心にして平面楕円形の軌道線上に、小柱穴が1m間隔ではほぼ規則的に配置されている。現存する柱穴は8基を数える。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2~0.5m、深さ0.2~0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

柱穴覆土中からは縄文土器小破片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。



第73図 S B 63・82~84実測図 (S = 1 /80)

S H17（第74図）

【立 地】

F21グリットに位置する。S H19と切りあい関係を持ち、S H19に後出する。東側にはS H20がある。

【規 模】

平面形は円形で直径3.5mを測る。平面積は約10m²である。炉等は検出されなかった。

【柱 穴】

現存する小柱穴は9基で、円弧上に0.5~1m間隔でほぼ規則的に配置される。ただ、柱穴列北側は削平により失われていた。

各柱穴平面形は、円形や楕円形で、直径は0.2~0.4m、深さ0.2~0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H18（第74図）

【立 地】

F21グリットに位置し、S H17・19の南側にある。また、S H19と切りあい関係を持つが、先後関係は不明である。

【規 模】

平面形は楕円形で、長軸6m、短軸3.8mを測る。平面積は約29m²である。

なお、柱穴列内部ではS C104が検出された。しかしS H18に伴うかどうかは不明である。

【柱 穴】

平面楕円形の軌道線上に、小柱穴が1~2m間隔でほぼ規則的に配置される。長辺の柱穴間距離は2mだが、短辺ないし隔壁では1m前後と短くなる。

現存する柱穴数は12基を数え、本来の基数に近いと考えられる。

各柱穴は平面楕円形や円形で、直径は0.3~0.5m、深さ0.2~0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H19（第74図）

【立 地】

F21グリットに位置する。S H18と切りあい関係を持つが、先後関係は不明である。また、古墳時代~古代の掘立柱建物 S B48にも切られている。

【規 模】

平面形は楕円形で長軸5m、短軸3.5mを測る。平面積は約20m²である。

【柱 穴】

平面楕円形の軌道線上に、小柱穴が1~1.5m間隔でほぼ規則的に配置される。柱穴列北側は、S H17と同様に削平で失われていた。現存する柱穴数は8基を数える。

各柱穴は、平面楕円形や円形で、直径は0.3~0.5m、深さ0.2~0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H20（第76図）

【立 地】

C20・21グリットに位置する。柱穴列の西側部分は削平によって失われている。このS H20の南側にはS H21が、西側にS H30が隣接する。

【規 模】

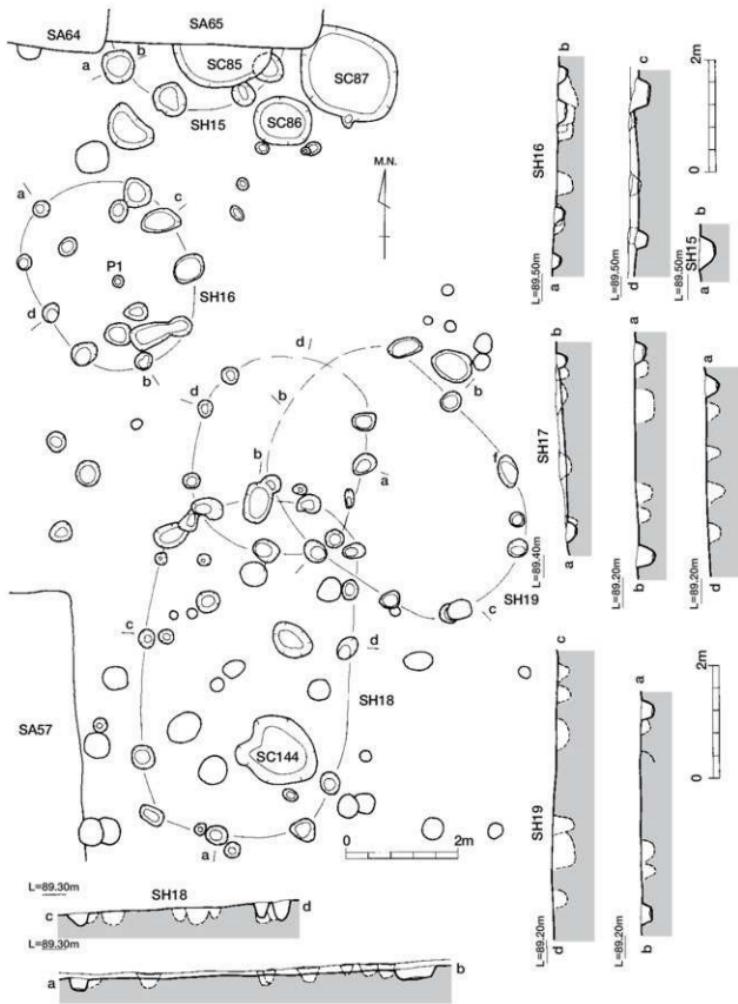
平面形は楕円形で、長軸3.5m前後、短軸3mを測る。平面積は約10m²となる。炉跡や土坑等は検出されていない。

【柱 穴】

平面楕円形の軌道線上に、小柱穴が0.5m間隔でやや密に配置される。現存する柱穴数は、10基である。各柱穴平面は、楕円形や円形で、直径は0.2~0.5m、深さ0.15~0.25mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片や剥片数点が出土



第74図 S H15～19実測図 (S = 1/80)

したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H21（第76図）

【立 地】

D20・C20グリットに位置する。柱穴列の一部は掘立柱建物柱穴や削平によって失われている。このS H 21の北側にはS H 20・30が接する。

【規 模】

平面形は梢円形で、長軸6m、短軸4mを測る。平面積は約28m²である。炉跡等は検出されていない。

【柱 穴】

平面梢円形の軌道線上に、柱穴が1~1.3m間隔ではほぼ規則的に配置される。現存する柱穴数は、8基を数える。

各柱穴平面は、梢円形や円形で、直径は0.3~0.4m、深さ0.2~0.25mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H22（第76図）

【立 地】

C20グリットに位置する。柱穴列の北及び西側の大半を古墳時代～古代の掘立柱建物S B 33・34で失われている。S H22の東側にはS H21・30が隣接する。

【規 模】

平面形は梢円形で、長軸5m、短軸4.3mを測る。平面積は約20m²である。炉跡等は検出されていない。

【柱 穴】

平面梢円形の軌道線上に、柱穴が1~2m間隔ではほぼ規則的に配置される。現存柱穴数は9基である。

各柱穴は、平面梢円形や円形で、直径は0.1~0.3m、深さ0.2~0.25mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H23（第77図）

【立 地】

E13・14、F13・14グリットに位置し、S A14の北側にある。S H23の東側にはS H 3、西側にS H 2が接する。また、柱穴列の一部をS A12・15に切られている。

【規 模】

平面梢円形で長軸6m、短軸4mを測る。平面積は約28m²である。柱穴列内部には小柱穴が数箇所検出されたが、S H24に伴うかどうか不明である。

【柱 穴】

平面梢円形の軌道線上に、小柱穴が1~1.5m間隔ではほぼ規則的に配置される。長辺側の柱穴間距離は1.5mを測るが、短辺または隅部付近では1mと短い。

各柱穴は平面梢円形や円形で、直径は0.3~0.4m、深さ0.2~0.25mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中よりVII類土器数点出土した。これら遺物の時期からS H23は、船元Ⅲ式～春日式北手牧段階前后と推定される。

S H24（第77図）

【立 地】

E13・F13グリットに位置し、S A22・82・83の南側にある。また、東側にS H 2とS H 2が接する。

さらに、柱穴列の一部は、S C50により失う。

【規 模】

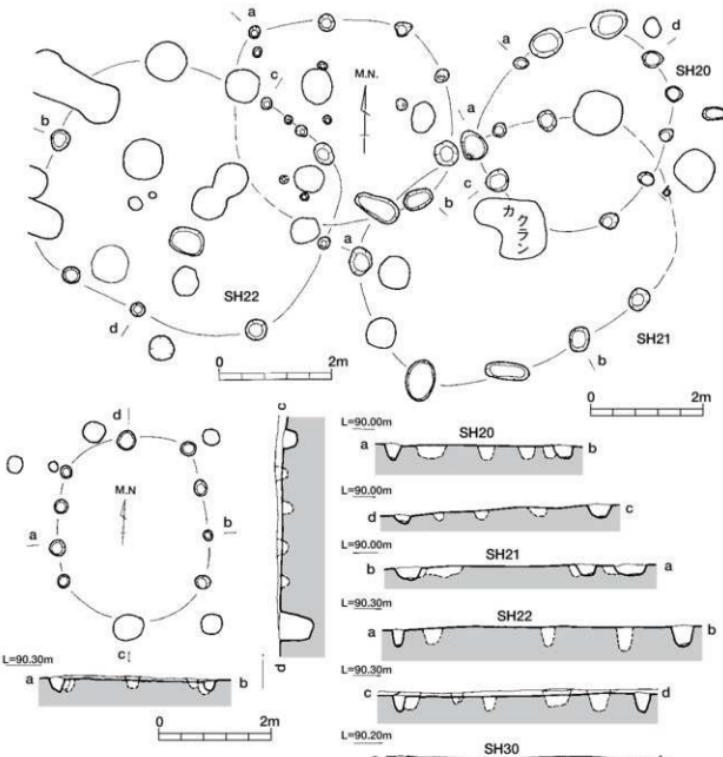
遺構平面形は、梢円形で長軸5.5m、短軸3mを測る。平面積は約24m²である。炉跡等は確認されない。

【柱 穴】

平面梢円形の軌道線上に、柱穴が0.8m間隔ではほぼ規則的に配置される。現存する柱穴数は10基を数え、柱穴列の西側は、搅乱と削平で部分的に失う。

各柱穴は平面円形で、直径は0.3m、深さ0.2~0.3mを測る。断面形は素掘りである。

なお、柱穴列の南側には、別個に半月弧を描く柱穴列が認められた。この柱穴列はS H25に伴う可能性が



第75図 SH14実測図 (S = 1/80)

あると判断した。

【遺物】

柱穴覆土中よりVI類土器数点出土した。これら遺物の時期からSH24は、SH23同様に船元III式～春日式北手牧段階前後と推定される。

SH25 (第77図)

【立地】

E14、D14に位置し、SA22・82・83の南側にある。また、SH25の西側にはSH24、南側にSH2が近接する。柱穴列の一部はSA5・6で失う。

第76図 SH20~22・30実測図 (S = 1/80)

【規模】

平面形は楕円形で、長軸5m、短軸3.8mを測る。平面積は約20m²である。柱穴列内部にはSC49が検出されたが、SH25に伴うかどうか不明である。

【柱穴】

平面楕円形の軌道線上に、小柱穴が1m間隔ではほぼ規則的に配置される。現存柱穴数は12基で本来の形態に近いと考えられる。

各柱穴は平面円形で、直径は0.2~0.5m、深さ0.2mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片数点が出土した。

みで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H26（第80図）

【立 地】

G14グリットに位置し、S A11とS A13の中間にあら。S H26の南側にS H31・32が所在する。

また、S H26柱穴列の一部は古墳時代～古代竪穴住居S A11によって失っている。

【規 模】

平面形は楕円形で、長軸5m、短軸4mを測る。平面積は約20m²である。炉跡等は確認されなかった。

【柱 穴】

平面格円形の軌道線上に、柱穴が1～1.5m間隔ではほぼ規則的に配置される。

長辺側の柱穴間距離は1.5mを測るが、短辺または隅部付近では1mと短くなる。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2～0.5m、深さ0.15～0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片と剥片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H27（第80図）

【立 地】

G14グリットに位置する。S H26に包含される位置関係にある。このS H26との先後関係は不明である。

【規 模】

平面形は円形で直径2.5mを測る。平面積は約5m²で、S H7と同様に最小規模である。また、炉跡や土坑等は検出されていない。

【柱 穴】

小柱穴は、円弧上に沿うように1m前後間隔ではほぼ規則的に配置される。ただ、柱穴が検出されなかつ箇所があり、削平を受けたと考えられる。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2～0.4m、深さ0.2mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片と剥片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H28（第78図）

【立 地】

F13グリットに位置する。S A14の南西にある。

【規 模】

平面形は円形で、直径4mを測る。平面積は約13m²である。炉跡や土坑等は検出されなかった。

【柱 穴】

遺構平面の中心に、直径0.3m、深さ0.2mの円形柱穴（P1）が位置し、このP1を基点とする円弧上に、小柱穴が1.5m間隔ではほぼ規則的に配置されている。柱穴列南側は、削平のため失われている。現存する柱穴数は、6基である。

各柱穴の平面形は、円形で、直径は0.2m、深さ0.3mを測る。また、断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中からはV類・VI類土器破片と剥片類が数点出土した。S H28は、出土遺物から船元Ⅲ式～春日式北手牧段階の時期に属すると考えられる。

S H29（第79図）

【立 地】

G13グリットに位置する。S H28の南側にあたる。

【規 模】

平面形は円形で、直径4mを測る。平面積は約13m²でS H28と同規模である。炉跡等はみられない。

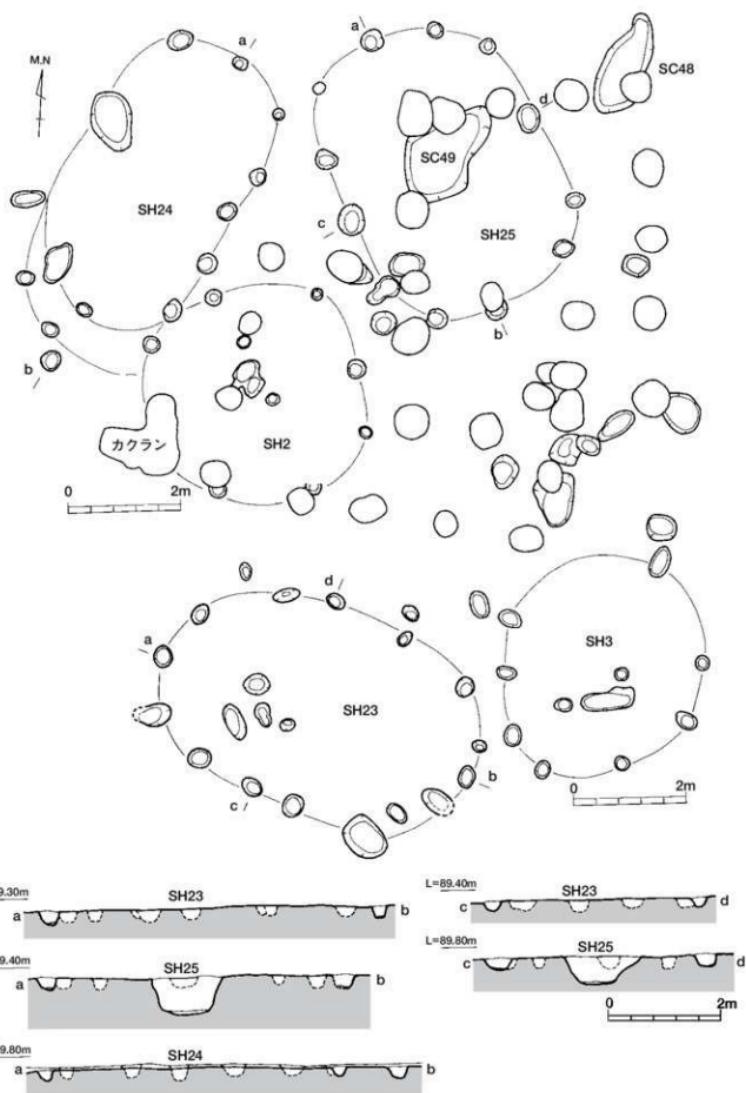
【柱 穴】

小柱穴は、9基現存し、円弧上に1.2～1.5m間隔ではほぼ規則的に配置される。柱穴列南側付近は、削平や掘乱で一部失われている。

各柱穴平面形は、円形や楕円形で、直径は0.3～0.5m、深さ0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺 物】

柱穴覆土中からはV類土器破片が数点出土した。



第77図 S H 23~25実測図 (S = 1 /80)

S H29は、出土遺物から船元Ⅲ式の時期に属すると考えられる。

S H30 (第76図)

【立地】

C20グリットに位置する。S H21・22の中間にある。また、S B34に切られている。

【規模】

平面形は円形で、直径3.5mを測る。面積は約10m²である。炉跡等は検出されていない。

【柱穴】

現存する柱穴は5基を数え、円弧に沿うように1.2m間隔ではほぼ規則的に配置される。柱穴列の南西部付近は、削平や攪乱で失われている。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.2~0.5m、深さ0.2mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。

S H31 (第80図)

【立地】

G15グリットに位置する。S H32の領域と一部重なるが先後関係は不明である。また、S H31の東北部分はS A 9・10によって柱穴列の一部を失う。

【規模】

平面形は円形で、直径4mを測る。面積は約13m²である。炉跡や土坑等は検出されていない。

【柱穴】

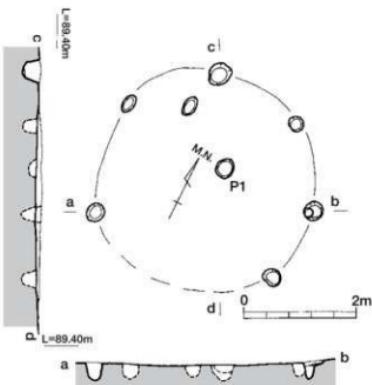
現存する柱穴は5基を数え、円弧に沿うように1.3~1.5mの間隔ではほぼ規則的に配置される。

各柱穴は、平面円形や楕円形で、直径は0.3~0.4m、深さ0.25mを測る。断面形は素掘りである。

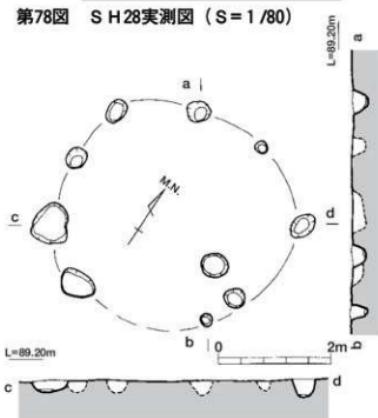
【遺物】

柱穴覆土中より、縄文土器小破片と剥片数点が出土したのみで遺構の時期は推定困難である。

しかしながら、遺構配置状況や、柱穴覆土の比較から縄文時代中期前後と想定される。



第78図 S H28実測図 (S = 1/80)



第79図 S H29実測図 (S = 1/80)

S H32 (第80図)

【立地】

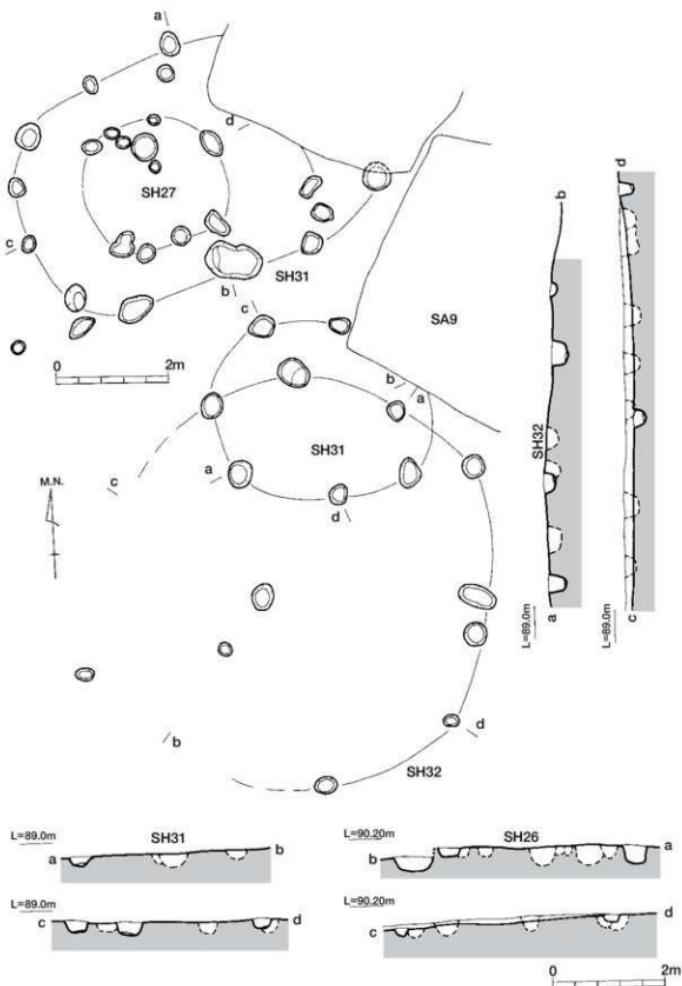
H14グリットに位置する。S H31の領域と一部重なるが先後関係は不明である。

【規模】

平面形は円形で直径7m前後を測る。面積は約39m²と最大の面積を誇る。炉跡等は確認されなかった。

【柱穴】

現存する柱穴数は8基で、円弧に沿うよう1.5mの間隔ではほぼ規則的に配置される。柱穴列の西側は、削平



第80図 S H 26・27・31・32実測図 (S = 1 /80)

によって大部分が失われ、南東部分も部分的に欠失していた。

各柱穴は、平面円形や梢円形で、直径は0.3~0.4m、深さ0.3mを測る。断面形は素掘りである。

【遺物】

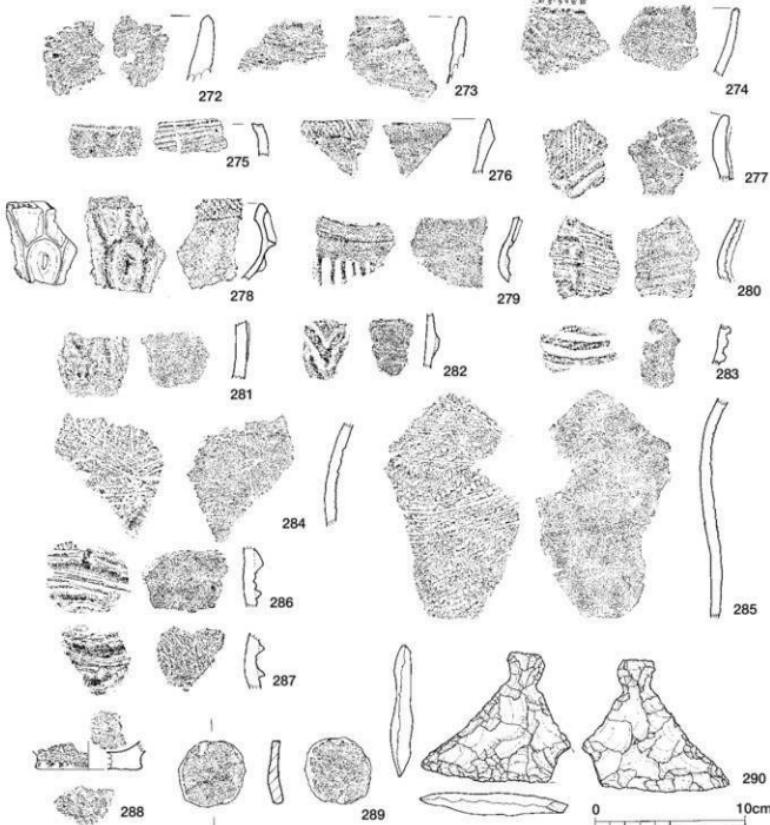
柱穴覆土中からはV類土器破片が数点出土した。SH32は、出土遺物から船元II式前後の時期に属すると考えられる。

5 掘立柱建物跡

—掘立柱建物跡の認定について—

平地式建物跡の柱穴よりは大きく、円形または梢円形に遙らず方形区画を意識した配置をとる柱穴を掘立柱建物跡とした。掘立柱建物跡は4軒である。

これら掘立柱建物跡の規模や、柱穴掘りかたの形態及び覆土の状況は、古墳時代や近現代の掘立柱建物跡とは異なり、別時期に属すると考えられる。



第81図 平地式建物跡（SH）出土遺物実測図（S=1/3）

この掘立柱建物跡群は、縄文時代中期の竪穴住居跡や平地式建物跡（円形に巡るピット列）の群集域に包含されていること、柱穴内遺物は得られなかつたが、柱穴覆土の状況は、縄文時代中期に属する遺構覆土の土質や土色に近いことなどから、状況証拠ではあるが、縄文時代中期に帰属するとした。

S B63（第73図）

【立 地】

F15グリッドに位置し、S A11に一部切られる。

【規 模】

南側桁行や西側梁行を失っているが、柱穴配置から梁行2間×桁行3間の東西方向に長い10本柱の側柱建物と考えられる。

規模は桁行2.5m、梁行は2.2m、総面積5.5m²である。主軸方位はN-58°-Wを示す。

【柱 穴】

柱掘りかたは、円形や楕円形の素掘りで直径0.4～0.6m前後、深さは0.25～0.3mを測る。

柱痕跡や遺物は検出されていない。柱穴覆土は、硬質の黒褐色ないしオリーブ褐色土である。

柱穴掘りかたの形態や覆土の状況は、古墳時代や近現代の掘立柱建物とは異なっており、別時期に属すると考えられる。

S B82（第73図）

【立 地】

F14グリッドに位置する。S A12によって大部分を失い、東側桁行のみ遺存している。

【規模等】

現況では、桁行3間で2.8mを測る。柱掘りかたや柱穴覆土の状況はS B63に近似していることから、梁行2間×桁行3間の東西方向に長い10本柱の側柱建物と想定される。遺物は検出されていない。

S B83（第73図）

【立 地】

F15グリッド位置し、S A11とS C 2に切られ、S C27を切る。

【規 模】

部分的に柱穴が失なわれているが、柱穴配置から梁行2間×桁行3間の南北方向に長い10本柱の側柱建物と考えられる。

規模は桁行2.6m、梁行は2.2m、総面積5.72m²である。主軸方位はN-68°-Eを示す。

【柱 穴】

柱掘りかたは、円形や楕円形の素掘りで直径0.4～0.6m前後、深さは0.3～0.4mを測る。

また、P 2のようにS B63の柱穴と切りあい関係が想定されるが、前後関係は不明である。

柱痕跡や遺物は検出されていない。柱穴覆土は、硬質の黒褐色ないしオリーブ褐色土である。

S B84（第73図）

【立地と規模】

F14グリッドにあり、S A11とS A12に切られる。部分的に柱穴が失なわれているが、柱穴配置から梁行1間×桁行1間の東西方向に長い4本柱の側柱建物と考えられる。

【柱 穴】

規模は桁行3.2m、梁行は3m、総面積9.6m²である。主軸方位はN-30°-Wを示す。

柱掘りかたは、円形や楕円形の素掘りで直径0.6～0.7m、深さは0.3を測る。柱穴覆土は、硬質のオリーブ褐色土である。掘りかた直径に比べて掘り込みは浅い。なお、柱痕跡や遺物は検出されていない。

6 集石遺構

【概 要】

第III a層上面にて、集石遺構が1基検出された。検出箇所は、古墳時代～古代の遺構群の空白域であったことから、本来は集石遺構は1基のみではなく、より多く存在したと考えられる。

集石遺構自体は、縄文早期に属するものを含めて32基が検出された。遺構検出順に遺構番号を与えたので、第5節にて報告する集石遺構はS I 3となる。

S I 3 (第82図)

【立 地】

C15グリッドで検出された集石遺構である。南側にS A21が位置する以外、周辺には縄文時代遺構は検出されていない。

【検出状況と時期】

第Ⅲ層の下層付近を精査中に一辺2.4m×1.8mの範囲に焼蹠が散乱する箇所を検出した。

蹠は殆ど赤変を受けて細かく碎かれていた状況である。焼蹠に混じって縄文土器V・VI類土器小破片や剥片といった石器類が数点出土した。

この集石遺構は検出層位と土器の時期から縄文時代中期(船元Ⅱ・Ⅲ式)に属すると判断される。

【構成蹠の分析】

調査時点では、掘り込みや底石(配石)をもたず、特に蹠の集中箇所を見出せないため、いわば「散蹠」の可能性が高いと考えていた。

その後、接合作業を試みた結果、接合関係を有する

ことが判明した。それは大きく2箇所の接合関係を有する群にわかれ、それぞれも接合関係を有することが認められた。

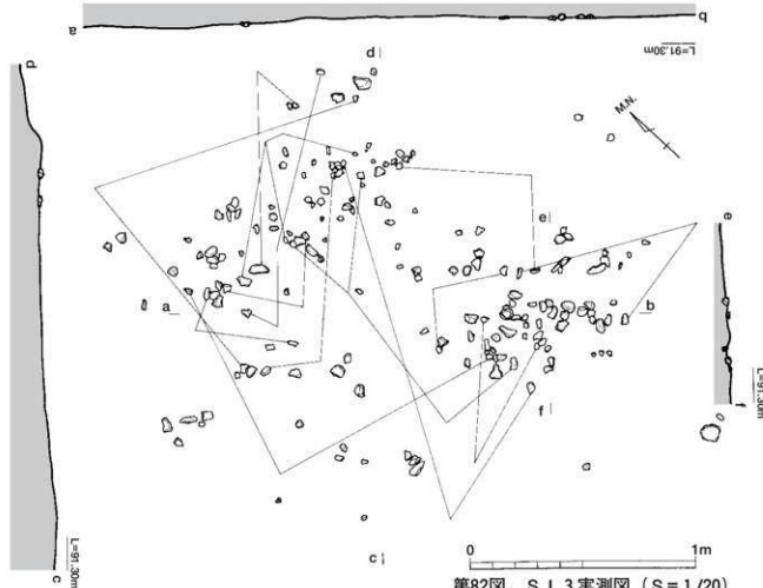
したがって、集石遺構は1基ではなく、本来的には2基である可能性が高い。

構成蹠の総重量は5,306gで総個数は132個である。石材は砂岩、頁岩、尾鈴山酸性岩類、ホルンフェルスである。

全ての蹠は、直径5cm内外の棒状ないし扁平な蹠で、90%前後は被熱の痕跡がある破砕蹠である。約半数の蹠には黒色付着物(煤か?)が確認された。

接合の結果、直径約15~30cm大、すなわち握り拳2つ分の円蹠に復元できた。砂岩4個、頁岩7個、尾鈴山酸性岩類9個、ホルンフェルス18個である。

調査区北側には開析谷があり、その底面を流れる小川には、上記とは同じ大きさの円蹠が河床に点在していた。これら転石を利用したと想定されよう。



第82図 S I 3 実測図 (S = 1/20)

7 配石遺構

【概要】

本遺跡においては、扁平な円窓を数個用い並べたり、組み合わせた遺構を配石遺構と呼称する。この配石遺構は1基検出された。

S V 1 (第83・84図)

F16グリットにて検出された。S V 1の周囲には、土坑群 (SC 6・13・15・17～19・34・35) 内にあり、土坑は、S V 1を中心とするように配置をとるようにも伺える。

配石遺構の平面形は、長椭円形で長径2.4m、短径1.6mを測る。主軸は北西—南東方向にとる。

掘り込みはごく浅く、その内部には、一辺約0.4～0.6m大で厚さ0.1～0.15m前後の尾鈴山酸性岩類の扁平な円窓や棒状の窓が据えられたり、2～3段ほど積み重ねられる。

この配石部分は掘り込みの北側に偏在し、南側は扁平な円窓1個が置かれているのみである。

なお、配石遺構の周辺、特に北側には円窓が散在しており、配石遺構との関連性が想定される。

一方、東側の配石のない空窓部分からは、V類土器深鉢破片、石錘や敲石、剥片が数点検出された。

また、配石遺構の構成窓のうち、尾鈴山酸性岩類の石皿が3個体使用されていた。

配石遺構は、出土遺物から概ね船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に構築されたと考えられる。

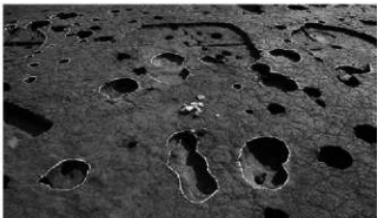
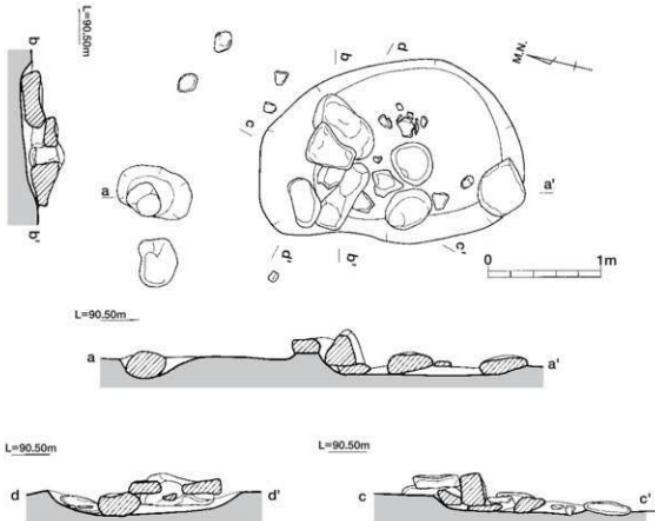
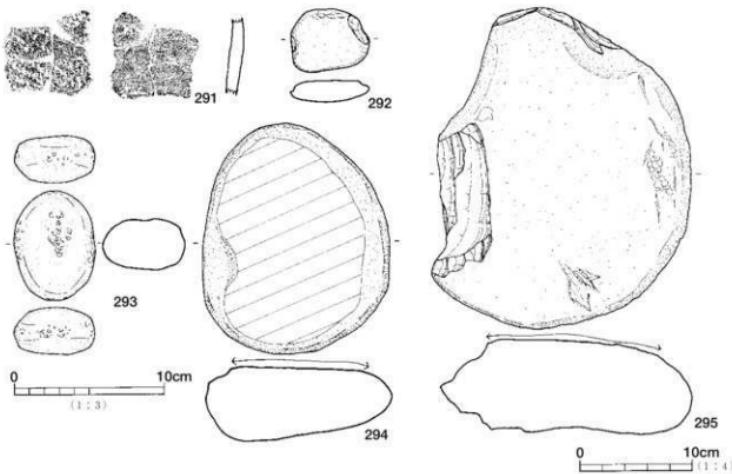


写真5 S V 1と土坑群 (西から)



第83図 S V 1実測図 (S = 1/40)



第84図 SV1出土遺物実測図 (S=1/3・1/4)

8 土坑

a) 土坑群の概要

土坑（壙）は、便宜的に平面規模の長軸が約0.8m以上、掘り方の深さが約0.2m以上とした。

縄文時代中期の所産と判断できる土坑（壙）は143基を数え、ある程度のまとまり（群）を構成する。

土坑のまとまりや立地状況から、土坑群としてA～S群の18群に区分される。土坑全体の広がり方は等高線に沿った扇形となるが、個々の土坑群では求心的、等高線に沿った列状の配置をみる場合が多い。また、竪穴住居や平地式建物群付近、または離れた箇所で群集する傾向がある。

土坑の平面形が精円形を指向する場合は、その主軸は等高線に直交する場合が多い。

b) 土坑の分類

これらの土坑（壙）は平面形と規模、遺物の出土状態から大きく5類に分類された。

A類：平面形が円形で、平面規模は直径（長径）約0.8～1.2m前後、検出面からの深さ約0.3～0.7mを測るもの。

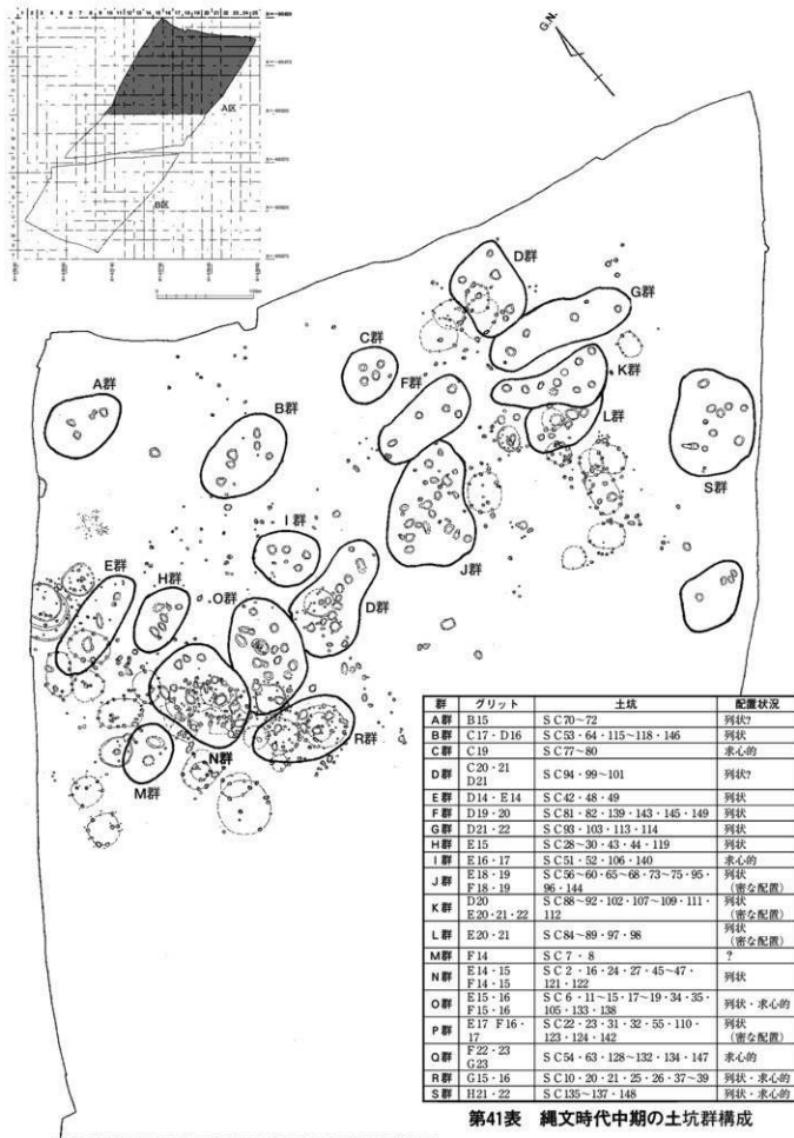
B類：平面形が精円形か不整円形をなし、平面規模

は直径（長径）約1～1.5m前後、検出面からの深さ約0.2～3、0.5～0.7m。

C類：平面形は楕円形プランで、その長軸線上に円形または方形の張り出し部がつく。平面規模は直径（長径）約1.8～2m前後、検出面からの深さは0.6～0.7。

D類：平面形は長楕円形または不整な長楕円形をなし、長軸線上の一端に石が1個前後置かれているもの。直径（長軸）0.9mと1.5～2m、深さ0.2～0.4m前後。

各土坑（壙）の規模や状況などについては別表（）で一覧化した。ここでは上記分類に従い、それぞれの分類ごとの、特に重要な土坑（壙）を抽出して記述することにする。また、多数検出された土坑の機能推定を試みるため、C14放射性炭素年代測定、種実同定、植物珪酸体分析とリン・カルシウム含量分析等を㈱古環境研究所に委託した。対象とした土坑はSC19-22・23・42・43・44・46・57・59・81である。分析結果は、各構造説明の部分に原文を挿入した。なお、関連する自然科学分析資料は、第V章「自然科学分析」において提示している。



第41表 繩文時代中期の土坑群構成

第85図 繩文時代中期土坑群分布図 (S = 1/500)



I : A類

平面形が円形で、平面規模は直径（長径）約0.8～1.2m前後、検出面からの深さ約0.3～0.7mを測る、長軸と短軸がほぼ等しいタイプである。

縄文土器や石器、扁平な円錐が比較的まとまりをもって出土する。

S C19 (第86～87図)

【遺構の状況】

F 16グリットに位置し、土坑群（O群）にある。

大きさは短径1.1m、長径1.2m、検出面からの深さは0.45mを測る。土坑の断面形は箱型に近い。

遺物は土坑底面付近でまとまって出土した。V・VI類土器片と土器片錐、石器類として石核、剥片、石錐、磨石、敲石、石皿等がある。

なお、遺構検出面では、長さ0.15m、厚さ0.1mの尾鈴山酸性岩の扁平な円錐が出土した。

自然科学分析結果では、何らかの生物遺体の存在が推定されている。

出土遺物の時期は、船元Ⅱ式～春日式北手牧段階で、S C19もこれと近い時期に属すると考えられる。

【自然科学分析結果】

①植物珪酸体分析結果

土坑の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、スキ属型やメダケ節型も比較的多く検出され、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型なども検出された。遺構底面や遺構外でも同様の分類群が検出されたが、埋土よりも比較的小量である。

おもな分類群の推定生産量によると、埋土ではネザサ節型が卓越しており、スキ属型やメダケ節型も多くなっていることが分かる。

②リン・カルシウム含量分析結果

土坑の埋土では、リン酸含量が1.08～1.48%（平均1.18%）と高い値で、遺構底面や遺構外の0.76～0.79%（平均0.78%）と比較して1.51倍と明らかに高くなっている。カルシウム含量については、比較試料との間にとくに明瞭な差異は認められなかった。以上のことから、遺構内部にはリン酸を多く含む何らかの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。

S C22 (第88～89図)

【遺構の状況】

F 17グリットに位置し、土坑群（P群）にある。S A81とは、近接する位置関係にある。

大きさは短径1m、長径1.1m、検出面からの深さは0.5mを測る。土坑断面形は、壁面の立ち上がりが垂直気味で、底面は平坦に近いため箱型といえる。

土坑覆土上層部分には土器片の集中がみられた。遺物はV・VI類土器と石核、剥片、石錐等がある。

自然科学分析結果では、何らかの生物遺体の存在が推定されている。

出土遺物の時期は、船元Ⅱ式～春日式北手牧段階で、S C22もこれと近い時期に属すると考えられる。

【自然科学分析結果】

①植物珪酸体分析結果

土坑の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く検出された。また、スキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型なども検出され、埋土上部ではブナ科（シイ属）も検出された。遺構底面や遺構外でも、おおむね同様の分類群が検出された。

おもな分類群の推定生産量によると、埋土ではネザサ節型が卓越しており、メダケ節型も多くなっていることが分かる。

②リン・カルシウム含量分析結果

土坑の埋土では、リン酸含量が1.08～1.40%（平均1.25%）と高い値であり、埋土底部、遺構底面、遺構外の0.58～0.77%（平均0.69%）と比較して1.81倍と明らかに高い。カルシウム含量については、比較試料との間にとくに明瞭な差異は認められない。以上のことから、遺構内部にはリン酸を多く含む何らかの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。

S C34 (第90～91図)

F 16グリットに位置し、土坑群（O群）にある。土坑の大きさは長径1.28m、短径1.21m、検出面からの深さは0.24mを測る。壁面は直立に立ち上がり、底面は全体的に平坦だが、中央部はやや凹む。

遺物は、覆土中位を中心に出土した。V～VI類土器と土器片加工円盤、石核、剥片等がある。

出土遺物からS C34は、船元II式～春日式北手牧段
階に併行する時期に属する可能性が高い。

S C57 (第92図)

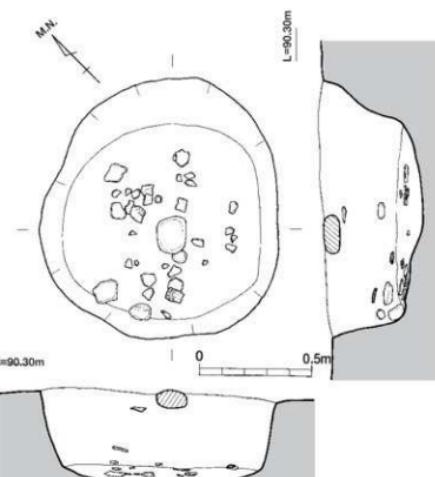
【遺構の状況】

E18グリットに位置し、土坑群(J 群) 中にある。
平面形は円形を基調とするが一部隅丸となる。短径、長径ともに直径1mを測る。検出面からの深さは0.2mで他の土坑に比べてやや浅い。掘り方断面形は逆台形をなす。

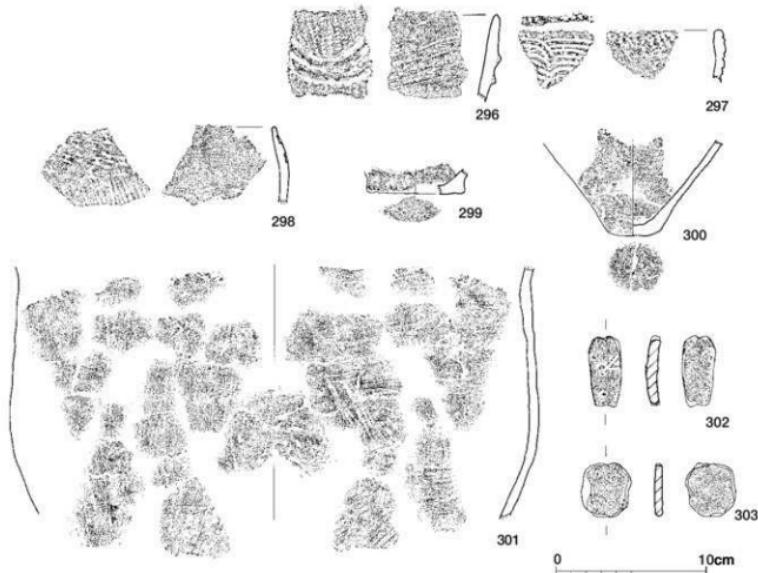
土坑中央よりやや南側に绳文土器深鉢が立位で出土した。深鉢は底部と口縁部付近を欠失している。

深鉢の出土状況と、土層断面の所見から土坑掘削後、埋め戻した(埋没した)後に、少なくとも2度の掘り込み(掘り直し)がなされたと解釈できる。

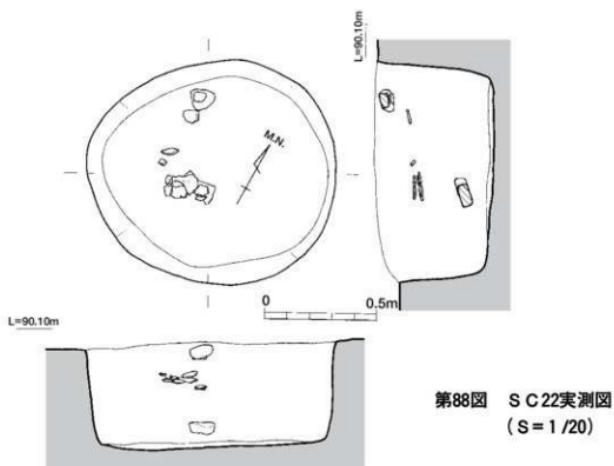
つまり、初回の掘り直しでは直径約0.5m、深さ約0.25mの円形の小穴を掘り込む(第2層)。この掘り方



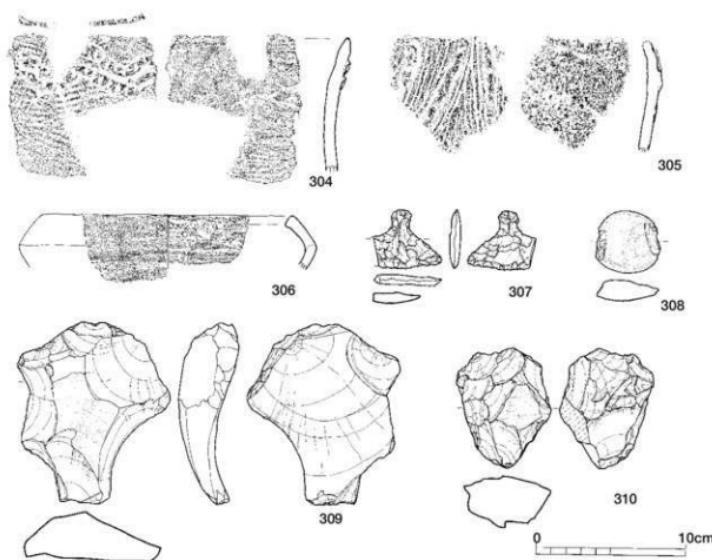
第86図 S C19実測図 (S = 1/20)



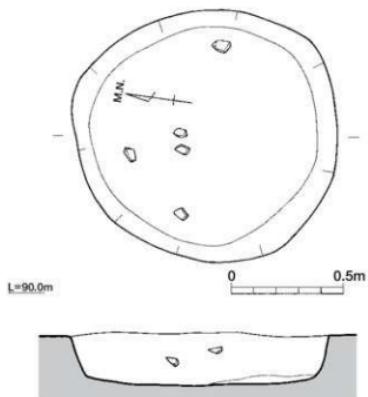
第87図 S C19出土遺物実測図 (S = 1/3)



第88図 S C 22実測図
(S = 1/20)



第89図 S C 22出土遺物実測図 (S = 1/3)



第90図 SC34実測図 ($S = 1/20$)

壁面近くには約0.1~0.15m大の礫を含んでいる。2度目の掘り直し時は、初回の掘り込み範囲の中心部付近をやや深く掘り込む。そして深鉢を固定するように土で埋め戻す(第6・7層)過程が想定される。

第7層や深鉢内埋土(第6層)より焼土粒が検出されたことから、この土坑は深鉢を利用した炉の性格をもつ可能性がある。

出土遺物は、V類土器等があり、SC57は船元II式に併行時期に属する可能性が高い。

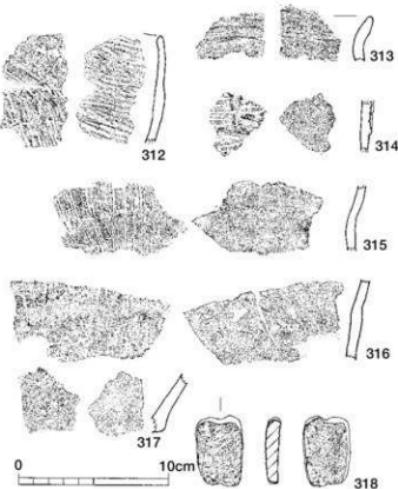
また、自然科学分析結果では、何らかの生物遺体の存在が推定されている。

【自然科学分析結果】

①植物珪酸体分析結果

土坑北側の埋土では、メダケ節型やネザサ節型が多量に検出され、キビ族型、ススキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型などが、遺構底面や遺構下層でも同様の分類群が検出され、メダケ節型やネザサ節型は埋土よりも比較的少量である。

土坑南側の埋土では、メダケ節型やネザサ節型が多量に、ススキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型なども検出された。遺構底面や遺構下層でも同様の分類群が検出されたが、メダケ節型やネザサ節型は埋土よりも比較的少量である。



第91図 SC34出土遺物実測図 ($S = 1/3$)

土坑中央部の埋土では、メダケ節型やネザサ節型が多量に、キビ族型、ススキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型なども検出された。遺構外では、埋土とおむね同様の結果である。

おもな分類群の推定生産量によると、埋土ではメダケ節型やネザサ節型が卓越していることが分かる。

(※原文はSC47と記載)

②リン・カルシウム含量分析

土坑の埋土では、リン酸含量が0.71~1.22% (平均0.91%)と比較的高い値であり、遺構底面や遺構外の0.51~0.64% (平均0.56%)と比較して1.62倍と明らかに高くなっている。カルシウム含量については、比較試料との間に明瞭な差異は認められなかった。以上のことから、遺構内部にはリン酸を多く含む何らかの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。(※原文はSC47と記載)

S C 58（第93～95図）

E 18グリットに位置し、土坑群（J群）中にある。土坑の大きさは直径0.9m、検出面からの深さは0.45mを測り、他の土坑よりは浅めである。

壁面は直立気味で、底面は全体的に平坦なため、断面形は箱形となる。

遺物は、埋土中位を中心に出土した。特に長さ約0.2～0.4m、厚さ0.05m大の扁平な尾鉢山酸性岩が折り重なって中心部に向かって落ち込んだ状況で出土した。このうち大きめな礫は、石皿で3個体分出土した。土器はV・VI類土器破片が出土した。また、約0.1～0.15m大の角礫等もある。

出土遺物からS C 58は、船元Ⅲ式～春日式北手牧段階に併行時期に属する可能性が高い。

S C 67（第96～97図）

E 19グリットに位置し、土坑群（J群）中にある。大きさは、短径0.9m、長径1.05、検出面からの深さは0.5mを測り、一部に隅角を有するやや不整形な円形の土坑である。

壁面は、ほぼ垂直に立ち上がり、底面は緩やかに凹む。断面形は箱形に近い形状をなす。

遺物は埋土上位から中位にかけて出土している。

主な遺物は、V類土器片が少量と、打製石斧、石錘、磨石、敲石、剥片及び約0.15m大の扁平な円礫、約0.05m大の角礫がある。角礫は量的に多く、赤変を受け細かく砕けていた。

出土遺物からS C 67は、船元Ⅱ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 68（第98～99図）

F 18・E 18グリットに位置し、土坑群（J群）中にある。やや不整形な円形の土坑である。土坑の一部は別造構に切られる。

大きさは短径0.8m、長径0.8+ α 、検出面からの深さは0.3mを測り、やや浅めである。断面形は箱形を呈すると考えられる。

遺物は、底面および床面よりやや浮いた位置で出土した。V・VI類土器と剥片、敲石、約0.15m大の扁平な円礫がある。

出土遺物からS C 68は、船元Ⅲ式～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 77（第100～101図）

C 19グリットに位置し、土坑群（C群）中にある。土坑の大きさは短径0.9m、長径1m、検出面からの深さは0.7mを測る。土坑の北側部分はS B 25の柱穴によって一部失われる。

他の土坑と異なり、壁面の立ち上がり部分と底面との境は緩やかである。底面も緩い断面凸レンズ状を呈す。平面規模のわりに深めなのが特徴である。遺物は、覆土中位を中心に出土した。VI類土器と石錘、敲石、剥片などである。

出土遺物からS C 68は、船元Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 80（第102～103図）

C 19グリットに位置し、土坑群（C群）中にある。大きさは直径0.9m、検出面からの深さは0.35mを測る。断面形は箱形を呈する。S C 77同様、平面規模の割りに深めである。

覆土中より、V・VI類土器片が出土している。

出土遺物からS C 80は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 81（第104～105図）

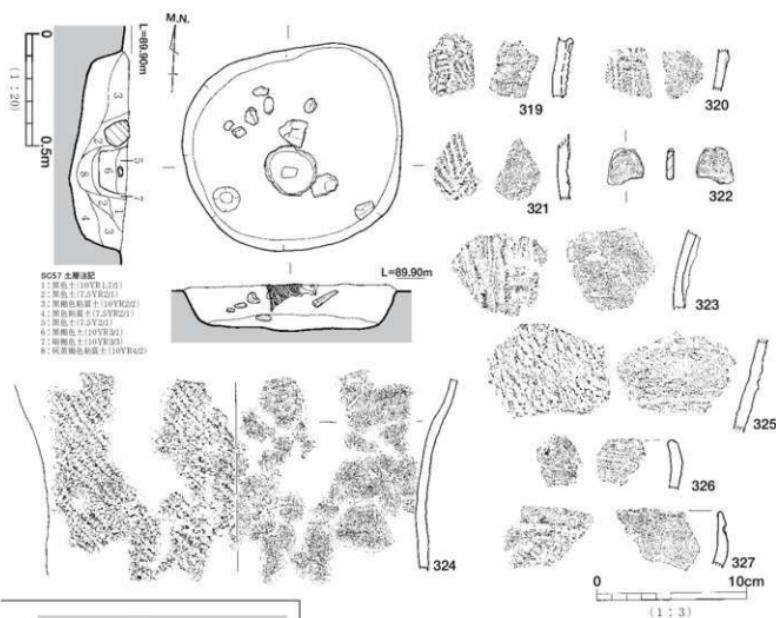
【遺構の状況】

D 20グリットに位置し、土坑群（F群）中にある。大きさは短径1.1m、長径1.25、検出面からの深さは0.3mを測り、他の土坑よりは浅めである。壁面は直立し、底面は全体的にやや凹む。

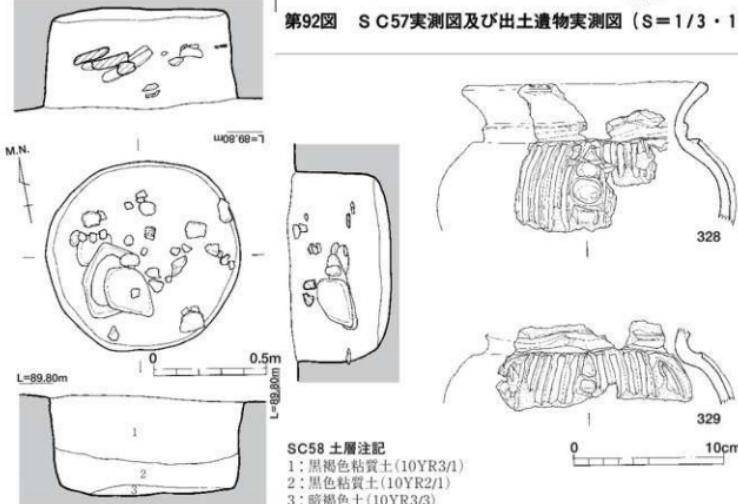
遺物は、覆土上位から底面付近にかけて出土した。遺物の出土位置から北西側から投棄した、流れ込んだようなあり方を示す。V・VI類土器と剥片、石錘、敲石と約0.1～0.15m大の赤変した扁平礫がある。

出土遺物からS C 81は、船元Ⅲ式～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

出土遺物は土器は船元Ⅲ式土器に属する。

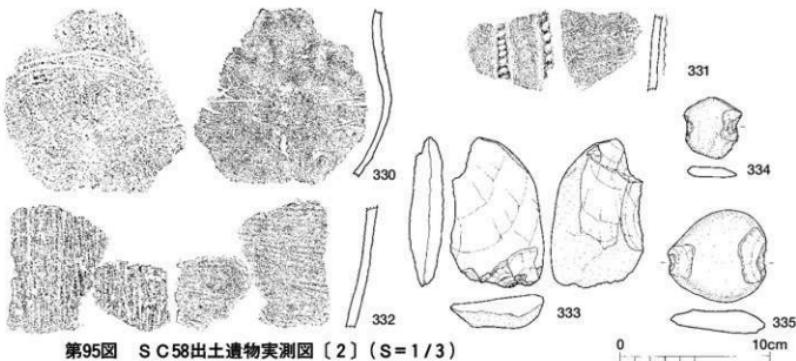


第92図 S C57実測図及び出土遺物実測図 (S = 1/3 · 1/20)

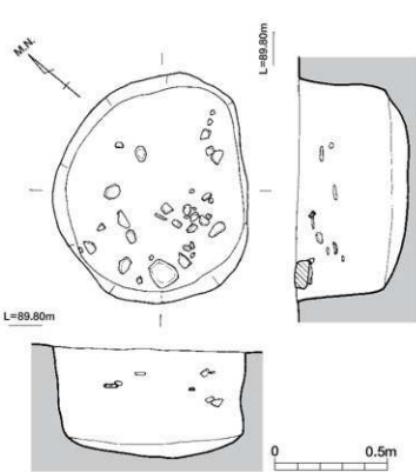


第93図 S C58実測図 (S = 1/20)

第94図 S C58出土遺物実測図 [1] (S = 1/20)



第95図 S C 58出土遺物実測図〔2〕(S=1/3)



第96図 S C 67実測図 (S=1/20)

【自然科学分析結果】

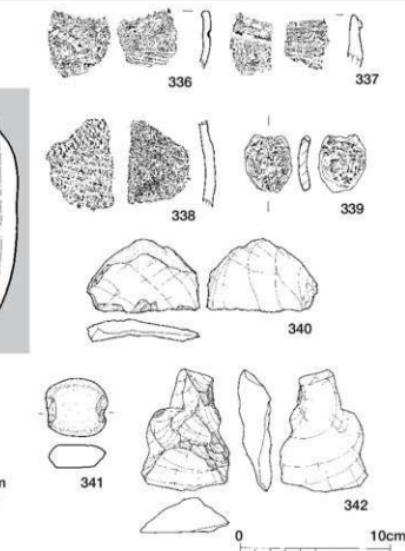
① C14放射性炭素年代測定 (AMS)

1. 試料

S C 81出土土器付着煤 (図面番号362: 委託番号No.4)

2. 測定結果

加速器質量分析 (AMS) 法による放射性炭素年代

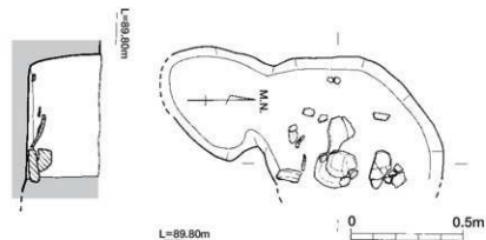


第97図 S C 67出土遺物実測図 (S=1/3)

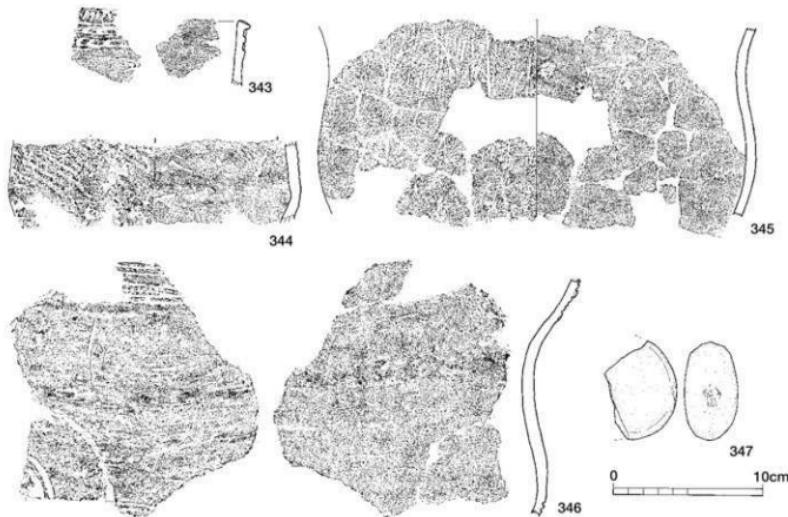
測定の結果、No.4 の土器付着煤では 4370 ± 50 年 B P
(1σ の暦年代で B C 3030~2910年) の年代値を得た。

② 植物珪酸体分析結果

土坑中央部西の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く検出された。また、スキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ



第98図 S C 68実測図
(S = 1/20)



第99図 S C 68出土遺物実測図 (S = 1/3)

節型なども検出された。

遺構底面でも同様の分類群が検出されたが、メダケ節型やネザサ節型は埋土よりも比較的少額である。

土坑中央部東の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く検出された。また、キビ族型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節

型、海綿骨針も検出された。

遺構底面および遺構下層では、ネザサ節型、クマザサ属型、ミヤコザサ節型が比較的多く検出され、キビ族型、ウシクサ族A、メダケ節型なども検出された。遺構外も、埋土とおおむね同様の結果である。

おもな分類群の推定生産量によると、埋土ではメダ

ケ節型やネザサ節型が卓越していることが分かる。

(※原文は S C82と報告している)

③リン・カルシウム含量分析結果

土坑の埋土では、リン酸含量が0.48~0.70%（平均0.59%）であり、遺構底面や遺構外の0.52~0.68%（平均0.59%）と同等となる。カルシウム含量については、比較試料との間にとくに明瞭な差異は認められなかった。以上のことから、同遺構では生物遺体が存在した可能性についても判断できない。

(※原文は S C82と報告している)

S C88（第106~第108図）

E21グリットに位置し、土坑群（K群）中にある。大きさは、短径1.05m、長径1.1、検出面からの深さは0.5mを測る。壁面の立ち上がりはやや直立気味で、底面は全体的にやや凹む。

遺物は、覆土中位か、やや下位で出土した。V類土器片と石錐、磨石、台石と長さ約0.3~0.5m、厚さ約0.1mの大の扁平な円盤である。

出土遺物からS C88は、船元Ⅱ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C110（第109~110図）

F17グリットに位置し、土坑群（P群）中にある。大きさは、短径1.05m、長径1.1、検出面からの深さは0.7mを測り、やや深めである。壁面の立ち上がりはやや直立気味で、底面は凸レンズ状である。

遺物は、覆土下位を中心に出土した。V・VI類土器片と石核、剥片、石錐、磨石、敲石、石皿と約0.05~0.2m大の扁平な円盤がある。

出土遺物からS C88は、船元Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C129（第111~112図）

F23グリットに位置し、土坑群（Q群）中にある。大きさは短径0.95m、長径1m、検出面からの深さは0.5mを測る。断面形は箱形である。

遺物は、覆土中位を中心に出土した。V・VI類土器と剥片、石錐、敲石がある。

出土遺物からS C129は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時

期に属する可能性が高い。

S C142（第113~114図）

F17グリットに位置し、土坑群（P群）中にある。S A81内で検出されたが、前後関係は不明である。

大きさは長径1.05m、短径0.9m、検出面からの深さは0.3mを測る。壁面は他の土坑とは異なり緩やかな立ち上がりをなす。

遺物は遺構検出面から覆土の中位にかけて散漫に出土した。V類土器と石匙、剥片、磨石、敲石主がある。他には約0.1m大の扁平な円盤、約0.05m大の角礫が検出面付近に偏って出土する。

出土遺物からS C142は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C145（第115~116図）

D20グリットに位置し、土坑群（F群）中にある。

大きさは長径1.05m、短径0.95m、検出面からの深さは0.3mを測る。S C142同様、深さはやや浅い。断面形は箱形である。

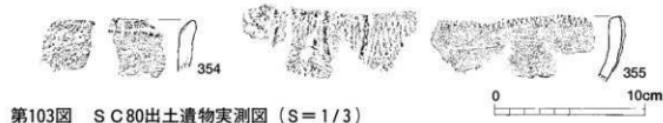
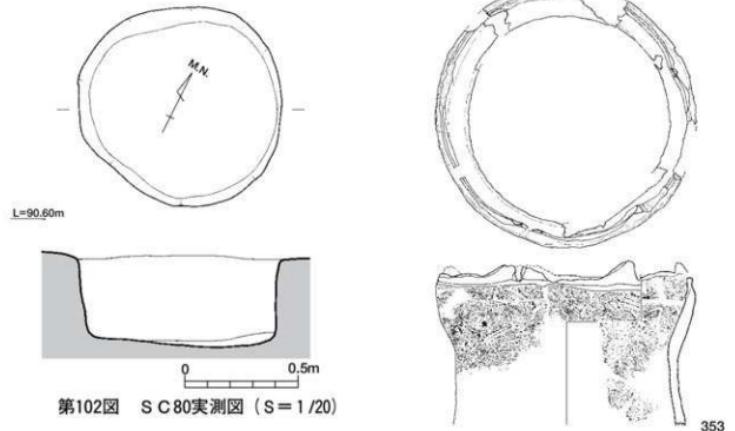
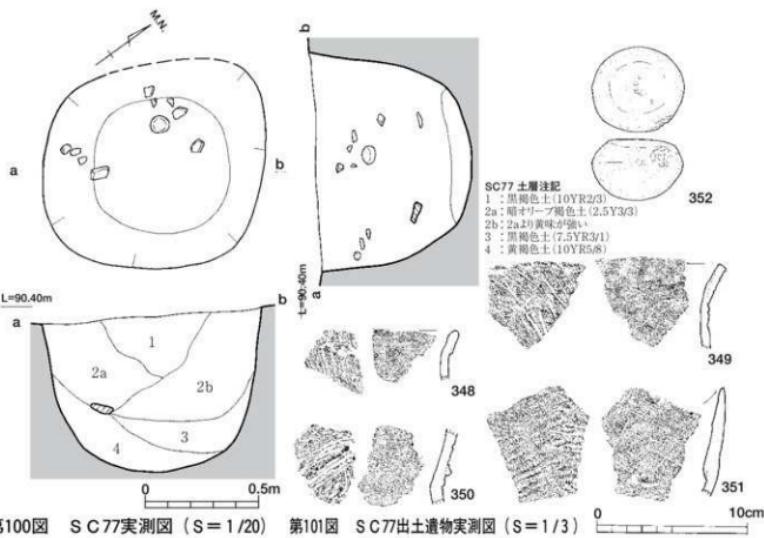
遺物は覆土全体に散漫に出土した。特に検出面から覆土中位には、V類土器と石錐及び約0.05~0.11m大の赤変した角礫が集中して出土した。

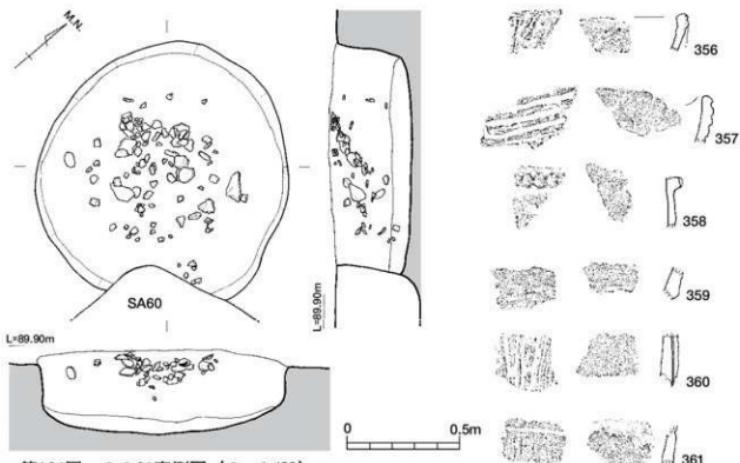
II : B類

平面形が円形で、平面規模は直径（長径）約0.8~1.2m前後、検出面からの深さ約0.3~0.7mを測るタイプである。繩文土器や石器、扁平な円盤、角礫などが比較的まとまりをもって出土する。

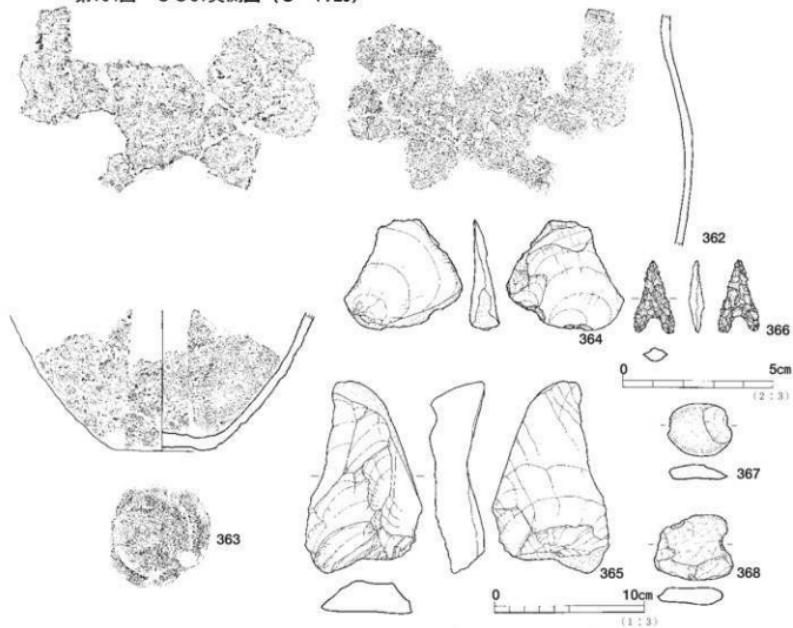
平面形が梢円形か不整円形をなし、平面規模は直径（長径）約1~1.5m前後、検出面からの深さ約0.3~0.7mを測る、長軸が長いタイプである。遺物は埋土中や床面付近で繩文土器や石器が多数出土する。

また、A類と同じく円盤や角礫も共伴して出土する傾向が強いが、円盤は大き目の扁平なものと、石皿や台石の場合が多い。

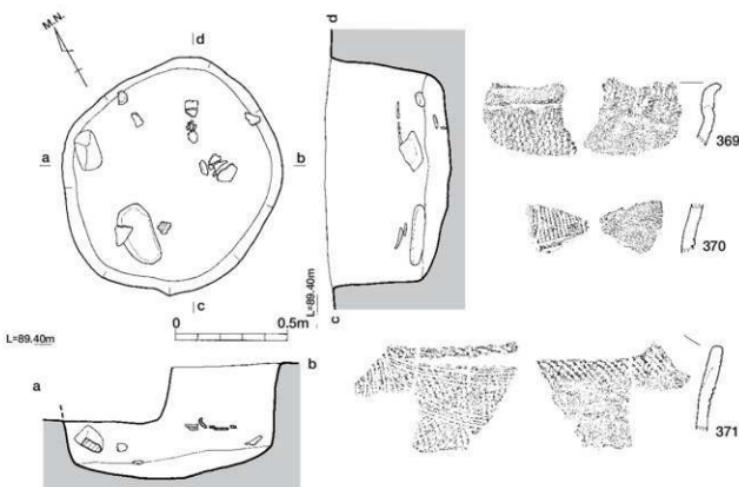




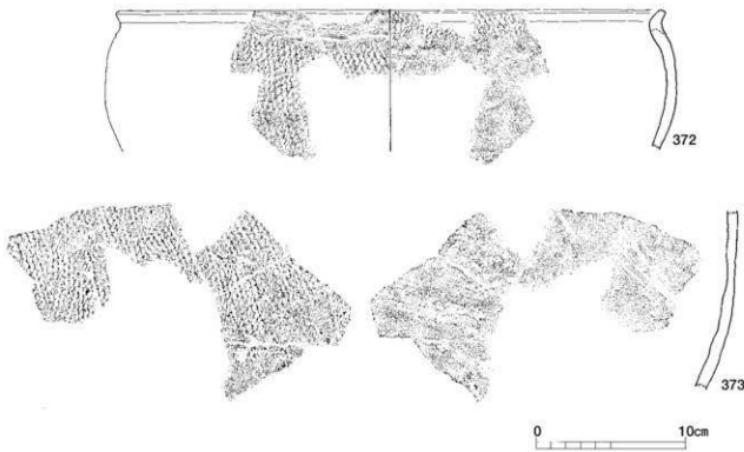
第104図 SC81実測図 ($S = 1/20$)



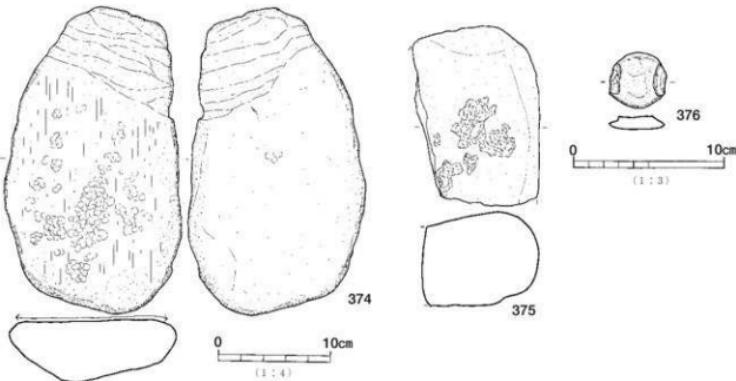
第105図 SC81出土遺物実測図 ($S = 2/3 \cdot 1/3$)



第106図 SC 88実測図 (S = 1 / 20)



第107図 SC 88出土遺物実測図〔1〕(S = 1 / 3)



第108図 SC 88出土遺物実測図〔2〕(S=1/3・1/4)

SC 6 (第117~118図)

F 16グリットに位置し、土坑群（O群）中にある。土坑の一部は別構造によって切られる。土坑の大きさは、長径1.2+ α m、短径1.3m、検出面からの深さは0.3mを測る。断面形は箱形を呈する。

遺物は、覆土中位を中心に出土した。V・VI類土器と剥片がある。

出土遺物からSC 6は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

SC 13 (第119~第120図)

F 16グリットに位置し、土坑群（O群）中にある。隅丸方形に近く、底面は方形となる。土坑の大きさは長径1.25m、短径1.1m、検出面からの深さは0.4mを測る。断面形は逆台形をなしている。

遺物は、覆土中よりV・VI類土器と土器片鍤、石鍤が出土した。縄文土器破片がある。

出土遺物からSC 13は、船元Ⅱ～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

SC 16 (第121~第122図)

F 15グリットに位置し、土坑群（O群）中にある。土坑の大きさは長径1.2m、短径0.9m、検出面からの深さは0.4mを測る。壁面は直立に立ち上がり、底面は

全体的に平坦だが、中央部はやや凹む。

遺物は、覆土中位を中心に出土した。V・VI類土器と剥片、石鍤、磨石、敲石等がある。

出土遺物からSC 16は、船元Ⅲ～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

SC 23 (第123~124図)

【遺構の状況】

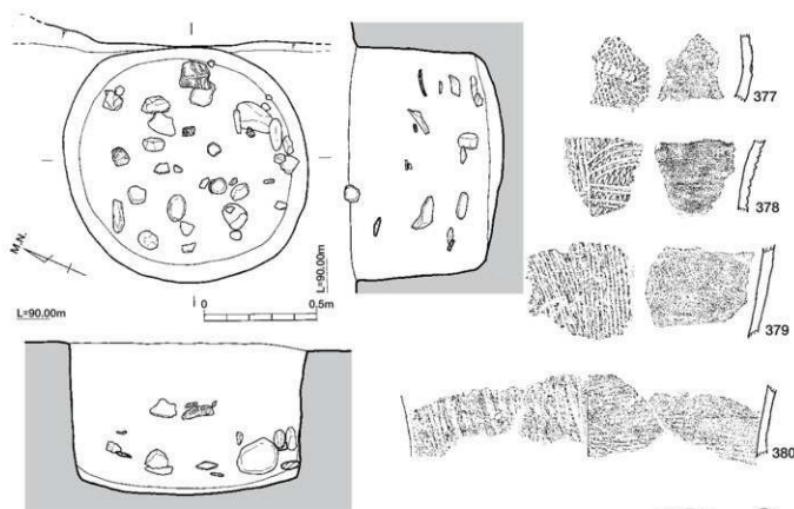
F 17グリットに位置し、土坑群（P群）中にある。やや隅丸方形に近い楕円形の土坑である。土坑の大きさは長径1.3m、短径1.1m、検出面からの深さは0.6mを測る。土坑周辺は縄文時代中期の小穴が点在するが、この土坑との関係は不明である。

遺物はV・VI類土器と石鍤、石核、剥片、石鍤、磨石、敲石、石皿等がある。

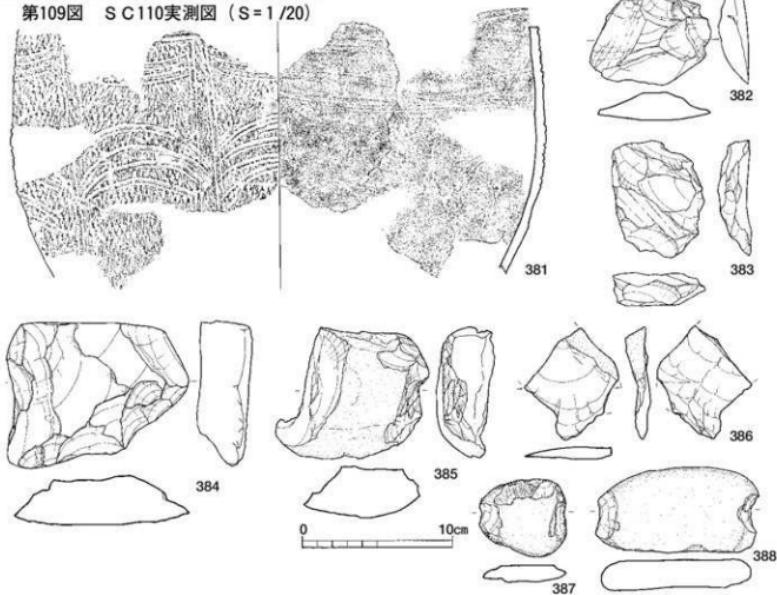
遺物の出土傾向は、検出面付近と床面の2箇所である。検出面付近では縄文土器深鉢破片と石器類、床面では約0.2m大の扁平または球状の円窪、角窪及び石器類と、出土位置によって内容が異なっている。

また、自然科学分析結果では、何らかの生物遺体の存在が推定されている。

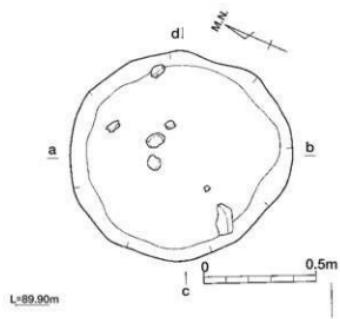
出土遺物からSC 23は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。



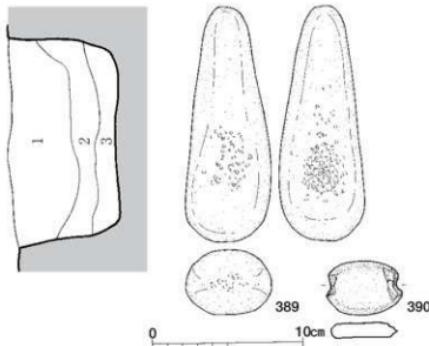
第109図 SC 110実測図 ($S = 1/20$)



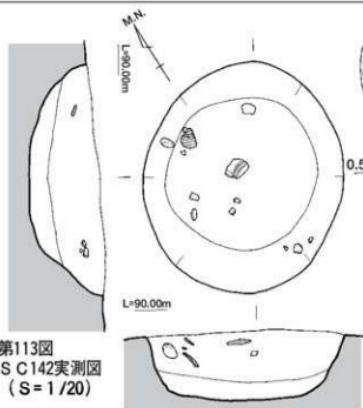
第110図 SC 110出土遺物実測図 ($S = 1/3$)



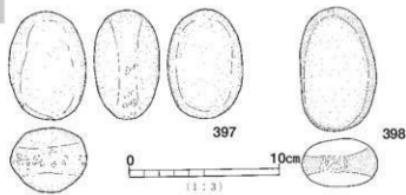
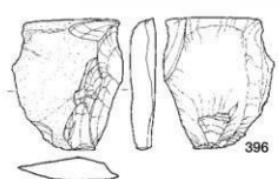
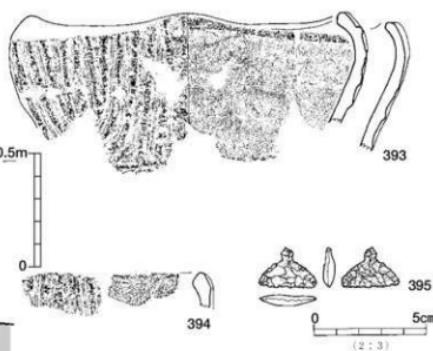
第111図 SC 129実測図 (S = 1 / 20)



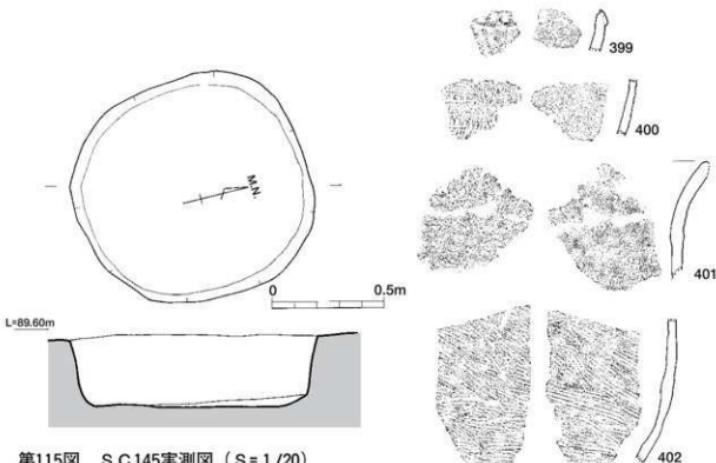
第112図 SC 129出土遺物実測図 (S = 1 / 3)



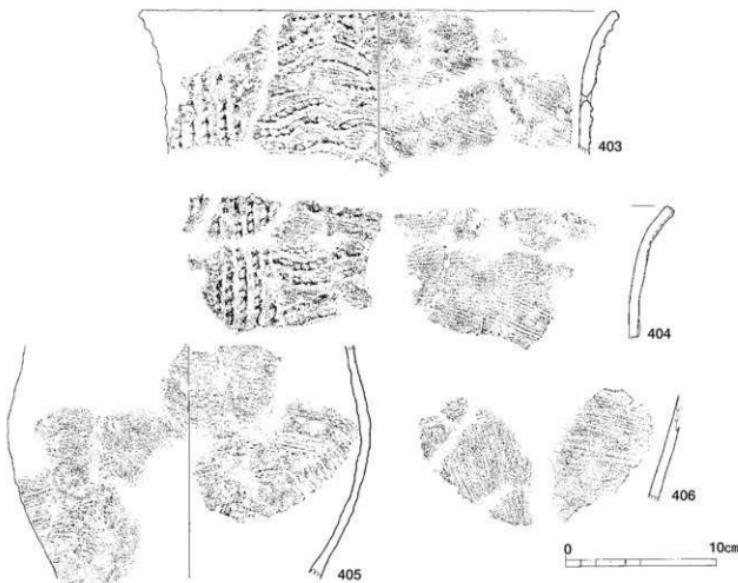
第113図
SC 142実測図
(S = 1 / 20)



第114図 SC 142出土遺物実測図 (S = 2 / 3 · 1 / 3)



第115図 SC 145実測図 (S = 1 / 20)



第116図 SC 145出土遺物実測図 (S = 1 / 3)

【自然科学分析結果】

①植物珪酸体分析結果

土坑の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も多い。スキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型なども検出された。

遺構底面や遺構外でも同様の分類群が検出されたが、メダケ節型やネザサ節型は埋土よりも比較的少量である。

おもな分類群の推定生産量によると、埋土ではメダケ節型やネザサ節型が卓越していることが分かる。

②リン・カルシウム含量分析結果

土坑の埋土では、リン酸含量が1.17~1.44%（平均1.29%）と高い値であり、遺構底面や遺構外の0.53~0.54%（平均0.54%）と比較して2.39倍と明らかに高くなっている。カルシウム含量については、比較試料との間にとくに明瞭な差異は認められない。以上のことから、遺構内部にはリン酸を多く含む何らかの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。

S C 42（第125~126図）

【遺構の状況】

D14グリットに位置し、土坑群（E群）にある。土坑の大きさは長径1.34m、短径0.96m、検出土面からの深さは0.48mを測る。断面形は逆台形に近い。

覆土中からは、大量の炭化物が出土した。後述のようにアカガシ亜属を含めコナラ属イチイガシ（ドングリ）の炭化種子と推定された。回収できた種子の総重量は約92.2g、総個数は約368個である。炭化種子は子葉のみで種皮はついていない。

炭化種子は、貯蔵穴のようなギシリと詰まった出土状況ではなく、土坑検出土面から底面まで満遍なく出土するあり方を示している。

さらに、出土状況図からは、覆土上層と中・下層とで大きく2~3のまとまりが認められ、複数回の投棄の状況を示していると解釈される。

なお、炭化種子の観察記録などについては、谷口武範氏の報告文（註2）を参照されたい。

その他の遺物として、覆土中よりV・VI類土器と石匙、石錐、磨石が出土した。

また、自然科学分析結果では、S C 42内に何らかの

生物遺体の存在が推定されている。

S C 42は、出土遺物から船元II式~春日式北手手牧段階に併行する時期と考えられ、炭化種子の年代値からB C 3030~2920年となる。

【自然科学分析結果】

①種実同定分析結果

1. 分析結果〔樹木〕

イチイガシ *Quercus ilicifolia* Blume

種子 プナ科（コナラ属アカガシ亜属）

炭化して黒色で、梢円形を呈する。表面はなめらかで、縱方向に一条の凹線が入る。

コナラ属アカガシ亜属？

Quercus subgen *Cyclobalanopsis*? 種子 プナ科

黒色で梢円形を呈する。表面はなめらかである。完形のものがなかったことから、属レベルの同定にとどめた。

②種実同定から推定される植生と農耕

分析の結果、縄文時代の貯蔵穴（S C 42）から採取された選別試料（81個体）は、すべてイチイガシと同定され、その他の試料もイチイガシが含まれるコナラ属アカガシ亜属？と同定された。イチイガシは暖温帯に分布する照葉樹林の主要高木であり、自然度の高い沖積平野の肥沃な適潤地などに生育する樹木である。イチイガシの果実は、洪抜きなしで食用になる。（※原文はS C 43と記載）

③C14放射性炭素年代測定（AMS）

1. 試料

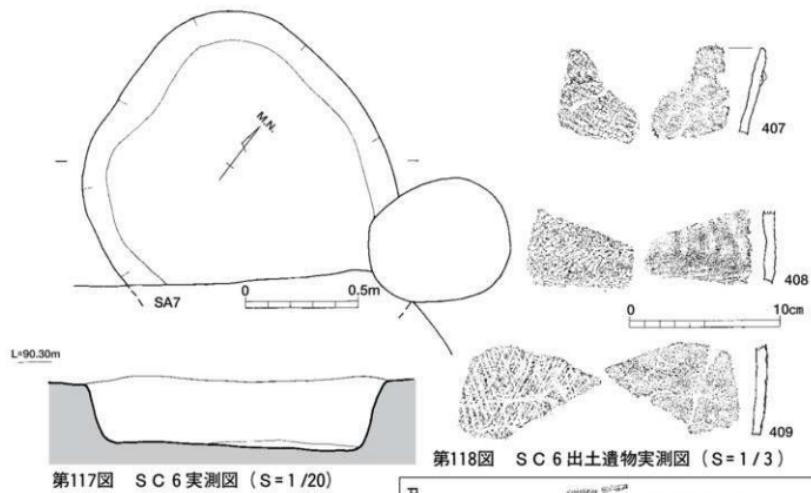
S C 42、埋土底部 炭化種実（イチイガシ） 2. 分析結果

加速器質量分析（AMS）法による放射性炭素年代測定の結果、 4380 ± 40 年 B P（ 1σ の曆年代で B C 3030~2920年）年代値が得られた。

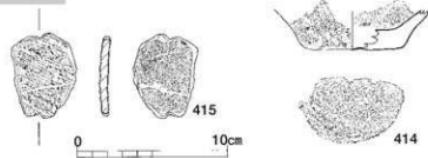
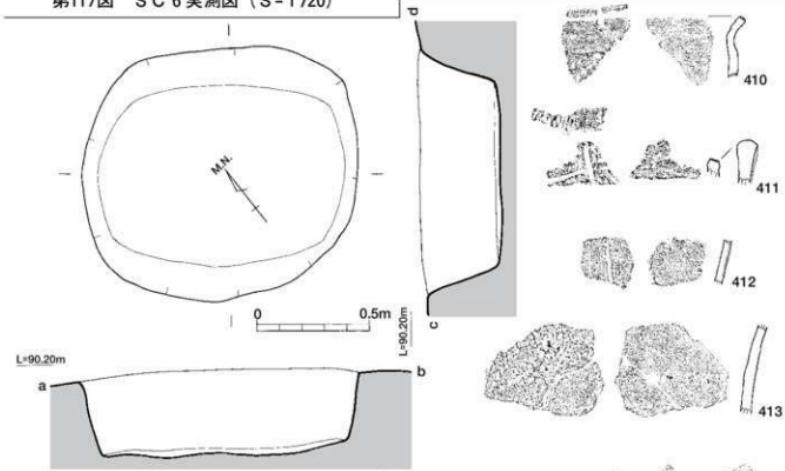
④植物珪酸体分析

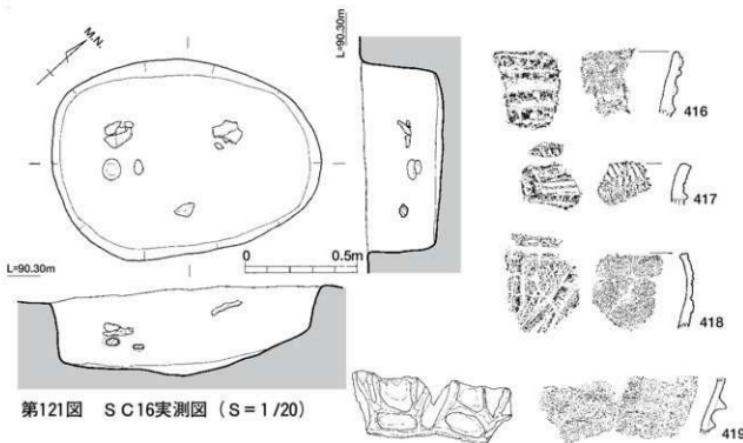
土坑（貯蔵穴）の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く検出された。また、キビ族型、スキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型なども検出された。埋土底部でも同様の分類群が検出されたが、メダケ節型やネザサ節型は埋土よりも比較的少量である。

遺構底面では、ミヤコザサ節型が比較的多く検出さ

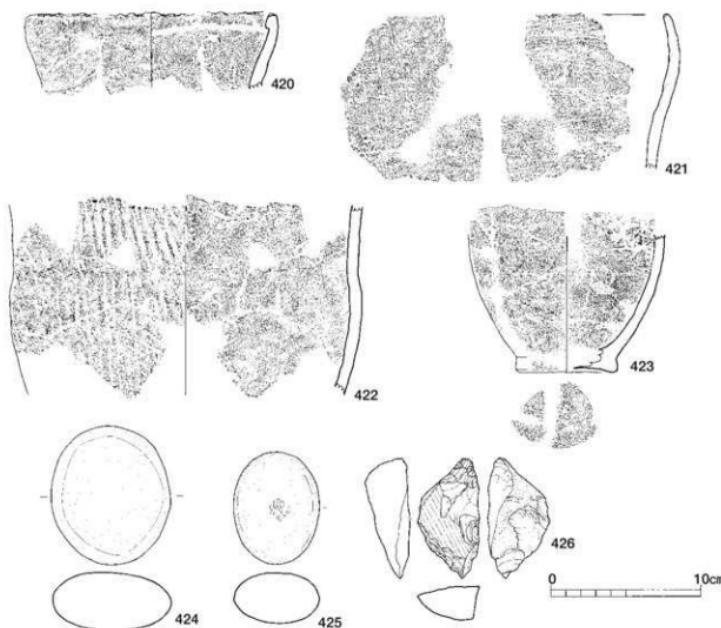


第118図 SC 6 出土遺物実測図 (S = 1/3)

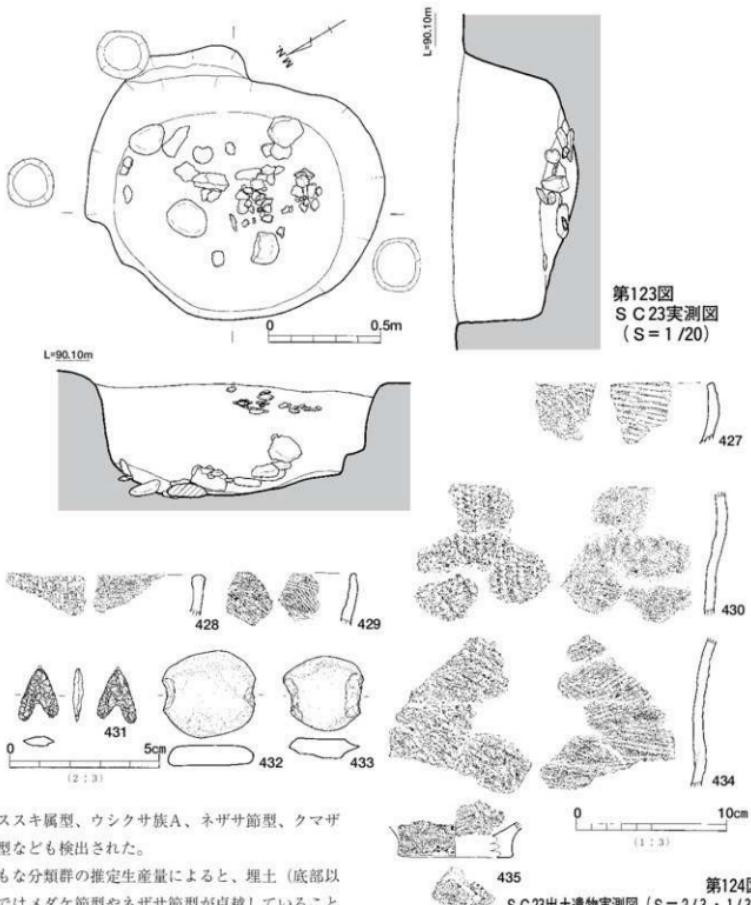




第121図 SC 16実測図 (S = 1 / 20)



第122図 SC 16出土遺物実測図 (S = 1 / 3)



第123図
S C 23実測図
(S = 1 / 20)

第124図
S C 23出土遺物実測図 (S = 2 / 3・1 / 3)

れ、スキ属型、ウシクサ族A、ネザサ節型、クマザサ属型なども検出された。

おもな分類群の推定生産量によると、埋土（底部以外）ではメダケ節型やネザサ節型が卓越していることが分かる。（※原文はS C 43と記載）

⑤リン・カルシウム含量分析

土坑の埋土では、リン酸含量が0.52～1.39%（平均1.03%）と高い値であり、遺構底面の0.41%と比較して2.51倍と明らかに高くなっている。カルシウム含量については、比較試料との間にとくに明瞭な差異は認められなかった。以上のことから、遺構内部にはリン酸を多く含む何らかの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。（※原文はS C 43と記載）

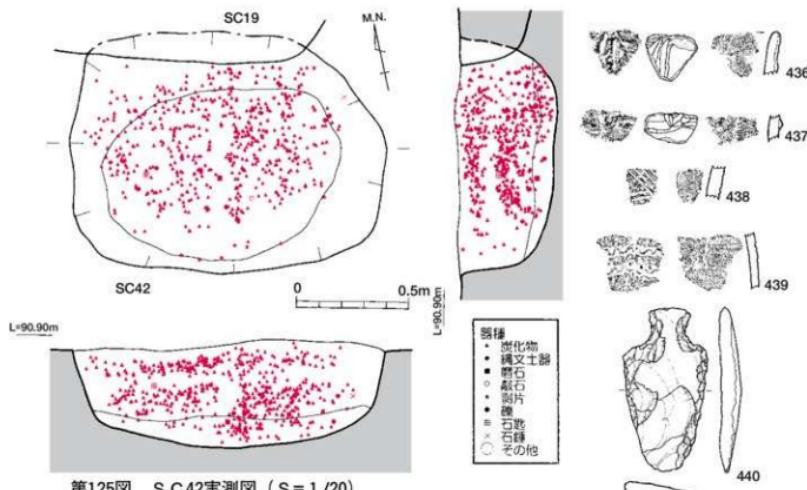
S C 43（第127～第128図）

【遺構の状況】

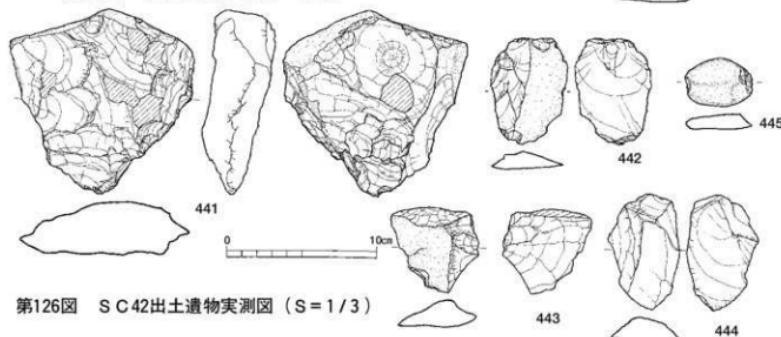
E 15グリットに位置し、土坑群（H群）中にある。土坑の大きさは長径1.44m、短径1.2m、検出面からの深さは0.58mを測る。断面形は逆台形に近い。

遺物は、覆土中よりV・VI類土器と石錘、磨石、敲石及び炭化物がある。

S C 42同様、S C 42でも多量の炭化物が土坑中から



第125図 S C 42実測図 (S = 1/20)



第126図 S C 42出土遺物実測図 (S = 1/3)

出土した。アカガシ亜属を含めコナラ属イチイガシ（ドングリ）の炭化種子と推定された。炭化種子は子葉のみで種皮はついていない。

炭化種子実の存在を土層断面観察時に認識したため平面的な出土状況の記録はできなかった。調査時においては約100点の炭化種子を回収できた。

なお、炭化種子は、土坑覆土中位から底面まで満遍なく出土するあり方を示している。

炭化種子自体の観察記録については、谷口武範氏の報告文（註2）を参照されたい。

S C 43は、出土遺物から船元Ⅲ式に併行する時期と考えられ、炭化種子の年代値からB C 3100~3010年ないしB C 3090~2920年となる。

【自然科学分析結果】

① C 14放射性炭素年代測定 (AMS)

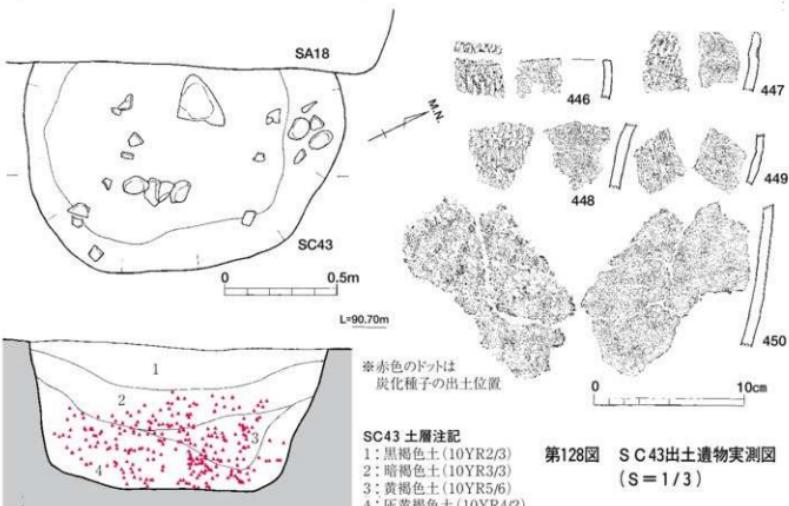
1. 試料

S C 43、埋土底部 炭化種子（イチイガシ）

S C 43、埋土底部 炭化種子（イチイガシ）

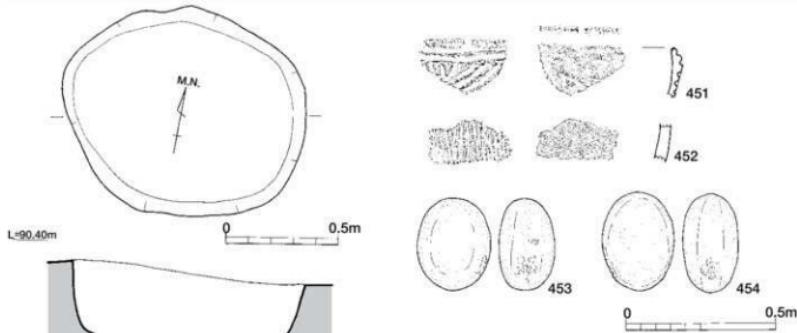
2. 分析結果

加速器質量分析 (AMS) 法による放射性炭素年代



第127図 S C 43実測図 (S = 1/20)

第128図 S C 43出土遺物実測図 (S = 1/3)



第129図 S C 51実測図 (S = 1/20)

第130図 S C 51出土遺物実測図 (S = 1/3)

測定の結果、No 2 の炭化種実（イチイガシ）では 4430 ± 40 年 B.P. (1σ の暦年代で B.C. 3100~3010年)、No 3 の炭化種実（イチイガシ）では 4400 ± 40 年 B.P. (1σ の暦年代で B.C. 3090~2920年) の年代値が得られた。なお、No 3 では放射性炭素年代測定値よりも暦年代の年代幅がかなり大きくなっているが、これは該当時期の暦年代較正曲線が不安定なためである。

S C 51 (第129~130図)

F 17グリットに位置し、土坑群（I群）中にある。土坑の大きさは長径 1.1 m、短径 0.9 m、検出面からの深さは最大 0.4 m を測る。断面形は箱型であるが、底面は全体的に緩く凹む。

遺物は、V・VI類土器と石錐がある。出土遺物から S C 51は、船元Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 52 (第131~132図)

E 16グリットに位置し、土坑群（I群）にある。隅丸方形に近い土坑で、大きさは長径1.4m、短径1m、検出面からの深さは0.45mを測る。四隅を掘立柱建物の柱穴で切られている。断面形は逆台形であるが底面は全体的に緩く凹む。

底面付近には、16個の石錘がまとめて出土した。この石錘は、不揃いではなく、あるまとまりを有することから石錘を装着した魚網を廃棄したまたは、保管した土坑の可能性がある。

そのほか、覆土中よりVI類土器が出土した。

出土遺物からS C 52は、船元Ⅲ式～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 53 (第132図)

C 17グリットに位置し、土坑群（B群）にある。

土坑の大きさは、長径1.2m、短径0.9m、検出面からの深さは0.15mを測る。断面形は逆台形である。なお、遺構検出面は第Ⅲ～Ⅳ層ではなく、第Ⅵ層上面である。覆土の特徴と出土遺物から縄文中期の土坑と判断した。

覆土中よりVI類土器と石錘が出土している。

出土遺物からS C 53は、船元Ⅲ式～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 56 (第133~135図)

E 18グリットに位置し、土坑群（J群）にある。

土坑の大きさは長径1.4m、短径1.15m、検出面からの深さは0.75mを測り、他の土坑より深い。

S C 56南側には、縄文時代中期の覆土を有する小穴が検出され、S C 56はこの小穴を切っている。

遺物は覆土中位と床面の大きく2箇所でまとまった状況で出土した。V・VI類土器と打製石斧、二次加工剥片、石錘、石核、剥片、磨石、敲石、石皿、石斧等石器類と、約0.15～0.2m大の円礫、角礫が混在している。その出土状況から土坑西側から複数回の投棄によるものと判断される。

出土遺物からS C 56は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 63 (第136図)

F 23グリットに位置し、土坑群（Q群）にある。土坑の両端をS B 44の柱穴で失われる。

土坑の大きさは、長径1.3m、短径1.04m、検出面からの深さは0.54mを測る。断面形は逆台形ないし箱形に近い。底面はへいたんである。

遺物は、中部付近で集中して出土した。VI類土器口縁部や胴部を中心に、石核や敲石と石錘がある。底部とスクレイバー、石核、剥片、石錘、敲石とい

出土遺物からS C 63は、船元Ⅲ式～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 64 (第137~138図)

C 17グリットに位置し、土坑群（B群）にある。

土坑の大きさは、長径1.1m、短径0.9m、検出面からの深さは0.5mを測る。断面形は逆台形をなすが、底面の中央部は浅くぼんでいる。

遺構覆土は、上層に黒褐色土、下層に暗褐色粘質土が堆積している。ともに硬質でK-Ah粒子や炭化物を多く含む。

遺物は特に底面付近で集中して出土した。V・VI類底部とスクレイバー、石核、剥片、石錘、敲石といった石器類、約0.1m大の棒状、円状礫である。また、埋土全体に赤変を受けた碎片が多く検出された。

出土遺物からS C 64は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 65 (第139~第140図)

F 18グリットに位置し、土坑群（J群）にある。

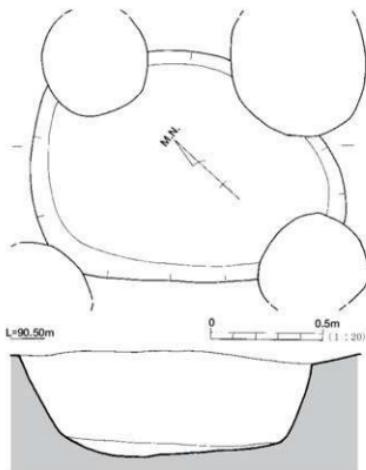
土坑の大きさは長径1.3m、短径1m、検出面からの深さは0.5mを測る。断面形は箱形を呈する。

遺物は、覆土中位を中心で出土した。V類土器と剥片、石錘、敲石、石皿、台石類がある。また、土坑東側の長軸方向に約0.15～3m大の扁平な尾鈴山酸性岩の円礫がまとまって出土している。

出土遺物からS C 65は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 66 (第141~第142図)

E 18グリットに位置し、土坑群（J群）にある。



第131図 S C52実測図及び出土遺物実測図 ($S=1/3 \cdot 1/20$)

土坑の大きさは長径1.3m、短径1m、検出面からの深さは0.45mを測る。断面形は逆台形をなすが、底面の中央部は浅く凹む。土坑東側の床面は若干高くなる。

遺物は覆土中より、V・VI類土器と剥片、石錘及び約0.1m大の円礫があげられる。

出土遺物からS C66は、船元II・III式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C69 (第143~第144図)

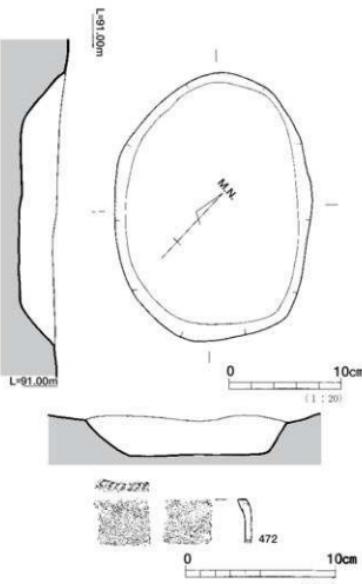
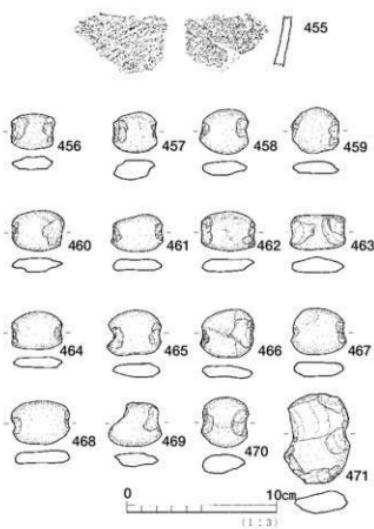
E19グリットに位置し、土坑群（J群）中にある。隅丸方形に近い土坑で、大きさは長径1.45m、短径1.15m、検出面からの深さは0.55mを測る。断面形は箱形となる。土坑の北東側に円形の小穴が接しているが、切り合いは不明である。

遺物は、覆土中位を中心として全体的に散漫に出土した。V・VI類土器とスクレイパー、二次加工剥片、剥片、石核、磨石がある。

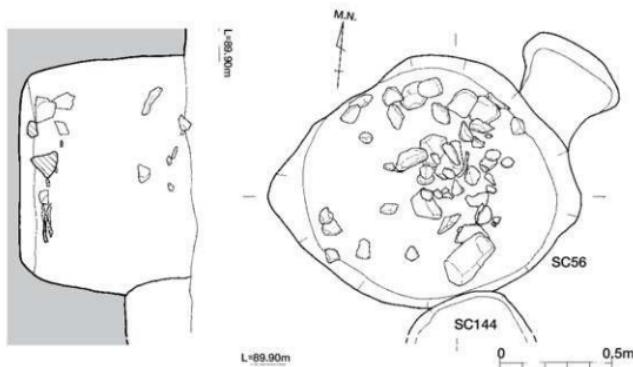
出土遺物からS C69は、船元II～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

S C70 (第145~146図)

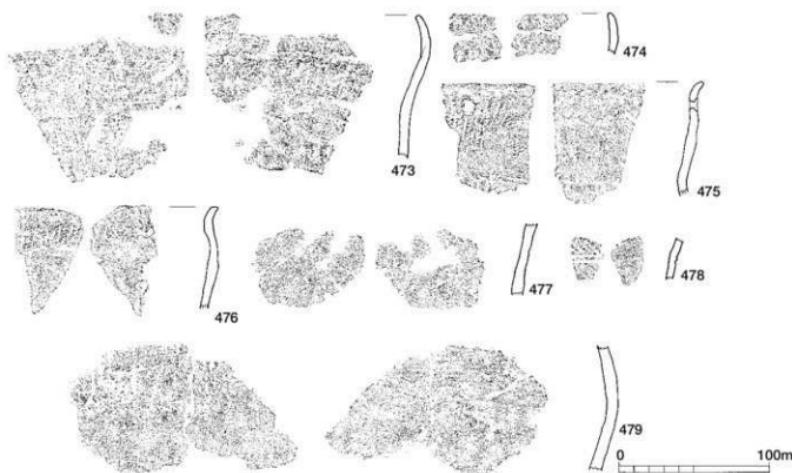
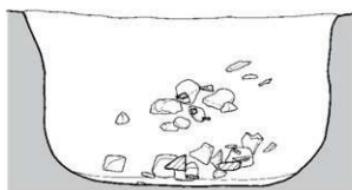
B15グリットに位置し、土坑群（A群）中にある。土坑の大きさは長径1m、短径0.8m、検出面からの深



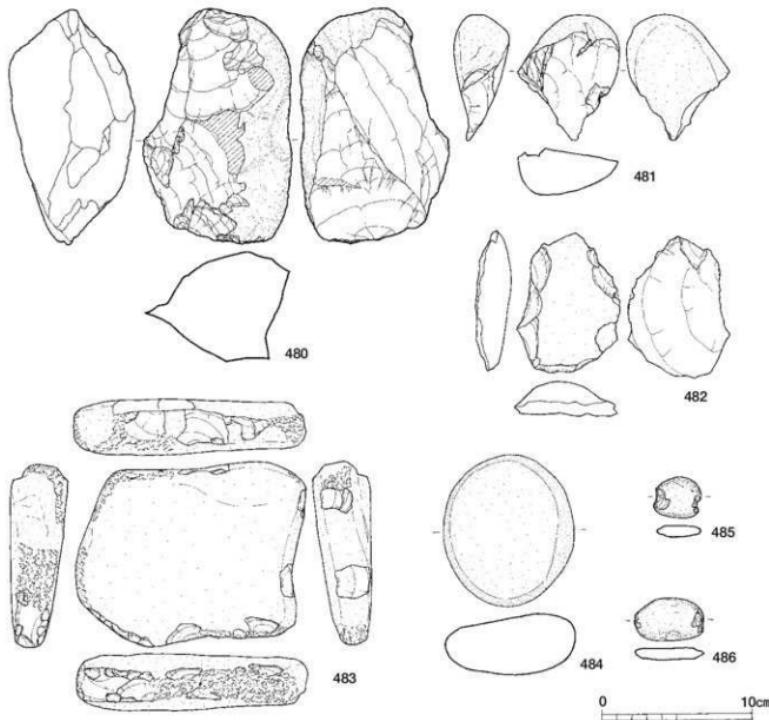
第132図 S C53実測図及び出土遺物実測図 ($S=1/3 \cdot 1/20$)



第133図 SC56実測図 (S = 1/20)



第134図 SC56出土遺物実測図〔1〕(S = 1/3)



第135図 S C 56出土遺物実測図〔2〕(S=1/3)

さは最大0.25mを測る。壁面の立ち上がりは垂直な部分と緩やかな部分があり、底面は平坦である。

遺物は、検出面付近から覆土中位を中心として出土した。V類土器と石錐、剥片類がある。

出土遺物からS C 70は、船元Ⅱ式に併行する時に属する可能性が高い。

S C 78 (第147~148図)

C 19グリットに位置し、土坑群（C群）中にある。土坑平面形は梢円形だが一部隅丸をなす。大きさは長径1m、短径0.85m、検出面からの深さは0.7mを測る。平面規模の割りに深いのが特徴である。

遺物は主に覆土上層で、約0.2m大の扁平な円碟を初

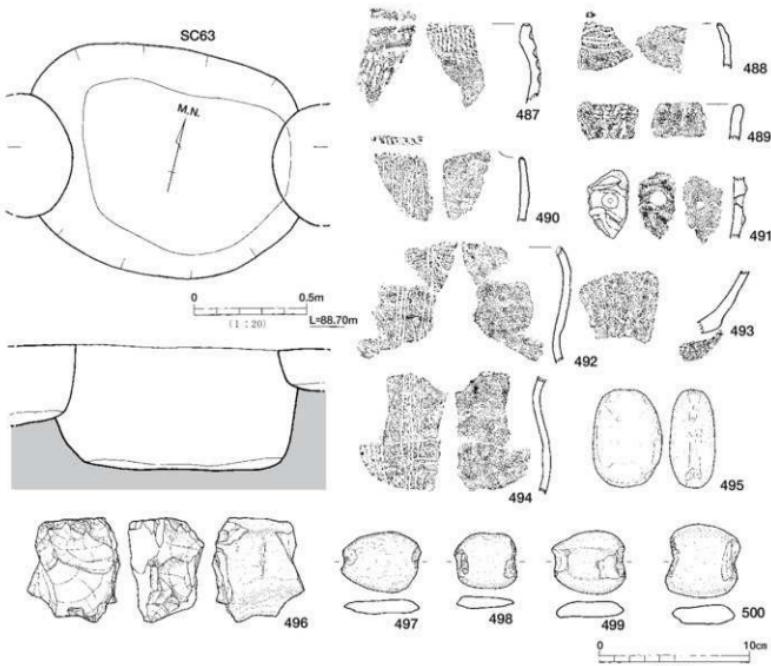
めとしてVI類土器や石錐、敲石、石皿、台石が出土した。また、底面で約0.2m大の円碟が検出された。円碟はすべて尾鈴山酸性岩である。

出土遺物からS C 78は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 94 (第149~150図)

D 21グリットに位置し、土坑群（D群）中にある。土坑の大きさは長径1.2m、短径1.1m、検出面からの深さは0.7mを測る。他の土坑と比べて底面の広さが狭いのが特徴的である。また、壁面中途にテラスを有し、二段掘りの掘り方をなす。

遺物は、覆土中位を中心として全体的に散漫に出土



第136図 S C 63実測図及び出土遺物実測図 ($S = 1/3 \cdot 1/20$)

した。V・VI類土器と剥片がある。

出土遺物からS C 94は、船元Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 105 (第151~152図)

F 16グリットに位置し、土坑群（O群）中にある。やや円形に近い楕円形の土坑で、大きさは長径1.25m、短径1.1m、検出面からの深さは0.4mを測る。他の土坑と比べてやや浅めである。底面の隅に直径0.25mのごく深い小穴を有する。

遺物は、底面とやや浮いた位置で出土している。V類土器と土器片錐、二次加工剥片、剥片、磨石、石皿、台石と約0.2mの大の扁平な尾鈴山酸性岩の円礫と約0.2mの大の砂岩と頁岩の棒状礫がある。特に礫がまとまりをもって出土しているのが特徴的である。

出土遺物からS C 105は、船元Ⅱ式に併行する時期

に属する可能性が高い。

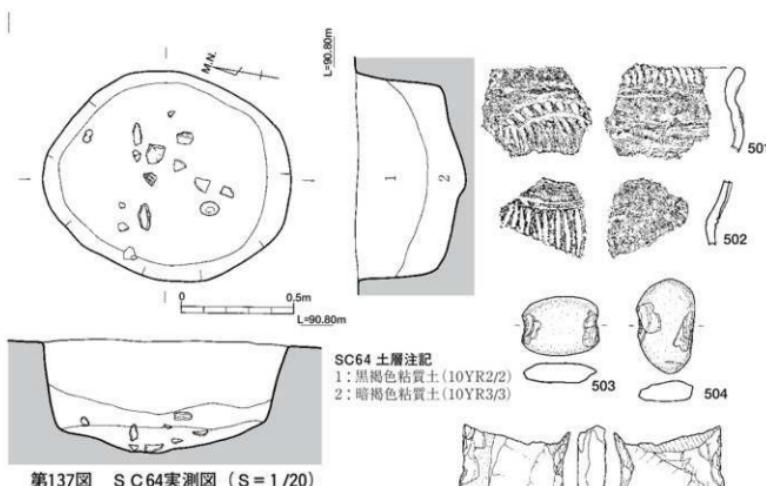
S C 106 (第153~154図)

F 17グリットに位置し、土坑群（I群）中にある。土坑の大きさは長径1m、短径0.9m、検出面からの深さは0.4mを測る。断面形は逆台形を呈する。遺物は、覆土中位を中心に出土した。特に中央部に約0.15m大の赤化した円礫の下に縄文土器深鉢がまとまって出土した。V・VI類土器と打製石斧、スクレイバー、剥片がある。

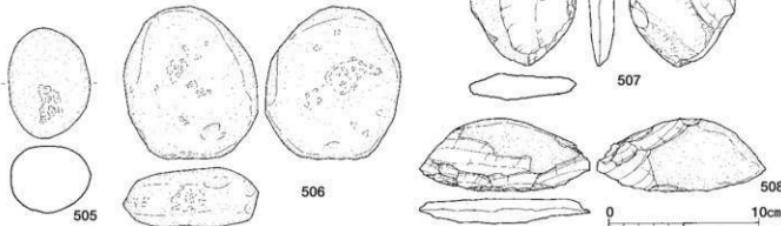
出土遺物からS C 106は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 120 (第155~156図)

F 17グリットに位置し、土坑群（P群）中にある。土坑の大きさは長径1m、短径0.9m、検出面からの深



第137図 S C 64実測図 (S = 1/20)



第138図 S C 64出土遺物実測図 (S = 1/3)

さは0.35mを測る。断面形は逆台形を呈する。

遺物は、造構検出面から覆土中位を中心に出土した。V・VI類土器と石錐、磨石、敲石といった石器類がある。他に約0.1m大の球状の円礫や赤変を受けた角礫がある。この礫は砂岩が多かった。

出土遺物からS C 120は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 131 (第157図)

G23グリットに位置し、土坑群（Q群）中にある。土坑の大きさは長径1.25m、短径1.05m、検出面からの深さは0.65mを測る。

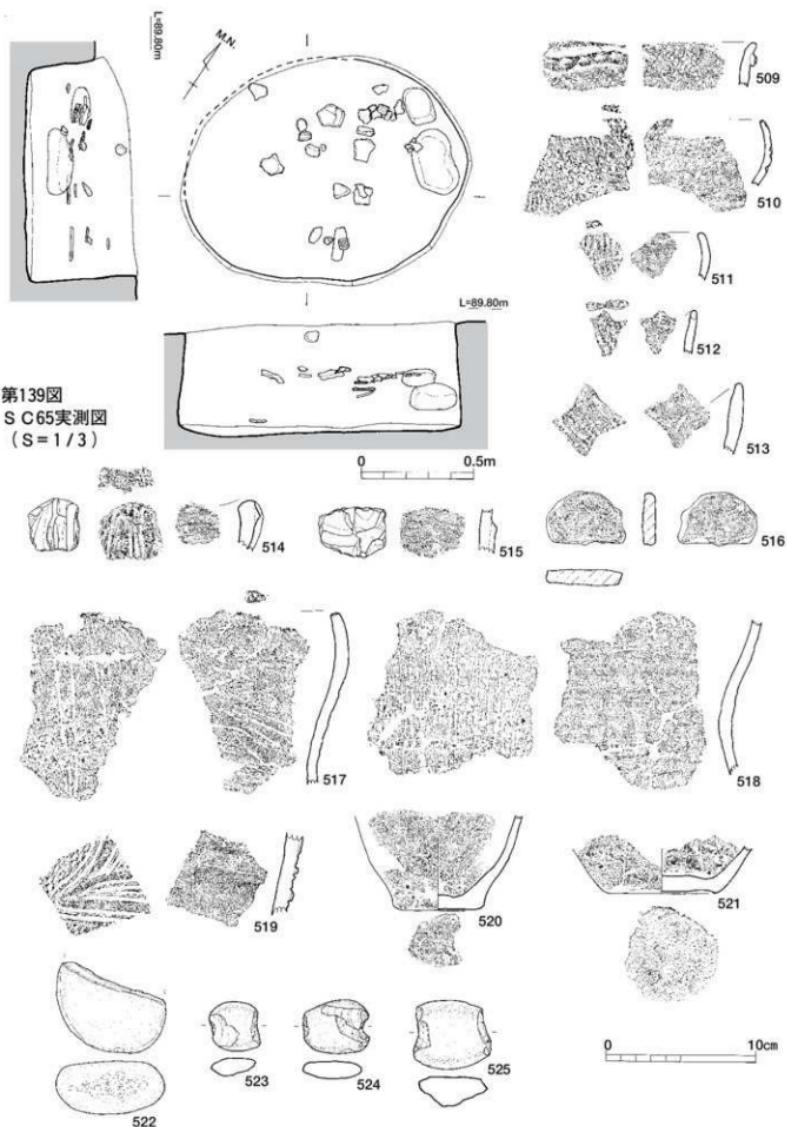
遺物は、特に覆土中位から底面にかけて出土した。覆土中位付近では、V・VI類土器と石錐、磨石、敲石が、底面では約0.15~2m大の円礫が検出されている。円礫は赤変を受けた砂岩である。

出土遺物からS C 131は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

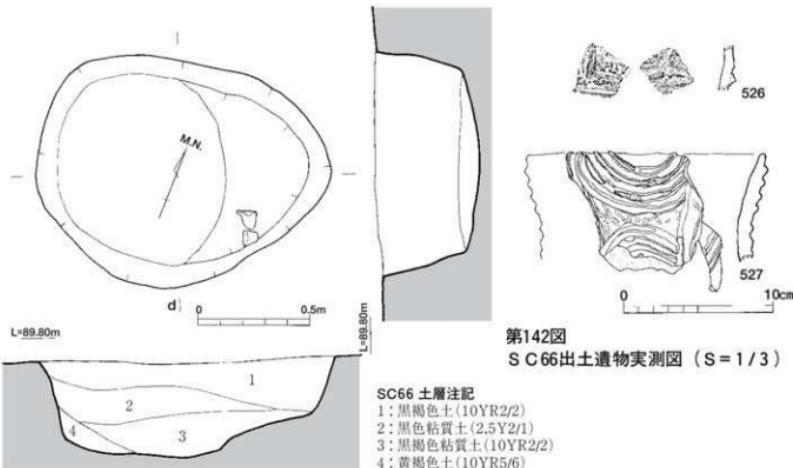
S C 141 (第158~159図)

G18グリットに位置する。単独で検出され、土坑群を形成していない。

土坑の大きさは長径1.2m、短径0.9m、検出面からの深さは0.15mを測り、他の土坑と比べて浅い。



第139図 S C 65実測図 (S = 1 / 3)



第141図 S C 66実測図 (S = 1/20)

土坑底面中央には、約0.15~0.2m大の円窪、角窪が環状に配置され、その周辺に縄文土器深鉢破片（V・VI類土器）が散乱していた。

礫や土器破片が出土する部分の底面は硬化が著しく、焼土粒や炭化物がわずかに認められる。

円窪や角窪の石材は、尾鈴山酸性岩や砂岩で、赤変が著しく、部分的にタールが付着していた。

出土遺物からS C 141は、船元Ⅱ~春日式北手牧段階式に併行する時期に属する可能性が高い。

また、この土坑は、恐らく石囲い炉としての性格を有する可能性がある。

S C 146 (第160~161図)

D17グリットに位置し、土坑群（B群）中にある。

土坑の大きさは長径1.25m、短径1m、検出面からの深さは0.2mを測る。断面形は逆台形である。

覆土中よりV類土器と石核、剥片、敲石が、底面付近からは、石錐10個まとめて出土した。

出土遺物からS C 146は、船元Ⅱ式に併行する時期に属する可能性が高い。石錐がまとめて出土したことからS C 52と似た性格を有すると想定される。

III : C類

平面椭円形で、その長軸線上に円窪または方形の張り出し部がつくもの。平面規模は直径（長径）約1.8m前後、検出面からの深さは0.6~0.7を測る。

ただ、C類は、掘り方の大きさや遺物の出土位置や構成はA類やB類と近似していることから別構造との複合（切りあい関係）を誤認した可能性を残す。

S C 11 (第162~164図)

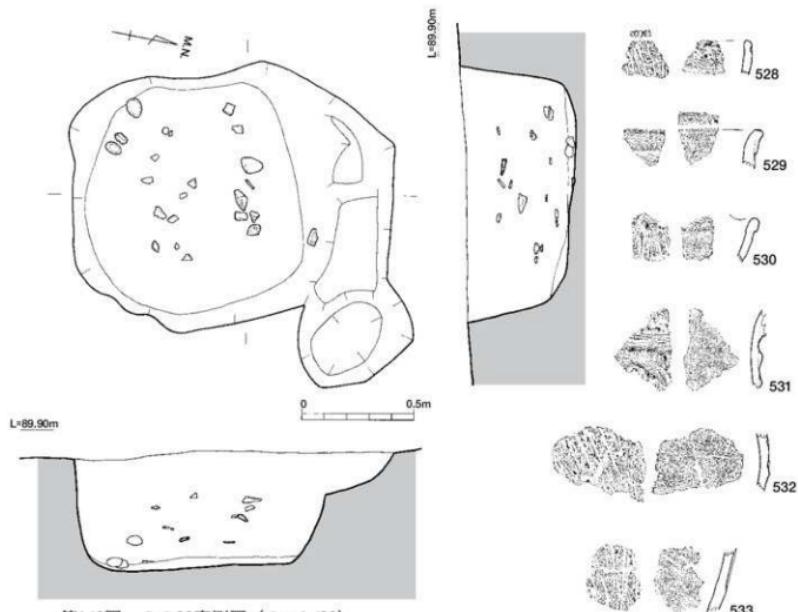
F15グリットに位置し、土坑群（O群）中にあり、S A 8を切っている。

大きさは長径1.85m、短径1.2m、検出面からの深さは0.7mを測る。方形の張り出しと二段の掘り方を呈している。

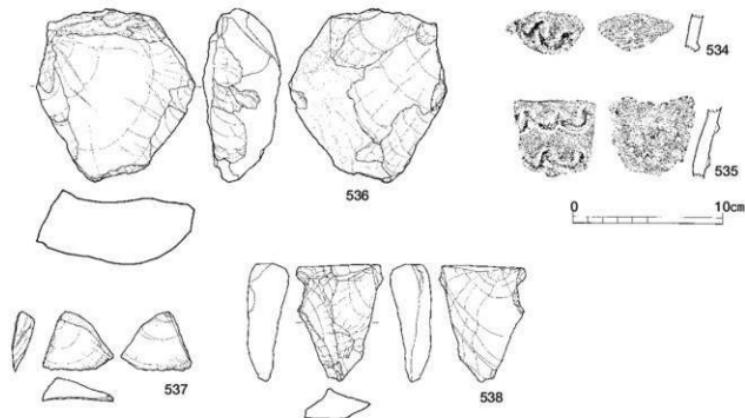
遺物は、土坑底面とやや浮いた位置で出土している。主な遺物は、V類土器片とスクレイバーや石錐、石錐、台石、剥片と石核および約0.3m大の扁平な尾鈴山酸性岩の円窪と約0.1m大の尾鈴山酸性岩や砂岩の赤変を受けた角窪がある。

土器や石器は窪の出土位置に比べ、やや上位で集中していた。

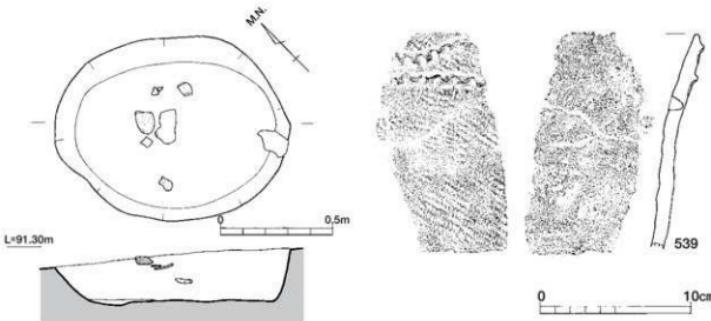
出土遺物からS C 11は、船元Ⅱ式に併行する時期に



第143図 SC 69実測図 (S = 1 /20)



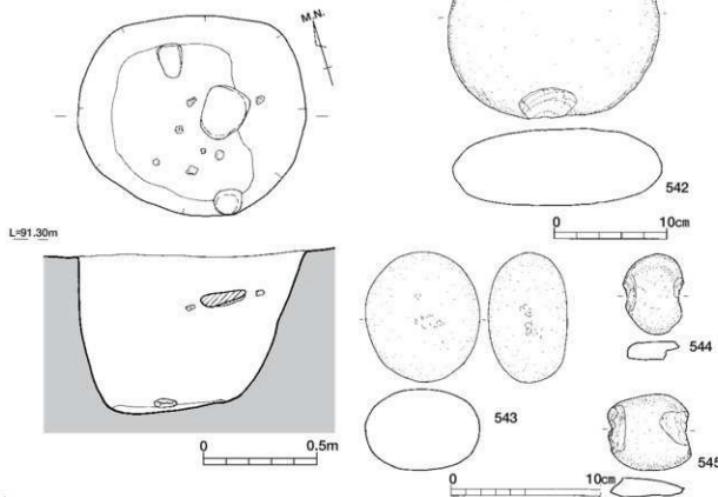
第144図 SC 69出土遺物実測図 (S = 1 /3)



第145図 S C 70実測図 (S = 1 /20)

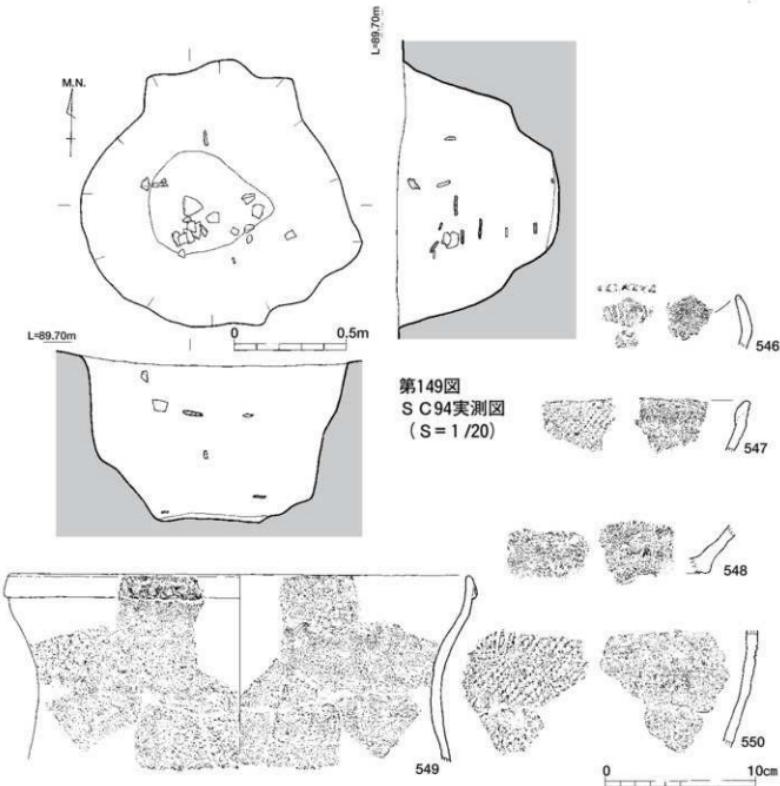


第146図 S C 70出土遺物実測図 (S = 1 /3)



第147図 S C 78実測図 (S = 1 /20)

第148図 S C 78出土遺物実測図 (S = 1 /3)



第150図 S C 94出土遺物実測図 ($S = 1/3$)

属する可能性が高い。

S C 62 (第165~166図)

C 16グリッドに位置する。周辺には土坑は隣接せず、土坑群を形成しない単独立地の土坑である。

平面形は、隅丸方形に近い楕円形で、西側に不整形な張り出し部が接続する。大きさは長径1.8m、短径1.1m、検出面からの深さは0.8mを測る。底面付近はさらに一段掘り込まれている。

遺物は、検出面から土坑底面へと覆土全体に広がって出土している。主な遺物はV・VI類土器片と二次加

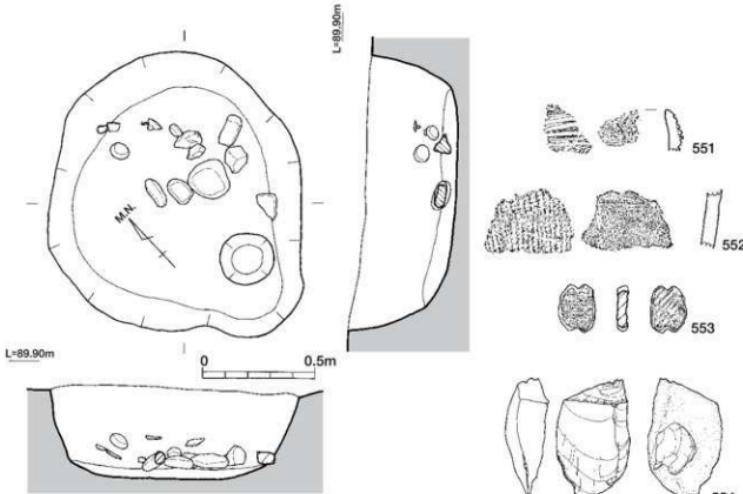
工剥片や鋸片、石錐、敲石といった石器類及び約0.1m大の円錐と角蝶がある。

出土遺物からS C 62は、船元Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

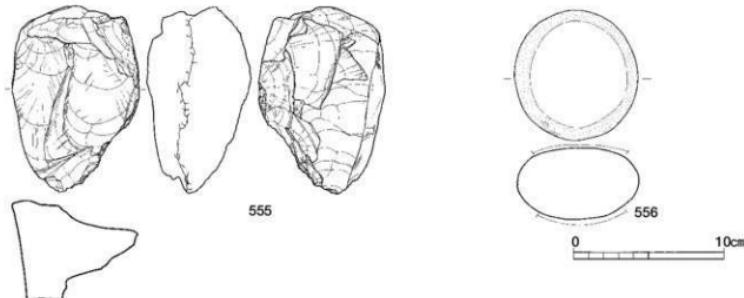
S C 79 (第167~第168図)

C 19グリッドに位置し、土坑群(C群) 中にある。平面形は楕円形で、南側に浅く掘り広げられている。大きさは長径1.4m、短径0.95m、検出面からの深さは0.65mを測る。断面形は逆台形を呈する。

遺物は、主に覆土中位と底面付近で出土した。埋土



第151図 SC 105実測図 (S = 1/20)



第152図 SC 105出土遺物実測図 (S = 1/3)

中位付近はVI類土器破片と約0.1m大の赤変をうけた砂岩の角礫が、底面では約0.2m大の球状の礫や棒状の頁岩や尾鈴山酸性岩の礫が出土する傾向がある。

出土遺物からSC 79は、船元Ⅲ式～春日式北手牧段階に併行する時期に属する可能性が高い。

IV : D類

平面プランは、不整な円形、長椭円形または不整な長椭円形をなし、長軸線上の一端に石を1個ないし複数個出土しているもの。直径(長軸)0.9mと1.5~2m、深さ0.2~0.3と0.5m前後を測る。

D類の土坑は、他分類の土坑に比して、大きさの割りに掘り方が極端に浅く、出土遺物は約0.3~0.4mの大の石を1個ないし複数個と完形の深鉢形土器のみなど、内容が異なっているのが特徴である。

なお、D類土坑は平面プランの形状や大きさによって細分も可能だが、それぞれ少数の検出例にとどまるので敢えて一括した。

S C 2 (第169~170図)

F 15グリットに位置し、土坑群(N群) 中にある。平面形は不整な椭円形である。土坑の西側に別造構の小穴と切りあうが、その前後関係は不明である。

土坑の大きさは長径1.5m、短径1.1m、検出面からの深さは0.35mを測る。

遺物は縄文土器の深鉢（V類）が1個体と尾鈴山酸性岩の円礫（巨礫）1個が出土している。この深鉢は口縁部と底部を欠失しているが、口縁部方向を南に向けた横位の状態で検出面付近で出土した。また、土器の底部付近には8箇所の補修孔がある。

なお、造構実測図中では円礫の図示はしていない。これは図化前に誤って除去したためである。

円礫は凡そ土坑の東端で出土し、土器の出土レベルと同じ位置であった。約0.3m大と考えられる。

その他の遺物として土器片錐と剥片が出土した。

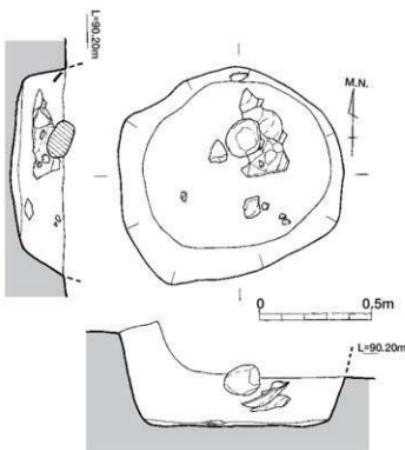
出土遺物からSC2は、船元II・III式に併行する時期に属する可能性が高い。

SC7 (第171~172図)

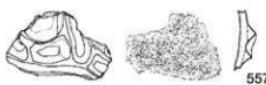
F14グリットに位置し、土坑群（M群）中にある。

平面形は楕円形ないし方形を基調としているが西側は不整形な掘り込みをなす。

土坑の大きさは長径2m、短径1.1m、検出面からの深さは0.15mを測る。土坑の北側で、尾鈴山酸性岩類の石皿が1個横位で出土した。



第153図 SC 106実測図 ($S = 1/20$)

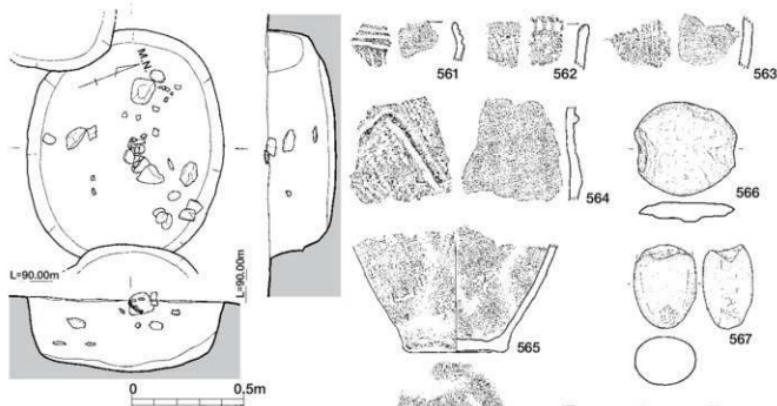


557

558

10cm

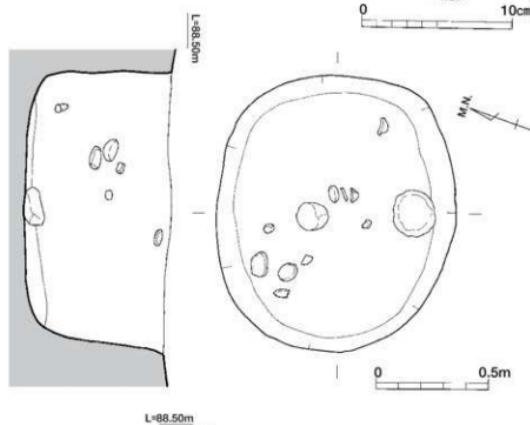
第154図 SC 106出土遺物実測図 ($S = 1/3$)



第155図 SC 120実測図 (S = 1/20)



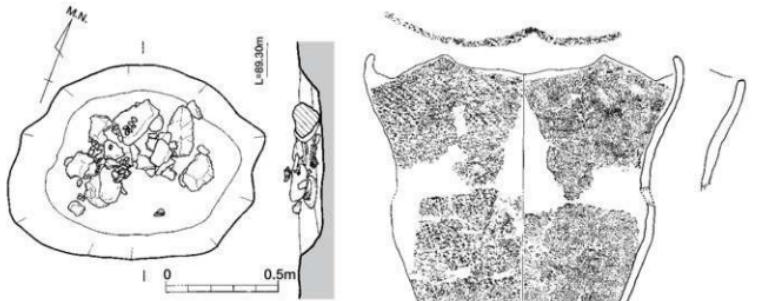
第156図 SC 120出土遺物実測図 (S = 1/3)



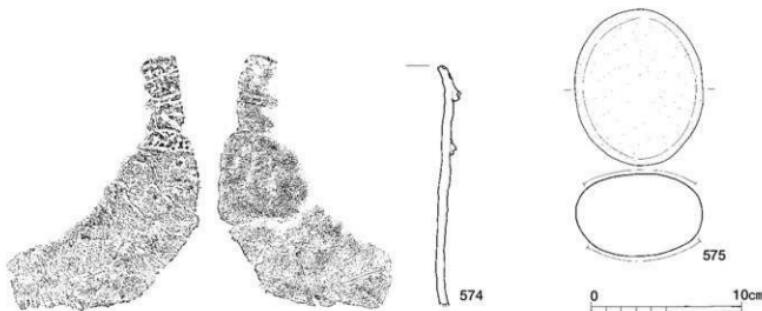
第157図 SC 131実測図 (S = 1/3)

SC131 土層注記

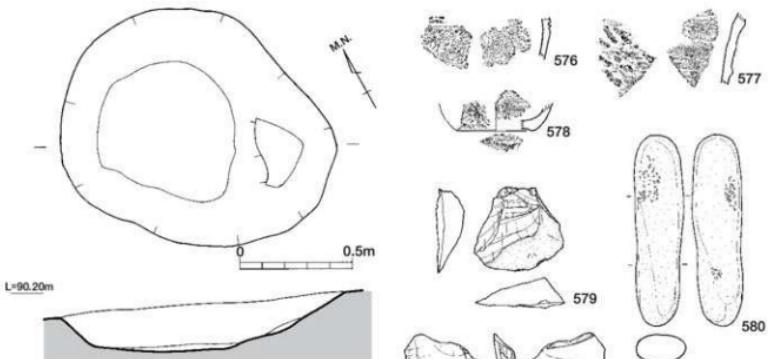
- 1: 褐灰黄色土 (2.5Y4/2)
粘性ややあり、しまりはやや弱い。
土器・石器及び炭化物を粗らに含む。
- 2: 黒褐色土 (10YR3/2)
粘性強く、しまり良い。
褐色土ブロック (1cm大以下) を多く含む。
- 3: 棕色土 (10YR4/6)
粘性強く、しまり良い。
褐色土ブロック (1cm大以下) を粗らに含む。
土器・石器片の混入も著しい。
- 4: 黑色粘質土 (2.5Y4/1)
粘性強く、硬質である。人頭大の凹窪を含む。



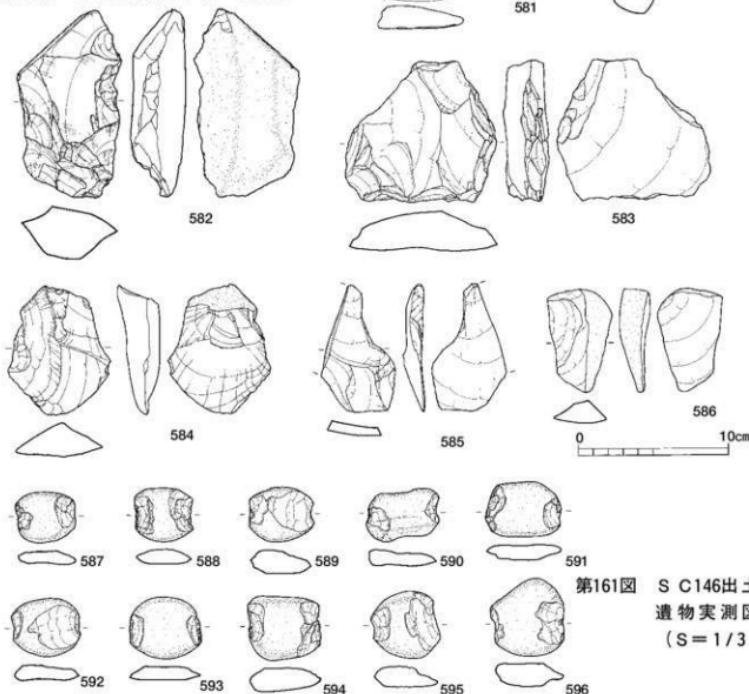
第158図 S C 141実測図 (S = 1 / 20)



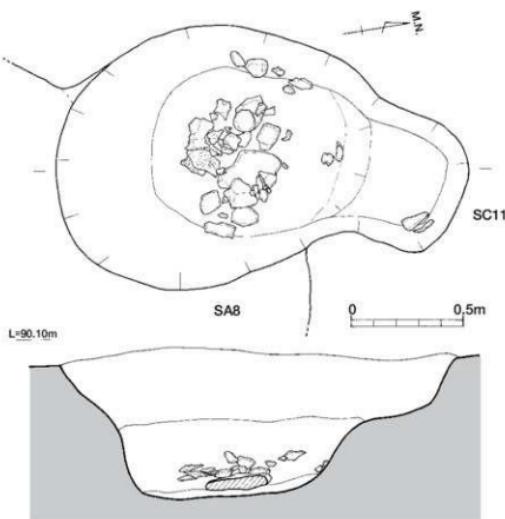
第159図 S C 141出土遺物実測図 (S = 1 / 3)



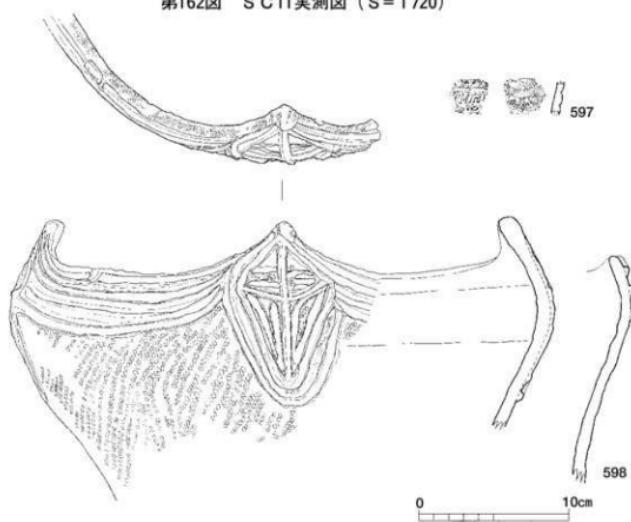
第160図 SC 146実測図 ($S = 1/20$)



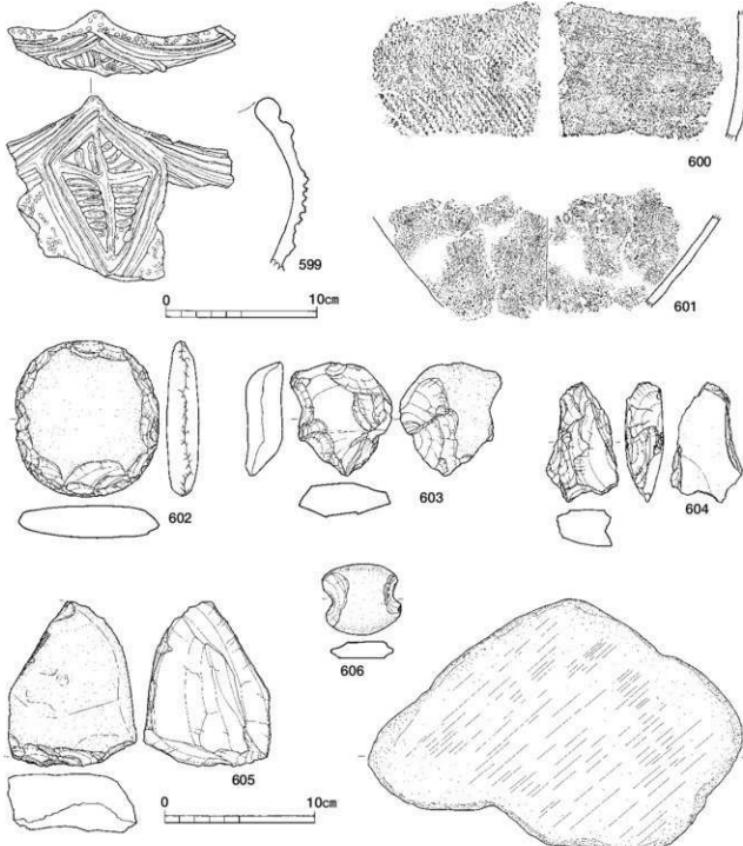
第161図 SC 146出土
遺物実測図
($S = 1/3$)



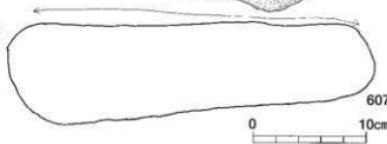
第162図 SC11実測図 (S = 1 / 20)

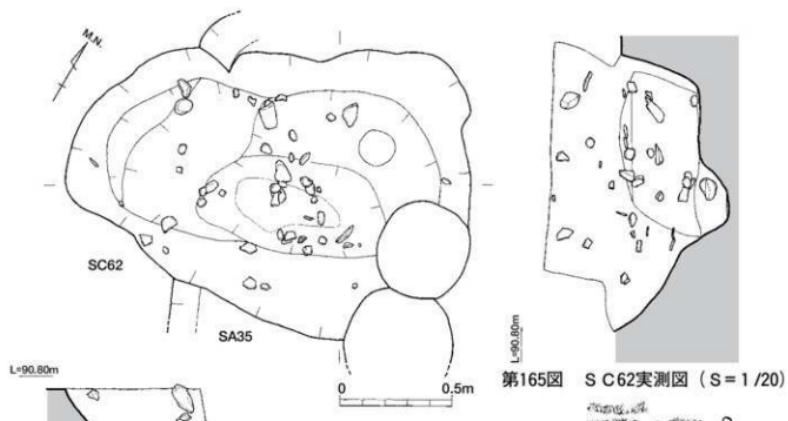


第163図 SC11出土遺物実測図〔1〕(S = 1 / 3)

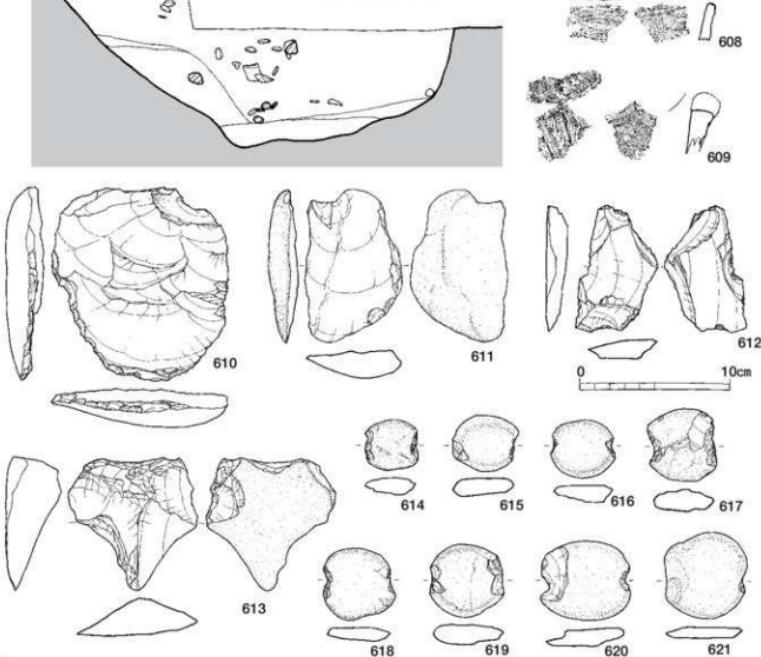


第164図 SC 11出土遺物実測図〔2〕(S=1/3)

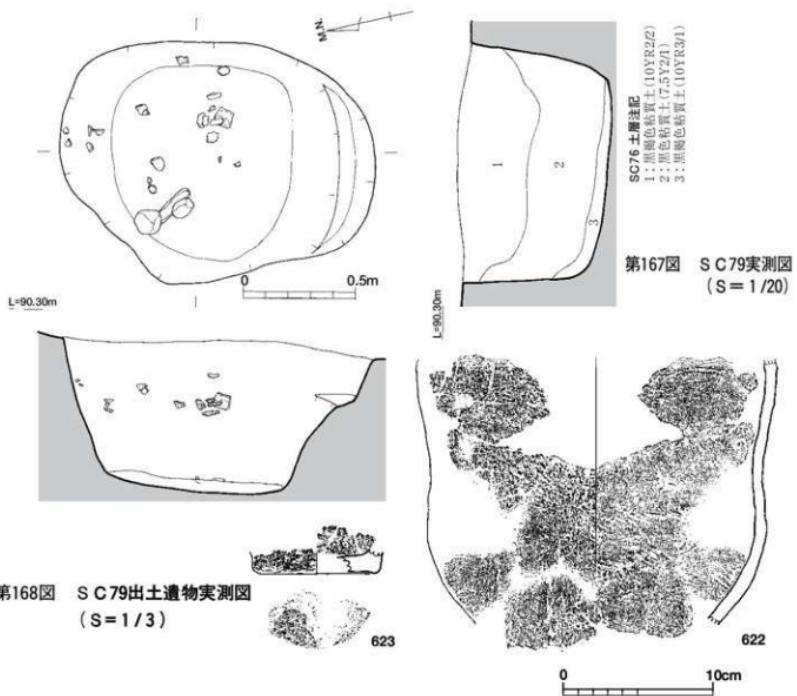




第165図 S C 62実測図 (S = 1 / 20)



第166図 S C 62出土遺物実測図 (S = 1 / 3)



第168図 S C 79出土遺物実測図
(S = 1/3)

その他の遺物は、覆土中よりV類土器と土器片錐、石核と石錐がある。

出土遺物からS C 79は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

S C 44 (第173図)

【遺構の状況】

E 15グリットに位置し、土坑群(H群)中にある。平面プランは、長楕円形である。大きさは長径1.5m、短径0.85m、検出面からの深さは0.2mを測る。土坑の南側で約0.3m大で厚さ0.1mの尾鈴山酸性岩の円礫(巨礫)が1個出土した。

自然科学分析結果では、何らかの生物遺体の存在が推定されている。

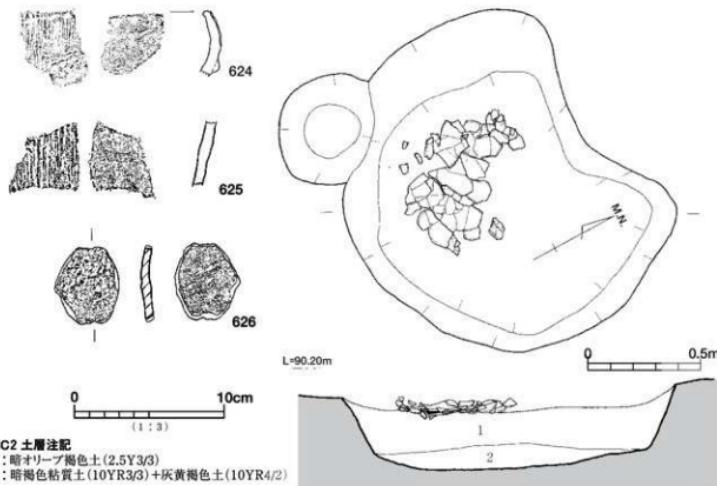
遺物は皆無であるが、S C 44は、覆土の類似性から他の土坑と同じ縄文時代中期前後と考えられる。

【自然科学分析結果】

①植物珪酸体分析

土坑中央部の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く検出された。また、ススキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型なども検出され、部分的にキビ族型、ジュズダマ属、ヨシ属なども検出された。遺構底面(試料4)でも同様の分類群が検出されたが、メダケ節型やネザサ節型は埋土よりも比較的少量である。

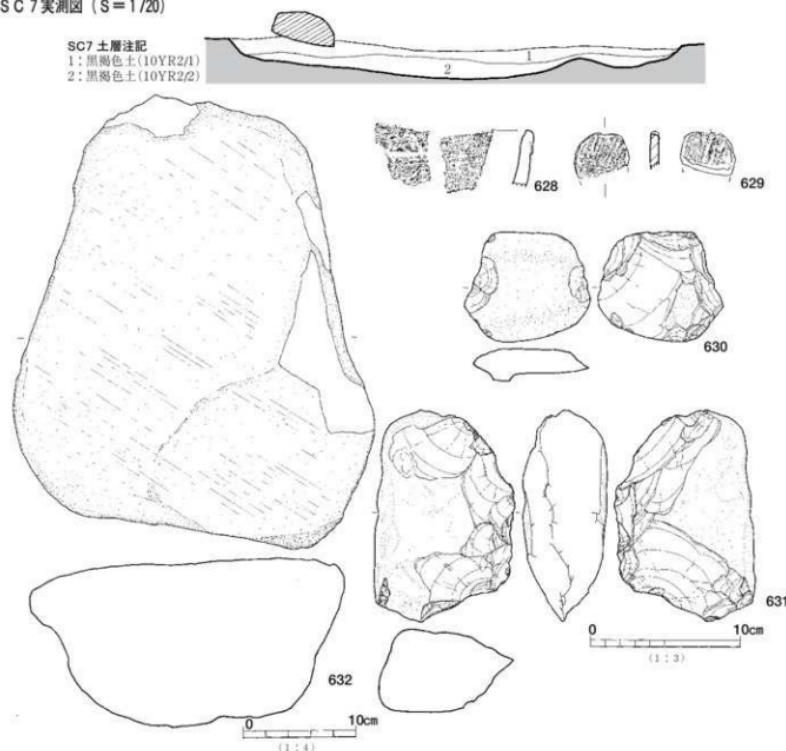
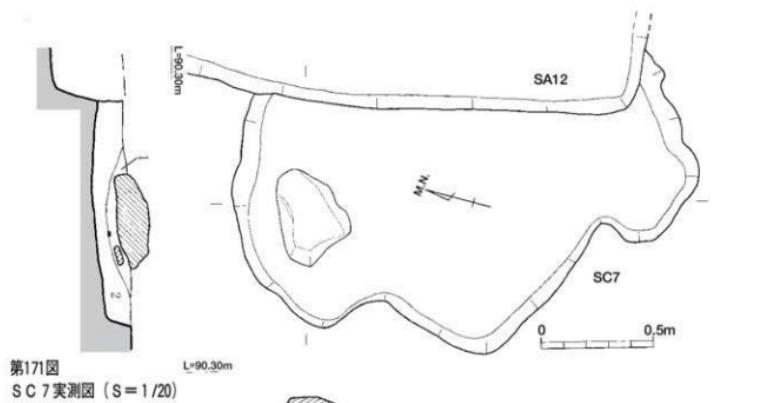
土坑南側の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く検出された。また、ススキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型などや、部分的にキビ族型やヨシ属なども検出された。遺構底面でも同様の分類群が検出されたが、メダケ節型やネザサ節型は埋土より比較的少量である。遺構外では、埋土と概ね同様の結果である。



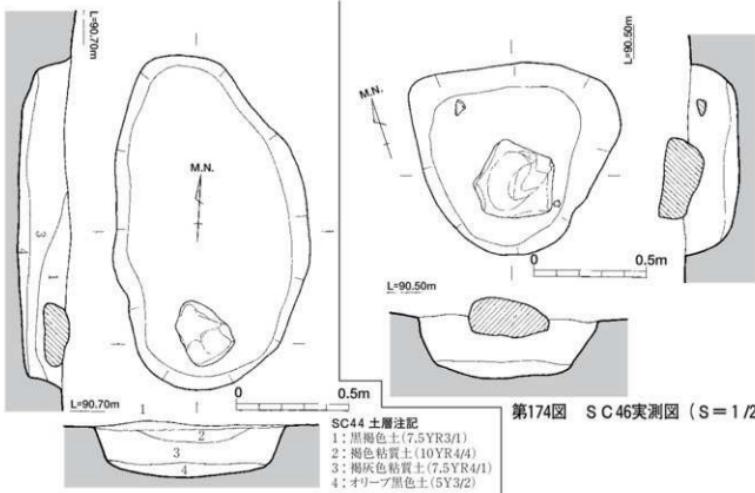
第169図 SC 2 実測図 (S = 1/20)



第170図 SC 2 出土遺物実測図 (S = 1/3 · 1/8)



第172図 SC7 出土遺物実測図 ($S = 1/3 \cdot 1/4$)



第173図 SC 44実測図 (S = 1/20)

おもな分類群の推定生産量によると、埋土ではメダケ節型やネザサ節型が卓越していることが分かる。

(※原文ではSC 45と記載)

②リン・カルシウム分析

土坑の埋土では、リン酸含量が0.66~0.97%（平均0.82%）と比較的高い値であり、遺構底面や遺構外の0.37~0.46%（平均0.42%）と比較して1.94倍と明らかに高くなっている。カルシウム含量については、比較試料との間にとくに明瞭な差異は認められなかつた。以上のことから、遺構内部にはリン酸を多く含む何らかの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。（※原文ではSC 45と記載）

S C 46 (第174図)

【遺構の状況】

F 14グリットに位置し、土坑群（N群）中にある。平面形は不整な円形か隅丸の三角形である。大きさは長径0.85m、短径0.8m、検出面からの深さは0.25mを測る。土坑の中央よりやや東側で約0.45m大で厚さ0.2mの尾鈴山酸性岩の円錐（巨礫）が1個出土した。遺物は、円錐1個と土器片（V類）である。

自然科学分析結果では、何らかの生物遺体の存在が

推定されている。

出土遺物からSC 46は、船元Ⅱ・Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

【自然科学分析結果】

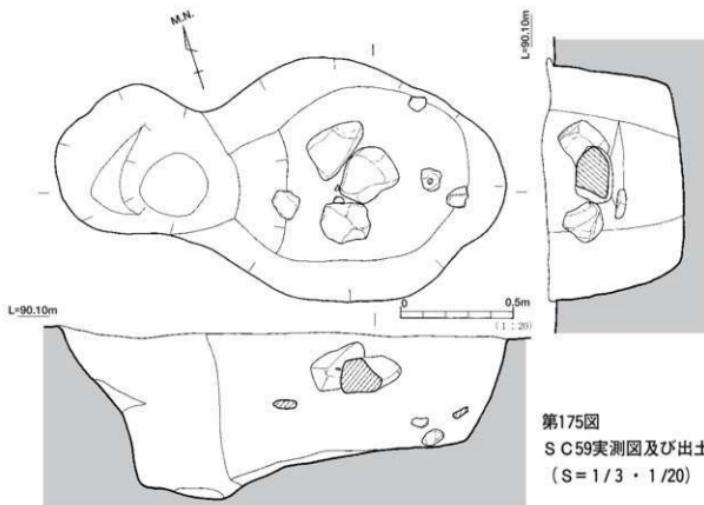
①植物珪酸体分析

土坑の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く、ススキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型なども検出された。遺構底面や遺構外でも同様の分類群が検出されたが、ネザサ節型は埋土よりも比較的少量である。

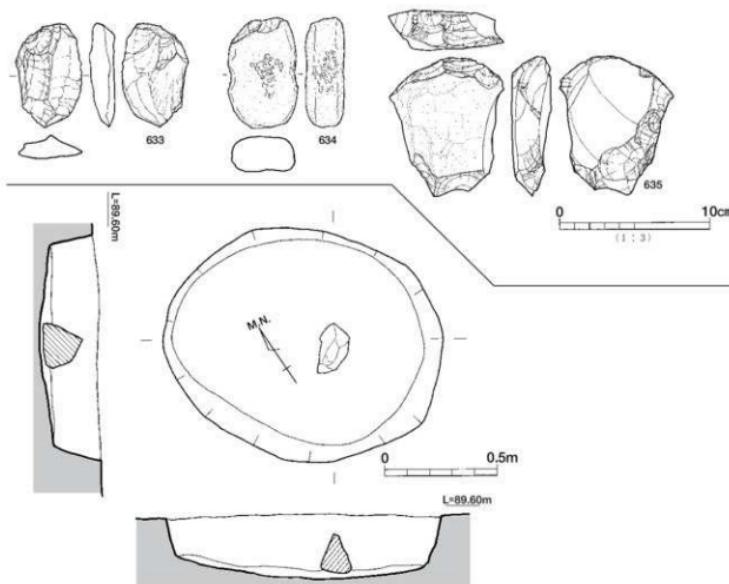
おもな分類群の推定生産量によると、埋土ではメダケ節型やネザサ節型が卓越していることが分かる。

②リン・カルシウム分析

土坑の埋土では、リン酸含量が0.47~1.08%（平均0.76%）と比較的高い値であり、遺構底面や遺構外の0.36~0.45%（平均0.41%）と比較して1.85倍と明らかに高くなっている。カルシウム含量については、比較試料との間にとくに明瞭な差異は認められなかつた。以上のことから、遺構内部にはリン酸を多く含む何らかの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。



第175図
S C 59実測図及び出土遺物実測図
(S = 1/3 • 1/20)



第176図 S C 100実測図 (S = 1/20)

S C 59（第175図）

E 19グリットに位置し、土坑群（J群）中にある。平面形は楕円形が東西方向に連結した形状をなす。

土坑の大きさは長径2.05m、短径1.1mと0.7m、検出面からの深さは最大0.7mを測る。

土坑の中央よりやや東側で約0.25m大で厚さ0.15mの尾鈴山酸性岩の円礫（巨礫）が3個組み合わせたような形で検出面よりやや下位で出土した。

そのほかの遺物は、V類土器と土器片錐、石核、剥片、敲石が覆土中より出土している。

自然科学分析結果から、生物遺体の存在が推定され、海綿骨針が検出されている。

出土遺物からS C 59は、船元Ⅲ式に併行する時期に属する可能性が高い。

【自然科学分析結果】

①植物珪酸体分析

土坑の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く、キビ族型、ススキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型などやブナ科（シイ属）も検出された。

遺構底面でも同様の分類群が検出されたが、メダケ節型やネザサ節型は埋土よりも比較的少量である。

礫下の埋土では、ネザサ節型が多量に検出され、メダケ節型も比較的多く、ススキ属型、ウシクサ族A、クマザサ属型、ミヤコザサ節型などや、埋土下部では海綿骨針も検出された。

遺構底面でも、概ね同様の分類群が検出されたが、メダケ節型やネザサ節型は埋土より比較的少量である。遺構外では、埋土とおおむね同様の結果である。

おもな分類群の推定生産量によると、埋土ではメダケ節型やネザサ節型が卓越していることが分かる。

②リン・カルシウム含量分析

土坑の埋土では、リン酸含量が0.52～1.36%（平均0.96%）と比較的高い値であり、遺構底面や遺構外の0.50～0.61%（平均0.56%）と比較して1.72倍と明らかに高くなっている。カルシウム含量については、比較試料との間にとくに明瞭な差異は認められなかった。以上のことから、遺構内部にはリン酸を多く含むむらかの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。

S C 100（第176図）

C 21グリットに位置し、土坑群（D群）中にある。平面プランは長楕円形である。大きさは長径1.25m、短径1.05m、検出面からの深さは0.3mを測る。土坑の中央よりやや離れて約0.2m大のホルンフェルスの角礫が1個、底面付近で出土した。

その他、覆土中よりV類土器と石錐が出土した。

S C 132（第177～178図）

F 23グリットに位置し、土坑群（Q群）中にある。

平面形は円形プランで、大きさは直径1.45m、検出面からの深さは0.45mを測る。

土坑の中央付近で、尾鈴山酸性岩類の台石2点が、周辺に約0.2m大の同じ石材の円礫がまとまって出土している。その出土レベルは検出面よりやや下位の部分にあたる。

遺物は、台石以外にVI・VII類土器底部とスクレイバー、磨石が出土した。

S C 140（第179～180図）

E 17グリットに位置し、土坑群（I群）中にある。

S C 51の東側に位置する土坑である。

平面形は、隅丸方形に近い円形で、大きさは直径1.15m、検出面からの深さは0.45mを測る。

土坑底面の北寄り中央部分で、縄文土器深鉢（V類）の完存品が、口縁部を北に向かって、横位の状態でやや底面より浮いた状態で出土した。土器表面には赤色顔料の塗布が見られ、土器内部の埋土中には1mm大の白色粒がやや密に混入していた。

そのほか、尾鈴山酸性岩の円礫（巨礫）1個が土坑の南側で出土している。S C 2同様、図中では円礫の図示はしていない。これも図化前に誤って除去したためである。円礫は土坑検出面で出土した。大きさは約0.3m大と考えられる。

出土遺物からS C 140は、船元Ⅲ～春日式北手歩段階式に併行する時期に属する可能性が高い。

9 包含層（第Ⅲb層）の遺物

【遺物包含層の状況】

第Ⅲb層は、遺存の濃淡や残存層厚の多少はあるが、A調査区の北半部全体に遺存していた。

その中で遺物の出土量が多い傾向が認められるのは、A区北西部と中央部2箇所であった。

北西部では、特に竪穴住居群や土坑群（H・I・M・N・O・P・R群）を中心とする部分、つまりE14～17、F14～17、G14～16グリットである。

A区中央部分では、J土坑群（E18・19、F18・19）付近が特に遺物量が多い傾向にある。その他のグリットでは、極端に出土量が異なることから、包含層の遺物出土量が多いグリットと、土坑群や竪穴住居群の集

中域が重なる傾向がある。

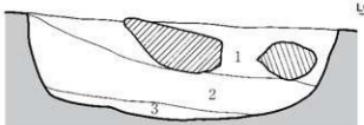
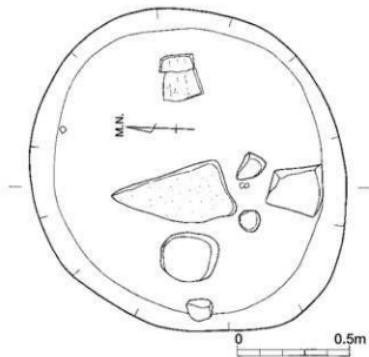
本来ならば、グリット単位の遺物量とその構成を提示しなければならないが、紙数の都合で割愛した。

第182~185図は、第Ⅲ b層出土遺物を土器、石器ごとに網羅的に図化掲載した。ただ、石器については縄文中期以降（後期～晩期）の遺物を含む可能性がある。

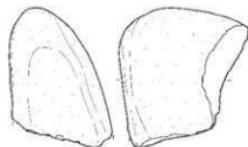
〈註文獻〉

- (1) 谷口武範『9・宮崎県下耳切第3遺跡』「先史・古代
アシア出土の植物遺存体(2)」 熊本大学考古学研究室 2004
(2) (1)と同上





第177図 SC C132実測図 (S = 1/20)



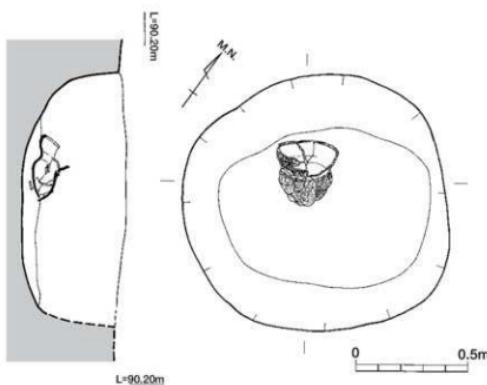
SC132 土層注記

1:明褐色粘質土(10YR3/3)

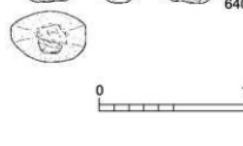
2:灰黃褐色土(10YR4/2)

3:暗褐色粘質土(7.5YR2/3)

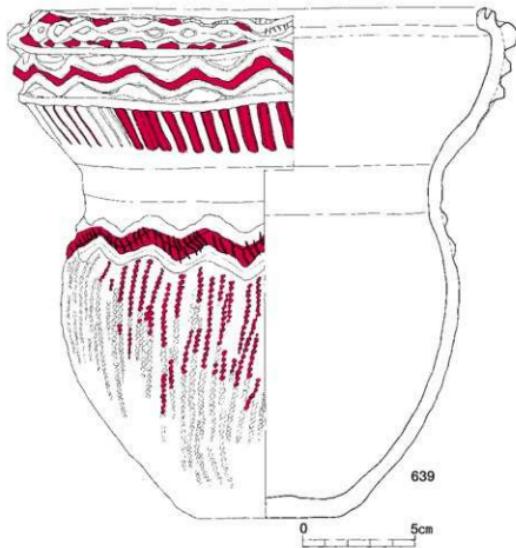
第178図 SC C132出土遺物実測図 (S = 1/3・1/4)



第179図 SC C140実測図
(S = 1/20)



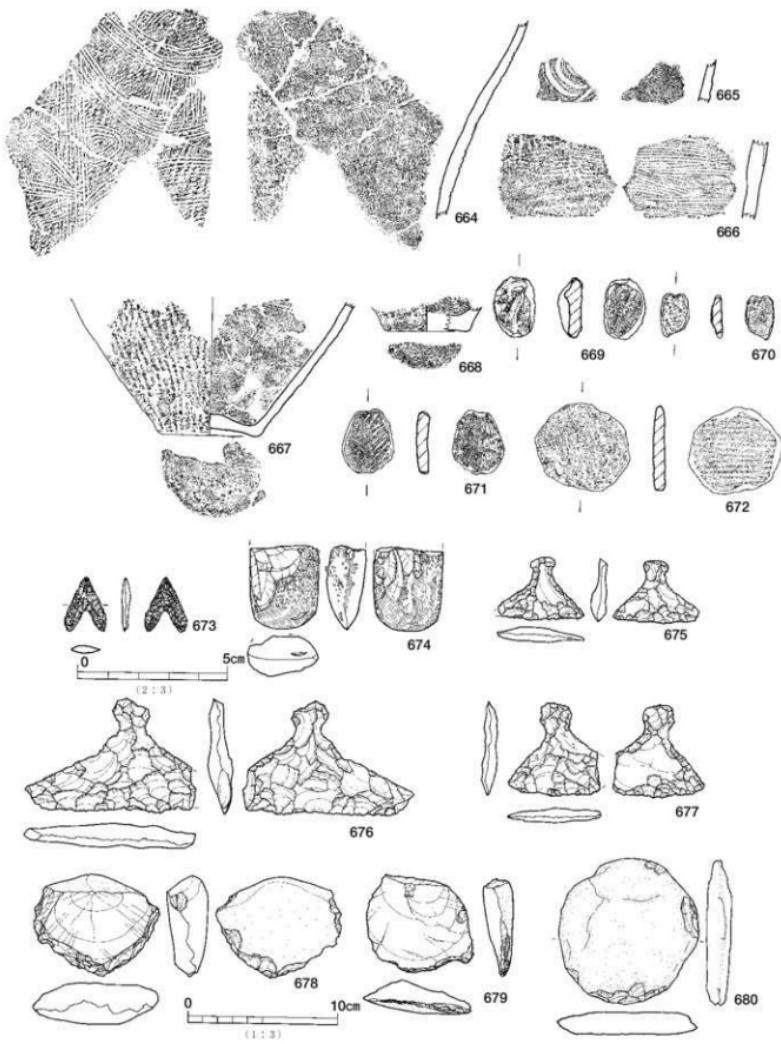
第180図 SC C140出土遺物実測図 [1] (S = 1/20)



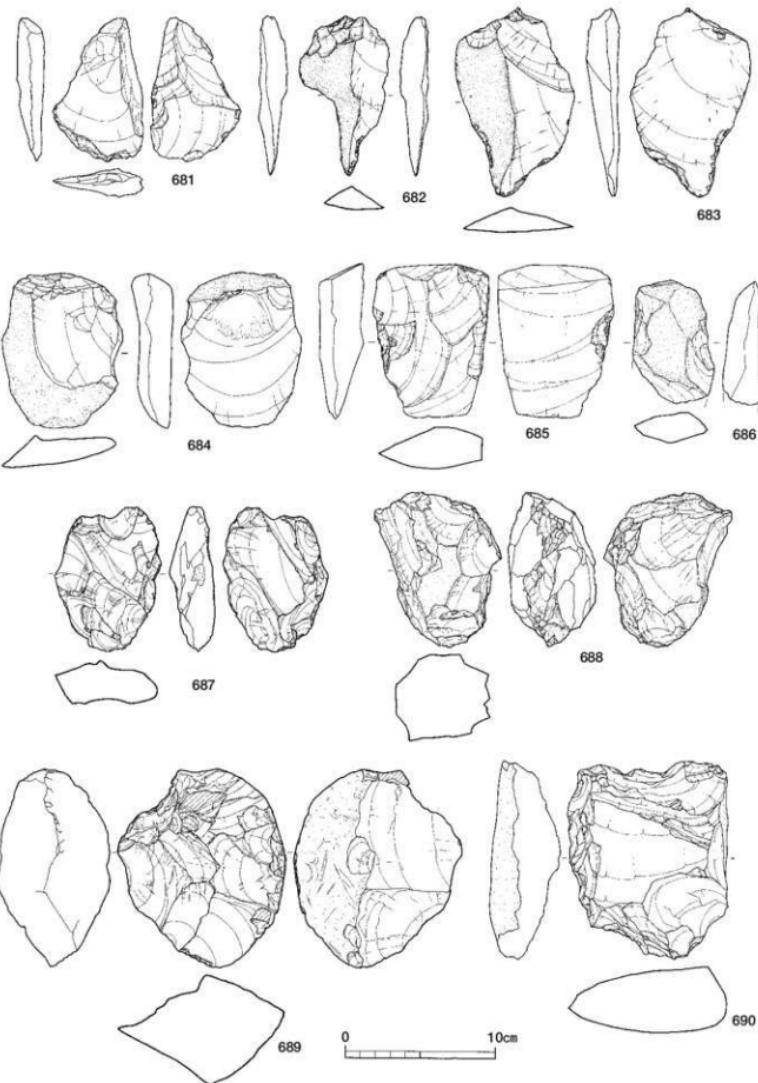
第181図 S C140出土遺物実測図〔2〕(S=1/2)



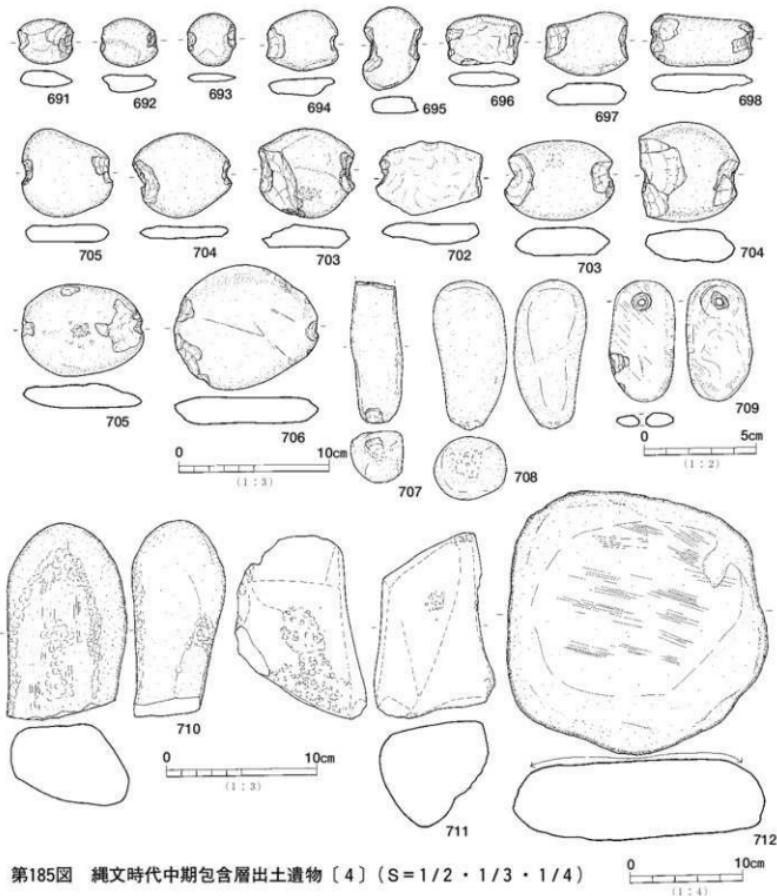
第182図 繩文時代中期包含層出土遺物〔1〕(S=1/3)



第183図 繩文時代中期包含層出土遺物〔2〕(S=2/3+1/3)



第184図 繩文時代中期包含層出土遺物〔3〕(S=1/3)



第185図 繩文時代中期包含層出土遺物〔4〕(S=1/2+1/3+1/4)

遺構番号	平面形	直徑(m)	床面積(m ²)	柱穴	出土石器	出土石器()内は個体数	時期	備考
S A 8	不整円形	5.5	23.75	3~4	スクレイバー2、石錐1、石核1、剥片8、石錐6、磨石2、石皿2、台石1	V= 6個(1)、V= 7個(2)、V= 10個(1)、V= 4個(1)、V= 6個(2)、V= 3個(1)、後削土器	船元Ⅱ・Ⅲ式	住居周縁にピット列・張り出し部あり・住居内土坑(S C41)?未検出遺構(区画土台)との切りあい可能性あり
S A 14	不整円形	4	12.56	5	石錐2、剥片6	V= 1個(2)、V= 6個(2)、V= 7個(1)、V= 4個(2)、V= 3個(1)、V= 1個(1)、土器片縫1、土器片加工(縫1)	船元Ⅱ式~春日式北手牧段階	住居周縁にピット列・張り出し部あり
S A 21	不整円形	4.2	13.85	1+e	剥片8	V= 1個(1)、V= 3個(1)、M= 5個(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S A 22	円形	6	28.26	3+e	打製石錐1、剥片7、石錐6	V= 6個(2)、V= 7個(1)、V= 10個(1)、V= 6個(2)、V= 3個(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	住居周縁にピット列
S A 70	円形	3.5	9.62	-	剥片3	小破片	縄文時代中期か?	
S A 80	不整円形	3.2	8.04	1+e	石錐1、石錐1、石核1、剥片3	V= 2個(1)、V= 6個(1)、V= 8個(2)、V= 10個(2)、V= 1個(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	住居内土坑
S A 81	円形	3.6	10.17	?	石錐1、石錐2、スクレイバー2、石核2、剥片11、石錐1、磨石2、蔽石1、石製垂乳1	V= 6個(1)、V= 9個(1)、V= 10個(1)、V= 3個(1)	船元Ⅲ式~春日式北手牧段階	住居内土坑(S C142)?
S A 82	円形	5.8	26.41	3+e	打製石斧1、二次加工剥片11、剥片14石錐4、磨石1、蔽石2	V= 3個(1)、V= 4個(1)、V= 6個(1)	船元Ⅲ式	住居周縁にピット列か?
S A 83	円形	4.9	18.85	?	石核2、剥片18、石錐7、磨石5、蔽石2、石皿1	V= 3個(1)、V= 6個(2)、V= 10個(1)、V= 3個(3)	船元Ⅲ式~春日式北手牧段階	住居周縁にピット列

第42表 縄文時代中期竪穴住跡一覧表

遺構番号	構造				施設			遺物	時期	備考
	建物の形態	梁行	桁行	柱穴数	梁行(m)	桁行(m)	床面積(m ²)	主軸方向		
S B 63	側柱建物	2	3	10	2.2	2.5	5.5	N= 58°W	-	縄文時代か?
S B 82	側柱建物	2?	3	10?	2.8	-	-	N= 8°E	-	縄文時代か?
S B 83	側柱建物	2	3	10	2.2	2.6	5.72	N= 68°E	-	縄文時代か?
S B 84	側柱建物	1	1	4	3	3.2	9.6	N= 30°W	-	縄文時代か?

第43表 縄文時代中期掘立柱建物跡一覧表

遺構番号	平面形	直徑(長軸)(m)	短軸(m)	床面積(m ²)	ピット数	出土石器	出土石器	備考
S H 1	箱円形	3.2	2.5	6.28	9+e	V= 8個	-	S C 25(付帯施設か?)
S H 2	円形	4	-	12.56	6+e	土器片加工(縫1)	-	中央に円形ピット
S H 3	円形	3.9	-	11.94	6+e	縄文土器(小破片)	剥片	中央に小土坑
S H 4	円形	5.2	-	21.23	8+e	縄文土器(小破片)	剥片	-
S H 5	円形	3	-	7.07	6+e	縄文土器(小破片)	剥片	-
S H 6	箱円形	4.5	3.5	15.9	9+e	縄文土器(小破片)	剥片	-
S H 7	円形	2.5	-	4.91	7+e	縄文土器(小破片)	-	-
S H 8	円形	4	-	12.56	9+e	V= 8個	-	虹張箇所の可能性
S H 9	円形	3.5	-	9.62	9+e	縄文土器(小破片)	-	中央に円形ピット
S H 10	円形	6	-	28.26	15+e	V= 8個	-	中央に円形ピット・S C 37(付帯施設か?)
S H 11	円形	4	-	12.56	8+e	V= 6~10個	-	中央に円形ピット
S H 12	円形	3.5	-	9.62	9+e	V= 3~5個	石匙	-
S H 13	円形	4	-	12.56	12+e	縄文土器(小破片)	-	S C 24(付帯施設か?)
S H 14	箱円形	3.2	2.6	8.04	9+e	縄文土器(小破片)	-	-
S H 15	円形	3	-	7.05	4+e	縄文土器(小破片)	剥片	-
S H 16	箱円形	3.5	2.8	9.62	8+e	縄文土器(小破片)	-	中央に円形ピット
S H 17	円形	3.5	-	9.62	9+e	縄文土器(小破片)	-	-
S H 18	箱円形	6	3.8	28.26	12	縄文土器(小破片)	-	S C 106(付帯施設か?)
S H 19	箱円形	5	3.5	19.63	8+e	縄文土器(小破片)	-	-
S H 20	箱円形	3.5	3	9.62	10+e	縄文土器(小破片)	-	-
S H 21	箱円形	6	4	28.26	8+e	縄文土器(小破片)	剥片	-
S H 22	箱円形	5	4.3	19.63	9+e	縄文土器(小破片)	-	-
S H 23	箱円形	6	4	28.26	14	V= 5個	-	中央にピット数基
S H 24	箱円形	5.5	3	23.75	10+e	V= 5個	-	虹張箇所の可能性
S H 25	箱円形	5	3.8	19.63	12	縄文土器(小破片)	-	S C 49(付帯施設か?)
S H 26	箱円形	5	-	19.63	10+e	縄文土器(小破片)	剥片	-
S H 27	円形	2.5	-	4.91	8+e	縄文土器(小破片)	剥片	-
S H 28	円形	4	-	12.56	6+e	V= 5~6個、V= 5~5個	剥片	中央に円形ピット
S H 29	円形	4	-	12.56	9+e	V= 9個	-	-
S H 30	円形	3.5	-	9.62	5+e	縄文土器(小破片)	-	-
S H 31	円形	4	-	12.56	5+e	縄文土器(小破片)	剥片	-
S H 32	円形	7	-	38.47	8+e	V= 2個	-	中央に円形ピット

第44表 縄文時代中期平地式建物跡一覧表

遺構番号	平面形	分類	直徑(長軸)	短軸	深さ	平面積	出土石器	出土土器()内は個体数	時期(縦)	備考
S C 1	圓丸方形	-	1.8	1.2	0.55	2.16	石鍬1	電鑽(3)	三万田式	-
S C 2	不整椭円形	D類	1.5	1.1	0.35	1.3	剥片3	V-10類3・V-5類3・ VI-3類2・土器片鍬1)	船元II・III式	略定形1個体
S C 6	椭円形	B類	1.6	1.3	0.3	1.63	剥片2	V-6類3・V-2類4・ V-10類3・VI-3類2)	船元II・III式	-
S C 7	方?	D類	2	1.1	0.4	1.72	石鍬1、石鍬1、台石1	V-1類3・土器片鍬1)	船元II・III式	-
S C 8	円形	A類	1.25	1.1	0.3	1.23	剥片3、扁平鍬2	小破片	縄文時代中期	-
S C 10	椭円形	B類	1.4	1.12	0.48	1.23	-	V-10類4)・V-4類3)	船元II式	-
S C 11	椭円形	C類	1.85	1.2	0.7	1.74	スクレイバー2、石鍬1、 石鍬1、台石1、剥片8、 石核3、角錐4	V-10類5)・V-8類2)	船元II式	-
S C 12	椭円形	B類	1.2	1	0.28	0.94	-	V-6類2)	船元II式	-
S C 13	椭円形	B類	1.25	1.1	0.4	1.08	石鍬1	VI-5類4)・V-10類3)・ V-8類5)・土器片鍬1)	船元II式～春日式北 手牧段階	-
S C 14	椭円形	B類	0.9	0.7	0.2	0.49	磨石2	小破片	縄文時代中期	-
S C 15	椭円形	C類	1.72	0.96	0.48	1.3	石鍬1	VI-5類3)・V-10類9)	船元II式～春日式北 手牧段階	-
S C 16	椭円形	B類	1.2	0.9	0.4	0.85	剥片3、石鍬1、磨石1、 石核1、円錐2	VI-5類2)・VI-6類4)・ V-5類3)・V-6類5)・ VI-2類2)	船元II式～春日式北 手牧段階	-
S C 17	椭円形	B類	1.5	0.7	0.23	0.82	石鍬1	V-8類3)	船元II式	-
S C 18	椭円形	B類	0.9	0.7	0.2	0.49	スクレイバー2	VI-5類2)	船元II式～春日式北 手牧段階	-
S C 19	円形	A類	1.2	1.1	0.45	1.13	石鍬1、磨石2、蔽石1、 石核2、剥片12、石核1、 角錐7	VI-5類2)・VI-6類4)・V- 3類2)・V-9類1)・土 器片鍬2)	船元II式～春日式北 手牧段階	生物遺体存在か? ?
S C 20	椭円形	B類	1.14	0.71	0.27	0.64	石鍬1	小破片	縄文時代中期	-
S C 21	椭円形	B類	1.47	0.98	0.52	1.13	剥片7	小破片	縄文時代中期	-
S C 22	円形	A類	1.1	1	0.5	0.95	石核2、石鍬2、剥片3、 扁平鍬2	V-3類2)・V-2類1)・ V-8類1)・VI-5類1)	船元II式～春日式北 手牧段階	生物遺体存在か? ?
S C 23	椭円形	B類	1.3	1.1	0.6	1.12	石鍬1、石核2、剥片6、 石核3、磨石4、蔽石2、 石核3、扁平鍬2	VI-6類4)・V-8類1)・ V-10類3)	船元II・III式	生物遺体存在か? ?
S C 24	椭円形	B類	1.54	1.09	0.3	1.31	円錐3	VI-6類2)	船元II・III式	-
S C 25	椭円形	B類	1.5	0.85	0.2	1	石核2、扁平鍬2	小破片	縄文時代中期	-
S C 26	椭円形	B類	1.02	0.7	0.28	0.56	円錐3	小破片	縄文時代中期	-
S C 27	椭円形	B類	1.43	0.81	0.2	0.91	角錐8	小破片	縄文時代中期	-
S C 28	椭円形	B類	1.07	0.68	0.26	0.57	角錐18	小破片	縄文時代中期	-
S C 29	椭円形	B類	1.22	0.7	0.3	0.67	石鍬1、磨石1、剥片5、 円錐2	V類2)・貯貝1)	船元II・III式	-
S C 30	椭円形	D類?	1.8	0.92	0.21	1.3	剥片8	V-8類3)・V-9類2)	船元II・III式	-
S C 31	円形	A類	1.1	1	0.5	0.94	石鍬2	小破片	縄文時代中期	-
S C 32	椭円形	B類	1.22	0.98	0.3	0.94	扁平鍬3、角錐2	小破片	縄文時代中期	-
S C 33	椭円形	B類	1	0.68	0.38	0.53	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 34	円形	A類	1.28	1.21	0.24	1.29	石核2、剥片17、扁平鍬 3、角錐2	VI-3類5)・V-4類1)・ V-3類1)・VI-4類2)・ 土器片加工1類1)	船元II～春日式北手 牧段階	-
S C 35	椭円形	B類	0.98	0.67	0.25	0.52	石鍬2、角錐1	VI-3類2)	船元II式	確認1個・SA7 下限検出
S C 36	椭円形	C類	1.51	0.87	0.71	1.03	扁平鍬2	VI-5類4)	船元II式～春日式北 手牧段階	-
S C 37	円形	A類	1.12	1.05	0.67	0.98	円錐1	V-10類3)	船元II・III式	-
S C 38	椭円形	B類	1.21	0.71	0.26	0.67	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 39	椭円形	B類	1.03	0.68	0.3	0.59	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 40	椭円形	B類	1.4	0.8	0.42	0.88	磨石3、蔽石2、石鍬3、 石核2、扁平鍬2	V-9類4)・VI-2類2)・VI- 6類3)・土器片鍬1)	船元II・III式	-
S C 41	椭円形	B類	0.96	0.64	0.16	0.48	石鍬1、磨石1、磨石3、 石核4、扁平鍬1、剥片 10、石鍬4、蔽石3	V-10類4)	船元II・III式	SA 8内土7

第45表 縄文時代中期土坑一覧表(1)

遺構番号	平面形	分類	直徑 (長軸)	短軸	深さ	平面 横	出土石器	出土土器()内は個体数	時期(縦)	備考
S C 42	楕円形	B類	1.34	0.96	0.48	1	石鋸1、石鋸2、削片7、 石磨2、磨石2、	V-4類(6)・V-8類(2)・ VI-5類(1)	船元Ⅱ～春日式北手 牧段階	炭化種子検出・ 生物遺体存在か?
S C 43	楕円形	B類	0.93	0.7	0.5	0.51	石鋸4、磨石1、蔽石3、 扁平鍬3	V-6類(3)・V-10類(8)・ VI-4類(3)	船元Ⅲ式	炭化種子検出
S C 44	楕円形	D類	1.5	0.85	0.2	1	扁平鍬1	小破片	縄文時代中期	生物遺体存在か?
S C 45	楕円形	B類	1.91	1.12	0.37	1.68	石鋸1	小破片	縄文時代中期	生物遺体存在か?
S C 46	不整椭円形	D類	0.85	0.8	0.25	0.57	扁平鍬1	V-10類(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	生物遺体存在か?
S C 47	不整椭円形	B類	1.44	1.21	0.42	1.37	円鍬1	小破片	縄文時代中期	-
S C 48	楕円形	B類	1.07	0.72	.36	0.6	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 49	楕円形	B類	1.12	0.69	0.4	0.61	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 50	円形	A類	0.96	0.92	0.44	0.72	石鋸1	V-10類(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 51	楕円形	B類	1.1	0.9	0.4	0.78	石鋸2	V-10類(1)・V-9類(1)・ VI-4類(3)	船元Ⅲ式	-
S C 52	楕円形	B類	1.4	1	0.45	1.1	石鋸16	VI類(1)	船元Ⅲ式～春日式北 手牧段階	石鋸発見か?
S C 53	楕円形	B類	1.2	0.9	0.15	0.85	石鋸3	VI-3類(3)・VI-6類(2)	船元Ⅲ式～春日式北 手牧段階	-
S C 54	楕円形	B類	1.3	1.05	0.45	1.07	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 55	円形	A類	1.28	1.02	0.45	1.29	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 56	楕円形	B類	1.4	1.15	0.75	1.26	打製石斧1、二次加工削片 1、石鋸1、石鋸2、G種 2、磨石2、蔽石3、削片11、 石皿2、台石3、扁平 鍬3	V-6類(4)・V-10類(2)・ V-8類(1)・V-6類(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 57	円形	A類	1	1	0.2	0.79	扁平鍬3、角鍬2	V-10類(1)・V-8類(1)・ V-2類(1)	船元Ⅲ式	か跡か? 生物遺体存在か?
S C 58	円形	A類	0.9	0.9	0.45	0.64	二次加工削片1。石鋸2、 石盤3	V-5類(2)・VI-5類(2)・ VI-6類(1)・VI-1類(2)・ VI-3類(1)	船元Ⅲ式～春日式北 手牧段階	-
S C 59	楕円形	D類	2.05	1.1	0.7	1.77	石鋸3、削片23、蔽石2、 扁平鍬3	V-10類(1)・V-6類(3)・ V-9類(2)・土器片(1)	船元Ⅲ式	生物遺体存在か? 海貝骨封出
S C 60	楕円形	B類	1.08	0.79	0.3	0.67	-	V類(2)・V類(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 61	楕円形	B類	1.4	0.8	0.35	0.88	-	V類(3)・V類(2)	船元Ⅱ・Ⅲ式	S A 7下面検出
S C 62	楕円形	C類	1.8	1.1	0.8	1.55	二次加工削片1、削片8、 石鋸5、磨石2、刃磨8、 角鍬2	VII-6類(3)・V-6類(1)	船元Ⅲ式	S A35下面検出
S C 63	楕円形	B類	1.3	1.04	0.54	1.06	石核1、石鋸3、蔽石1	VI-5類(1)・VI-4類(2)	船元Ⅲ式～春日式北 手牧段階	-
S C 64	楕円形	B類	1.1	0.9	0.5	0.78	スケイバーパー1、石鋸3、 削片17、石鋸2、蔽石2、 円鍬2	V類(3)・VI類(2)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 65	楕円形	B類	1.3	1	0.5	1.02	削片2、石鋸3、蔽石1、 石鋸1、台石1、角鍬4	V-10類(5)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 66	楕円形	B類	1.3	1.02	0.45	1.04	削片1、石鋸1	V-3類(4)・V-6類(2)・ VI類(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 67	円形	A類	1.05	0.9	0.5	0.87	打製石斧1、石鋸1、 磨石8、磨石1、蔽石2、円鍬 3	V-4類(2)・V-10類(3)	船元Ⅲ式	-
S C 68	円形	A類	0.8	0.8	0.3	0.5	削片1、蔽石1	VI-3類(4)・VI-5類(3)・ VII類(1)・VI-4類(1)	船元Ⅲ式～春日式北 手牧段階	-
S C 69	楕円形	B類	1.45	1.15	0.55	1.31	スケイバーパー1、二次加工 削片1、石鋸1、削片12、 磨石2、円鍬2	V-1類(4)・VI-4類(4)・ VI-6類(2)・VI-2類(1)・ VII類(2)	船元Ⅱ・春日式北手 牧段階	-
S C 70	楕円形	B類	1	0.8	0.25	0.63	石鋸1、削片2、円鍬3	V-2類(3)・V-10類(1)	船元Ⅲ式	-
S C 71	楕円形	B類	1.04	0.78	0.39	0.67	-	V-8類(2)・VI-1類(1)	船元Ⅱ・春日式北手 牧段階	-
S C 72	楕円形	B類	1.04	0.81	0.22	0.66	石鋸1、円鍬3、扁平鍬1	V-7類(4)	船元Ⅲ式	-
S C 73	楕円形	B類	1.13	0.94	0.35	0.83	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 74	楕円形	B類	1	0.85	0.7	0.67	円鍬3	小破片	縄文時代中期	-
S C 75	円形	A類	0.9	0.9	0.3	0.64	-	小破片	縄文時代中期	-
S C 76	楕円形	B類	1.2	0.94	0.2	0.89	角鍬2、扁平鍬	小破片	縄文時代中期	-
S C 77	円形	A類	1	0.9	0.7	0.79	石鋸1、蔽石2、削片3	VI-4類(5)・VI-6類(3)・ VI-10類(1)	船元Ⅲ式	-

第46表 縄文時代中期土坑一覧表(2)

遺構番号	平面形	分類	直径 (長軸)	短軸	深さ	平面 構	出土石器	出土土器 () 内は個体数	時期 (年)	備考
S C 78	楕円形	B類	1	0.85	0.7	0.67	石鍤2、敲石1、石皿1、合石1	VII-6類(7)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 79	楕円形	C類	1.4	0.95	0.65	1.04	敲石1、円錐2、棒状椎1	VII-3類(3)・VII-5類(2)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	-
S C 80	円形	D類?	0.9	0.9	0.35	0.64	円錐1	VII-6類(2)・VII-8類(3)・ VII-10類(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 81	円形	A類	1.25	1.1	0.3	1.23	調片10、石鍤2、敲石2、 扁平錐5	VII-6類(2)・VII-2類(2)・ VII-6類(4)・VII-5類(3)・ VII-1類(2)・VI類(1)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	海綿骨針検出
S C 82	楕円形	D類?	1.82	1.26	0.28	1.83	棒状椎12	小破片	绳文時代中期	-
S C 83	楕円形	B類	0.88	0.74	0.38	0.51	円錐4	小破片	绳文時代中期	-
S C 84	楕円形	B類	1.04	0.62	0.2	0.51	調片3、棒状椎6	小破片	绳文時代中期	-
S C 85	円形	A類	1.32	1.28	0.44	1.37	石鍤1	V-1類(2)・VII-5類(1)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	-
S C 86	不整円形	A類	1.01	0.98	0.46	0.8	-	小破片	绳文時代中期	-
S C 87	楕円形	B類	1.6	1.32	0.3	1.66	石鍤2	V-3類(1)・VII-2類(3)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 88	円形	A類	1.1	1.05	0.5	0.95	石鍤1、磨石1、台石2、 扁平錐1	V-10類(4)・V-8類(3)	船元Ⅱ式	-
S C 89	楕円形	B類	1.44	1.1	0.35	1.24	磨石1、石鍤1、石核1	V-7類(1)・V-6類(1)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 90	円形	A類	1.12	1.12	0.73	0.98	-	VII-2類(1)	春日式北手取段階	-
S C 91	円形	A類	0.92	0.92	0.41	0.66	調片1	小破片	绳文時代中期	-
S C 92	円形	A類	0.92	0.95	0.62	0.66	-	小破片	绳文時代中期	-
S C 93	円形	A類	0.83	0.75	0.35	0.54	敲石1	V-6類(1)・V-8類(4)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 94	楕円形	B類	1.2	1.1	0.7	1.03	調片14	VII-4類(1)・V-10類(4)	船元Ⅲ式	-
S C 95	楕円形	B類	1.22	0.91	0.37	0.87	-	VII-5類(8)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	-
S C 96	不整円形	D類	1.16	0.98	0.35	0.89	角錐1	V-5類(3)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	-
S C 97	楕円形	B類	0.88	0.74	0.38	0.51	-	V-10類(7)	船元Ⅱ・Ⅲ式	-
S C 98	楕円形	B類	1.1	0.99	0.44	0.85	扁平錐4	VII-3類(2)・VII-4類(5)・ VII類(1)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	S A65下面検出
S C 99	楕円形	B類	0.98	0.83	0.39	0.64	円錐1	V-2類(6)・V-10類(1)	船元Ⅱ式	-
S C 100	楕円形	D類	1.25	1.05	0.3	1.03	石鍤1、角錐1	V-9類(3)	船元Ⅲ式	-
S C 101	楕円形	B類	0.96	0.94	0.41	0.71	-	VII-5類(2)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	-
S C 102	円形	A類	1.01	0.97	0.82	0.8	-	V-2類(6)	船元Ⅱ式	-
S C 103	円形	A類	1.16	1.13	0.78	1.06	-	V-6類(2)	船元Ⅲ式	-
S C 104	楕円形	B類	1.12	0.91	0.3	0.8	棒状椎6、角錐7	V-4類(2)	船元Ⅱ式	-
S C 105	楕円形	B類	1.25	1.1	0.4	1.08	二次加工調片1、調片2、 磨石2、石皿2、台石1、 石核2	V-4類(3)・V-8類(2)・ 土器1・錐1	船元Ⅲ式	S A7下面検出
S C 106	楕円形	B類	1	0.9	0.4	0.71	打製石片1、スクレーパー 1、調片2、円錐1	V-3類(2)・V-5類(3)・ VII-6類(1)・V-10類(1)	船元Ⅲ・Ⅳ式	S A38下面検出
S C 107	円形	A類	1.09	1.1	0.4	0.93	磨石1、敲石1、石皿1	V-10類(2)・VII-3類(3)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	S A61下面検出
S C 108	円形	A類	1.2	1.15	0.25	1.13	調片8、石核3、石皿1	V-10類(2)・V-5類(3)・ V-2類(1)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	S A61下面検出
S C 109	楕円形	B類	0.93	0.85	0.3	0.62	調片1、台石1	V-10類(1)	船元Ⅲ・Ⅳ式	S A62下面検出
S C 110	円形	A類	1.1	1.05	0.7	0.95	石鍤2、磨石3、敲石2、 石皿1、石核2、調片7、 円錐6	V-6類(3)・V-7類(2)・V- 4類(2)・V-10類(4)・V- 4類(2)・V-6類(1)	船元Ⅲ式	-
S C 111	円形	A類	1.1	1.05	0.4	0.91	調片2、石核1	V-8類(2)・V-4類(2)	船元Ⅲ・Ⅳ式	S A63下面検出
S C 112	楕円形	B類	0.96	0.81	0.25	0.61	石皿1	VII-4類(1)	船元Ⅲ式	S A63下面検出
S C 113	楕円形	B類	1.08	0.8	0.22	0.67	調片2	VII類(1)	船元Ⅲ式～春日式 北手取段階	S A75下面検出

第47表 綱文時代中期土坑一覧表(3)

遺構番号	平面形	分類	直径 (長軸)	短軸	深さ	平面 横	出土石器	出土土器 (深鉢)	時期 (縦)	備考
S C114	楕円形	B類	1.06	0.96	0.35	0.82	磨石 1	VII類①	船元Ⅲ式～春日式 北手段階	S A69下面検出
S C115	楕円形	B類	0.96	0.94	0.41	0.71	—	土器片加工内盤①	船元Ⅱ式～春日式北 手段階	—
S C116	楕円形	B類	1.42	1.2	0.22	1.33	棒状縫 2、円縫 3、扁平縫 4	小破片	绳文時代中期	—
S C117	楕円形	B類	1.23	0.96	0.24	0.93	円縫 2、扁平縫 4	小破片	绳文時代中期	—
S C118	楕円形	B類	1.25	1.12	0.43	1.1	角縫 9	小破片	绳文時代中期	—
S C119	楕円形	B類	1.5	0.85	0.2	1	—	小破片	绳文時代中期	—
S C120	楕円形	B類	1	0.9	0.35	0.71	石鍤 1、磨石 2、磨石 4、 円縫 6	V-6類②・V-7類③・ VI-4類②・VII類①	船元Ⅲ・Ⅳ式	—
S C121	楕円形	B類	1.57	0.92	0.38	1.93	—	V-1類①・V-6類①	船元Ⅲ式	—
S C122	楕円形	B類	1.2	0.92	0.4	0.87	磨石 1	VII-5類①	船元Ⅲ式～春日式 北手段階	—
S C123	円形	A類	1.14	1	0.5	1.02	台石 2	小破片	绳文時代中期	—
S C124	不整楕円形	B類	1.44	0.82	0.28	0.92	扁平縫 2	小破片	绳文時代中期	—
S C125	楕円形	B類	1.1	0.9	0.43	0.78	磨石 1、剥片 7	小破片	绳文時代中期	—
S C126	楕円形	—	0.9	0.5	0.5	0.35	—	VII類⑤・V-9類①	绳文時代後・晚期	—
S C127	楕円形	A類	0.92	0.87	0.52	0.62	円縫 1	V-5類②・VII-6類①	船元Ⅲ式～春日式 北手段階	—
S C128	不整円形	A類	1.06	1.03	0.87	0.89	磨石 1	V類②	船元Ⅲ・Ⅳ式	—
S C129	円形	A類	1	0.95	0.5	0.74	石鍤 3、磨石 1、剥片 2	V類③・VII類②	船元Ⅲ・Ⅳ式	—
S C130	楕円形	B類	1.2	0.94	0.3	0.86	石核 1	小破片	绳文時代中期	—
S C131	楕円形	B類	1.25	1.05	0.65	1.23	石鍤 1、磨石 1、磨石 1、 円縫 3	V-10類④・V-5類①	船元Ⅲ式～春日式 北手段階	—
S C132	円形	D類	1.45	1.45	0.45	1.65	スクレーパー 1、磨石 1、 台石 2、円縫 1	V類③・VII類②	船元Ⅲ式～春日式 北手段階	—
S C133	楕円形	B類	0.86	0.7	0.34	0.47	石核 4・台石 1	小破片	绳文時代中期	—
S C134	楕円形	B類	0.92	0.81	0.19	0.58	—	V類②	船元Ⅲ式～春日式 北手段階	—
S C135	円形	A類	1.28	1.26	0.25	1.29	—	V-10類①	船元Ⅲ・Ⅳ式	S A71下面検出
S C136	楕円形	D類	1.08	0.96	0.26	0.81	角縫 2	小破片	绳文時代中期	S A71下面検出
S C137	円形	A類	0.91	0.93	0.45	0.65	円縫 3、棒状縫 2	小破片	绳文時代中期	S A71下面検出
S C138	円形	A類	1	0.9	0.26	0.79	—	小破片	绳文時代中期	—
S C139	楕円形	B類	0.79	0.72	0.23	0.45	—	小破片	绳文時代中期	S A43下面検出
S C140	円形	D類	1.15	1.15	0.4	1.04	磨石 1	V-5類①	船元Ⅲ式～春日式 北手段階	完形 1個体
S C141	楕円形	B類	1.2	0.9	0.15	0.85	石鍤 2、扁平縫 (赤変) 6	V-2類①・V-5類②・ V-10類②・V-1類②・ VI-5類①	船元Ⅱ式～春日式 北手段階	伊賀少?
S C142	円形	A類	1.05	0.9	0.3	0.87	石鍤 1、剥片 3、磨石 1、 磨石 1	V-2類②・V-6類①	船元Ⅲ・Ⅳ式	S A81内検出
S C143	楕円形	C類	2.11	1.12	0.51	1.86	—	小破片	绳文時代中期	—
S C144	楕円形	C類	2.06	1	0.5	1.61	—	小破片	绳文時代中期	—
S C145	円形	A類	1.05	0.95	0.3	0.87	石鍤 1	V-1類②・V-8類①・ VI-6類①・VII-1類②・ VII-3類③	船元Ⅲ式～春日式 北手段階	S A60下面検出
S C146	楕円形	B類	1.25	1	0.2	0.98	石核 3、剥片 8、磨石 1、 石鍤 10	V-3類③	船元Ⅲ式	石鍤施塗土枕少?
S C147	円形	A類	1.16	1.13	0.8	1.06	—	V-9類③・VII類①	船元Ⅲ式	—
S C148	楕円形	B類	0.92	0.77	0.42	0.56	—	V-10類②	船元Ⅲ・Ⅳ式	—
S C149	不整楕円形	B類	1.02	0.86	0.23	0.69	剥片 6	小破片	绳文時代中期	S A46下面検出

第48表 綱文時代中期土坑一覧表(4)

第49表 繩文土器觀察表(1)

番号	出土場所	出土品	種別	器種	部位	法量 (cm) 口径 高さ 幅径 底径	手法・調整・文様等	色調	胎土		焼成 備考	分類		
									外観	内面				
173	S21	覆土	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	C字形 ナデ	に古い黄褐色 YR5 / 5	に古い黄褐色 YR5 / 5	3mm以下の白色 粒子を含む	厚約0.75 cm	V-7類
174	S21	覆土	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	ナデ/團 巻き/2 段の透抜 模様	に古い褐色 7.5YR 5 / 4	に古い褐色	1.5mm以下の灰褐色・浅黄褐色粒子を含む 1mm以下の黒色・灰粒子を含む	厚約0.75	V-5類
175	S21	覆土	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	团巻り/ ナデ	ナデ	ナデ	1mm以下の灰褐色・ ナデ	厚約0.7	V-3類
176	S21	覆土	縄文土器	無文鏡	口縁部	-	-	-	团巻り/ ナデ	ナデ	ナデ	1mm以下の灰褐色・ ナデ	厚約0.55	V-1類
177	S41	覆土	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	RL鏡文/ 貝貝復元 による押 出模様 (単形)	RL鏡文/ ナデ	ナデ	1mm以下の半透明・灰褐色。洪積粒子を含む	厚約0.7	V-1類
178	S21	覆土	縄文土器	有文鏡	胴部	-	-	-	RL鏡文/ 貝貝復元 による押 出模様 (単形)	RL鏡文/ ナデ	ナデ	1mm以下の半透明・灰褐色。洪積粒子を含む	厚約0.6	V-2類
179	S41	覆土	縄文土器	有文鏡	胴部	-	-	-	RL鏡文/ ナデ	ナデ	ナデ	0.5mm以下の赤褐色・淡黃粒子を含む	厚約0.6	V-2類
180	S22	床座	縄文土器	無文鏡	波状口 縁部	-	-	-	RL鏡文/ ナデ	ナデ	ナデ	5mm以下の白褐色粒子・3mm以下の赤褐色粒子を含む	厚約0.8	V-3類
181	S42	床座	縄文土器	無文鏡	波状口 縁部	-	-	-	团巻り/ ナデ	ナデ	ナデ	5mm以下の白褐色粒子・3mm以下の赤褐色粒子を含む	厚約0.7	V-1類
182	S42	床座	縄文土器	無文鏡	波状口 縁部	-	-	-	团巻り/ ナデ	ナデ	ナデ	1mm以下の灰褐色・白色半透明の粘土を含む	厚約0.7	V-1類
183	S42	床座	縄文土器	無文鏡	波状口 縈部	-	-	-	ナデ/半 圓錐管	ナデ	ナデ	1mm以下の白褐色・微細な淡黃色 粘土粒子を含む	厚約0.7	V-4類
201	S43	床座	縄文土器	有文鏡	波状口 縈部	-	-	-	RL鏡文/ 貼付 粘土 ナデ	ナデ/指 印	ナデ	1mm以下の白褐色粒子・微細な半透明光 沢粒子を含む	厚約0.35	V-3類
202	S42	床座	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	RL鏡文/ ナデ	ナデ	ナデ	1mm以下の灰白色・黑色粒状の粘土を含む	厚約0.85	V-10類
203	S43	床座	縄文土器	無文鏡	口縁部	-	-	-	团巻り/ ナデ	ナデ	ナデ	2mmの赤褐色・白色・黑色の粘土を含む	厚約0.5	V-3類
204	S42	覆土	縄文土器	無文鏡	口縁部	-	-	-	貝貝復元 による押 出模様 ナデ	貝貝復元 による押 出模様 ナデ	ナデ	微細な透明光沢粘土粒子・1mm以下の 白色の粘土粒子を含む	厚約0.9	V-3類
205	S43	床座	縄文土器	有文鏡	胴部	-	-	-	RL鏡文/ 貼付 粘土 ナデ	ナデ	ナデ	0.5-1.5mmの白色半透明光沢 くろいの粘土粒子を含む	厚約0.7	V-6類 (中付) 指 ス付
206	S43	覆土	土器	片縫	-	-	-	-	貝貝復元	ナデ	ナデ	3mm以下の白色粒子を含む	較大・長 3.2cm 大・2.6cm 大・2.4cm 0.6cm 直 径8.2	
228	S42 - S43	輪出	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	ナデ/半 圓錐管 押し 付	ナデ	ナデ	1mm以下の灰褐色・白色の粘土粒子を含む	厚約0.8cm	V-7類
229	S42 - S44	輪出	縄文土器	無文鏡	口縁部	-	-	-	貝貝復元 による押 出模様 ナデ	貝貝復元 による押 出模様 ナデ	ナデ	1mm以下の白褐色・微細な白色粘土を 含む	厚約0.8	V-3類
230	S42 - S44	輪出	縄文土器	無文鏡	波状口 縈部	-	-	-	团巻り/ ナデ	ケツリ ナデ	ナデ	1mm以下の半透明光沢粒子・微細な白色 粘土粒子を含む	厚約0.7	V-3類
231	S42 - S46	輪出	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	团巻り/ ナデ	ナデ/指 印	ナデ	1mm以下の灰褐色・白色半透明の粘土粒子 を含む	厚約0.35cm	V-6類
232	S42 - S47	輪出	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	RL鏡文/ 貼付 粘土 ナデ	ナデ	ナデ	1mm以下の白色・半透明の粘土粒子を含む	厚約0.85	V-6類
233	S42 - S48	輪出	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	团巻り/ ナデ	ナデ	ナデ	1mm以下の白色・白色半透明の粘 土粒子を多く含む	厚約0.9	V-6類
234	S42 - S49	輪出	縄文土器	有文鏡	口縁部	-	-	-	ナデ/棒 柱 による 押出 模様 ナデ	粗いナデ	ナデ	に古い黄褐色 YR6 / 8	厚約0.7	V-6類
235	S42 - S50	輪出	縄文土器	無文鏡	底部	-	-	7.8	ナデ	ナデ	ナデ	4mmの赤褐色・角の無い粒子・1mm以下の 灰褐色の粘土粒子を含む	厚約0.8	貝貝土器 少付
243	S40	覆土	縄文土器	有文鏡	胴部	-	-	-	鏡文施 ナデ	ナデ	ナデ	1.5mm以下の灰褐色・白色・灰褐色粒子を 含む	厚約0.65	V-8類
244	S40	覆土	縄文土器	有文鏡	胴部	-	-	-	鏡文施 ナデ	ナデ	ナデ	0.5mm以下の灰褐色粒子を含む	厚約0.6 cm付 中付 大付 直 径8.9	V-10類

第50表 繩文土器観察表(2)

四面番号	出土場所	出土地點	種別	基種	部位	法量(cm)			手法・調整・文様等		色調		胎土	焼成	備考	分類		
						口径	高さ	胸径	底径	外側	内側	外側	内側					
245	SAB0	覆土	縄文土器	有文深鉢	胴部	-	-	-	-	内施文施文 半竹 骨文	ナデ	に赤い褐色 色10YR5 4/2	に赤い黄褐色 色10YR5 4/4	3mm以下の灰白色粒子を含む	良好	厚 A.0.7 cm	V-8類	
247	SAB0	覆土	縄文土器	有文深鉢	胴部	-	-	-	-	内施文施文 半竹 骨文	ナデ	に赤い黄褐色 色10YR5 4/2	に赤い黄褐色 色10YR5 4/4	微細な褐色・暗粒子を含む	良好	厚 A.0.75 cm	V-1類	
248	SAB0	覆土	縄文土器	有文深鉢	頭部	-	-	-	-	ナマテ	ナデ	褐色5YR6 4/6	黑色N2 /2	1mm以下の灰白色粒子を含む	良好	厚 A.0.65	V-6類	
252	SAB1	床面	縄文土器	有文深鉢	LII部	-	-	-	-	斜めの方向 に斜目/斜線 ナマテ	頭部	灰褐色5YR 4/2	褐色7.5YR 4/2 /3 黒色N2 /2	3mm以下の灰白・2mm以下の褐色・4.5 mm以下の褐色粒子を含む	良好	-	V-6類	
253	SAB1	床面	縄文土器	無文深鉢	底状口 底縁	-	-	-	-	二枚貝 貝殻	二枚貝 貝殻	赤褐色5YR 3/1	褐色7.5YR 6/6	微細で赤い色粒子を含む	良好	厚 A.0.65	V-6類 厚物土付着	
254	SAB1	床面	縄文土器	有文深鉢	胴部	-	-	-	-	ハマテ ナマテ 内施文 半竹 骨文	ナデ	褐色7.5YR6 4/6	褐色7.5YR 6/6	2mm以下の透明・1mm以下の灰白色的 微細粒子を含む	良好	厚 A.0.85 cm	V-9類	
255	SAB1	床面	縄文土器	有文深鉢	頭部	-	-	-	-	LII部	ナデ	褐色10YR 4/4	褐色10YR 4/4	微細で無光沢の光沢粒子・1mm台で 灰白色の状況物粒子を含む	良好	厚 A.0.6	V-10類	
256	SAB1	覆土	縄文土器	有文深鉢	底状口 底縁	-	-	-	-	ナマテ 貝殻 工具 工具上 よるナマテ	ナマテ	褐色7.5YR 3/3	褐色7.5YR 4/4	3mm以下の灰白・2mm以下の褐色粒子 を含む	良好	厚物孔あ れ	V-3類	
257	SAB1	床面	縄文土器	有文深鉢	LII部 附近	-	-	-	-	ナマテ	ナマテ	褐色7.5YR 4/3	褐色7.5YR 4/4	3mm以下の灰白・褐色・3.5mm以下の褐色 粒子を含む	良好	厚 A.0.88 cm	V-3類	
272	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	LII部	-	-	-	-	陶取り ナマテ	ナデ	褐色5YR 4/2	褐色5YR 5/2	5mm以下の茶褐色粒子を含む	良好	厚 A.1.0 cm/厚 物土付着	V-6類	
273	SAB2	覆土	縄文土器	無文深鉢	口縁部	-	-	-	-	ナマテ 貝殻 貝殻	ナデ	褐色5YR 6/6	褐色5YR 6/6	2mm以下の灰白色粒子・3mm以下の茶 褐色粒子を含む	良好	厚 A.0.9	V-6類	
274	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	LII部	-	-	-	-	刷み土/ナ マテ	ナデ	に赤い褐色 色2.5YR5 4/4	に赤い茶褐色 色2.5YR5 4/4	3mm以下の灰白色粒子を含む	良好	厚 A.0.6	V-6類	
275	SAB2	覆土	縄文土器	無文深鉢	口縁部	-	-	-	-	陶取り ナマテ	ナマテ	褐色7.5YR 3/3	褐色7.5YR 4/4	3mm以下の茶褐色粒子・3mm以下の白 色粒子を含む	良好	厚 A.0.7	V-6類	
276	SAB1	覆土	縄文土器	有文深鉢	LII部	-	-	-	-	内施文 半竹 骨文	ナデ	褐色5YR 3/3	褐色5YR 4/2	5mm以下の茶褐色粒子を含む	良好	厚 A.0.8 cm/厚 物土付着	V-10類	
277	SAB1	覆土	縄文土器	有文深鉢	底状口 底縁	-	-	-	-	2枚貝 貝殻 付け穴 骨文	陶取り ナマテ	褐色5YR 5/3	褐色5YR 6/6	6mm程度で茶褐色・白色・乳白色・ 不透明粒子を含む	良好	厚 A.0.8	V-6類	
278	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	LII部	-	-	-	-	内施文 半竹 骨文	陶文施文 半竹 骨文	に赤い茶褐色 色2.5YR 4/4	褐色5YR 6/6	3mm以下の白褐色粒子・2mm以下の黑 褐色粒子を含む	良好	厚 A.0.4	V-5類	
279	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	頭部	-	-	-	-	陶文文/ ナマテ	ナデ	に赤い褐色 色2.5YR 4/4	褐色7.5YR 6/6	2mm以下の黒色光沢粒子・3mm以下の白 色粒子を含む	良好	厚 A.0.4	V-5類	
280	SAB1	覆土	縄文土器	有文深鉢	胴部	-	-	-	-	ナマテ 貝殻 貝殻 骨文	ナデ	に赤い褐色 色10YR5 4/4	褐色5YR 4/4	3mm以下の白褐色粒子・2mm以下の灰 褐色粒子を含む	良好	厚 A.0.6	V-8類	
281	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	胴部	-	-	-	-	内施文施文	ナデ	褐色5YR 5/5	褐色5YR 5/5	3mm以下の乳白色粒子を含む	良好	厚 A.0.8	V-3類	
282	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	口縁部	-	-	-	-	内施文施文	ナデ	に赤い褐色 色2.5YR 4/4	褐色5YR 6/6	2mm以下の灰白色粒子を含む	良好	厚 A.0.7	V-2類 厚物 土付着	
283	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	-	-	-	-	内施文 半竹 骨文	ナデ	内施文 半竹 骨文	褐色5YR 5/6	褐色5YR 5/6	5mmの大透明粒子・1mm以下の灰色・ 褐色・茶褐色粒子を含む	良好	厚 A.0.7	V-9類	
284	SAB10	覆土	縄文土器	有文深鉢	胴部	-	-	-	-	内施文施文 半竹 骨文	ナデ	に赤い褐色 色10YR5 4/4	褐色5YR 5/5	2mm以下の黄白色粒子・3mm以下の灰 褐色粒子を含む	良好	厚 A.0.65	V-8類	
285	SAB10	覆土	縄文土器	有文深鉢	頭部	-	-	-	-	内施文施文 半竹 骨文	ナデ	に赤い褐色 色10YR5 4/4	褐色5YR 5/5	2mm以下の黄白色粒子・3mm以下の灰 褐色粒子・乳白色粒子を含む	良好	厚 A.0.65	V-8類	
286	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	胴部	-	-	-	-	内施文 半竹 骨文	ナデ	に赤い褐色 色10YR5 4/4	褐色5YR 5/6	2mm以下の黄白色粒子を含む	良好	厚 A.0.7	V-6類	
287	SAB2	覆土	縄文土器	有文深鉢	-	-	-	-	内施文	ナデ	褐色5YR 2-5	褐色5YR 3/2	5mm以下の灰白色粒子を含む	良好	厚 A.0.6	V-6類		
288	SAB1	覆土	縄文土器	有文深鉢	頭部	-	-	-	-	ナマテ	ナデ	に赤い褐色 色2.5YR 4/4	褐色5YR 4/4	2mm以下の灰白色粒子を含む	良好	-	V1點土器 少	
289	SAB2	覆土	土器 片 内 側	-	-	-	-	-	-	ナマテ	ナデ	に赤い褐色 色5YR 4/4	褐色5YR 4/4	に赤い褐色 色5YR 4/4	5mm以下の灰白色粒子・1mm以下の灰 褐色・灰白色粒子を含む	良大	長 身 方 才 大 幅 度 0.85/ 重 量 10.4	-
291	SV1	床面	縄文土器	-	-	-	-	-	-	内施文 半竹 骨文	ナデ	に赤い褐色 色5YR 4/4	褐色7-5 5YR4/4	10mm以下の灰褐色粒子・1mm以下の灰 褐色・灰白色粒子を含む	良好	厚 A.0.95 cm	V-10類	

第51表 縄文土器観察表(3)